



第2次健康日本21安城計画

～からだいきいき こころのびのび～

健康に関する基礎調査報告書

平成30年3月

安城市

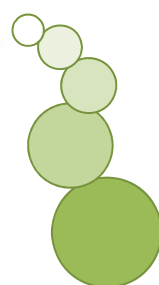
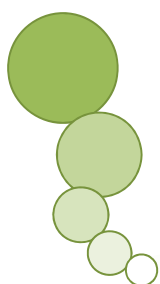
ケンサチ

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査実施期間	2
5	回収状況	2
6	調査結果の見方	3
II	調査結果の要約	5
1	栄養・食生活について	5
2	身体活動・運動について	5
3	休養・こころの健康について	6
4	たばこについて	6
5	アルコールについて	6
6	歯の健康について	7
7	子育てについて	7
8	生活習慣病について	8
9	社会参加・社会環境について	8
III	調査の結果＜成人編＞	9
1	あなた自身について	9
2	栄養・食生活について	16
3	身体活動・運動について	24
4	休養・こころの健康について	29
5	たばこについて	43
6	アルコールについて	47
7	歯の健康について	51
8	生活習慣病について	62
9	社会参加・社会環境について	70
10	健康日本21安城計画について	74
III	調査の結果＜未成年編＞	75
1	あなた自身について	75
2	栄養・食生活について	77
3	身体活動・運動について	82
4	休養・こころの健康について	84
5	たばこ・アルコール・薬物について	88
6	歯の健康について	92
7	性について	97
8	健康日本21安城計画について	100

III	調査の結果＜児童・生徒編＞	101
1	あなたのご自身について	101
2	栄養・食生活について	103
3	身体活動・運動について	107
4	休養・こころの健康について	111
5	たばこ・アルコール・薬物について	115
6	歯の健康について	120
7	性について	124
III	調査の結果＜保護者編＞	125
1	あなた（保護者）のお子さんについて	125
2	栄養・食生活について	128
3	身体活動・運動について	131
4	休養・こころの健康について	133
5	たばこ・アルコールについて	136
6	歯の健康について	139
7	子育てについて	144
8	健康日本21安城計画について	154
IV	自由意見	155
1	成人編	155
2	未成年、児童・生徒、保護者編	158

I 調査概要



I 調査概要

1 調査の目的

第2次健康日本 21 安城計画の中間評価及び今後の計画見直しの基礎資料として、市民の生活習慣や家族形態、労働形態等を把握するとともに、各年代に応じた保健サービスへの市民のニーズを把握し、今後効果的な保健事業を推進していくための課題を探索することを目的としました。

2 調査対象

市内に在住する以下の住民を調査対象としました。

対象者	年齢	抽出方法
①0～3歳児 保護者	0～3歳	9月に乳幼児健診を受診する方
②5歳児 保護者	5歳	市内の保育園・幼稚園の5歳児（年長児クラス）各1クラス
③小学3年生	8歳	市内の小中学校の各1クラス
④小学3年生 保護者	—	
⑤小学6年生	11歳	
⑥小学6年生 保護者	—	
⑦中学3年生	14歳	
⑧中学3年生 保護者	—	
⑨未成年（高校生年代）	15～17歳	15～17歳の市民400人を無作為抽出
⑩成人	20歳以上	20歳以上の市民4,080人を無作為抽出

（H29.4.1現在）

3 調査方法

アンケート調査票を対象者別に作成し、調査を実施しました。

対象者	配布方法	回収方法
①0～3歳児 保護者	安城市行政連絡員を通じて保護者あてに送付	乳幼児健診時に回収
②5歳児 保護者	各園を通じて保護者あてに配布	各園を通じて回収
③～⑧小学3年生・小学6年生・中学3年生及びその保護者	各小中学校を通じて配布	各小中学校を通じて回収
⑨～⑩未成年（高校生年代）・成人	郵送	郵送等による回収

4 調査実施期間

配布・締め切り : 平成 29 年 8 月～10 月

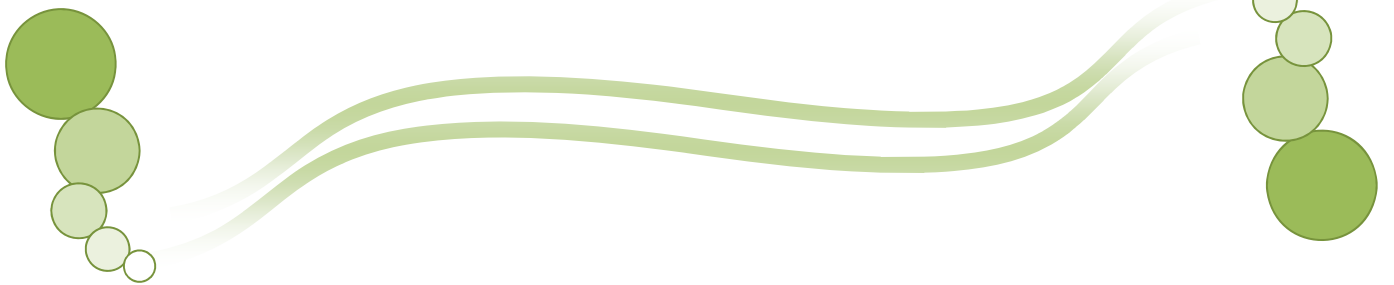
5 回収状況

	平成 24 年調査			平成 29 年調査		
	配布数	有効 回収数	回収率 (%)	配布数	有効 回収数	回収率 (%)
①0～3歳児 保護者	642	469	73.1	464	390	84.1
②5歳児 保護者	679	585	86.2	672	511	76.0
③小学3年生	623	613	98.4	613	608	99.2
④小学3年生 保護者	623	590	94.7	613	584	95.3
⑤小学6年生	678	665	98.1	676	670	99.1
⑥小学6年生 保護者	678	656	96.8	676	636	94.1
⑦中学3年生	377	357	94.7	287	278	96.9
⑧中学3年生 保護者	377	333	88.3	287	245	85.4
①～⑧計	4,677	4,268	91.3	4,288	3,922	91.5
⑨未成年(高校生年代)	1,100	371	33.7	400	149	37.3
⑩成人	11,000	4,546	41.3	4,080	1,783	43.7
20～29 歳 男性	1,425	292	20.5	1,090	122	11.2
女性	1,425	406	28.5	730	149	20.4
30～39 歳 男性	925	253	27.4	740	145	19.6
女性	925	422	45.6	520	162	31.2
40～49 歳 男性	875	274	31.3	200	125	62.5
女性	875	418	47.8	200	140	70.0
50～59 歳 男性	750	289	38.5	200	116	58
女性	750	393	52.4	200	146	73.0
60～69 歳 男性	625	385	61.6	720	104	14.4
女性	625	336	53.8	540	138	25.6
70～79 歳 男性	600	378	63	870	136	15.6
女性	600	336	56	560	135	24.1
80 歳以上 男性	300	173	57.7	340	54	15.9
女性	300	138	46	250	53	21.2
性別・年齢のいずれか 無回答、または両方無 回答		53			58	
⑨⑩計	12,100	4,917	40.6	4,480	1,932	43.1
合計	16,777	9,185	54.7	8,768	5854	66.8

6 調査結果の見方

- (1) 基数となるべき実数は、全体から無回答を除き、「件数」として掲載しています。グラフではnの数値が「件数」となっています。
- (2) 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計が100%にならない場合があります。
- (4) 各集計結果においては、男女または各年代の合計が全体の数と合わない場合があります。「性・年齢別」の合計は性別・年齢の両方を回答した人数、「性別」の合計は性別を回答した人数で年齢を回答しなかった人数を含み、「全体」の数は質問項目に回答した人数で年齢・性別に回答しなかった人数を含みます。
- (5) 調査の結果における集計結果の評価に関わるコメント（「高い」「低い」）は、統計学的な検定（有意水準5%とした）に基づき記載しています。
- (6) 表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して記載している場合があります。
- (7) 「平成24年調査との比較」に用いた数値は以下のとおりです。
平成24年調査：安城市が平成24年8～10月に実施した健康に関する基礎調査の結果
- (8) 「参考：国・県との比較」に用いた数値は以下のとおりです。
国：平成28年国民健康・栄養調査報告
県：健康日本21 あいち新計画中間評価報告書
平成28年愛知県生活習慣関連調査

Ⅱ 調査結果の要約



II 調査結果の要約

1 栄養・食生活について

① 肥満度の状況（参照ページ 11、75、102、127）

肥満度の判定が「標準」の人は、成人、未成年で約70%程度となっており、小学3年生では64.1%、5歳児、小学6年生、中学3年生で約44～48%となっています。また、肥満度の判定が「肥満」の人は、成人で19.9%、未成年で5.4%みられ、中学3年生、小学6年生、5歳児では10%未満となっていますが、小学3年生は10.5%となっています。

② 体型の認識状況（参照ページ 12、78、104）

肥満度の判定が「やせ」の人のうち、やせたいと思っている人の割合は、成人で11.0%、未成年で14.7%、中学3年生で14.8%、小学6年生で9.5%となっています。

③ 欠食の状況（参照ページ 16、77、103、128）

普段、朝食を抜くことがある人は成人で17.1%、アンケート回答日に朝食を食べなかった人は、未成年で6.0%、中学3年生で8.7%、小学6年生で4.5%、小学3年生、5歳児で2%未満となっています。

④ 栄養のバランスへの配慮（参照ページ 22、80、105、130）

食事の際、栄養のバランスに気をつけている人は、成人で67.3%、未成年で35.6%、中学3年生で40.4%となっています。また、食事をつくる時、栄養のバランスに気をつけている保護者の割合は、小学6年生で73.6%、小学3年生で77.3%、5歳児で75.6%、0～3歳児（合算）で67.3%（3歳児80.4%、1歳6か月児73.0%、4か月児46.2%）となっています。

【参考：最終評価（2023年）目標値】

指標	成人	5歳児	0～3歳児
栄養バランスに配慮している人の割合を増やす	68%以上	75%以上	72%以上

2 身体活動・運動について

① 運動の必要性（参照ページ 24、131）

健康のために運動や体を動かす必要があると考えている人は、成人で97.0%となっています。また、4か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児の保護者で、子どもの体を使った遊びや運動に関心がある人は93%以上となっています。

② 日頃の運動習慣（参照ページ 24、83、109、132）

成人では、健康のために運動する時間をつくっていない人が60.1%となっています。

また、運動していない子の割合は、未成年で38.1%、中学3年生で17.3%、小学6年生で23.0%となっています。

子どもにからだを使った遊びや運動をさせていない保護者は、5歳児、3歳児、1歳6か月児、4か月児の保護者で18%未満となっています。

【参考：最終評価（2023年）目標値】

指標	未成年	中学3年生	5歳児	0～3歳児
運動していない子を減らす	34%以下	19%以下		
からだを使った遊びや運動をさせている人を増やす			87%以上	93%以上

3 休養・こころの健康について

① ストレス実感度 (参照ページ 34)

成人では、75.0%の人が何らかのストレスを感じている状態にあります。

② ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことの有無 (参照ページ 36、37、87)

逃げ出したい大きなストレスがある人は、成人で 32.0%、未成年で 22.8%となっています。逃げ出したい大きなストレスがある人のうち、誰かに相談したかどうかについては、相談していない人の割合が成人で 41.2%となっています。

③ 最初に悩みを相談する相手 (参照ページ 86、114)

最初に悩みを相談する相手は、小学6年生、小学3年生では「母」、未成年、中学3年生では「友達」が多くなっています。悩みを相談する相手が「いない」と答えた人は、未成年、中学3年生、小学6年生でそれぞれ約 10%みられます。

④ K6 ハイリスク該当者 (参照ページ 41)

うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発された、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標を用いたハイリスク該当者（10 点以上）は、成人で 15.9%となっています。

4 たばこについて

① 喫煙状況 (参照ページ 43、88、115)

成人の喫煙者は 14.2%となっています。また、喫煙経験がある人の割合は、未成年で 1.3%、中学3年生で 3.3%、小学6年生で 0.3%、小学3年生で 2.0%となっています。

② 受動喫煙 (参照ページ 136)

同居家族に、たばこを吸う人がいる家庭は、中学3年生、小学6年生、小学3年生の家庭で約 40%、5歳児、0～3歳児の家庭で約 36%となっており、このうち、子どもがいるところでも喫煙している状況がみられる家庭は、中学3年生・小学6年生の家庭で約 35%、小学3年生の家庭で 25.2%、5歳児の家庭で 19.1%、0～3歳児の家庭で 9.3%となっており、子どもの年齢が上がるにつれ増えています。

5 アルコールについて

① 飲酒状況 (参照ページ 47、90、117)

成人の飲酒頻度については、ほとんど飲まない（飲めない）人が 47.1%を占めています。一方、週に 1 日以上飲酒する人は 35.2%みられます。

また、飲酒経験がある人の割合は、中学3年生で 37.8%ですが、未成年、小学6年生、小学3年生では約 9～13%となっています。

② 生活習慣病のリスクを高める飲酒量 (参照ページ 49)

飲酒日 1 日あたりの飲酒量が生活習慣病のリスクを高める飲酒量（男性 1 日平均日本酒 2 合以上、女性 1 合以上）に該当している人は男性で 13.9%、女性で 6.0%となっています。

6 歯の健康について

① 歯みがきの状況（参照ページ 51、92、120、139）

歯みがきを毎日する人は、どの年代においても 80%以上となっており、成人、未成年では 90%を超えています。

② 歯の健康管理（参照ページ 53、95、122、141）

成人、未成年、中学3年生が自分で行っている歯の健康管理について、「自分の歯ブラシがある」がいずれも 93%以上となっており、「定期的に歯科健診を受けている」と答えた人は、成人、未成年で約 35%となっています。

また、「定期的に歯科健診を受けさせている」と答えた保護者の割合は、中学3年生で 46.3%、小学6年生で 66.9%、小学3年生と5歳児では約 73%となっています。

【参考：最終評価（2023 年）目標値】

指標	未成年	中学3年生	小学6年生	小学3年生
定期的に歯科健診を受けている子を増やす	26%以上	45%以上	67%以上	81%以上

7 子育てについて

① 子育てのストレス実感度と解消度（参照ページ 146、147）

子育てでストレスを感じることがある保護者は、いずれの年代も 64%以上となっており、特に5歳児の保護者で 74.6%みられます。このうち、そのストレスを解消できている人は約 60～70%程度となっています。

② 子育ての相談相手（参照ページ 149）

子育てについて、相談できる人がいない保護者は、中学3年生で 8.5%、小学6年生で 4.9%、小学3年生で 6.1%、5歳児で 4.3%、0～3歳児では 2%未満となっています。

【参考：最終評価（2023 年）目標値】

指標	中学3年生	小学6年生	小学3年生
子育てに関する相談相手のいない人を減らす	7%以下	4.6%以下	3.9%以下

③ 子どもの話を聞くゆとり（参照ページ 145）

子どもの話を聞くゆとりがある人は、中学3年生、小学6年生、小学3年生、5歳児の保護者のいずれにおいても 80～90%程度となっています。

8 生活習慣病について

① 健康に対する意識（参照ページ 62）

自分がおおむね健康であると思う人は 69.2%となっています。

② 健康管理のために役立つと思うこと（参照ページ 63、64）

自分の健康管理のために役立つと思うことについては、健康測定会が 54.7%と最も多くなっています。健康測定会と答えた人で、どこで受けられるとよいかに対し、近くの公民館と答えた人が 63.7%みられました。

9 社会参加・社会環境について

① 地域活動に参加することの重要性（参照ページ 71）

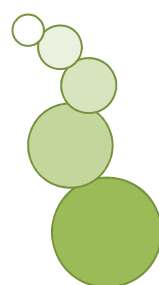
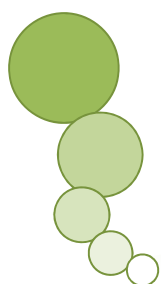
地域活動に参加することは、大切だと思っている人は 85.3%となっています。

② 地域の活動への参加状況（参照ページ 72）

地域の活動への参加状況をみると、参加している人は 37.3%となっています。

Ⅲ調査の結果

<成人編>



III 調査の結果＜成人編＞

1 あなた自身について

問1 年齢はおいくつですか。(平成29年10月1日現在)

問2 性別はどちらですか。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代 以 上	6 5 歳 以 上 (再 掲)
全体	1,730	15.7	17.7	15.3	15.3	14.0	22.0	29.2
男性	802	15.2	18.1	15.6	14.5	13.0	23.7	30.4
女性	923	16.1	17.6	15.2	15.8	15.0	20.4	28.1

問3 家族構成を教えてください。

(全体:件数、表内:%)

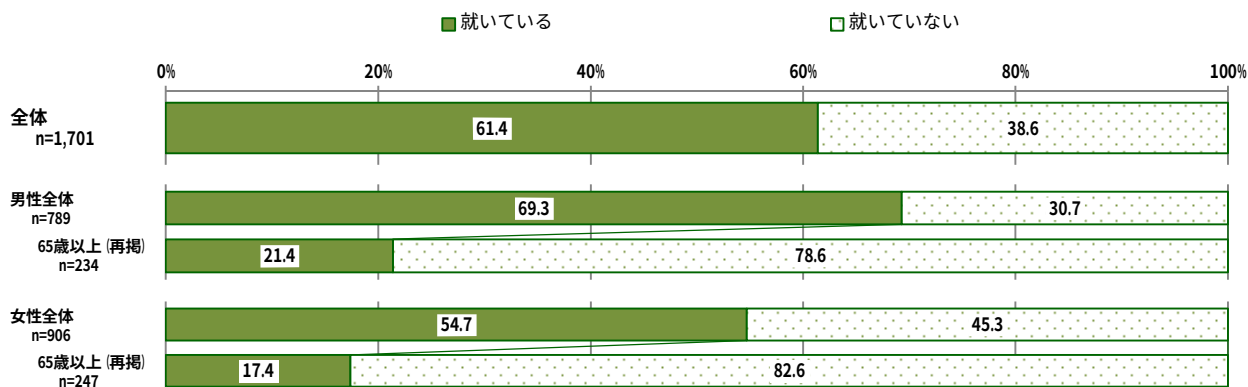
全体	夫婦のみ	二世帯世帯 (未成年を 含まない)	二世帯世帯 (未成年を 含む)	三世帯世帯 (親と子と孫 など)	一人暮らし	その他
1,723	23.5	22.8	28.6	13.6	8.1	3.4

問4 お住まいの地区の小学校区をお答えください。分からない場合は、封筒の宛名シールで小学校区をご確認ください。あわせて、お住いの町名をお答えください。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	安 城 中 部 小 学 校	安 城 南 部 小 学 校	安 城 西 部 小 学 校	安 城 東 部 小 学 校	安 城 北 部 小 学 校	錦 町 小 学 校	高 棚 小 学 校	明 和 小 学 校	志 貴 小 学 校	桜 井 小 学 校	作 野 小 学 校	梓 南 小 学 校	丈 山 小 学 校	二 本 木 小 学 校	里 町 小 学 校	桜 町 小 学 校	桜 林 小 学 校	新 田 小 学 校	今 池 小 学 校	三 河 安 城 小 学 校	梨 の 里 小 学 校
全体	1,735	5.6	5.0	3.6	5.4	7.8	5.5	2.5	3.2	1.6	6.9	5.0	3.0	5.8	6.2	3.9	6.3	4.2	3.5	5.9	5.1	3.9
男性全体	801	4.9	5.7	3.4	4.5	7.9	5.2	2.9	4.1	1.7	6.5	5.0	2.4	6.4	6.1	4.0	6.6	5.0	3.2	6.2	5.1	3.1
20歳代	120	4.2	9.2	3.3	6.7	11.7	5.0	3.3	1.7	1.7	5.0	6.7	3.3	5.8	5.8	3.3	3.3	4.2	3.3	5.8	5.0	1.7
30歳代	145	4.1	2.8	2.1	3.4	10.3	6.2	2.8	4.1	2.1	6.2	7.6	0.7	7.6	4.8	2.1	9.0	6.2	2.8	4.8	6.2	4.1
40歳代	125	7.2	6.4	3.2	0.8	8.0	4.0	3.2	3.2	0.8	5.6	6.4	1.6	10.4	7.2	3.2	7.2	4.0	1.6	5.6	4.8	5.6
50歳代	116	4.3	5.2	4.3	2.6	6.9	7.8	1.7	2.6	0.9	8.6	6.0	1.7	5.2	5.2	5.2	8.6	4.3	3.4	10.3	4.3	0.9
60歳代	104	2.9	6.7	6.7	2.9	3.8	1.9	5.8	6.7	-	5.8	3.8	1.9	6.7	6.7	7.7	5.8	2.9	3.8	6.7	7.7	2.9
70歳代以上	188	5.9	4.8	2.1	8.5	6.4	5.9	1.6	5.9	3.7	7.4	1.1	4.3	3.7	6.4	3.7	5.9	6.9	3.7	5.3	3.7	3.2
65歳以上(再掲)	242	5.4	5.4	4.1	7.4	6.6	5.0	2.9	5.8	2.9	6.2	1.7	4.1	4.1	6.2	4.5	5.0	6.6	4.1	5.4	3.7	2.9
女性全体	929	6.4	4.3	3.8	6.2	7.9	5.7	2.2	2.4	1.5	7.2	5.0	3.6	5.4	6.2	3.7	6.1	3.6	3.7	5.7	5.2	4.5
20歳代	149	6.0	4.0	4.0	4.0	9.4	3.4	2.0	2.7	1.3	8.1	9.4	2.7	5.4	6.0	4.0	6.0	1.3	3.4	6.0	4.0	6.7
30歳代	161	5.6	5.0	4.3	5.0	5.6	5.6	3.1	2.5	1.2	7.5	6.8	3.1	5.0	8.1	4.3	1.9	6.8	1.2	5.6	5.6	6.2
40歳代	140	3.6	2.9	5.7	5.0	10.0	6.4	1.4	2.1	0.7	4.3	4.3	2.1	7.9	6.4	4.3	6.4	4.3	7.1	2.1	9.3	3.6
50歳代	146	4.8	6.8	0.7	8.2	14.4	6.8	-	2.1	2.1	6.8	4.8	3.4	6.2	2.1	1.4	8.2	1.4	6.2	6.8	4.1	2.7
60歳代	138	10.1	2.9	3.6	8.7	3.6	7.2	1.4	3.6	0.7	3.6	2.9	1.4	4.3	8.7	2.9	10.1	4.3	2.9	7.2	4.3	5.1
70歳代以上	188	6.9	4.3	4.3	6.9	4.8	5.3	4.3	1.6	2.7	11.2	1.6	7.4	3.7	6.4	4.8	5.3	3.2	2.1	5.9	4.3	3.2
65歳以上(再掲)	259	8.1	4.2	3.9	8.1	4.6	5.8	3.5	1.9	2.3	9.3	1.9	6.2	3.1	6.6	3.9	5.8	3.5	2.7	6.6	4.6	3.5

問9 現在仕事に就いていますか。



【仕事に就いている人は、この質問にお答えください。】

問9-1 1週間の労働状況を教えてください。＊算用数字で記入 就労日数（1週間の合計）

(全体:件数, 表内:%)

	全体	1日以下	2日	3日	4日	5日	6日	7日
全体	1,018	0.5	2.3	4.4	9.8	67.2	14.1	1.7
男性	537	0.2	1.3	2.2	3.7	71.9	18.1	2.6
女性	480	0.8	3.3	6.9	16.7	61.9	9.8	0.6

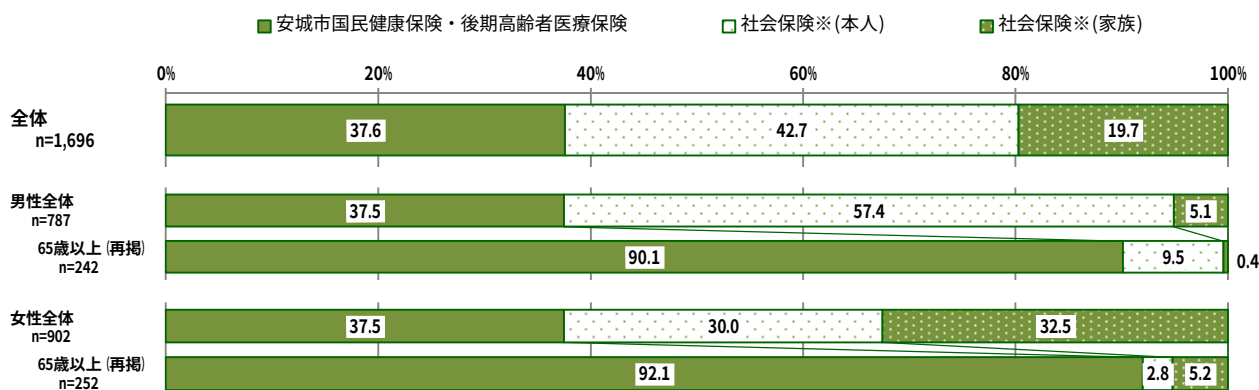
【仕事に就いている人は、この質問にお答えください。】

問9-2 就労時間（1週間の合計）

(全体:件数, 表内:%)

	全体	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	8時間以上
全体	1,014	37.5	36.3	18.0	5.1	2.0	1.1
男性	534	17.2	42.1	27.0	8.4	3.2	2.1
女性	479	60.1	29.9	7.9	1.5	0.6	-

問10 医療保険（保険証）の種類を教えてください。



※社会保険は安城市国民健康保険・後期高齢者医療保険以外を指します。

問5 身長及び体重を教えてください。 ＊算用数字で記入
＜肥満度：BMI判定＞

BMI判定をみると、“標準”が69.9%を占め、次いで“肥満”が19.9%、“やせ”が10.1%となっている。

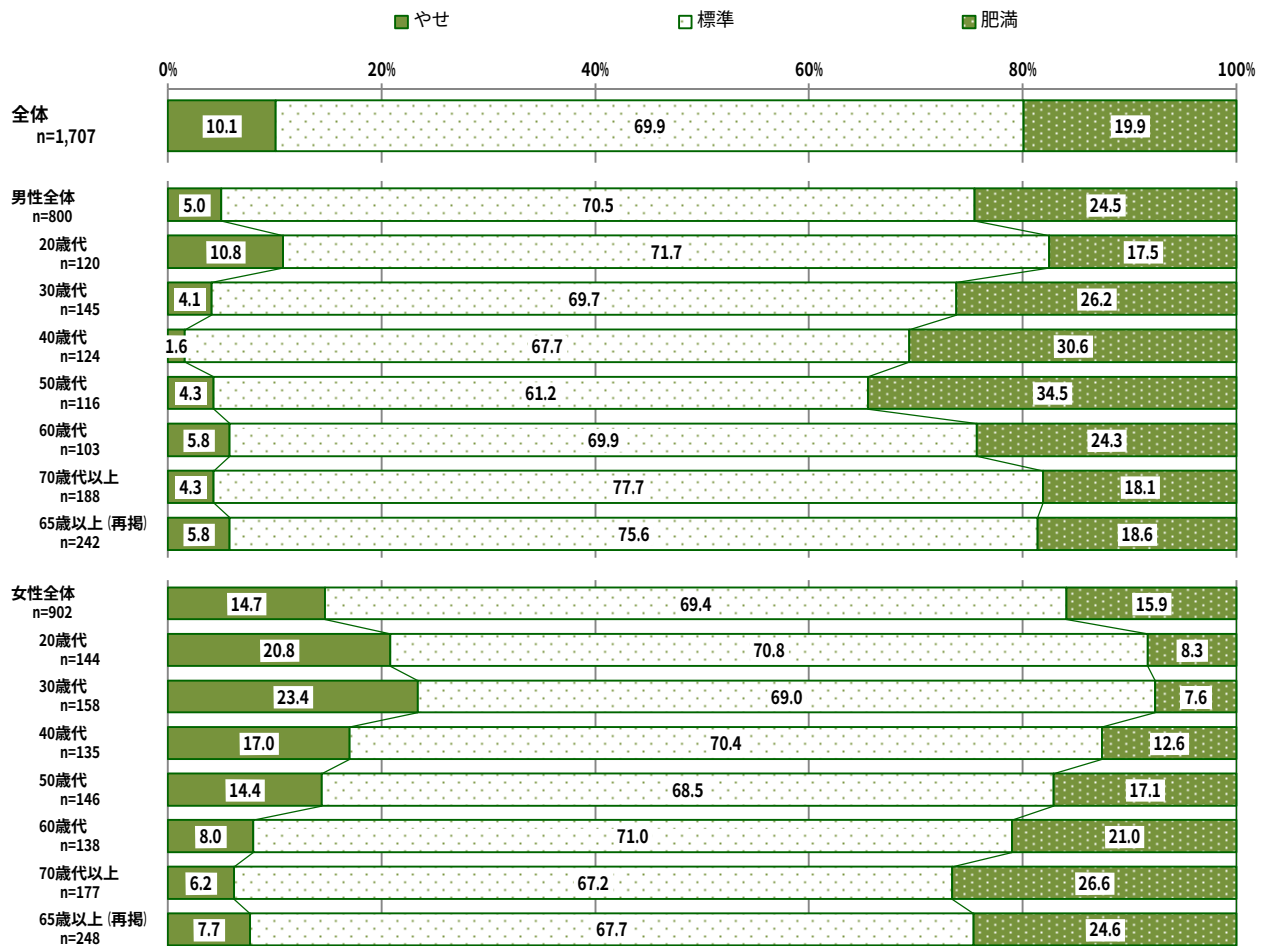
性・年代別にみると、“肥満”の割合は、男性の40～50歳代で高く、“やせ”の割合は、女性の20～30歳代で高くなっている。

＊肥満の判定（日本肥満学会 肥満の判定より）

BMI (Body Mass Index)

$\text{BMI} = (\text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)})$

BMI	判定
18.5未満	やせ
18.5以上 25.0未満	標準
25.0以上	肥満



【平成24年調査との比較】

(%)

項目	平成24年	平成29年
肥満者の割合（20～60歳代男性）	21.8	27.3
肥満者の割合（40～60歳代女性）	16.6	15.2
BMIが20以下の人の割合（65歳以上）	19.9	19.3
やせの人の割合（20歳代女性）	24.7	20.8

【参考：愛知県調査との比較】

(%)

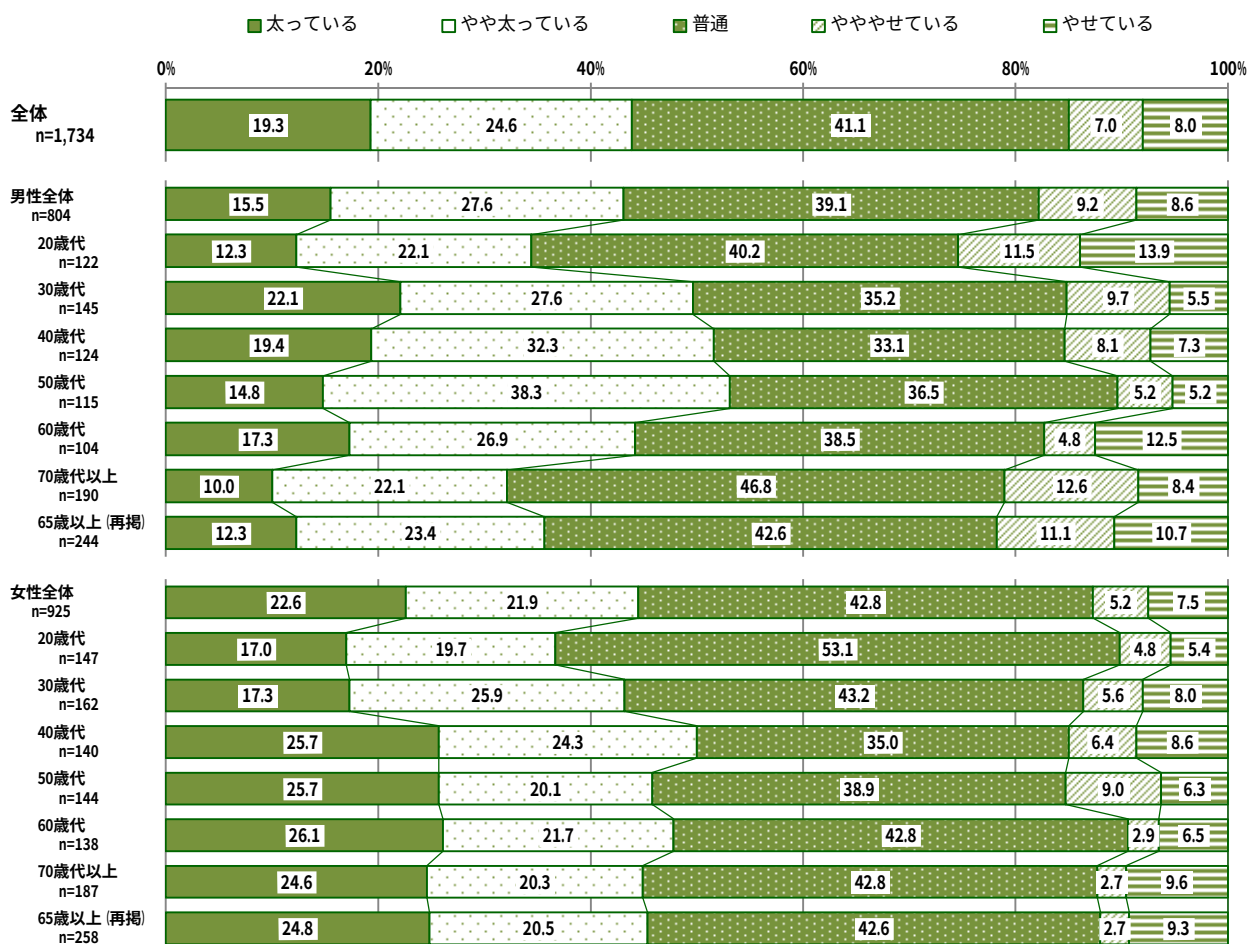
項目	愛知県	安城市
肥満者の割合（20～60歳代男性）	27.9	27.3
肥満者の割合（40～60歳代女性）	19.8	15.2

愛知県：健康日本21あいち新計画中間評価報告書（平成28年愛知県生活習慣関連調査）

問6 今の自分の体型をどう思いますか。

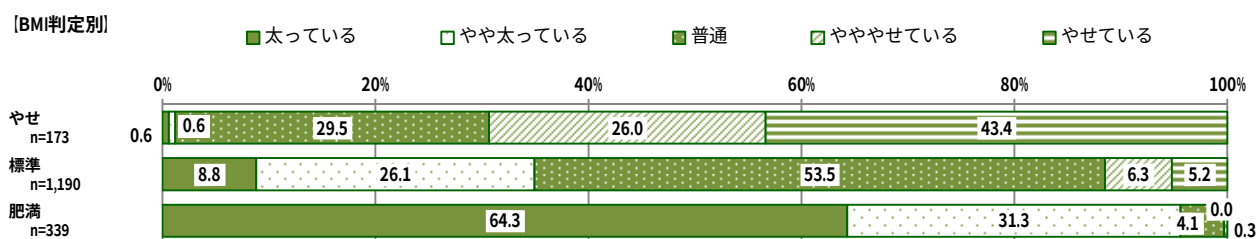
「普通」が41.1%を占め、次いで「やや太っている」が24.6%となっており、「太っている」と答えた19.3%を合わせると、43.9%の人が自分の体型を“太っている”と思っている。

性・年代別にみると、「やや太っている」は、男性の40～50歳代で高くなっている。



BMI 判定別にみると、“やせ”で自分の体型を「やせている」「やややせている」と思う人は 69.4%、“標準”で「普通」と思う人は 53.5%、“肥満”で「やや太っている」「太っている」と思う人は 95.6%となっている。

一方、BMI 判定が“やせ”でありながら、自分の体型を「普通」「やや太っている」「太っている」と思う人が 30.7%、“標準”でありながら、「やや太っている」「太っている」と思う人が 34.9%みられる。



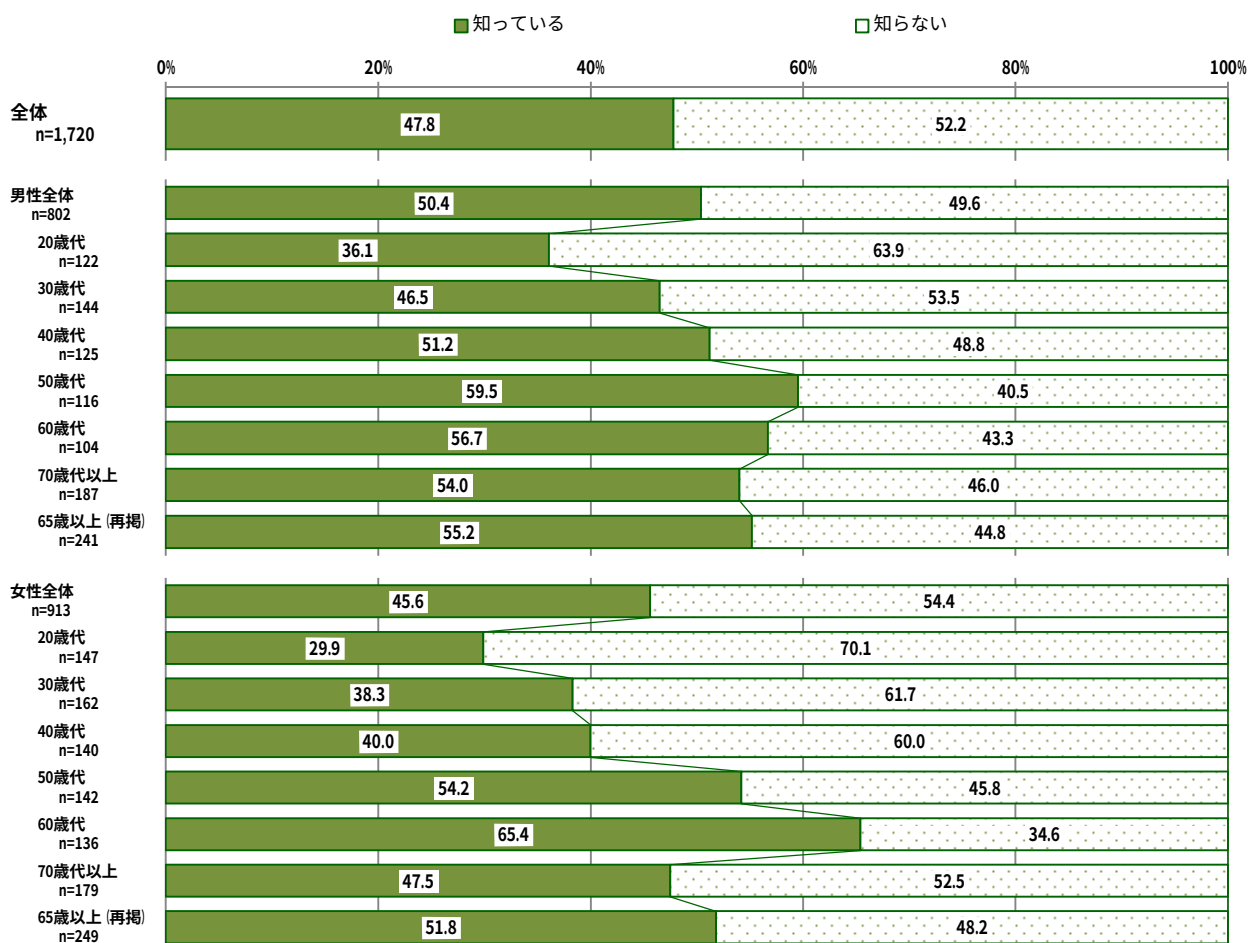
問7 自分の適正体重※を知っていますか。

※適正体重（kg）＝身長（m）×身長（m）×2.2

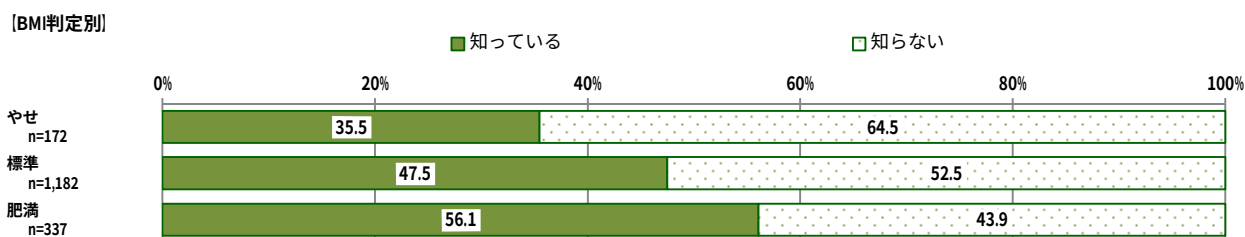
「知っている」が47.8%、「知らない」が52.2%となっている。

性別にみると「知っている」は、男性が50.4%、女性は45.6%となっている。

性・年代別にみると、「知っている」は、女性の60歳代、男性の50歳代で高く、女性の20～30歳代、男性の20歳代で低くなっている。



BMI 判定別にみると、「知らない」は、やせの人で64.5%となっている。



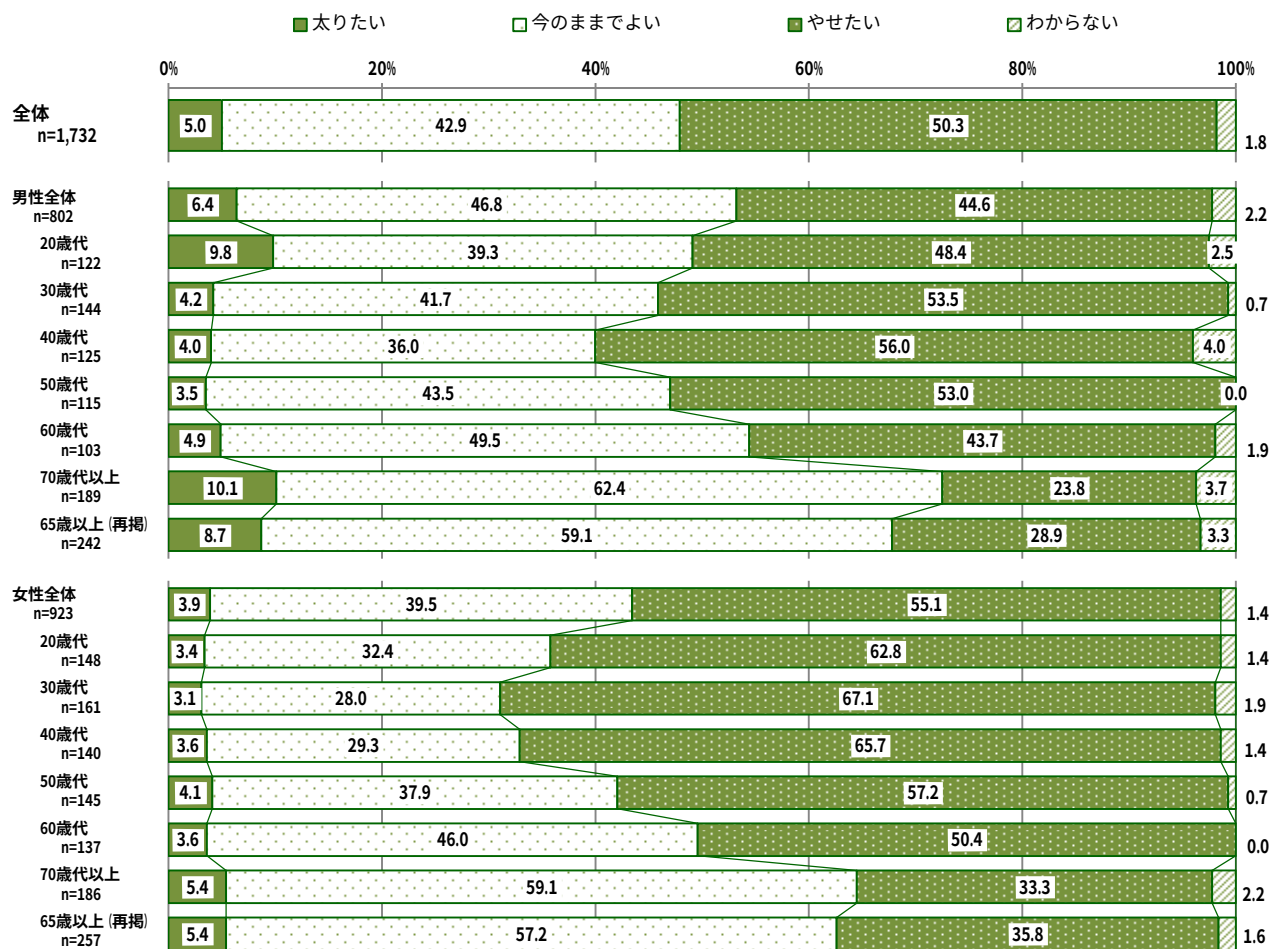
問8 今後、自分の体型をどうしたいですか。

「やせたい」が50.3%、「今のままでよい」が42.9%となっている。

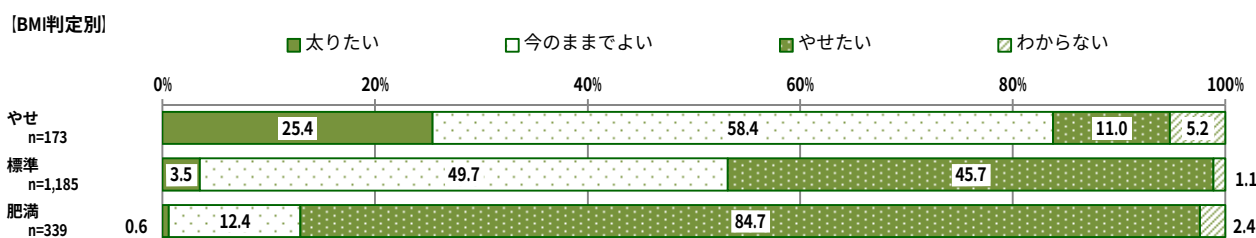
性別にみると、「今のままでよい」は、男性で高く、「やせたい」は、女性で高くなっている。

性・年代別にみると、「やせたい」は、女性の20～40歳代で60%以上と高くなっている。

「今のままでよい」は、男女とも70歳代以上で60%程度、「太りたい」は、男性の20歳代、70歳代以上で10%程度となっている。



BMI判定別にみると、「今のままでよい」は、“やせ”で58.4%、“標準”で49.7%、“肥満”で12.4%となっている。また、“やせ”でありながら、「やせたい」が11.0%、“標準”でありながら、「やせたい」が45.7%みられる。

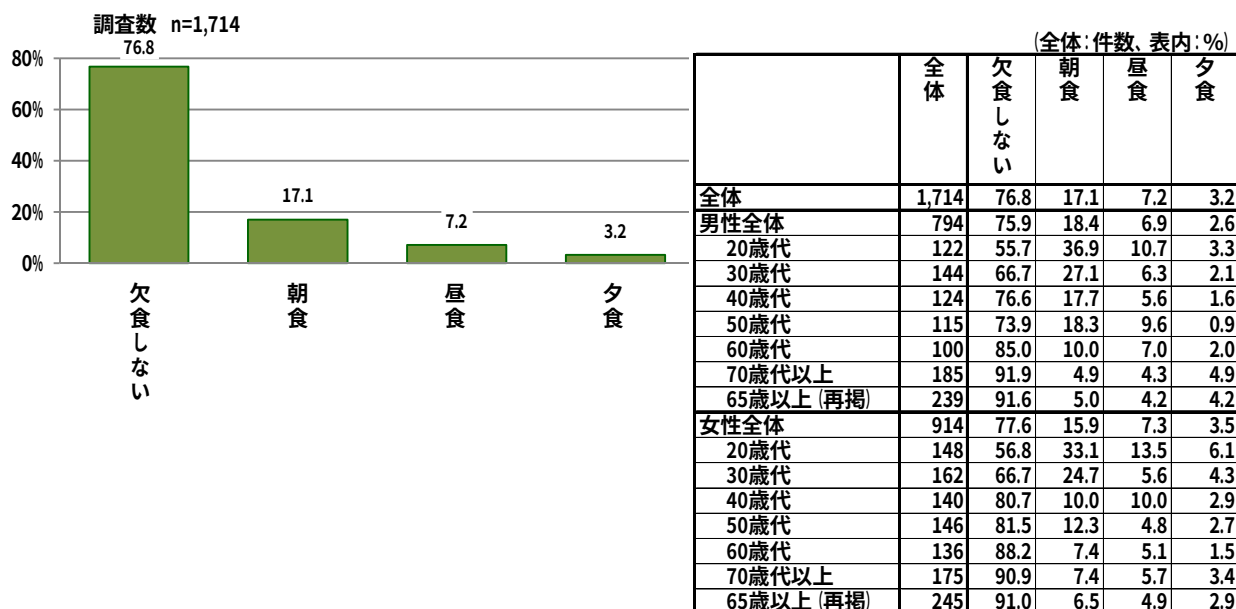


2 栄養・食生活について

問 11 ふだん食事を抜くことがありますか。**よく欠食する食事**をお答えください。(複数回答)

「欠食しない」が 76.8%、欠食する食事は、「朝食」が最も多く、17.1%となっている。

性・年代別にみると欠食する食事は、「朝食」を挙げた人の割合が男性の 20～30 歳代、女性の 20 歳代で高くなっている。



【平成 24 年調査との比較】

(%)

項 目		平成 24 年	平成 29 年
朝食を欠食している人の割合	全体	14.7	17.1
	20 歳代男性	33.8	36.9
	20 歳代女性	32.4	33.1
	30 歳代男性	27.4	27.1

【参考：国や愛知県調査との比較】

(%)

項 目		国	愛知県	安城市
朝食を欠食している人の割合	20 歳代男性	37.4	22.9	36.9
	30 歳代男性	26.5	16.2	27.1

国：平成 28 年国民健康・栄養調査報告

「食事をしなかった」「錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみ」「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ」の割合

愛知県：健康日本 21 あいち新計画中間評価報告書(平成 28 年愛知県生活習慣関連調査)

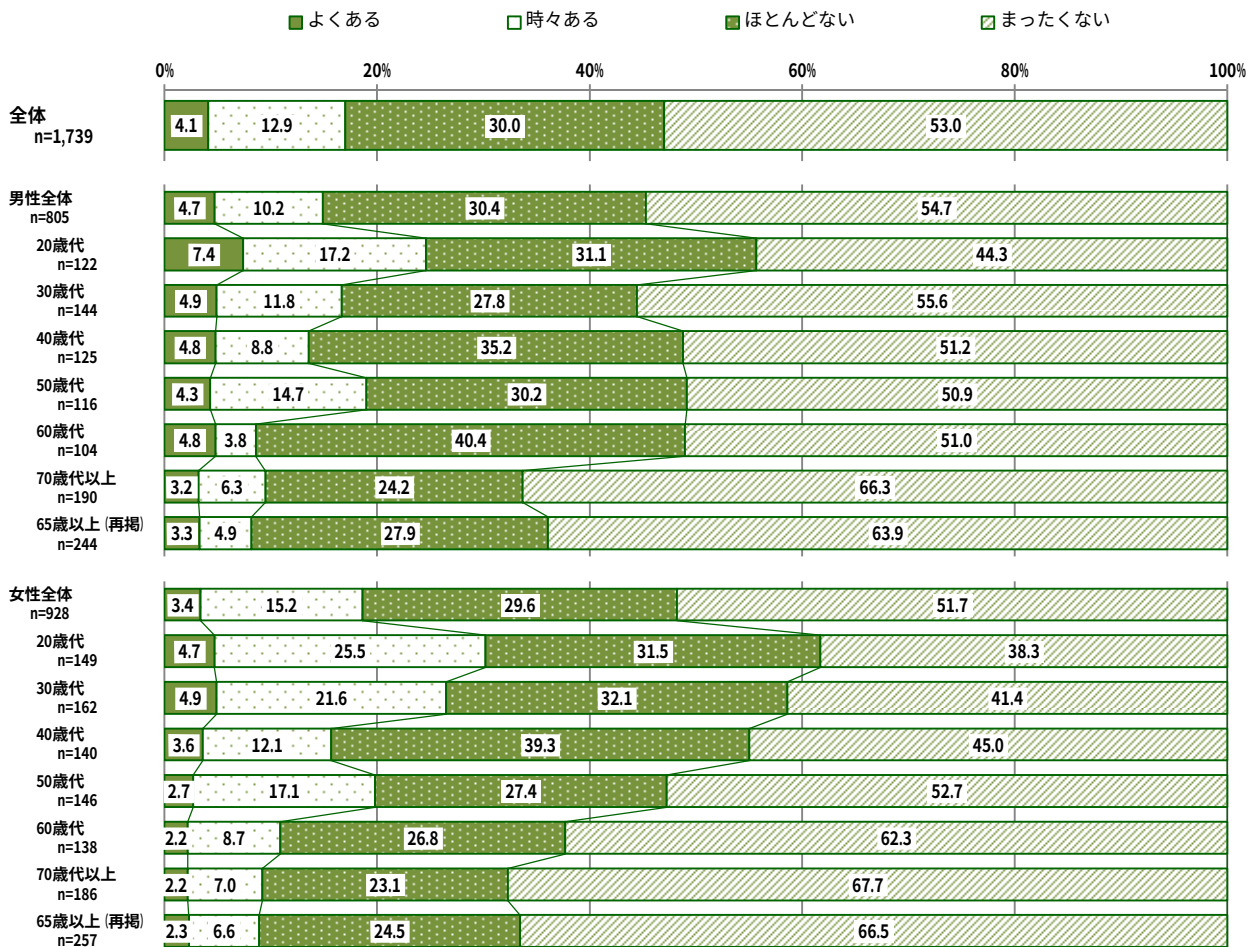
問 12 菓子や嗜好飲料、サプリメント※、栄養ドリンク剤のみで食事をすませることがありますか。

※嗜好飲料：ジュース、アルコール、コーヒー、紅茶

サプリメント：カルシウムなどのミネラルやビタミンを含んだ錠剤やカプセル、顆粒状にしたもの。

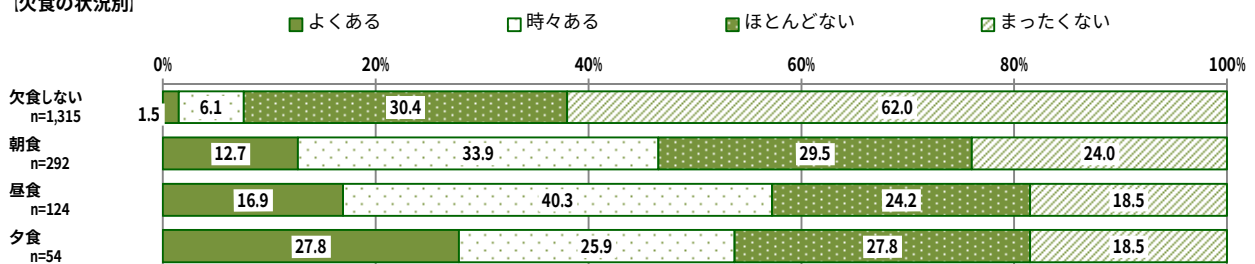
「まったくない」が 53.0%、「ほとんどない」が 30.0%を占め、「よくある」「時々ある」は合わせても 17.0%にとどまっている。

性・年代別にみると、「まったくない」と答えた人は、男女とも 70 歳代以上で 65%以上となっている。



欠食の状況別にみると、「欠食しない」では、菓子等で食事をすませることが「まったくない」が高くなっている。

【欠食の状況別】



問 13 ふだんの夕食時刻は、何時ごろですか。

「午後 7 時より前」が 38.5%、次いで「午後 7 時台」が 33.9%を占めている。

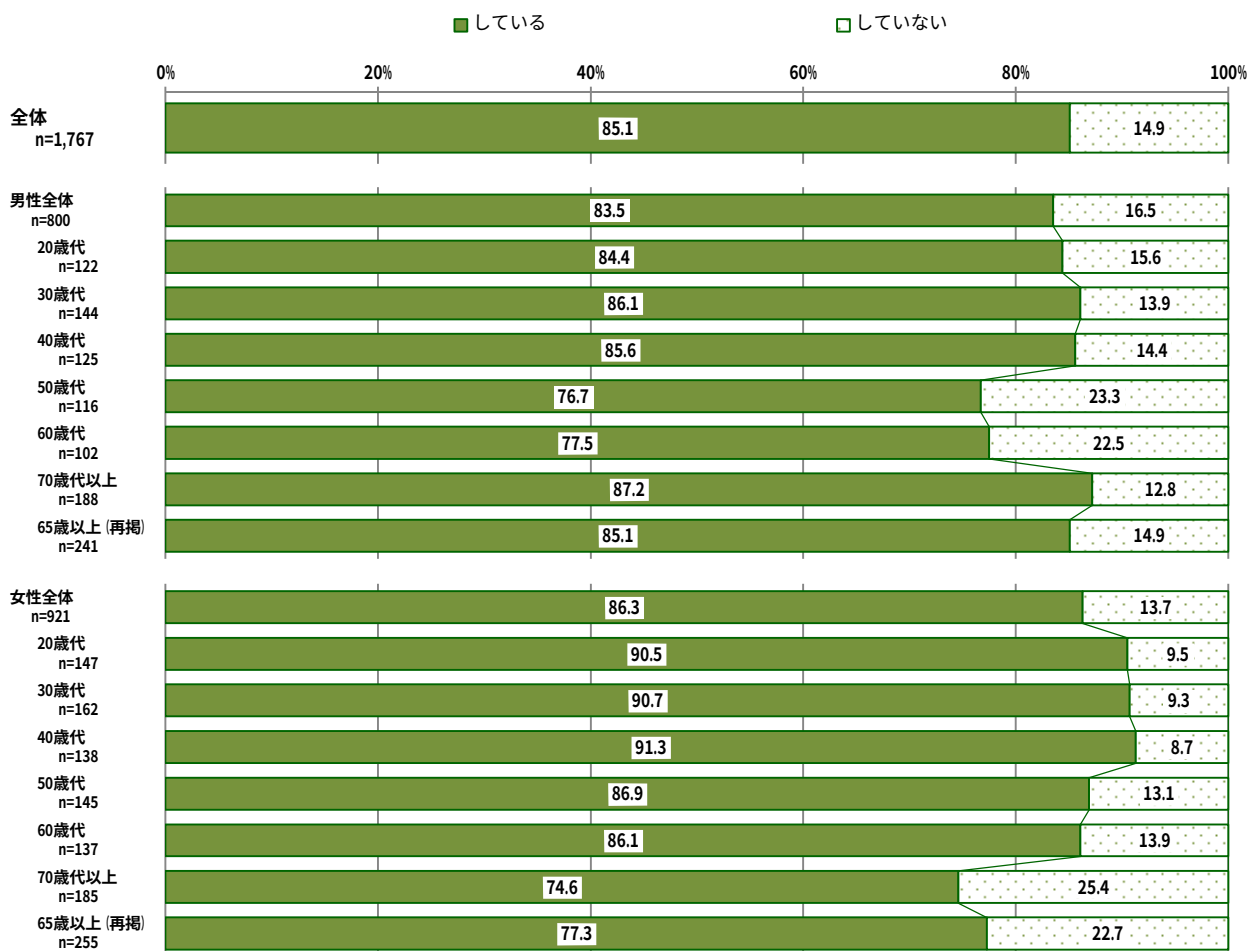
性・年代別にみると、「午後 7 時より前」の割合は女性の 30 歳代、男女とも 60 歳代以上の人で高く、「午後 10 時以降」は男性の 20～40 歳代で高くなっている。

(全体:件数、表内:%)							
	全体	午後 7 時 より 前	午後 7 時 台	午後 8 時 台	午後 9 時 台	午後 10 時 以降	食 べ て い ない
全体	1,742	38.5	33.9	15.9	7.6	3.8	0.4
男性	806	32.9	31.3	18.2	11.5	6.0	0.1
20歳代	122	21.3	32.0	21.3	18.0	7.4	-
30歳代	145	11.0	31.7	26.9	19.3	11.0	-
40歳代	125	17.6	28.0	24.0	16.8	13.6	-
50歳代	116	15.5	37.1	27.6	15.5	4.3	-
60歳代	104	49.0	34.6	13.5	1.9	1.0	-
70歳代以上	190	67.9	27.9	2.6	1.1	-	0.5
65歳以上(再掲)	244	65.6	29.5	3.7	0.8	-	0.4
女性	929	43.3	36.3	13.9	4.1	1.9	0.5
20歳代	149	22.8	33.6	28.9	8.7	4.0	2.0
30歳代	161	48.4	29.8	13.0	3.7	5.0	-
40歳代	140	29.3	50.0	13.6	5.0	1.4	0.7
50歳代	146	24.7	45.2	21.2	7.5	0.7	0.7
60歳代	138	57.2	35.5	5.8	0.7	0.7	-
70歳代以上	188	70.2	26.6	3.2	-	-	-
65歳以上(再掲)	259	68.0	28.6	3.5	-	-	-

問 14 1日に1食でも2人以上で食事をしていますか。

「している」は85.1%、「していない」は14.9%となっている。

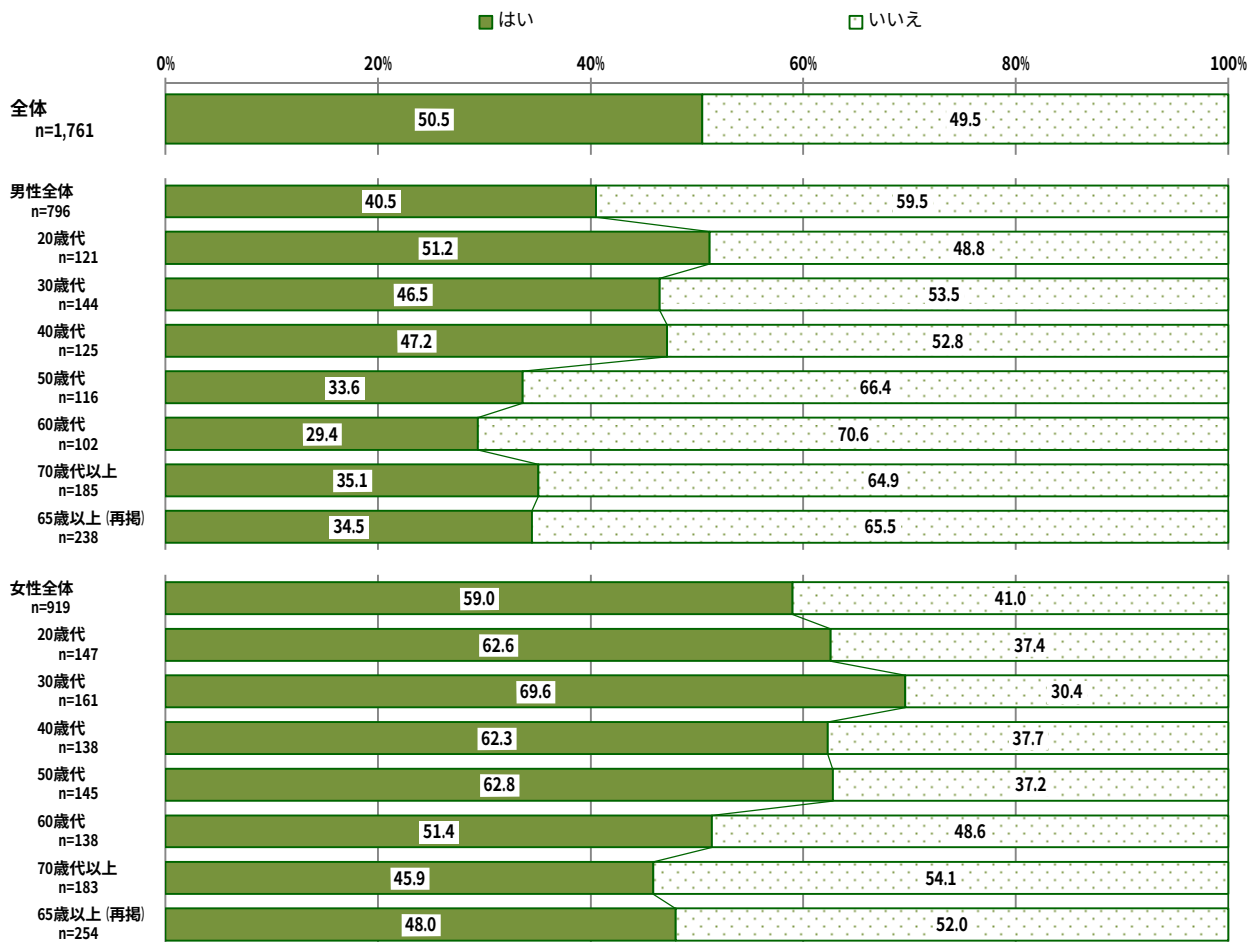
性・年代別でみると、「している」の割合は、女性の30～40歳代で高く、男性の50～60歳代、女性の70歳代以上で低くなっている。



問 15 間食をよくしますか。

間食をよくする人、しない人は、それぞれ 50%程度となっている。

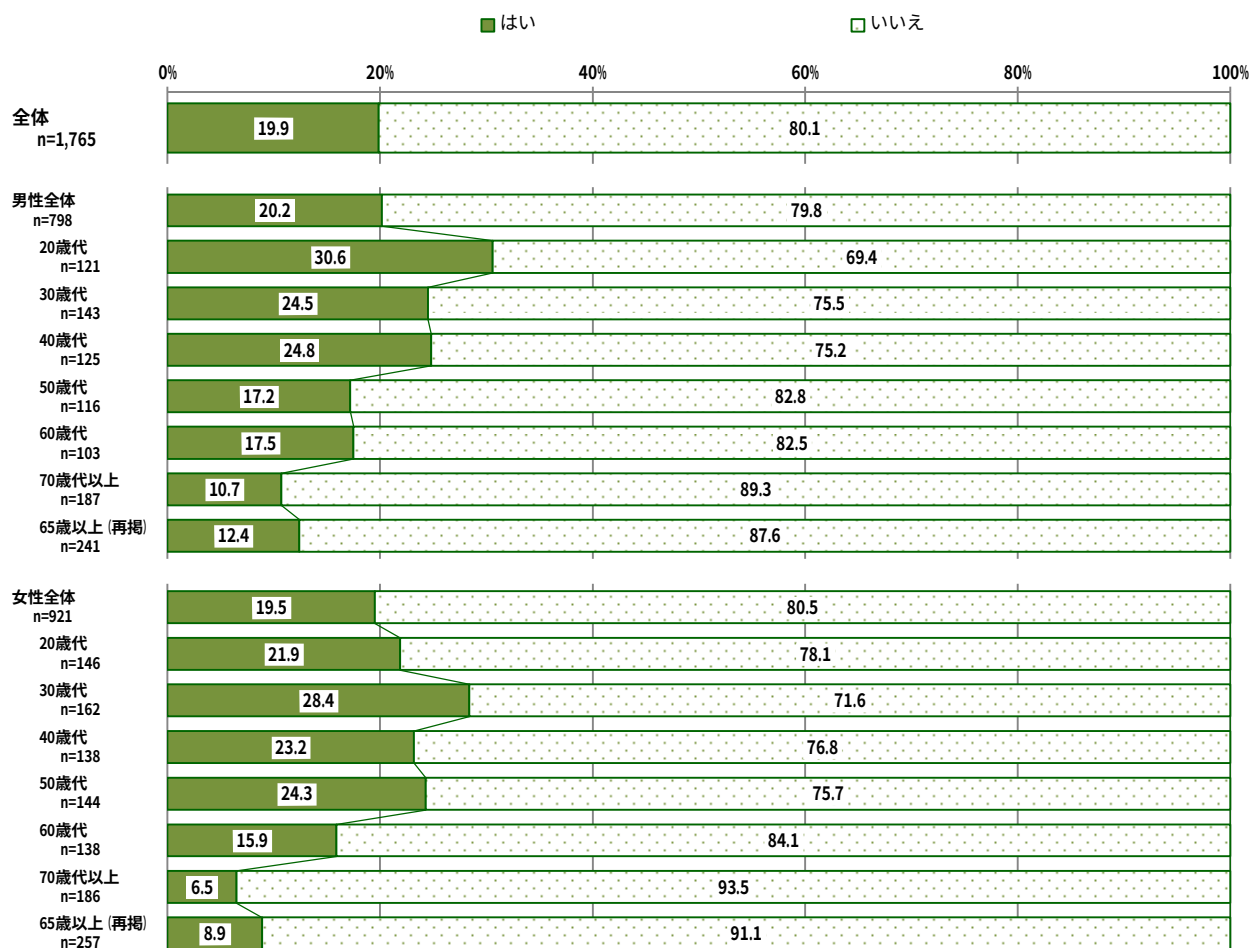
性・年代別にみると、「はい」の割合は女性の 20～50 歳代で高く、男性の 50 歳代以上で低くなっている。



問 16 夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週3回以上ありますか。

「はい」が19.9%、「いいえ」が80.1%となっている。

性・年代別にみると、「はい」が男性の20歳代で30.6%、女性の30歳代で28.4%と高く、男女とも70歳代以上で低くなっている。



問 17 食事の時に、栄養のバランス（例：主食・主菜・副菜、食事バランスガイド、3色の食品群※）について気をつけていますか。

※主食：ごはん、パン、麺類など

主菜：肉、魚、卵、大豆製品が主なおかず

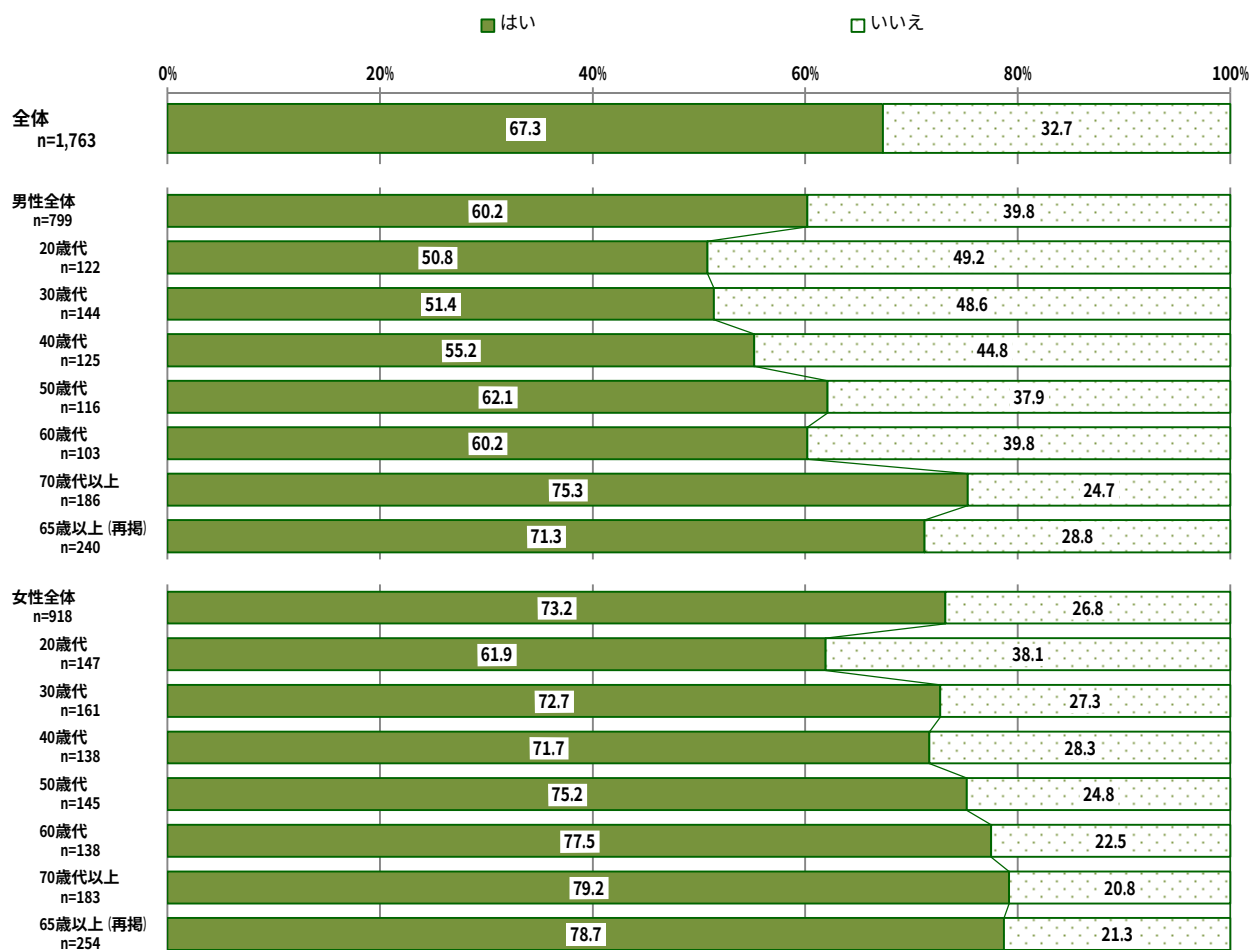
副菜：野菜、きのこ、海藻などが主なおかず

食事バランスガイド：望ましい食生活のために、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を分かりやすくイラストで示したものです。

3色の食品群：栄養素の働きの特徴から、食品を「赤色群（血液や肉をつくるもの）」「黄色群（力や体温になるもの）」「緑色群（体の調子を整えるもの）」の3つのグループに分けたものです。

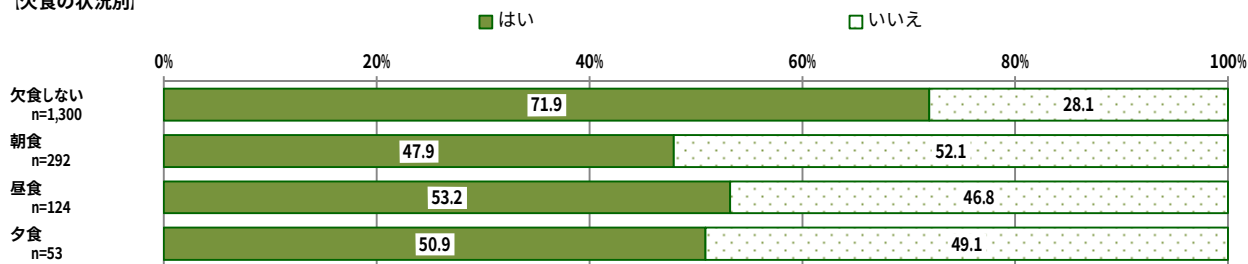
「はい」が、67.3%となっている。

性・年代別にみると、栄養バランスに気をつけている人の割合は、女性の50歳代以上、男性の70歳代以上で高く、男性の20～40歳代で低くなっている。



欠食の状況別にみると、欠食しない人は、栄養のバランスに気をつけている人の割合が71.9%と高くなっている。

【欠食の状況別】



【平成24年調査との比較】

(%)

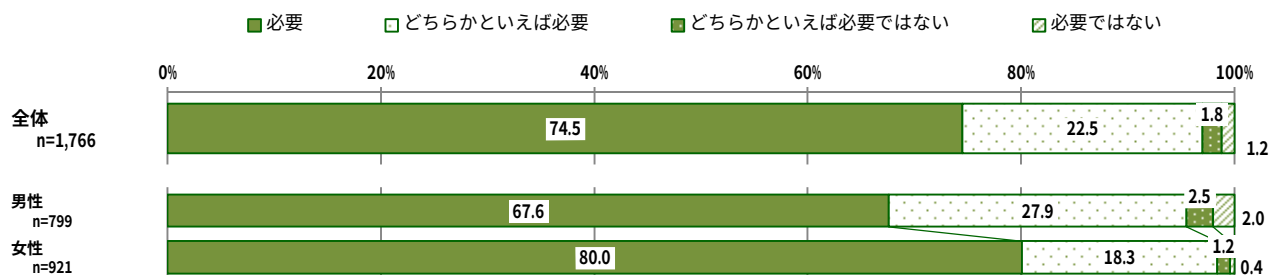
項 目		平成24年	平成29年
栄養のバランスに気をつけている人の割合	全体	61.7	67.3
	男性	52.2	60.2
	女性	69.7	73.2

3 身体活動・運動について

問 18 ふだんの生活において、健康のために運動や体を動かす必要があると思いますか。

「必要」が 74.5%、「どちらかといえば必要」は 22.5%となっている。

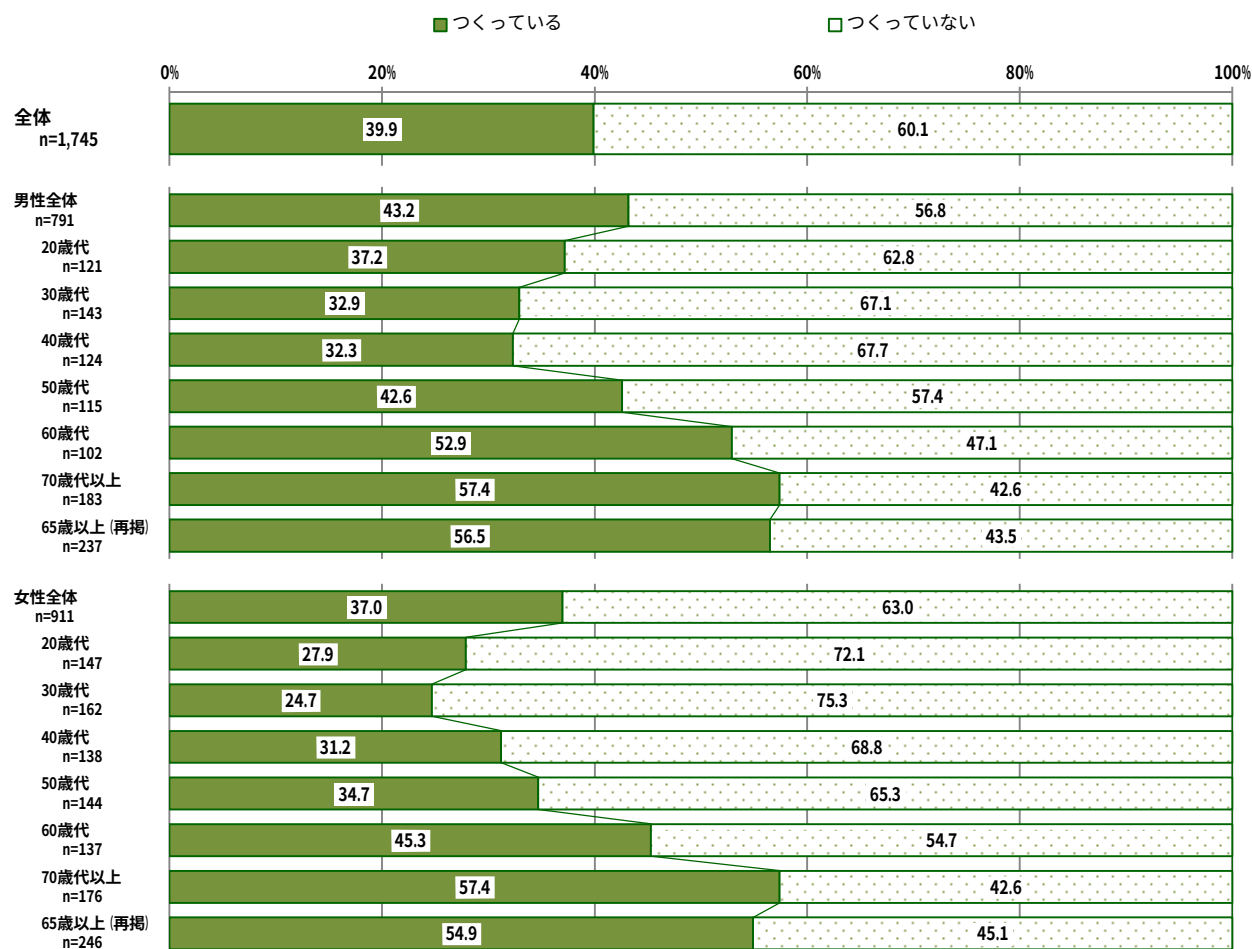
性別にみると、「必要」の割合は、女性が男性よりも高くなっている。



問 19 健康のために運動する時間をつくっていますか。

「つくっている」が 39.9%、「つくっていない」が 60.1%となっている。

性・年代別にみると、「つくっている」の割合は、男性は 60 歳代以上、女性は 70 歳代以上で 50%以上と高く、女性の 20～30 歳代で 30%未満と低くなっている。

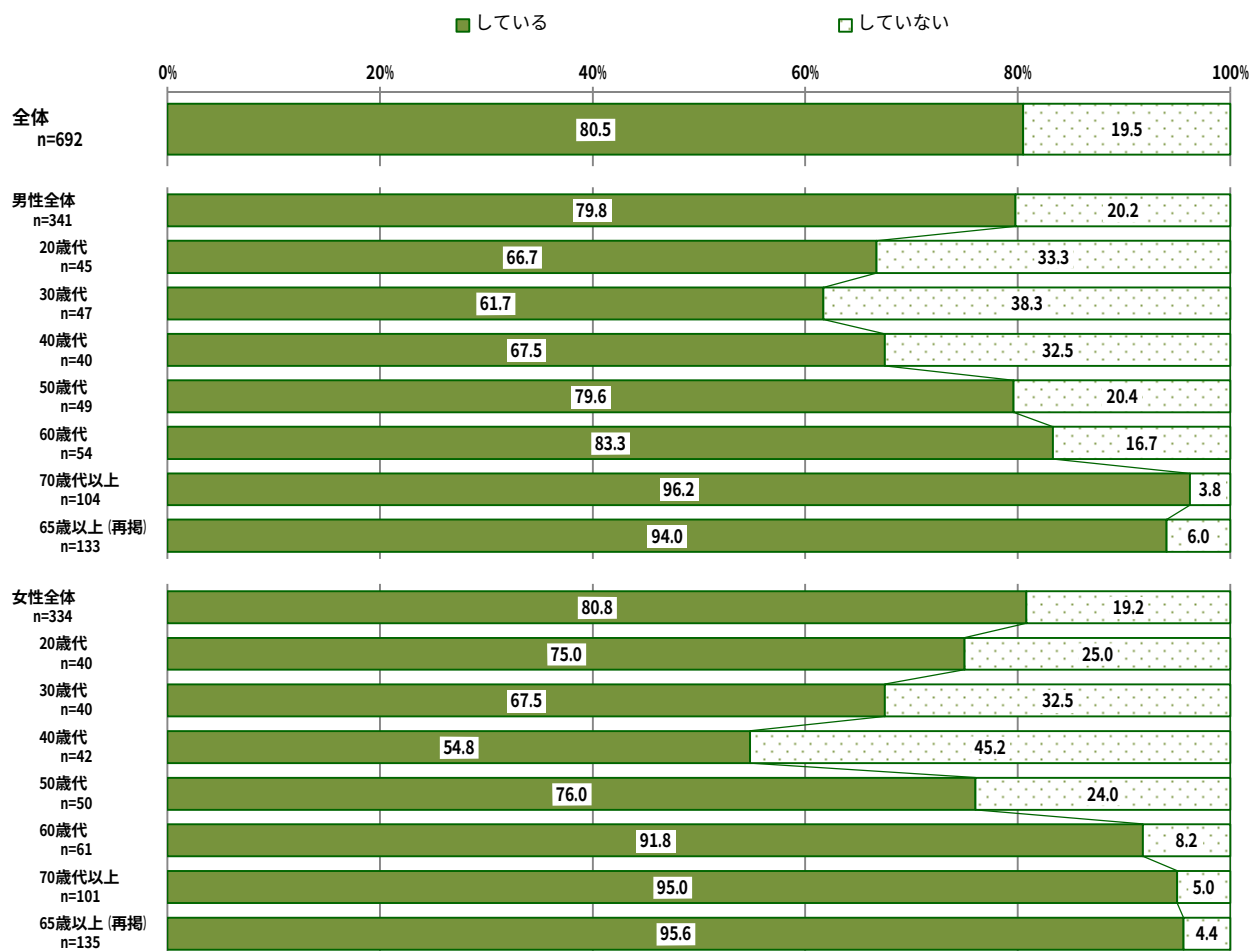


【健康のために運動する時間をつくっている人は、この質問にお答えください。】

問 19-1 平均すると、週2日以上運動していますか。

「している」は80.5%、「していない」は19.5%となっている。

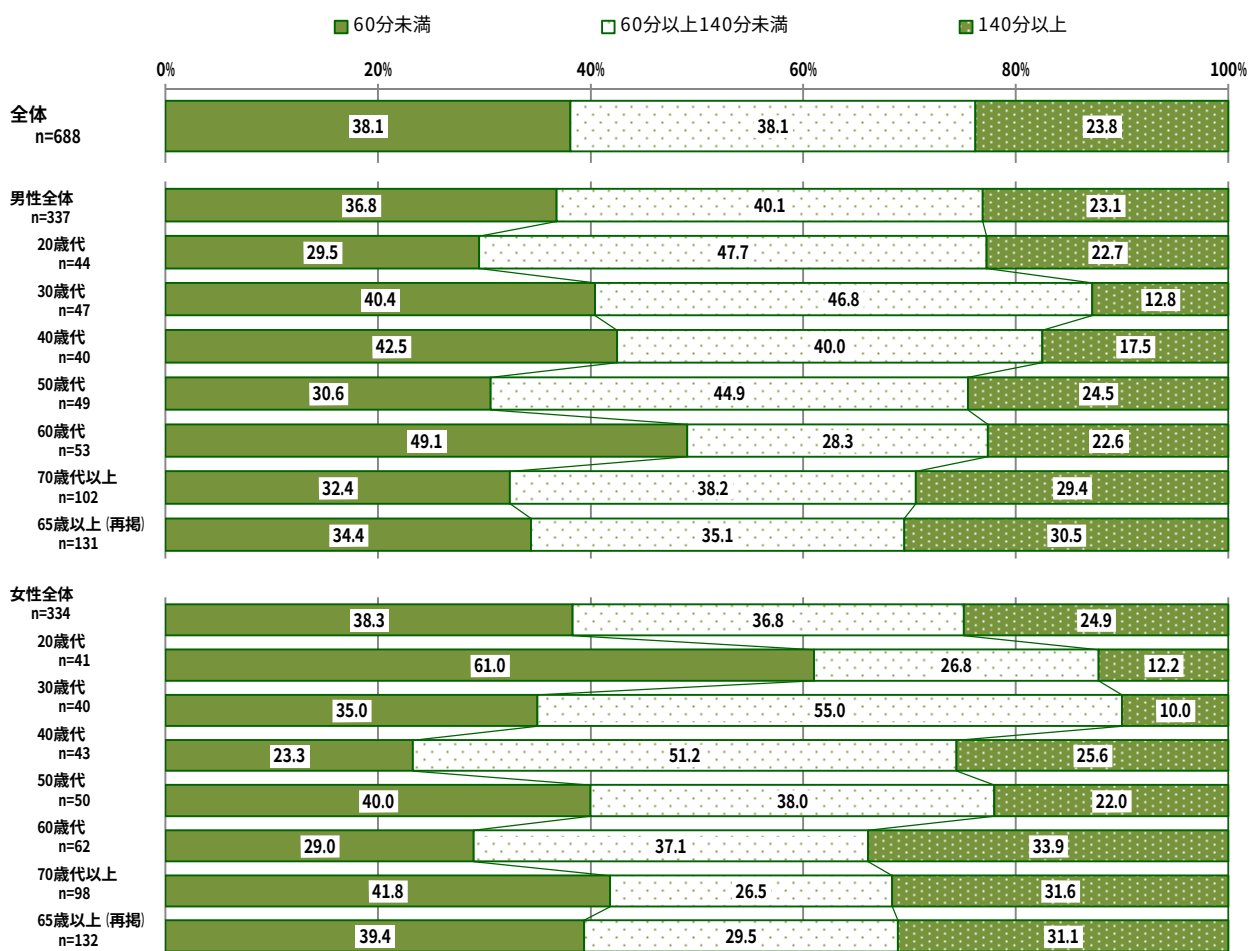
性・年代別にみると、「している」の割合は、女性の60歳代、男女とも70歳代以上で高く、男性の20～40歳代、女性の30～40歳代で低くなっている。



【健康のために運動する時間をつくっている人は、この質問にお答えください。】

問 19-2 運動時間は、平均すると週何分以上になりますか。

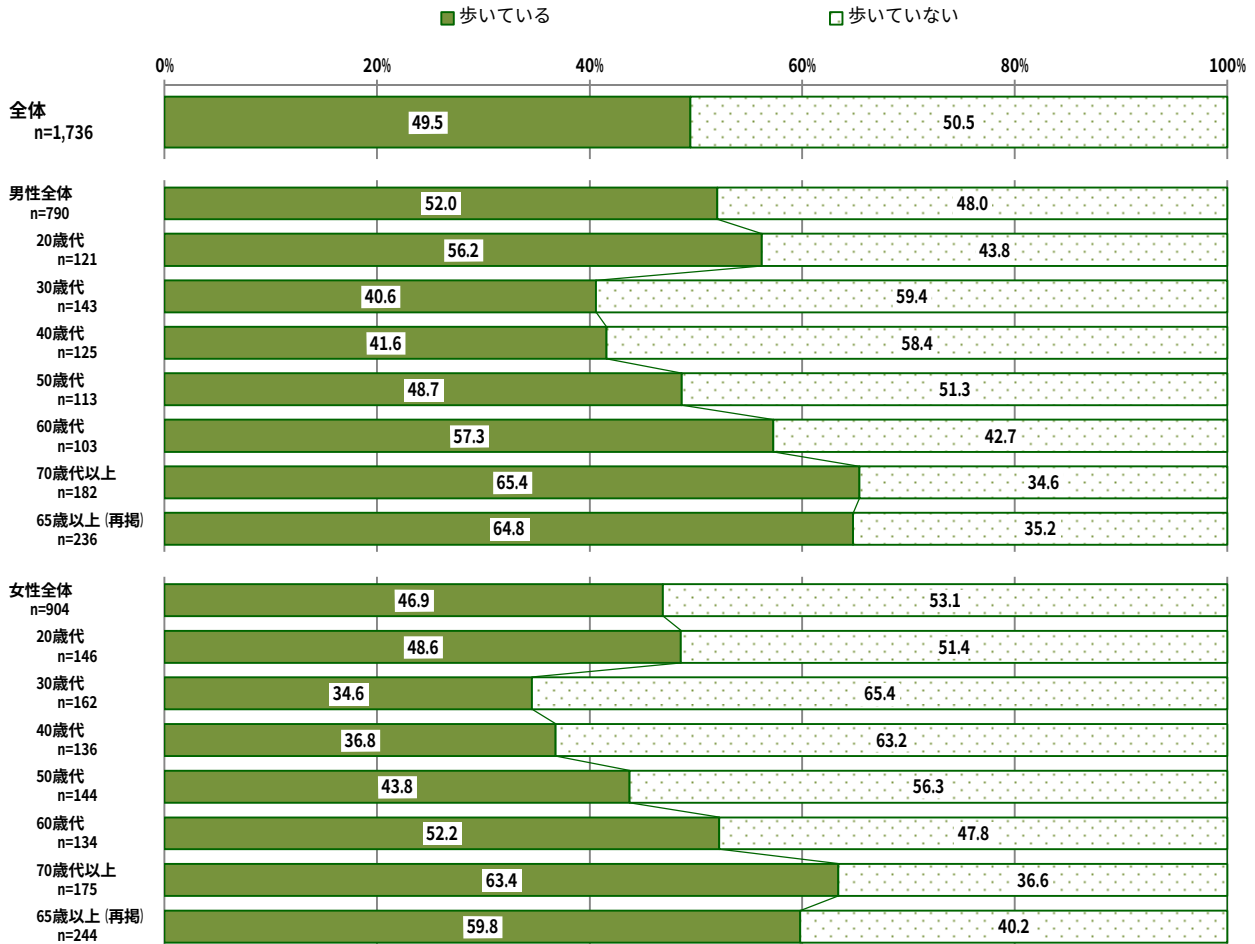
「60 分未満」「60 分以上 140 分未満」の人がともに 38.1%、「140 分以上」の人が 23.8% となっている。



問 20 外出などにより1日30分以上歩いていますか。

「歩いている」は49.5%、「歩いていない」は50.5%となっている。

性・年代別にみると、「歩いている」の割合は、男女ともに70歳代以上で高く、男性の30歳代、女性の30～40歳代で低くなっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
外出などにより1日30分以上歩いている人の割合	65歳以上男性	60.7	64.8
	65歳以上女性	59.4	59.8

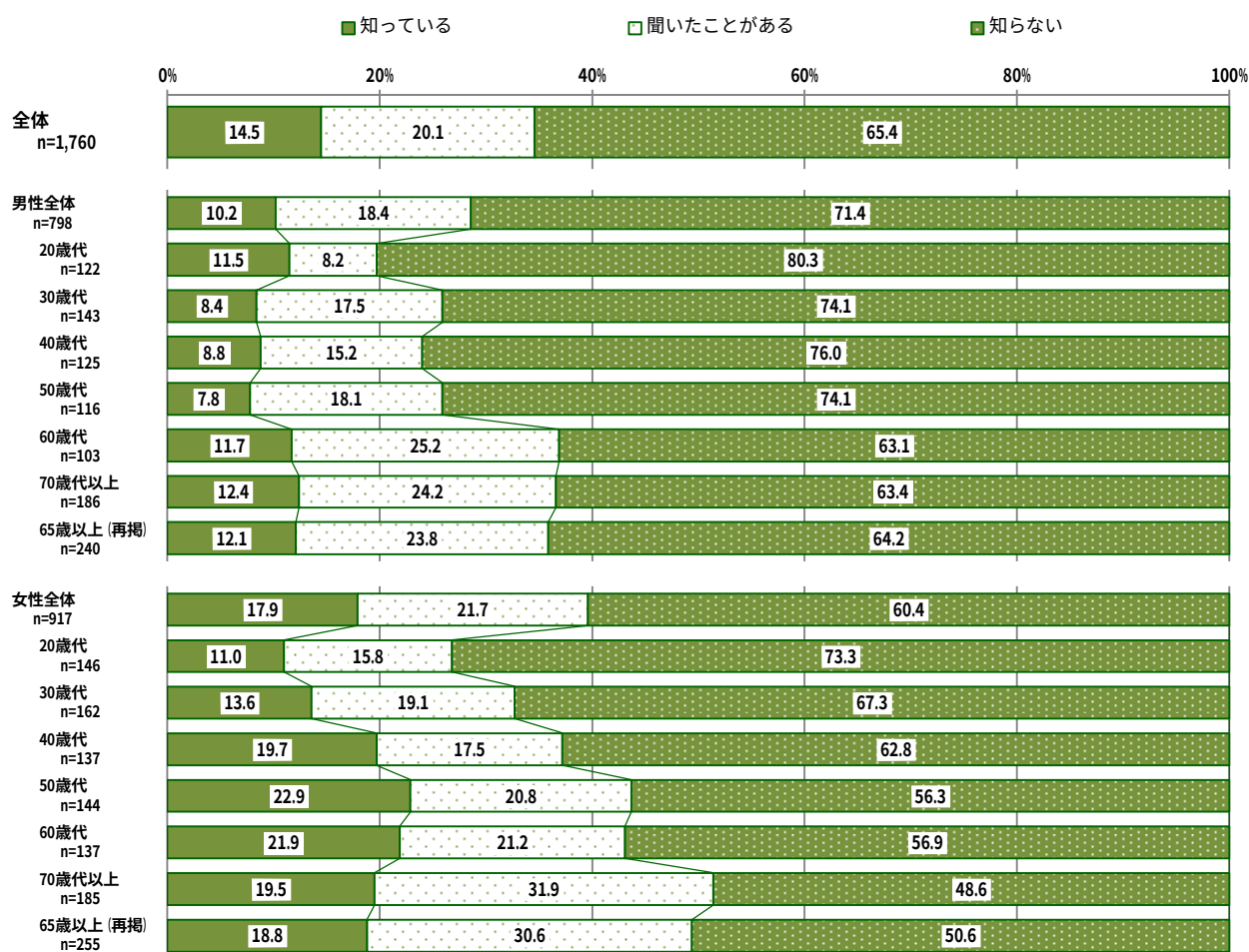
問 21 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）※」という言葉を知っていますか。

※ロコモティブシンドローム（運動器症候群）：

骨、関節、筋肉などの運動器の障害のために、要介護になったり、要介護になる危険の高い状態をいいます。運動器の働きが衰えると、暮らしの中の自立度が低下し、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性が高くなります。

「知らない」が 65.4%、「知っている」、「聞いたことがある」を合わせると 34.6%となっている。

性・年代別にみると、「知っている」の割合は、女性の 50 歳代以上で高くなっている。



【平成 24 年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）という言葉を知っている人の割合	19.1	34.6

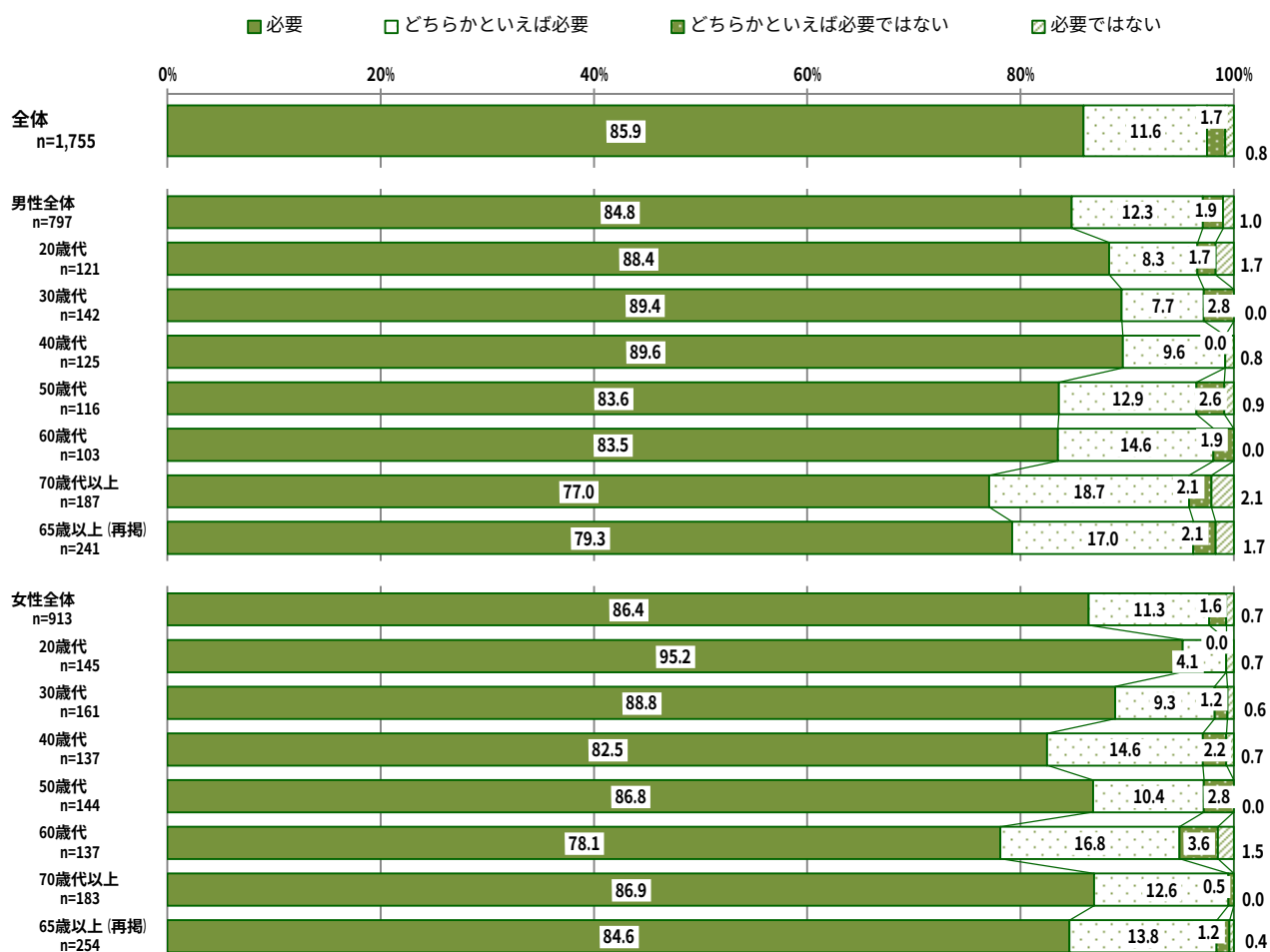
※「知っている」「聞いたことがある」の割合

4 休養・こころの健康について

問 22 ふだんの生活において、健康のために睡眠や休養をとる必要があると思いますか。

「必要」が 85.9%、「どちらかといえば必要」を合わせると 97.5%となっている。

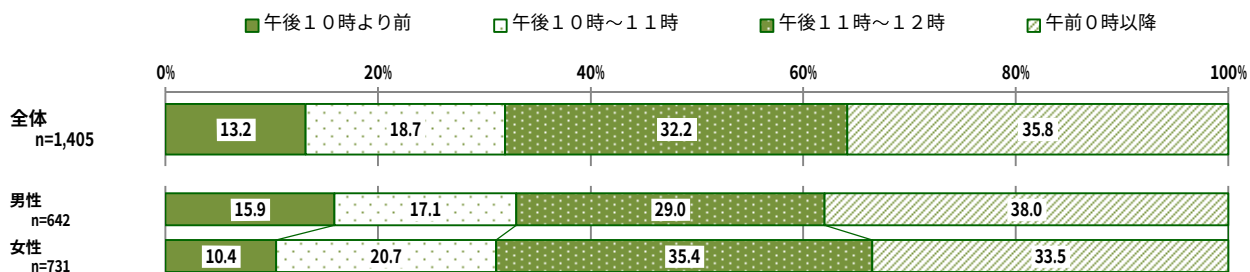
性・年代別にみると、女性の 20 歳代では、「必要」が 95.2%と高くなっている。



問 23 いつも何時ごろに寝ますか。また、何時ごろに起きますか。24 時間表記でご記入ください。

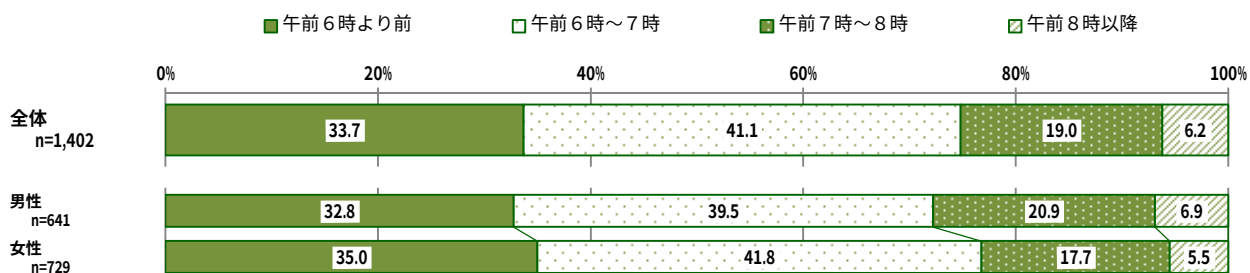
＜就寝時刻＞

「午前 0 時以降」が 35.8%、「午後 11 時台」が 32.2%と多くなっている。



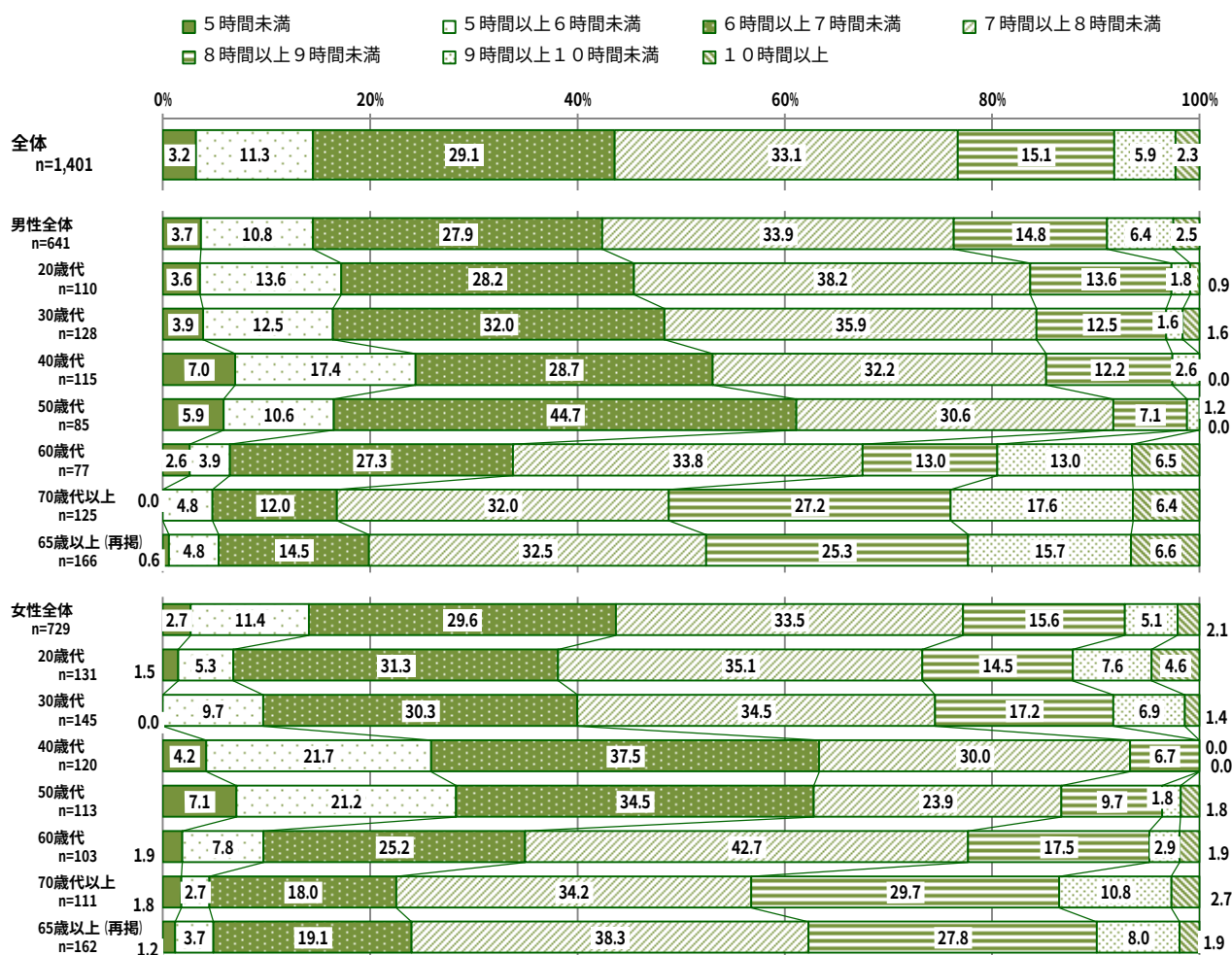
＜起床時刻＞

「午前 6 時より前」が 33.7%、「午前 6 時台」が 41.1%となっており、合わせて 74.8%の人が午前 7 時までに起床している。



＜睡眠時間＞

「6 時間以上 8 時間未満」の人が 62.2 %となっている。

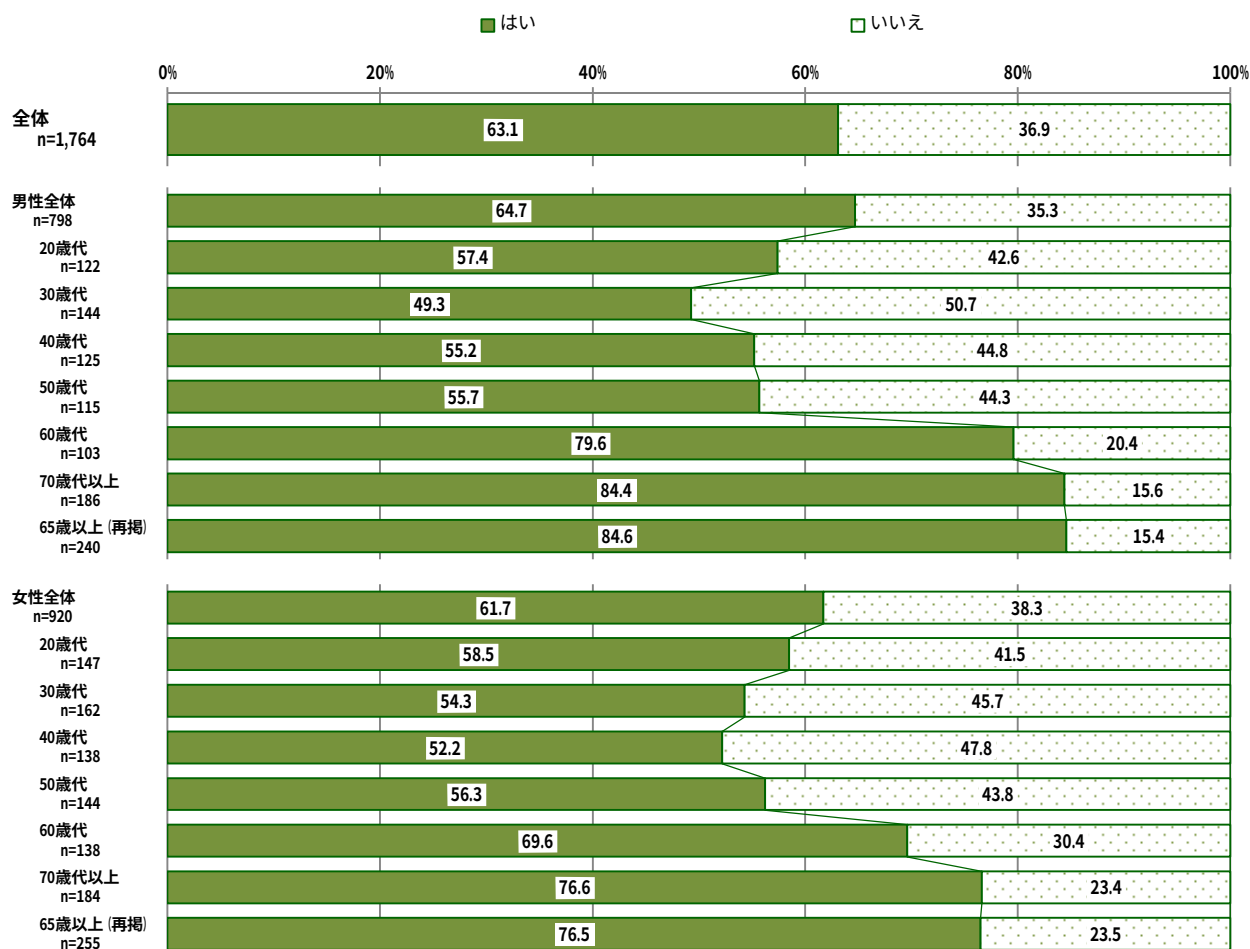


問 24 日頃の睡眠は、あなたにとって十分だと思いますか。

「はい」が 63.1%、「いいえ」は 36.9%となっている。

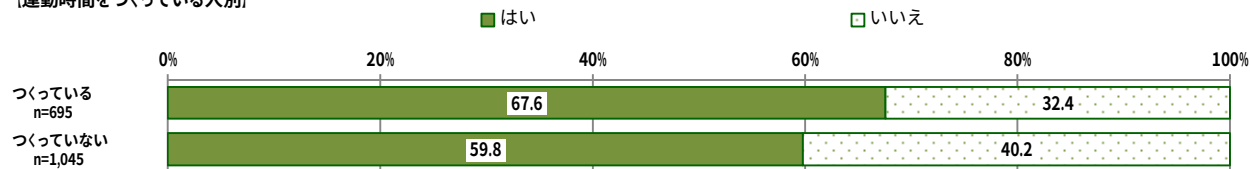
性別にみると、「はい」の割合は、男性が 64.7%、女性は 61.7%となっている。

性・年代別にみると、「はい」の割合は、男性の 60 歳代以上、女性の 70 歳代以上で高く、男性では 30 歳代、女性では 30～40 歳代で低くなっている。



運動時間をつくっている人は、十分な睡眠がとれている割合が 67.6%と高くなっている。

[運動時間をつくっている人別]



【平成 24 年調査との比較】

(%)

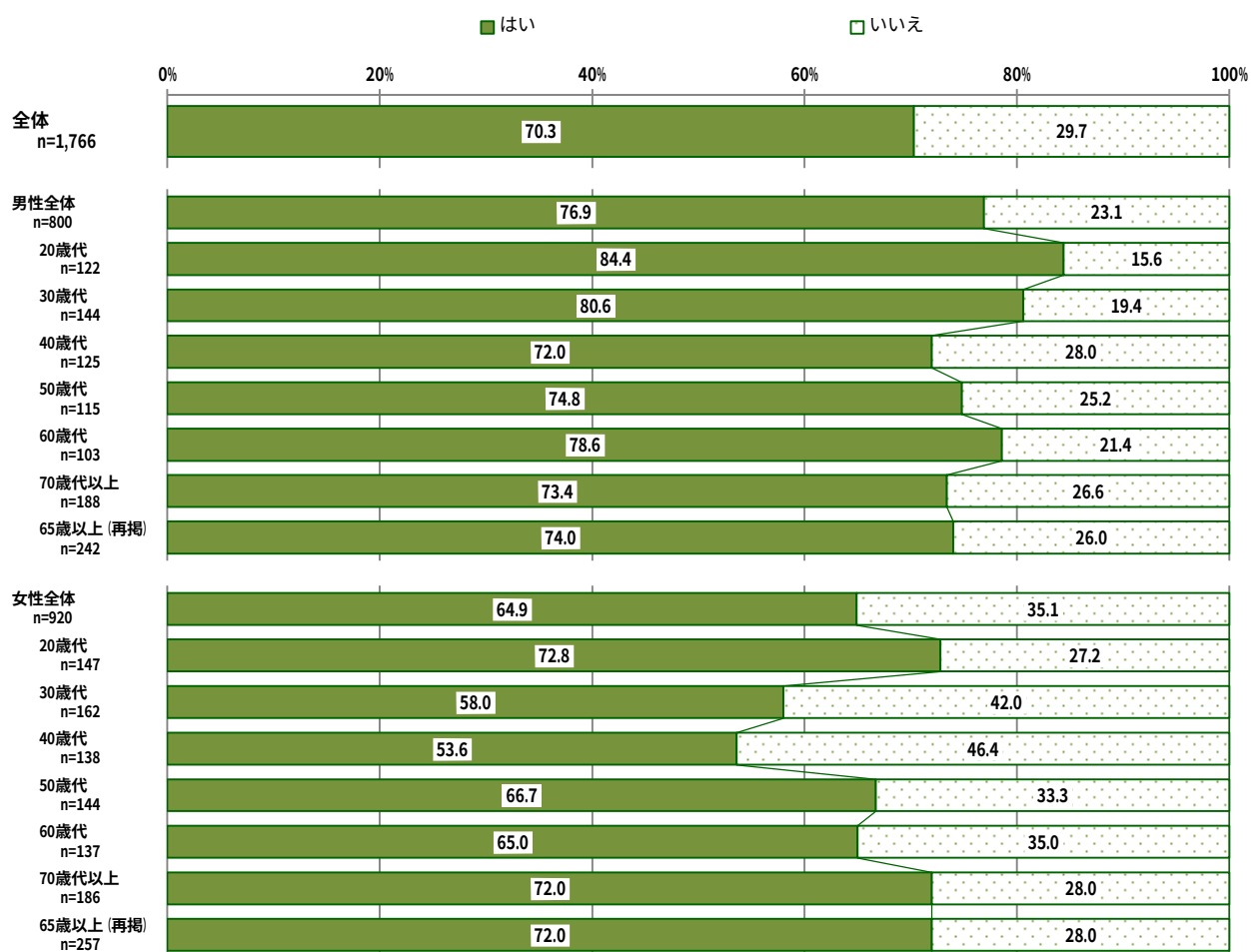
項 目	平成 24 年	平成 29 年
日頃の睡眠が十分だと思わない人の割合	31.9	36.9

問 25 趣味がありますか。

「はい」が70.3%、「いいえ」が29.7%となっている。

性別にみると、「はい」の割合は、男性が女性よりも高くなっている。

性・年代別にみると、「はい」の割合は、男性の20～30歳代で高く、女性の30～40歳代で低くなっている。

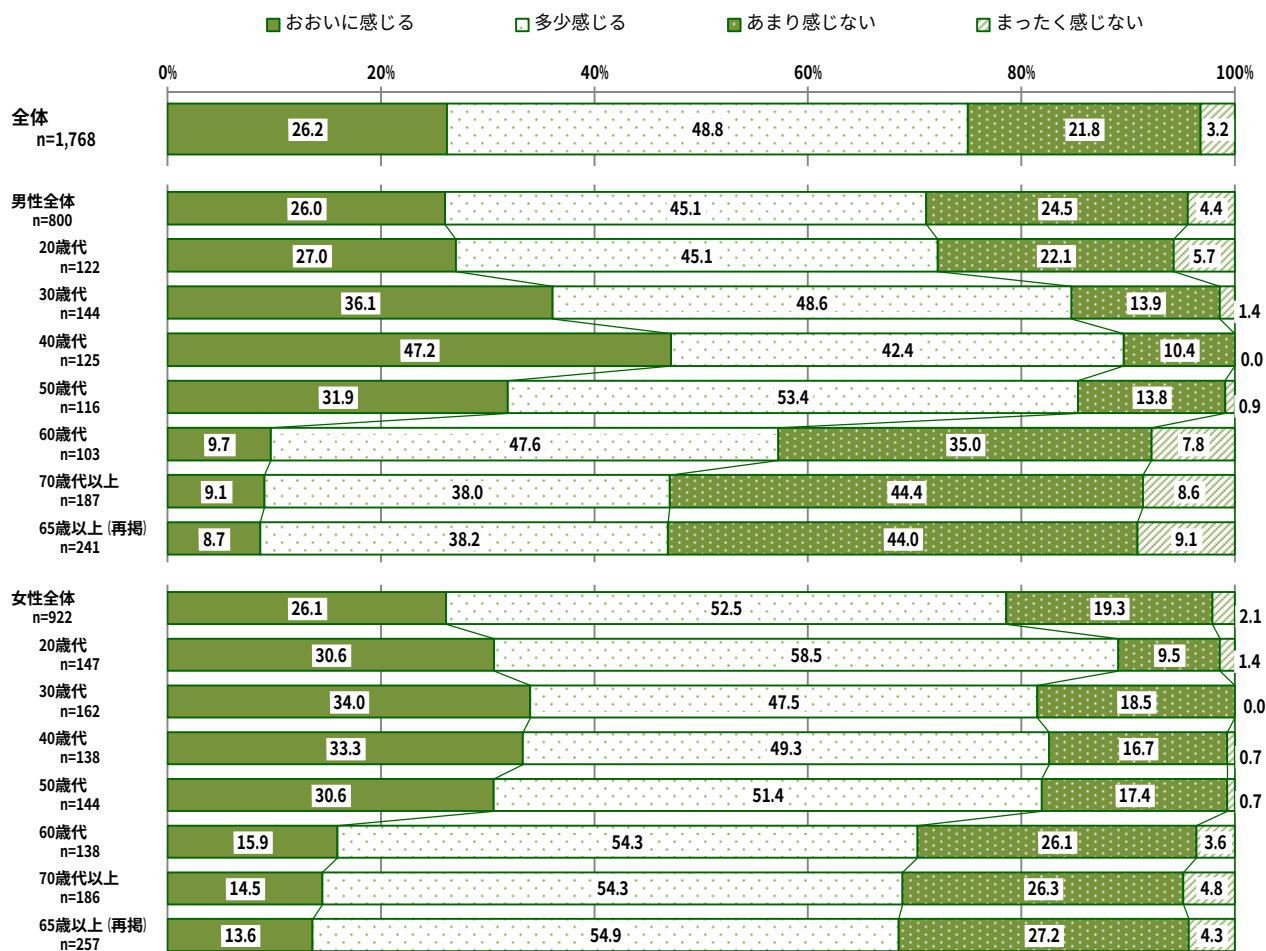


問 26 ストレスを感じることがありますか。

「多少感じる」が 48.8%、次いで「おおいに感じる」が 26.2%となっており、これらを合わせたストレスを“感じる”人は 75.0%となっている。一方、「あまり感じない」「まったく感じない」を合わせたストレスを“感じない”人は 25.0%となっている。

性別にみると、ストレスを“感じる”人の割合は、女性が 78.6%、男性は 71.1%となっている。

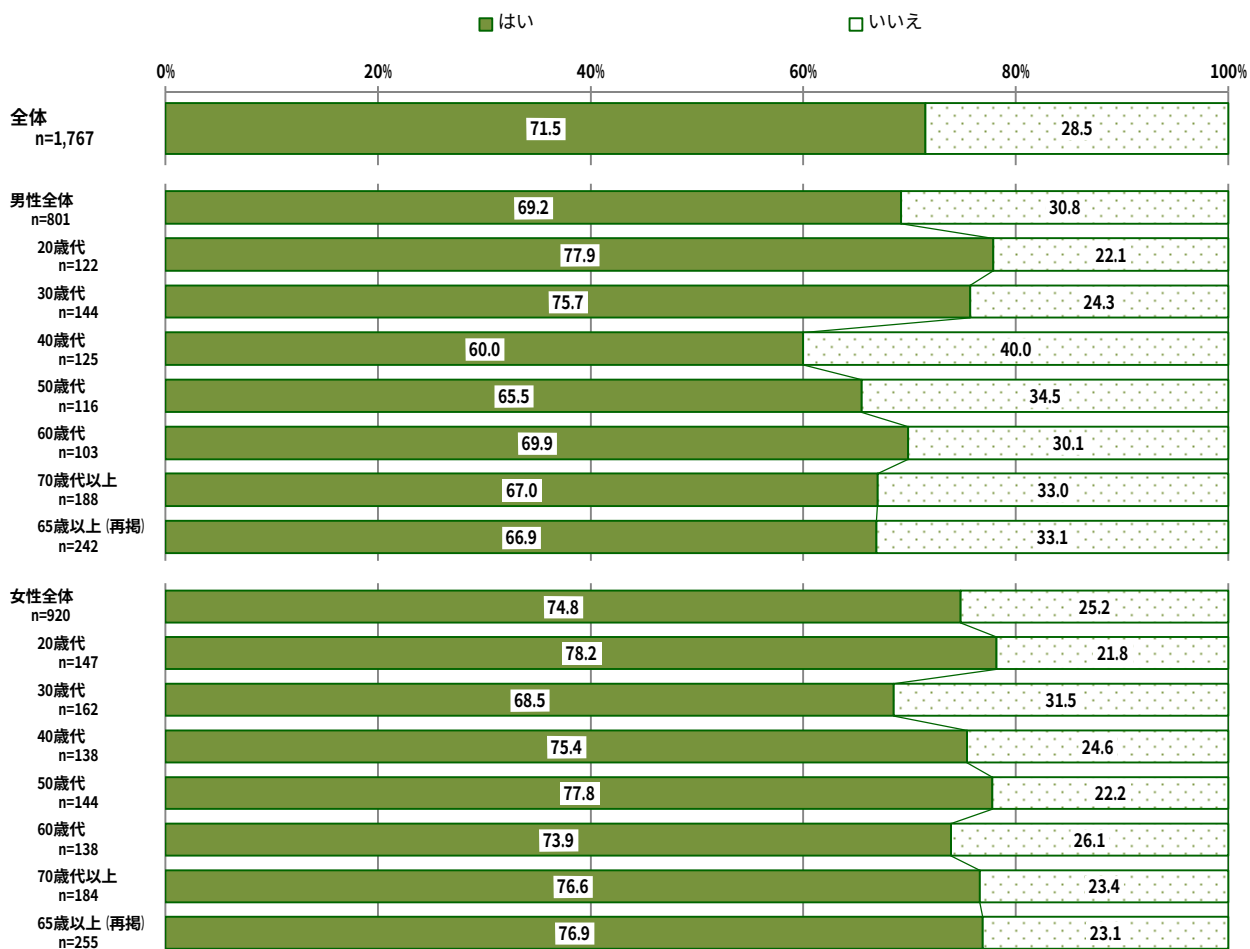
性・年代別にみると、「おおいに感じる」の割合は、男性の 30～40 歳代、女性の 30 歳代で高くなっている。



問 27 自分なりのストレス解消方法をもっていますか。

「はい」が 71.5%、「いいえ」は 28.5%となっている。

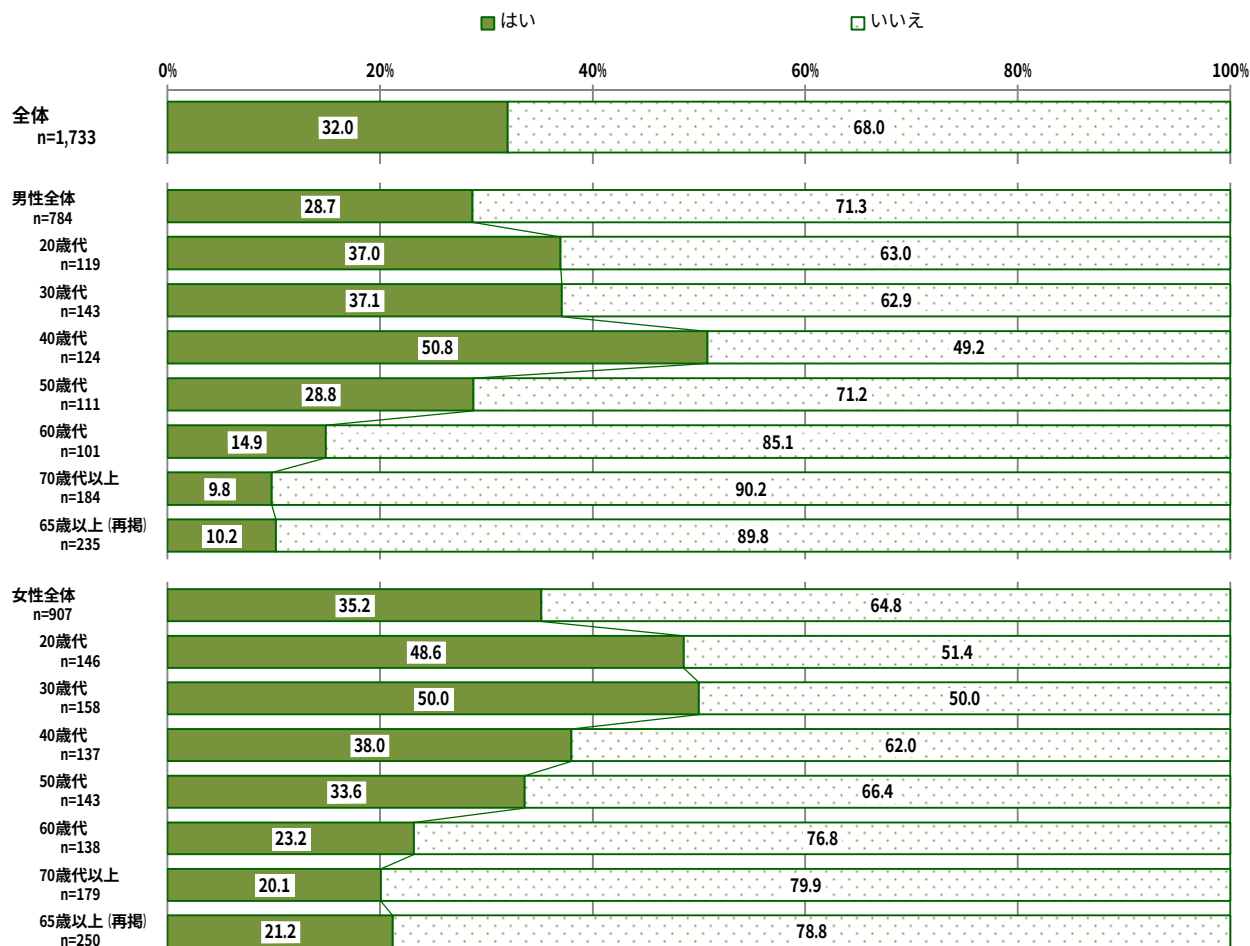
性・年代別にみると、「いいえ」と答えた人は、男性の 40 歳代で 40.0%と高くなっている。



問 28 ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがありますか。

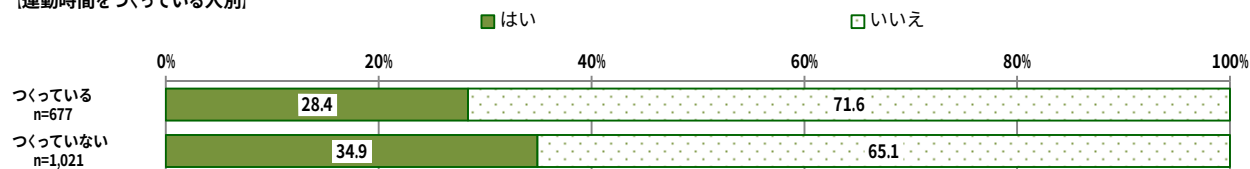
「はい」が 32.0%、「いいえ」は 68.0%となっている。

性・年代別にみると、「はい」と答えた人は男性の 40 歳代、女性の 20～30 歳代で 50%程度と高くなっている。



運動時間をつくっている人は、ストレスが大きくて逃げ出したいと思う人の割合が低くなっている。

[運動時間をつくっている人別]

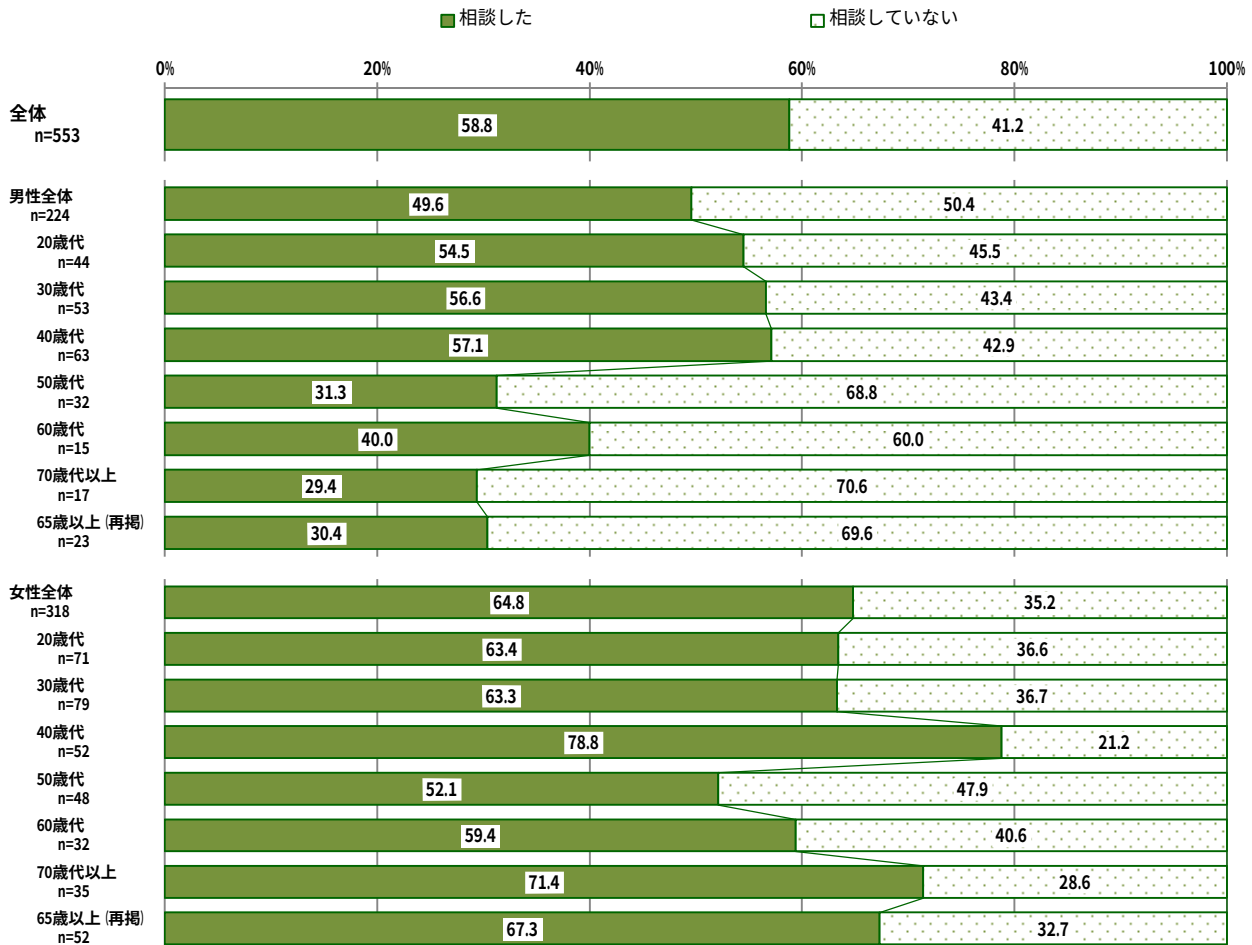


【ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがある方は、この質問にお答えください。】
問 28-1 そのことをだれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

「相談した」は 58.8%、「相談していない」が 41.2%となっている。

性別にみると、「相談した」の割合は、女性が男性よりも高く、女性では 64.8%の人が相談したのに対し、男性では 49.6%にとどまっている。

性・年代別にみると、「相談した」と答えた人は、女性の 40 歳代が約 80%と高く、男性の 50 歳代、70 歳代以上で約 30%と低くなっている。



【平成 24 年調査との比較】

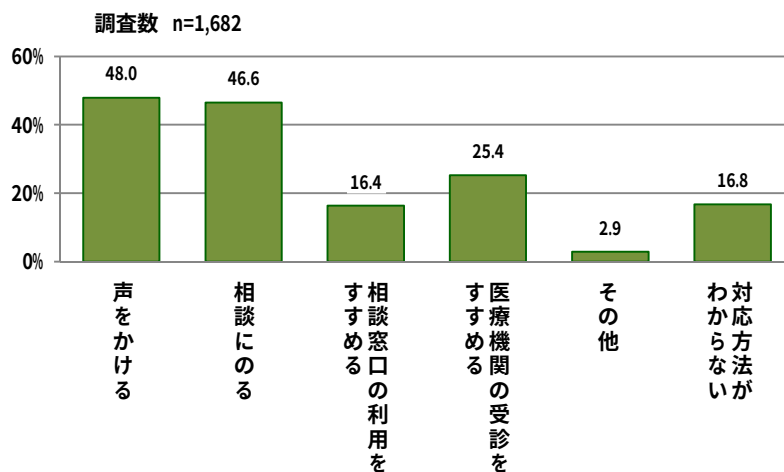
(%)

項 目		平成 24 年	平成 29 年
逃げ出したいストレスがあり誰かに相談している人の割合	全体	59.9	58.8
	男性	42.5	49.6
	女性	70.1	64.8

問 29 身近にこころのケアが必要な人がいたら、どう対応しますか。

「声をかける」が 48.0%、次いで「相談にのる」が 46.6%、「医療機関の受診をすすめる」が 25.4%となっている。なお「対応方法がわからない」という人も 16.8%みられる。

性別にみると、「声をかける」「相談にのる」と答えた人は、女性で高く、「対応方法がわからない」と答えた人は男性で高くなっている。

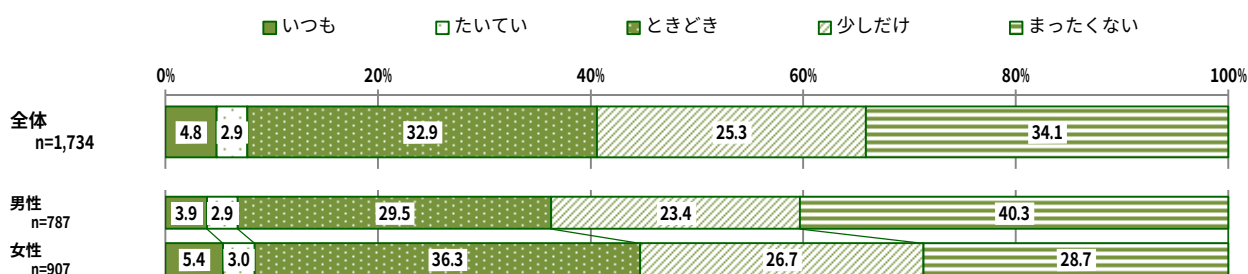


	全体	声をかける	相談にのる	相談窓口の利用をすすめる	医療機関の受診をすすめる	その他	対応方法がわからない
全体	1,682	48.0	46.6	16.4	25.4	2.9	16.8
男性全体	763	39.8	41.8	16.5	22.9	2.2	21.9
20歳代	116	43.1	62.9	6.0	11.2	1.7	12.9
30歳代	140	40.7	49.3	5.7	24.3	1.4	21.4
40歳代	118	43.2	41.5	12.7	21.2	0.8	22.9
50歳代	110	47.3	43.6	20.9	30.9	0.9	16.4
60歳代	100	35.0	39.0	27.0	20.0	4.0	31.0
70歳代以上	176	33.5	23.3	26.1	27.3	3.4	25.6
65歳以上(再掲)	227	33.5	26.4	28.2	27.3	3.1	26.4
女性全体	879	55.2	51.1	16.2	27.0	3.1	12.6
20歳代	140	57.1	73.6	6.4	17.1	2.9	5.7
30歳代	157	56.7	59.9	15.3	28.7	1.3	17.8
40歳代	135	58.5	57.8	14.1	30.4	3.7	12.6
50歳代	141	52.5	49.6	17.0	33.3	2.1	9.9
60歳代	133	49.6	41.4	24.1	26.3	5.3	13.5
70歳代以上	167	56.9	27.5	19.2	25.7	3.6	15.6
65歳以上(再掲)	235	57.0	31.1	20.9	25.1	4.3	13.6

問 30 過去1か月のこころの健康状態はどのようなであったか、次のアからカのそれぞれの質問について教えてください。

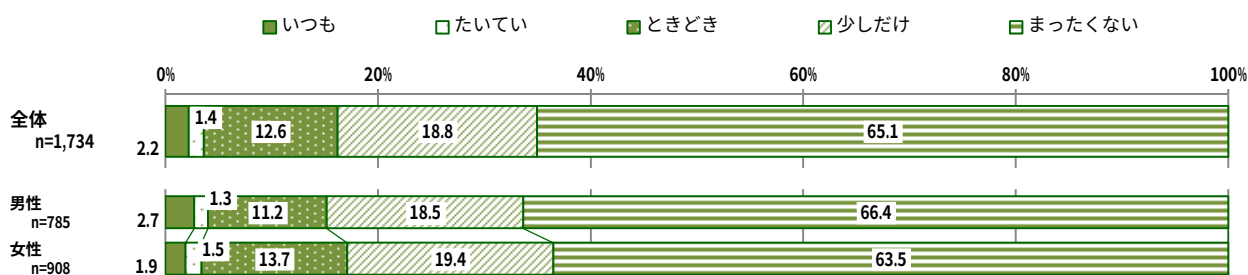
ア 神経過敏に感じましたか。

「まったくない」が34.1%、次いで「ときどき」が32.9%となっている。



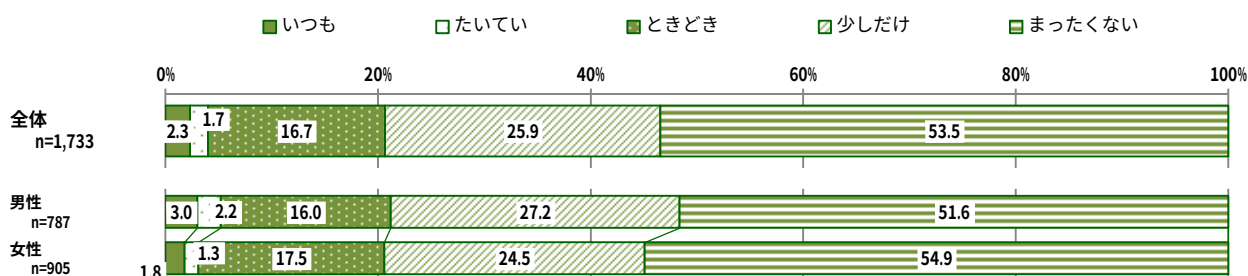
イ 絶望的だと感じましたか。

「まったくない」が65.1%、次いで「少しだけ」が18.8%となっている。



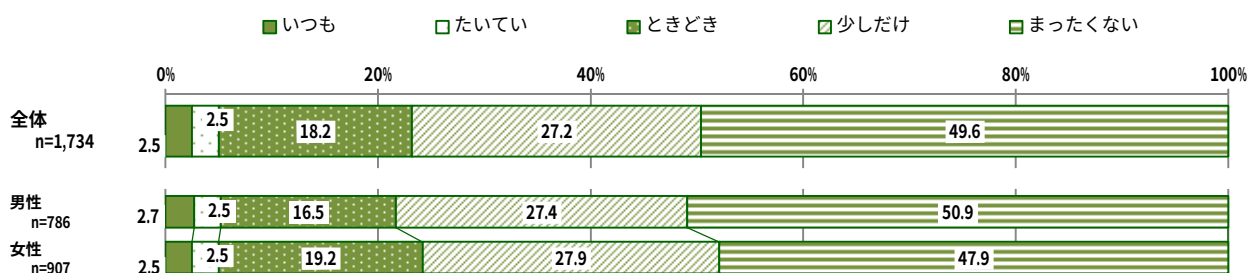
ウ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。

「まったくない」が53.5%、次いで「少しだけ」が25.9%となっている。



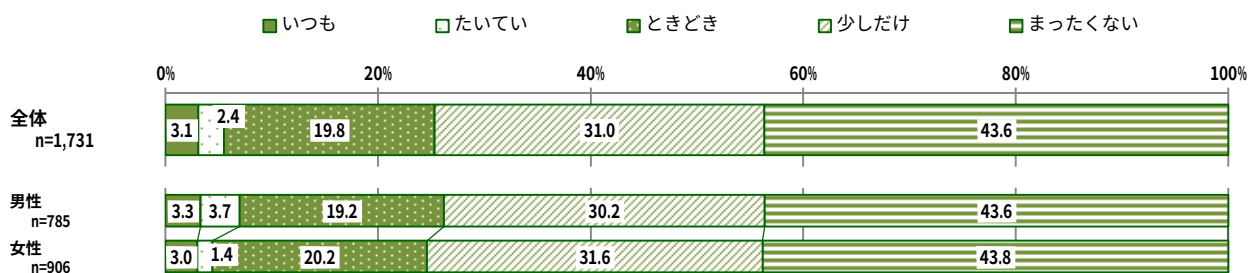
エ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。

「まったくない」が49.6%、次いで「少しだけ」が27.2%となっている。



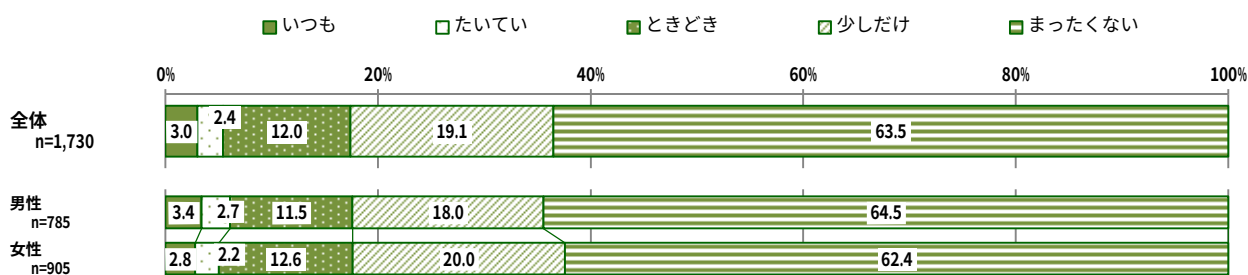
オ 何をするにも骨折りだと感じましたか。

「まったくない」が43.6%、次いで「少しだけ」が31.0%となっている。



カ 自分は価値のない人間だと感じましたか。

「まったくない」が63.5%、次いで「少しだけ」が19.1%となっている。



＜K 6 ※ハイリスク＞

※K 6:

K 6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

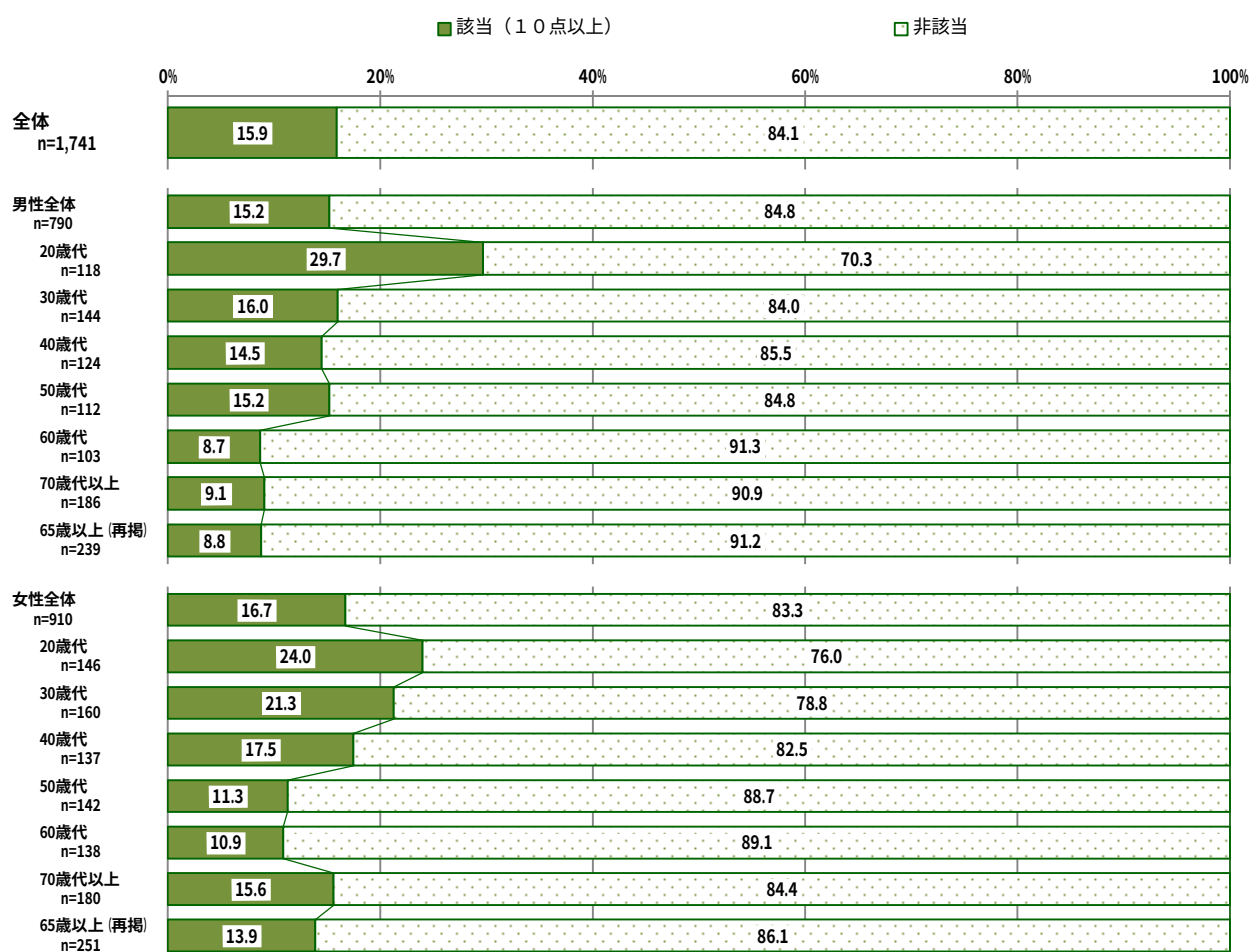
下表を基に計算し、合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

【K 6に係る項目と点数】

項 目	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
ア 神経過敏に感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
イ 絶望的だと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
ウ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	4点	3点	2点	1点	0点
エ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
オ 何をするにも骨折りだと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
カ 自分は価値のない人間だと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点

“該当（10点以上）”が15.9%となっている

性・年代別にみると、“該当”の割合は男性の20歳代で高くなっている。



III 調査の結果＜成人編＞

労働時間別でみると、“該当”の割合は、労働時間が1週間に70時間以上の人で40.0%と高くなっている。

健康観別でみると、“該当”の割合は、健康に自信がない人で高くなっている。

[1週間の労働時間別]		(全体:件数、表内:%)	
	全体	該当 (10点以上)	非該当
全体	1,023	15.9	84.1
40時間未満	376	12.5	87.5
40時間以上50時間未満	361	16.6	83.4
50時間以上60時間未満	177	17.5	82.5
60時間以上70時間未満	50	16.0	84.0
70時間以上80時間未満	20	40.0	60.0
80時間以上	10	40.0	60.0

[運動時間をつくっている人別]		(全体:件数、表内:%)	
	全体	該当 (10点以上)	非該当
全体	1,741	15.9	84.1
つくっている	683	16.4	83.6
つくっていない	1,024	15.5	84.5

[多量飲酒(1日3合以上)別]		(全体:件数、表内:%)	
	全体	該当 (10点以上)	非該当
全体	1,741	15.9	84.1
多量飲酒該当	51	17.6	82.4
多量飲酒非該当	1,690	15.8	84.2

[健康観別]		(全体:件数、表内:%)	
	全体	該当 (10点以上)	非該当
全体	1,741	15.9	84.1
健康だと思う	385	8.1	91.9
まあまあ健康だと思う	778	12.9	87.1
少し自信がない	382	23.8	76.2
かなり自信がない	137	37.2	62.8

【参考：愛知県調査との比較】 (%)

項 目	愛知県	安城市
K6ハイリスクに該当(10点以上)する人の割合	13.4	15.9

愛知県:健康日本21あいち新計画中間評価報告書(平成28年愛知県生活習慣関連調査)

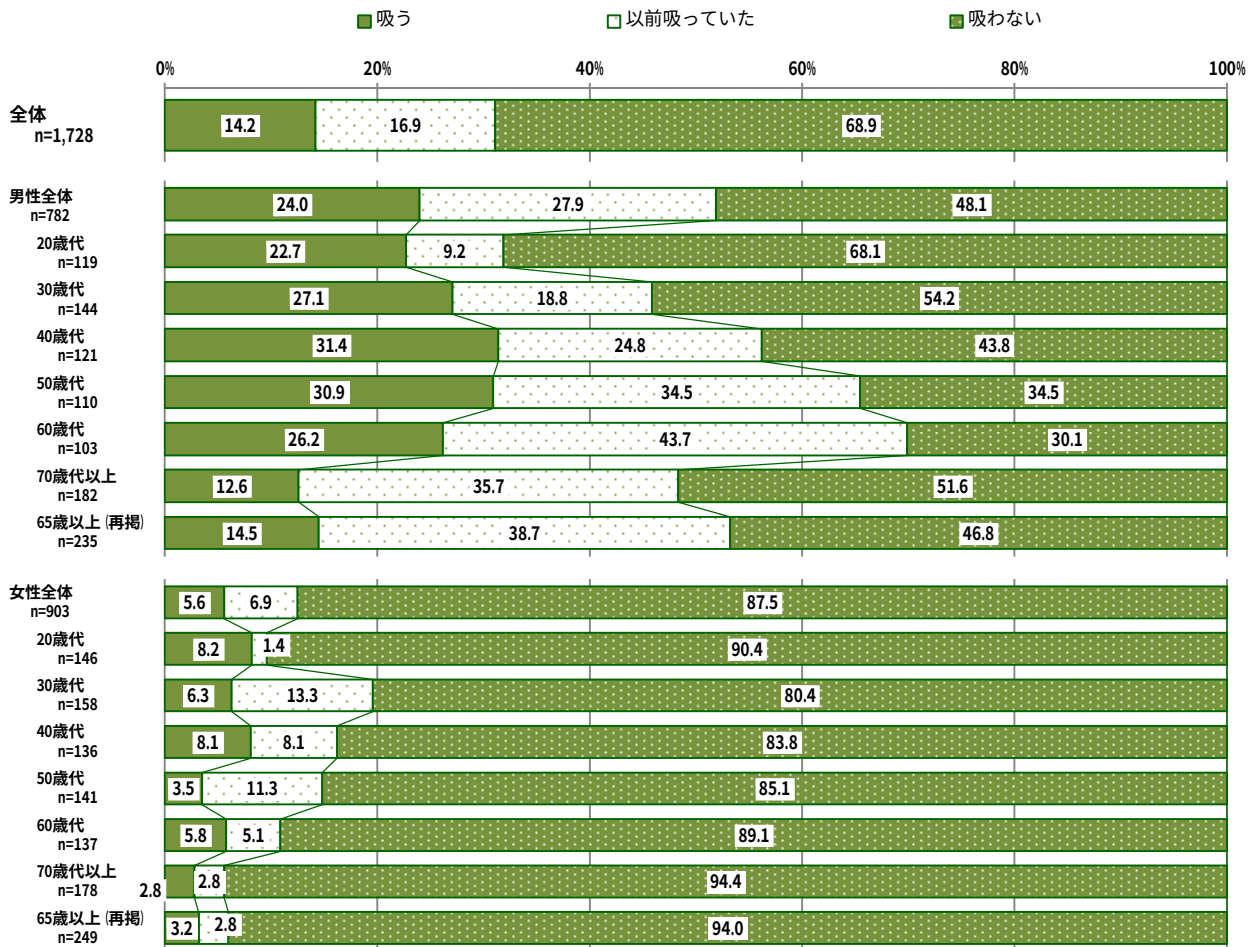
5 たばこについて

問 31 たばこを吸いますか。

「吸わない」が 68.9%、「以前吸っていた」と合わせた 85.8%の人が非喫煙者となっている。一方、たばこを吸う人は 14.2%となっている。

性別にみると、「吸う」「以前吸っていた」の割合は、いずれも男性が女性よりも高く、男性では 24.0%の人が吸っているのに対し、女性では 5.6%にとどまっている。

性・年代別にみると、「吸う」の割合は、男性の 40～50 歳代で 30%程度となっており、男性の 50 歳代以上の年代では、「以前吸っていた」の割合も 30～40%程度となっている。



【平成 24 年調査との比較】 (%)

項 目	平成 24 年	平成 29 年
たばこを吸う人の割合	14.9	14.2

【参考：国や愛知県調査との比較】 (%)

項 目	国	愛知県	安城市
たばこを吸う人の割合	20 歳代男性	30.7	35.4
	30 歳代男性	42.0	30.1
	20 歳代女性	6.3	7.7
	30 歳代女性	13.7	8.1

国：平成 28 年国民健康・栄養調査報告
愛知県：平成 28 年愛知県生活習慣関連調査

問 31-1 たばこを吸うときに、どのように他の人に気を遣っていますか。（複数回答）

「指定されている喫煙場所以外では吸わない」が 71.5%、次いで「自宅等において家族のいるところでは吸わない」が 49.2%、「歩きながら吸わない」が 38.0%となっている。

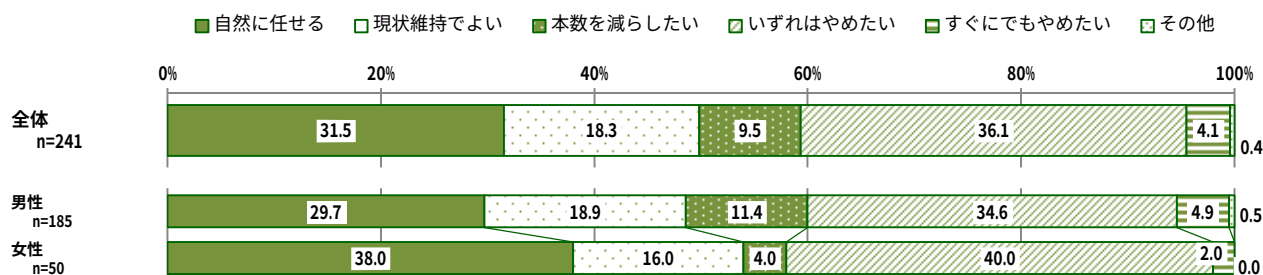
性別にみると、「指定されている喫煙場所以外では吸わない」と答えた人は、女性で 82.0%、男性で 68.3%となっている。

「歩きながら吸わない」と答えた人は、女性で 52.0%、男性で 33.9%となっている。

	全体	指定されている喫煙場所以外では吸わない	歩きながら吸わない	自宅等において家族のいるところでは吸わない	気を遣わない	その他
全体	242	71.5	38.0	49.2	9.5	4.1
男性	186	68.3	33.9	47.3	11.3	3.8
女性	50	82.0	52.0	52.0	4.0	6.0

問 31-2 今後の喫煙について教えてください。

「いずれはやめたい」が 36.1%、「すぐにでもやめたい」と合わせた“禁煙したい”人の割合は 40.2%となっている。一方、「自然に任せる」が 31.5%、「現状維持でよい」も 18.3%みられる。



【平成 24 年調査との比較】（％）

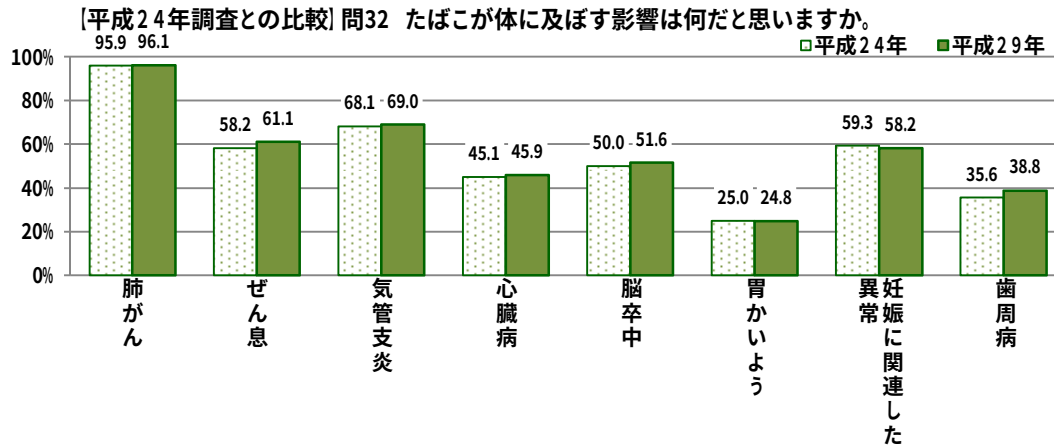
項 目	平成24年	平成29年
“禁煙したい”と思う人の割合	40.9	40.2

※「いずれはやめたい」「すぐにでもやめたい」の割合

問 32 たばこが体に及ぼす影響は何だと思いますか。（複数回答）

「肺がん」が 96.1%、次いで「気管支炎」が 69.0%、「妊娠に関連した異常」「ぜん息」がそれぞれ約 60%となっている。

性別にみると、「肺がん」「ぜん息」「妊娠に関連した異常」と答えた人の割合は、いずれも女性が男性よりも高くなっている。



(全体:件数, 表内:%)

	全体	肺がん	ぜん息	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃かいよう	妊娠に関連した異常	歯周病	わからない
全体	1,701	96.1	61.1	69.0	45.9	51.6	24.8	58.2	38.8	3.3
男性全体	775	94.2	56.3	65.9	44.9	52.6	26.5	43.6	37.0	4.9
20歳代	119	95.8	59.7	67.2	37.8	47.1	25.2	62.2	48.7	5.0
30歳代	143	95.1	49.7	62.2	36.4	50.3	22.4	56.6	42.7	2.8
40歳代	124	94.4	54.8	66.9	46.0	60.5	29.8	52.4	46.8	8.1
50歳代	112	92.0	57.1	62.5	53.6	56.3	26.8	41.1	33.0	5.4
60歳代	101	92.1	61.4	70.3	57.4	61.4	29.7	33.7	38.6	5.0
70歳代以上	174	94.8	57.5	67.8	43.7	46.0	26.4	21.8	19.5	4.0
65歳以上(再掲)	225	93.8	59.6	70.2	49.3	50.7	28.0	24.4	24.4	4.4
女性全体	885	98.0	65.0	71.3	46.4	50.8	23.2	71.2	40.2	1.7
20歳代	146	98.6	64.4	68.5	40.4	51.4	21.2	84.2	52.1	1.4
30歳代	158	97.5	63.9	73.4	41.8	57.6	22.8	84.2	49.4	1.3
40歳代	137	97.8	63.5	75.2	55.5	58.4	27.7	81.0	46.0	0.7
50歳代	140	98.6	68.6	72.1	54.3	59.3	22.1	65.0	37.9	0.7
60歳代	131	98.5	65.6	70.2	50.4	45.8	26.7	64.1	37.4	3.1
70歳代以上	167	97.0	64.1	68.3	38.9	34.7	20.4	50.9	21.0	2.4
65歳以上(再掲)	233	97.4	62.7	69.5	41.2	36.1	22.7	54.1	23.6	2.6

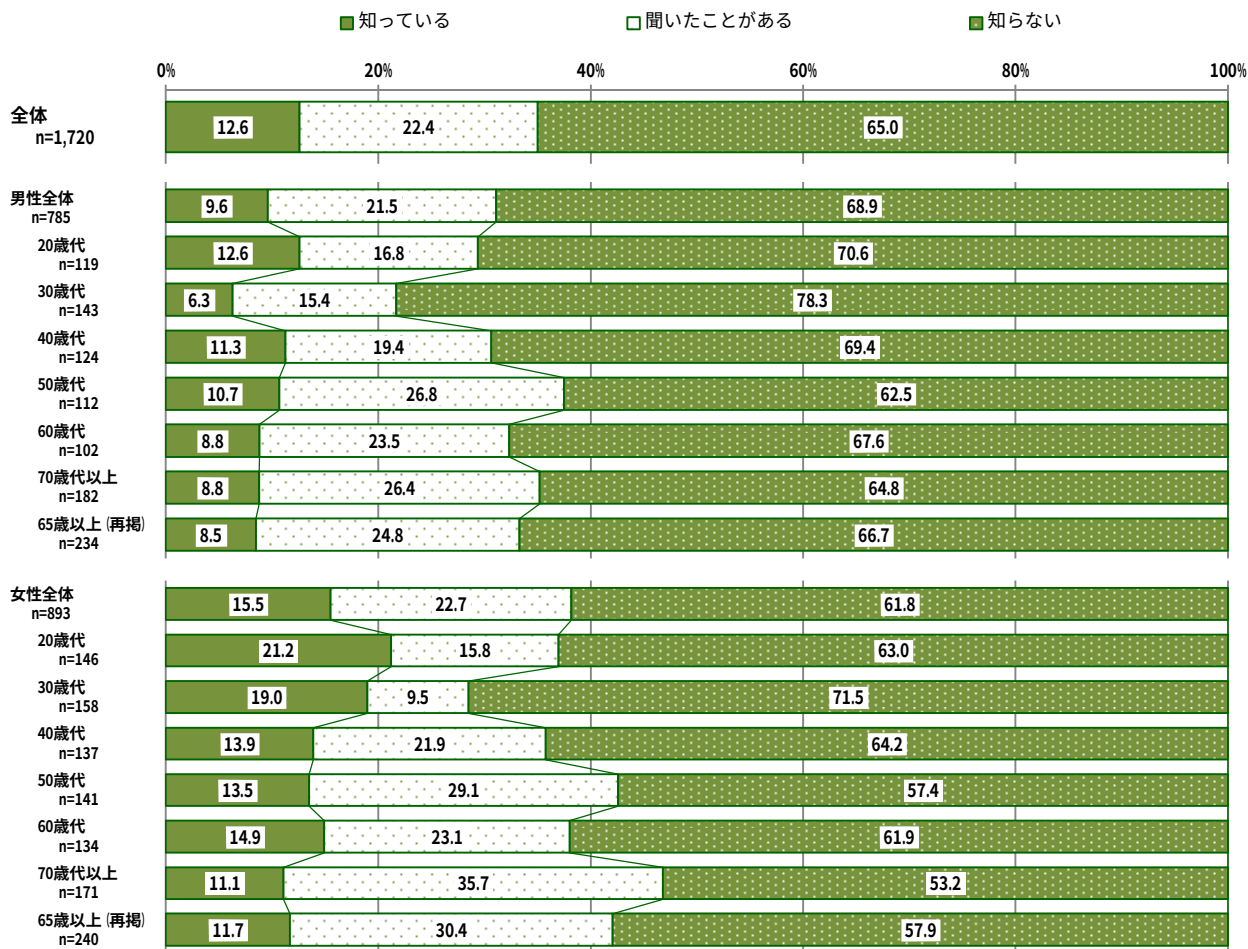
問 33 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）※」という言葉を知っていますか。

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）：

有毒な粒子やガス（主にたばこの煙）の吸入による進行性の疾患であり、運動時の呼吸困難や慢性の咳・痰などの症状があります。

「知らない」が 65.0%、「知っている」「聞いたことがある」を合わせると 35.0%となっている。

性・年代別にみると、「知っている」の割合は、女性が男性よりも高く、特に女性の 20～30 歳代で 20%程度と高く、男性の 30 歳代では低くなっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っている人の割合	28.9	35.0

※「知っている」「聞いたことがある」の割合

【参考：愛知県調査との比較】

(%)

項 目	愛知県	安城市
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っている人の割合	26.5	35.0

愛知県：健康日本21あいち新計画中間評価報告書（平成28年愛知県生活習慣関連調査）

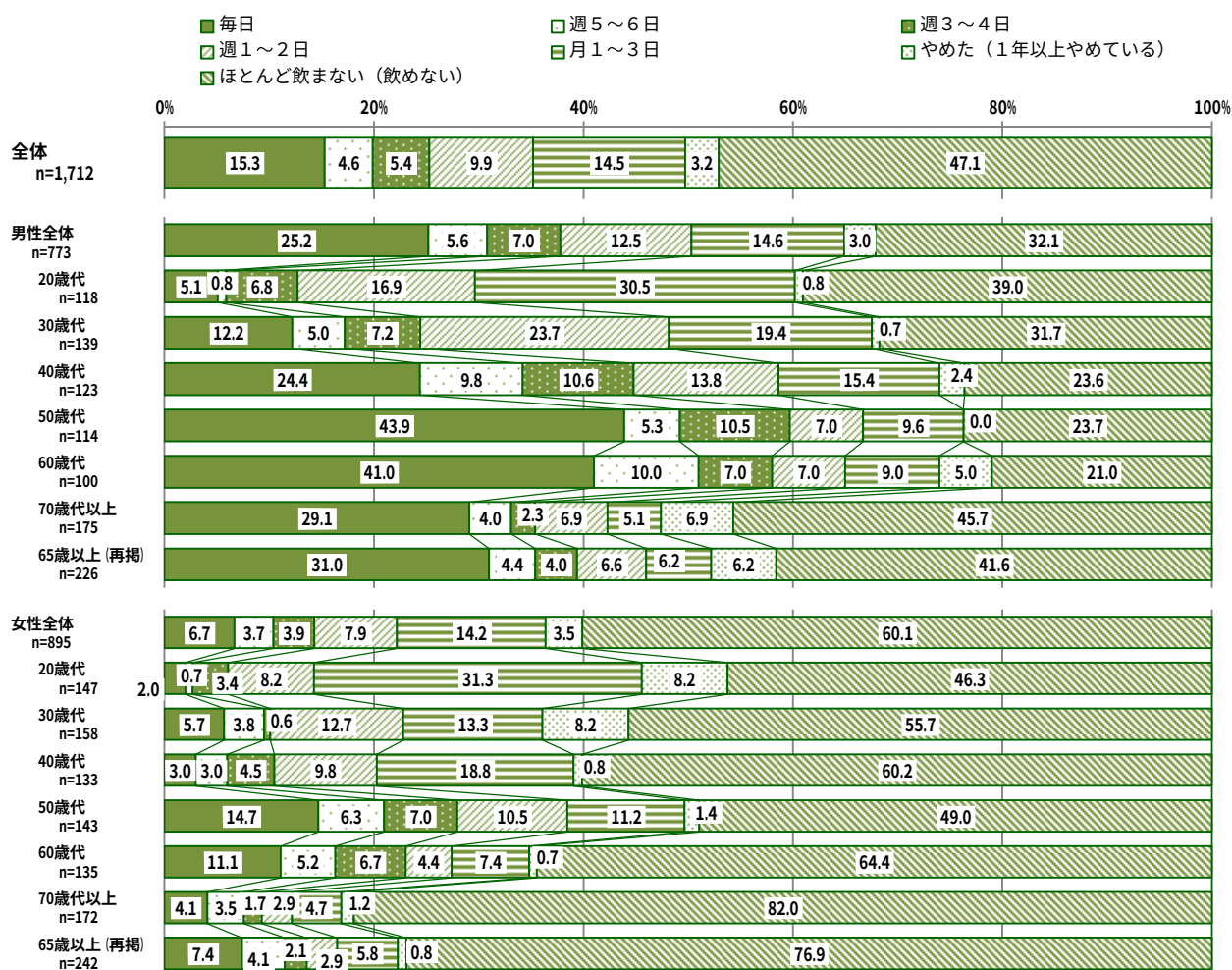
「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」の割合

6 アルコールについて

問 34 お酒（清酒・焼酎・ビール・洋酒など）をどのくらいの頻度で飲みますか。

「ほとんど飲まない（飲めない）」が 47.1%、「毎日」を含めた“週 1 日以上”飲む人は 35.2% となっている。

性・年代別にみると、「毎日」の割合は、男性が女性よりも高く、特に男性の 40 歳代以上で高くなっている。



Ⅲ 調査の結果＜成人編＞

問 34-1 お酒を飲む日は、1日あたりどのくらいの量を飲みますか。日本酒に換算※してお答えください。

※日本酒に換算(参考):日本酒1合(180ml)に相当する量の目安

お酒の種類	清酒	焼酎(25度)	ビール	ウイスキー・ブランデー	ワイン
量	1合180ml	0.5合90ml	中瓶1本500ml	ダブル60ml	2杯240ml

「1合未満」が46.3%、次いで「1合以上2合未満」が23.6%となっている。

(全体:件数, 表内:%)							
	全体	1合未満	1合以上2合未満	2合以上3合未満	3合以上4合未満	4合以上5合未満	5合以上
全体	594	46.3	23.6	21.4	5.1	2.0	1.7
男性	384	37.8	26.3	26.0	5.5	2.3	2.1
20歳代	35	42.9	28.6	20.0	2.9	-	5.7
30歳代	67	47.8	25.4	16.4	3.0	3.0	4.5
40歳代	72	44.4	19.4	25.0	5.6	1.4	4.2
50歳代	75	22.7	22.7	41.3	8.0	5.3	-
60歳代	63	30.2	30.2	27.0	11.1	1.6	-
70歳代以上	72	41.7	33.3	22.2	1.4	1.4	-
65歳以上(再掲)	101	40.6	29.7	23.8	5.0	1.0	-
女性	194	63.4	17.0	12.4	4.6	1.5	1.0
20歳代	21	38.1	14.3	28.6	14.3	4.8	-
30歳代	36	55.6	19.4	13.9	5.6	2.8	2.8
40歳代	27	70.4	14.8	11.1	3.7	-	-
50歳代	55	65.5	20.0	9.1	1.8	1.8	1.8
60歳代	34	64.7	17.6	11.8	5.9	-	-
70歳代以上	20	85.0	10.0	5.0	-	-	-
65歳以上(再掲)	38	73.7	13.2	10.5	2.6	-	-

【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
1日平均3合以上飲む人(多量飲酒)の割合	男性	2.1	4.9
	女性	0.5	1.6

※「毎日」「週5～6日」「週3～4日」「週1～2日」かつ「3合以上4合未満」「4合以上5合未満」「5合以上」の割合

＜生活習慣病のリスクを高める飲酒量※への該当＞

※生活習慣病のリスクを高める飲酒量：

男性で1日平均日本酒2合以上、女性で1合以上を飲酒している者を指しています。

【性別】リスクを高める飲酒量（全体：件数、表内：％）

	全 体	該 当	非該当
全体	1,783	9.4	90.6
男性	806	13.9	86.1
女性	930	6.0	94.0

※男性：「毎日×2合以上」「週5-6×2合以上」「週3-4×3合以上」「週1-2×5合以上」「月1-3×5合以上」の割合

女性：「毎日×1合以上」「週5-6×1合以上」「週3-4×1合以上」「週1-2×3合以上」「月1-3×5合以上」の割合

【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
リスクを高める飲酒をしている人の割合	男性	8.3	13.9
	女性	4.3	6.0

【参考：国や愛知県調査との比較】

(%)

項 目		国	愛知県	安城市
リスクを高める飲酒をしている人の割合	男性	14.6	23.4	13.9
	女性	9.1	29.2	6.0

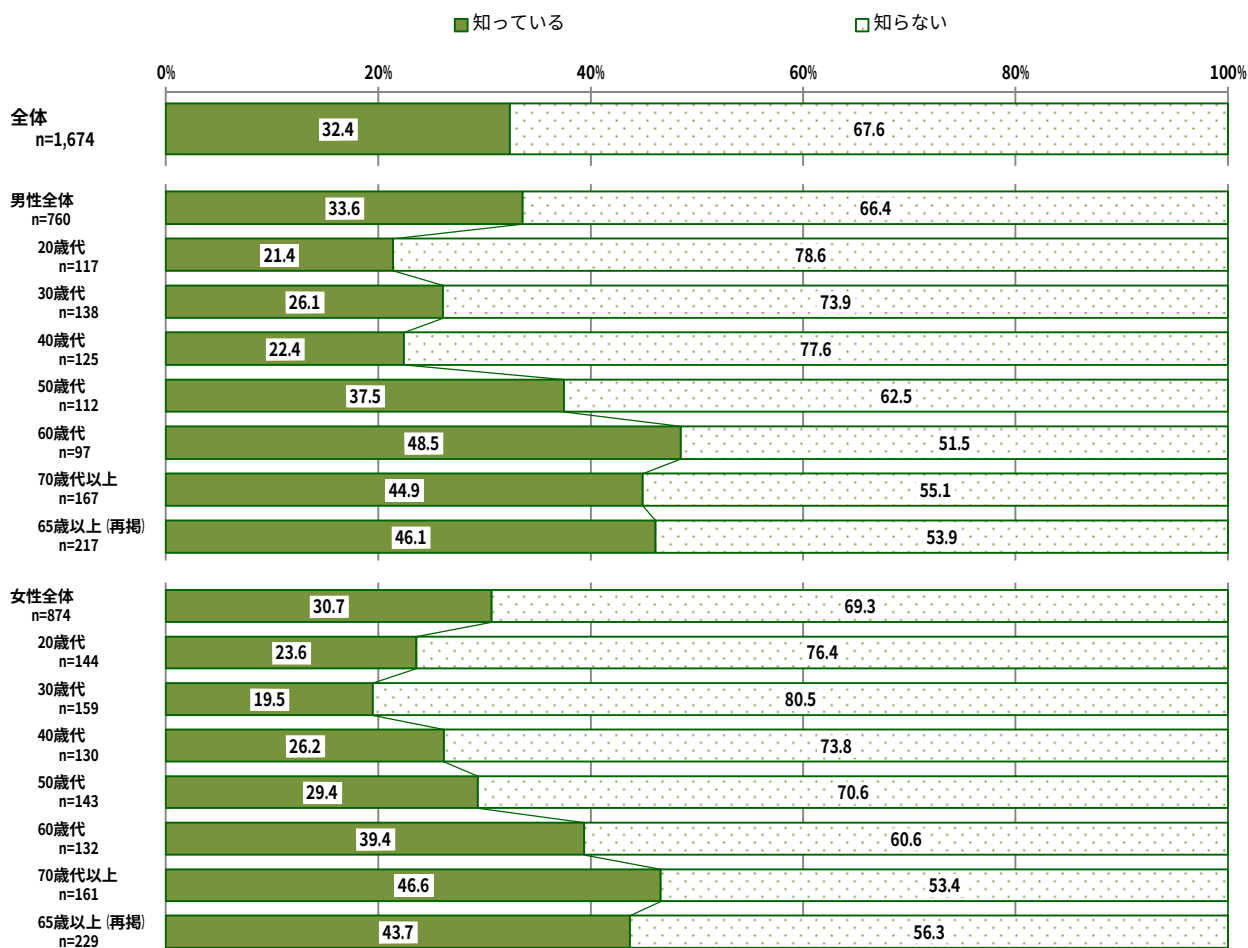
国：平成28年国民健康・栄養調査報告

愛知県：健康日本21あいち新計画中間評価報告書（平成28年愛知県生活習慣関連調査）

問 35 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」として、男性は1日平均日本酒2合以上、女性は1合以上（換算表参考）とされているが、あなたはこのことを知っていますか。

「知っている」は32.4%、「知らない」が67.6%を占めている。

性・年代別にみると、「知っている」の割合は、男性の60歳代以上、女性の70歳代以上で40%以上と高く、男性の20歳代、40歳代、女性の20～30歳代で20%程度と低くなっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

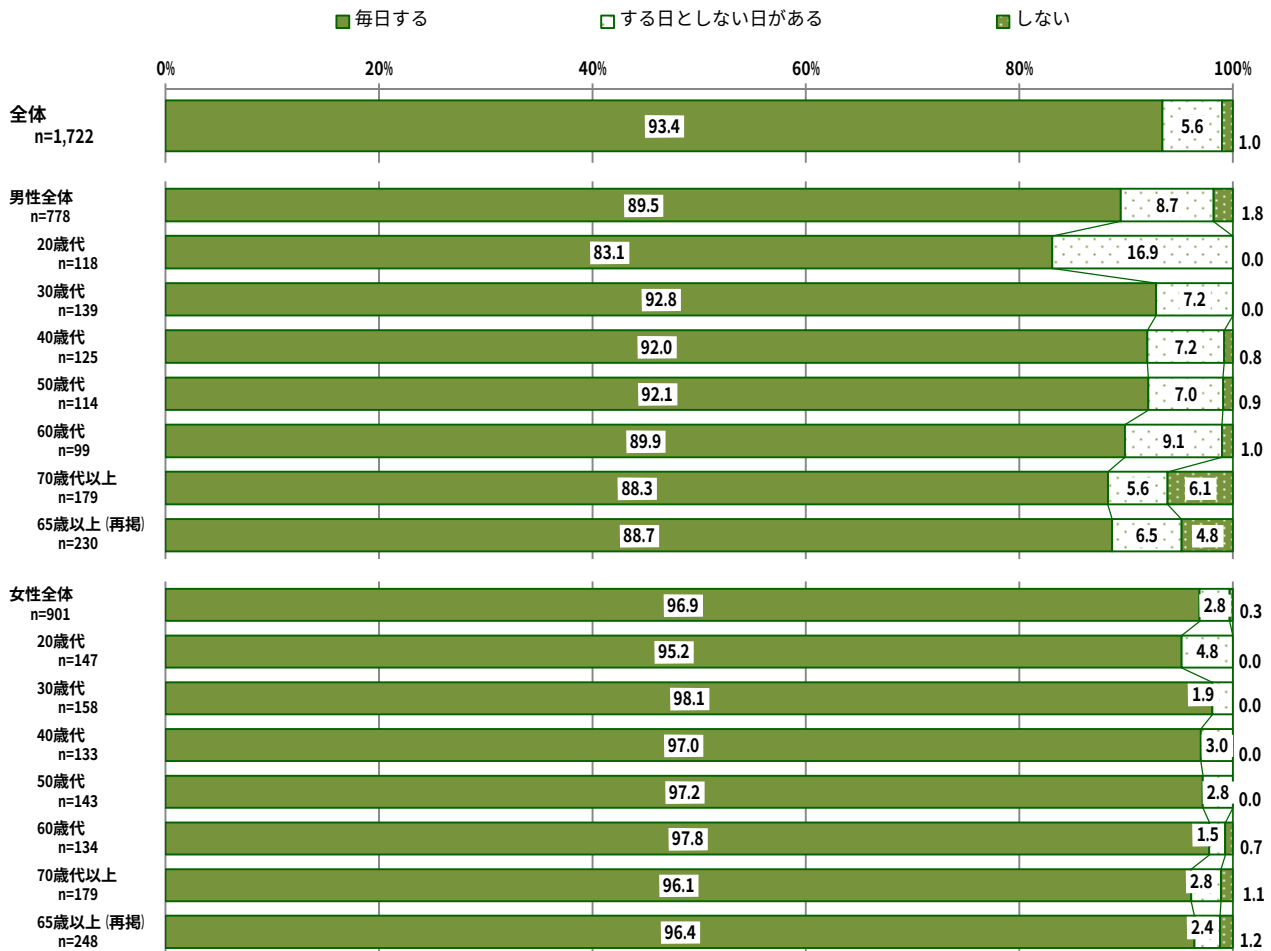
項 目	平成24年	平成29年
「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を知っている人の割合	31.3	32.4

7 歯の健康について

問 36 歯磨きをしますか。

「毎日する」が 93.4%、「する日としない日がある」が 5.6%となっている。

性・年代別にみると、「する日としない日がある」の割合は、男性の 20 歳代で 16.9%と高くなっている。



問 36-1 いつ歯みがきをしますか。(複数回答)

「朝食後」が 62.8%、次いで「就寝前」が 55.9%となっている。

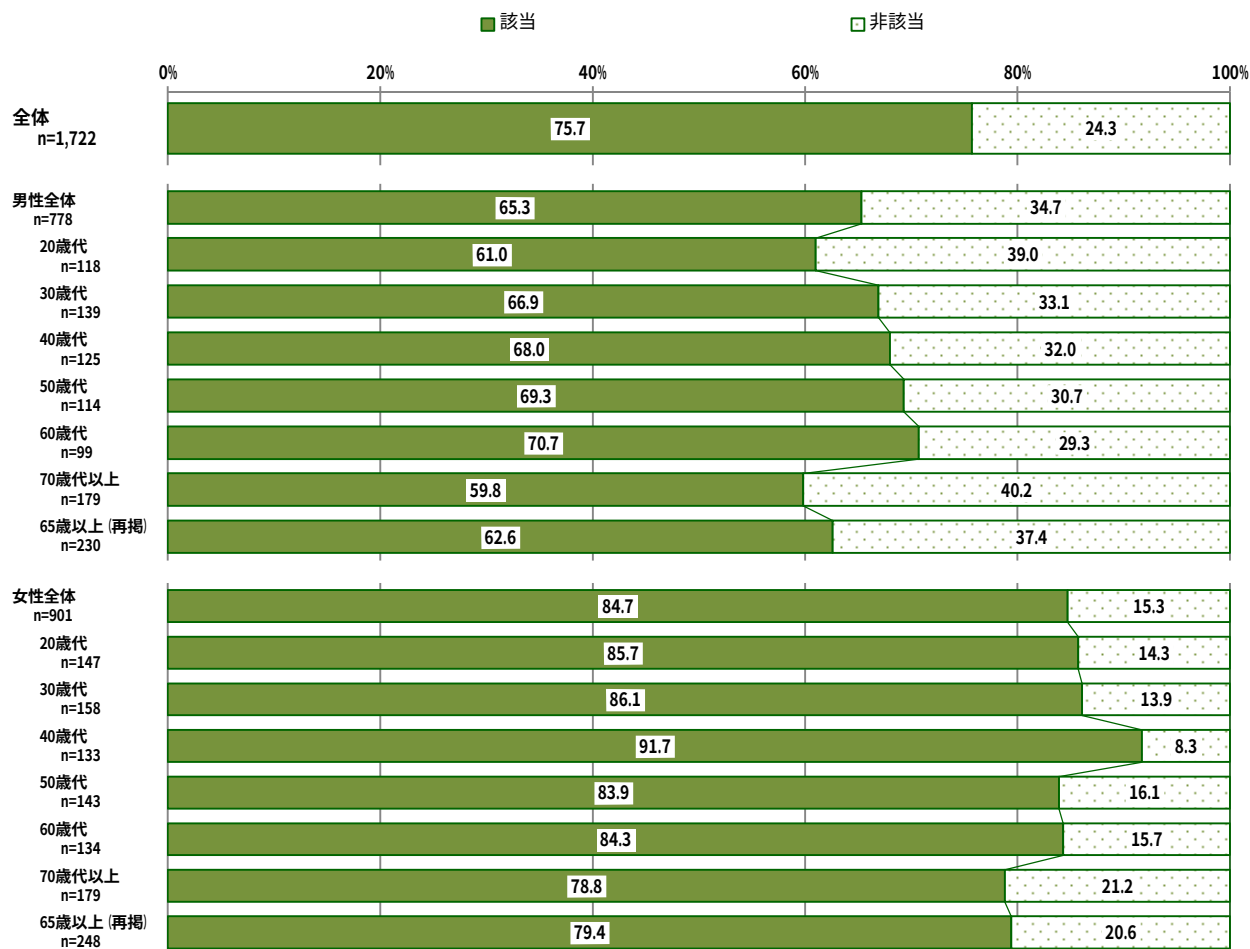
(全体:件数、表内:%)							
	全体	朝食前	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	その他
全体	1,701	32.7	62.8	25.2	35.5	55.9	3.5
男性	762	32.8	55.4	15.2	32.5	51.0	2.5
女性	897	32.3	69.1	33.6	38.5	59.8	4.1

＜毎日、1日に2回以上歯をみがく人の割合＞

歯みがきの状況を回答した人のうち、毎日、1日に2回以上歯をみがく人

“該当”する割合は75.7%となっている。

性別にみると、“該当”する割合は、男性で65.3%、女性は84.7%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
毎日、1日2回以上歯をみがく人の割合	73.5	75.7

*分母は歯みがきの状況に回答があった全数（「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計）

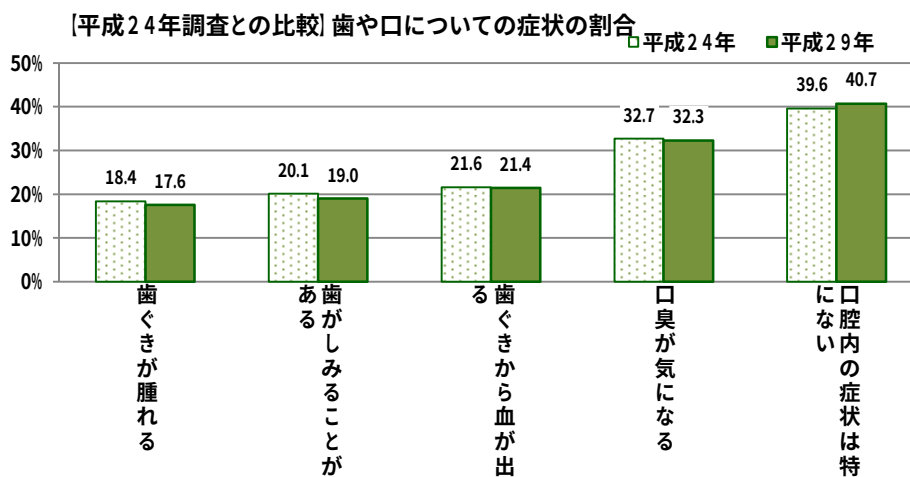
問 37 歯や口について、次のようなことがありますか。(複数回答)

「口臭が気になる」が 32.3%、「歯ぐきから血がでる」「歯がしみる」「歯ぐきが腫れる」がそれぞれ約 20%程度となっている。

性・年代別にみると、男性の 60 歳代で「歯ぐきが腫れる」、男性の 30 歳代で「歯ぐきから血がでる」の割合が高くなっている。

(全体:件数, 表内:%)

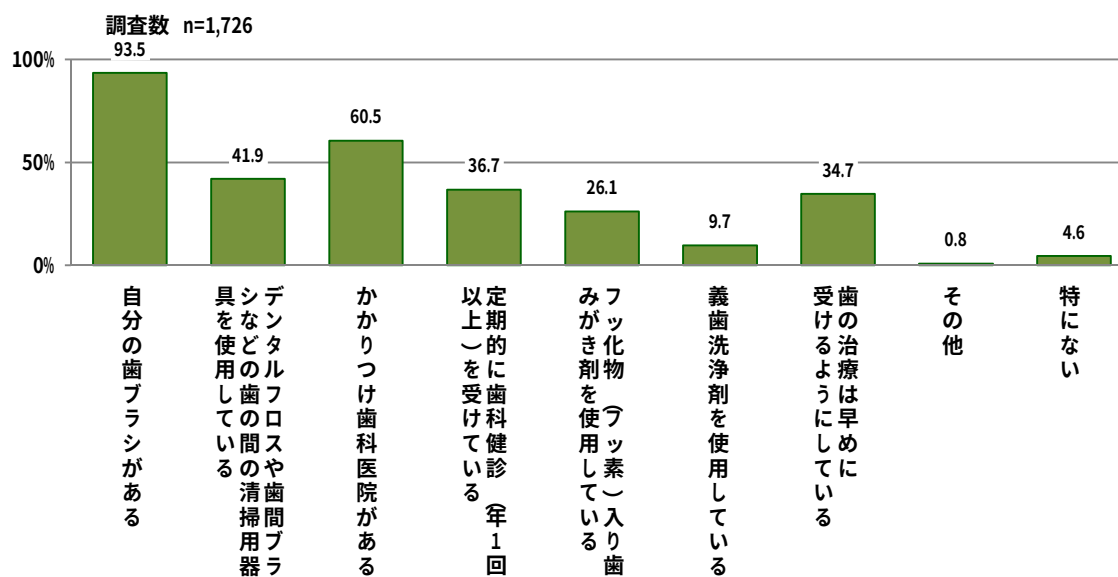
	全 体	歯 ぐ き が 腫 れ る	歯 が し み る	歯 ぐ き か ら 血 が で る	口 臭 が 気 に な る	特 に な い
全体	1,691	17.6	19.0	21.4	32.3	40.7
男性全体	759	17.4	16.5	22.7	32.5	40.7
20歳代	113	12.4	11.5	23.9	22.1	47.8
30歳代	137	12.4	23.4	29.9	34.3	29.9
40歳代	125	17.6	20.8	24.8	35.2	32.8
50歳代	114	20.2	17.5	19.3	39.5	39.5
60歳代	97	29.9	13.4	25.8	39.2	39.2
70歳代以上	169	16.0	12.4	15.4	28.4	50.9
65歳以上(再掲)	218	18.3	12.4	18.3	29.4	49.5
女性全体	890	18.2	21.1	20.4	32.0	41.2
20歳代	143	12.6	23.1	24.5	34.3	37.8
30歳代	158	17.7	23.4	25.9	35.4	35.4
40歳代	131	16.0	22.1	21.4	38.9	35.9
50歳代	143	20.3	20.3	18.2	32.9	36.4
60歳代	135	23.0	24.4	19.3	33.3	42.2
70歳代以上	175	19.4	14.9	14.3	19.4	56.6
65歳以上(再掲)	245	21.2	17.1	13.5	22.9	53.1



問 38 歯の健康管理として行っていることはありますか。(複数回答)

「自分の歯ブラシがある」が93.5%、次いで「かかりつけ歯科医院がある」が60.5%となっている。

性別にみると、「自分の歯ブラシがある」「デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃用器具を使用している」「かかりつけ歯科医院がある」「定期的に歯科健診を受けている」「フッ化物入り歯みがき剤を使用している」「歯の治療は早めに受けるようにしている」で女性の方が男性より高くなっている。



(全体:件数、表内:%)

	全体	自分の歯ブラシがある	デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃器具を使用している	かかりつけ歯科医院がある	定期的に歯科健診を受けている(年1回以上)	フッ化物入り歯みがき剤を使用している	義歯洗浄剤を使用している	歯の治療は早めに受けるようにしている	その他	特にな
全体	1,726	93.5	41.9	60.5	36.7	26.1	9.7	34.7	0.8	4.6
男性全体	776	90.6	32.1	51.8	26.4	21.9	11.5	26.8	0.6	7.2
20歳代	117	90.6	21.4	29.9	17.1	23.9	-	14.5	-	9.4
30歳代	139	89.9	30.9	30.2	16.5	20.9	0.7	11.5	0.7	7.9
40歳代	125	92.0	35.2	48.0	22.4	30.4	1.6	27.2	-	6.4
50歳代	112	95.5	41.1	55.4	35.7	20.5	6.3	28.6	0.9	4.5
60歳代	100	94.0	41.0	72.0	38.0	19.0	22.0	33.0	1.0	7.0
70歳代以上	179	85.5	27.9	72.6	31.3	18.4	31.8	42.5	1.1	6.7
65歳以上(再掲)	230	87.4	33.0	75.2	35.2	19.1	30.9	41.3	0.9	5.7
女性全体	906	96.0	50.9	68.4	45.5	29.7	8.1	41.6	0.9	2.2
20歳代	147	99.3	36.7	46.9	32.7	30.6	1.4	29.3	-	-
30歳代	159	96.9	46.5	63.5	49.1	35.2	0.6	35.2	2.5	1.3
40歳代	133	97.7	52.6	66.2	50.4	45.1	0.8	37.6	0.8	1.5
50歳代	144	93.8	64.6	69.4	46.5	21.5	2.8	42.4	-	4.9
60歳代	136	94.9	58.1	80.1	54.4	23.5	9.6	51.5	0.7	2.2
70歳代以上	181	94.5	49.2	82.3	42.5	24.9	27.6	52.5	1.1	3.3
65歳以上(再掲)	251	94.4	50.2	82.1	44.2	25.5	24.3	51.4	1.2	2.8

【平成24年調査との比較】

(%)

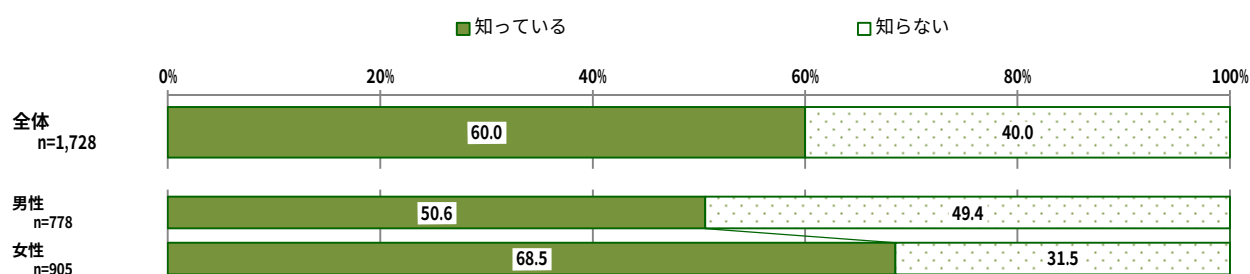
項 目	平成24年	平成29年
かかりつけ歯科医院のある人の割合	55.3	60.5
定期的に歯科健診を受けている人の割合	29.7	36.7
補助清掃用具を使用している人の割合	32.1	41.9

問 39 「8020（ハチマルニイマル）運動※」を知っていますか。

※8020（ハチマルニイマル）運動：80歳で20本以上自分の歯を保つ運動のことです。

「知っている」が60.0%、「知らない」が40.0%となっている。

性別にみると、「知っている」は、女性が男性よりも高く、女性では68.5%の人が知っているのに対し、男性では50.6%にとどまっている。

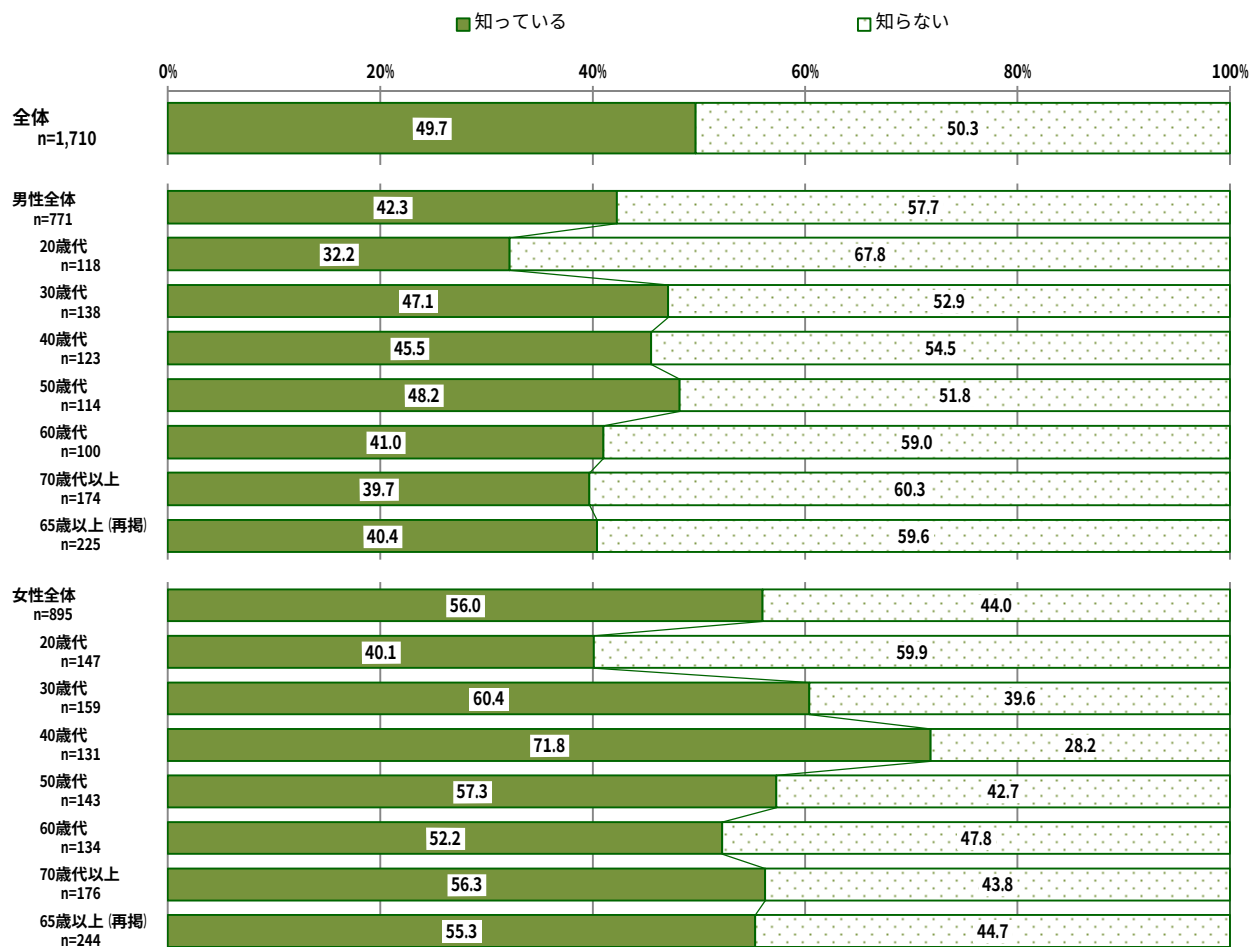


問 40 フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果は、乳歯だけでなく永久歯にも有効であることを知っていますか。

「知っている」は 49.7%、「知らない」は 50.3%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は、女性が男性よりも高くなっている。

性・年代別にみると、「知っている」の割合は、女性の 30～40 歳代で高く、「知らない」の割合は、男性の 20 歳代、70 歳代以上で高くなっている。



【平成 24 年調査との比較】

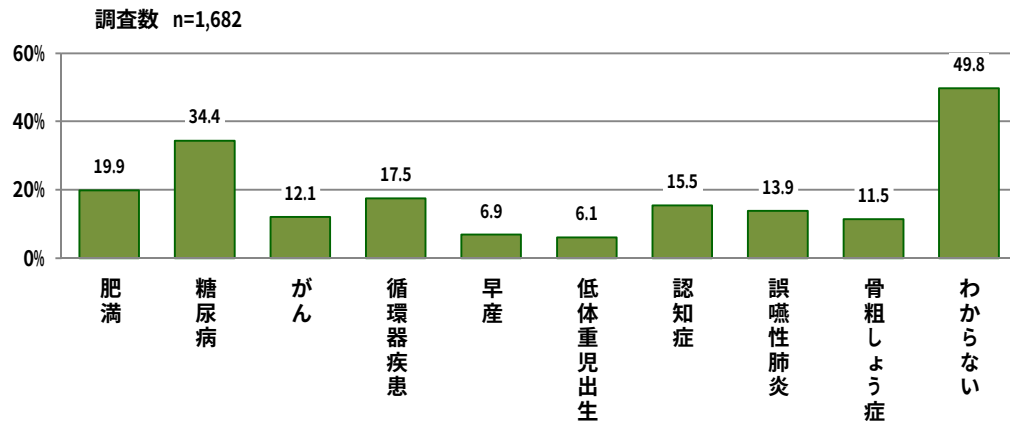
(%)

項 目	平成 24 年	平成 29 年
フッ化物の永久歯へのむし歯予防効果を知っている人の割合	46.9	49.7

問 41 歯周病と関連があるのは何だと思いますか。(複数回答)

「糖尿病」が 34.4%、次いで「肥満」「循環器疾患」「認知症」がそれぞれ 15～20%程度となっている。

性別にみると、「わからない」と答えた人の割合は、男性が女性よりも高くなっている。また、「糖尿病」「早産」「低体重児出生」「誤嚥性肺炎」と答えた人の割合は、女性が男性よりも高くなっている。

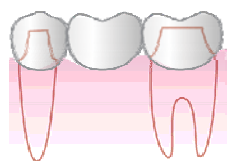


(全体:件数、表内:%)

	全体	肥満	糖尿病	がん	循環器疾患	早産	低体重児出生	認知症	誤嚥性肺炎	骨粗しょう症	わからない
全体	1,682	19.9	34.4	12.1	17.5	6.9	6.1	15.5	13.9	11.5	49.8
男性全体	759	16.6	27.7	12.1	15.8	3.7	3.3	12.8	8.7	9.9	59.3
20歳代	117	22.2	19.7	12.0	10.3	7.7	6.0	12.0	10.3	8.5	67.5
30歳代	135	18.5	24.4	8.1	11.9	5.2	3.7	8.1	7.4	7.4	60.0
40歳代	123	16.3	26.0	15.4	13.8	3.3	3.3	16.3	8.9	8.1	65.0
50歳代	113	23.0	31.9	17.7	22.1	4.4	3.5	22.1	8.8	13.3	46.9
60歳代	99	11.1	38.4	13.1	21.2	2.0	4.0	15.2	16.2	12.1	51.5
70歳代以上	168	10.7	28.0	8.9	16.7	0.6	0.6	7.1	4.2	10.1	61.3
65歳以上(再掲)	219	10.0	30.1	9.1	17.4	0.5	0.9	8.2	6.8	10.5	60.3
女性全体	881	22.7	40.2	12.1	19.2	9.8	8.6	17.8	18.3	12.9	41.5
20歳代	147	29.3	37.4	12.2	11.6	16.3	15.0	15.0	17.0	16.3	42.2
30歳代	157	26.1	37.6	11.5	15.9	19.1	14.6	12.1	14.0	8.9	44.6
40歳代	132	21.2	38.6	13.6	17.4	11.4	8.3	16.7	20.5	12.1	41.7
50歳代	141	19.1	39.7	11.3	19.1	3.5	4.3	17.0	24.1	9.9	43.3
60歳代	132	25.0	43.2	12.9	33.3	4.5	6.1	27.3	23.5	15.2	35.6
70歳代以上	166	15.7	43.4	12.0	19.9	3.0	3.6	19.9	12.7	15.1	41.0
65歳以上(再掲)	232	17.7	44.8	12.9	24.1	3.4	4.7	21.6	16.4	14.7	38.4

問 42 自分の歯は何本ありますか。（親しらず、入れ歯、ブリッジ※、インプラント※は含みません。差し歯は含みます。親しらずを除くと全部で28本が正常ですが、数本の増減が見られることもあります。）※算用数字で記入

※ブリッジ：抜けた歯の両隣にある自分の歯を支えにして固定した入れ歯



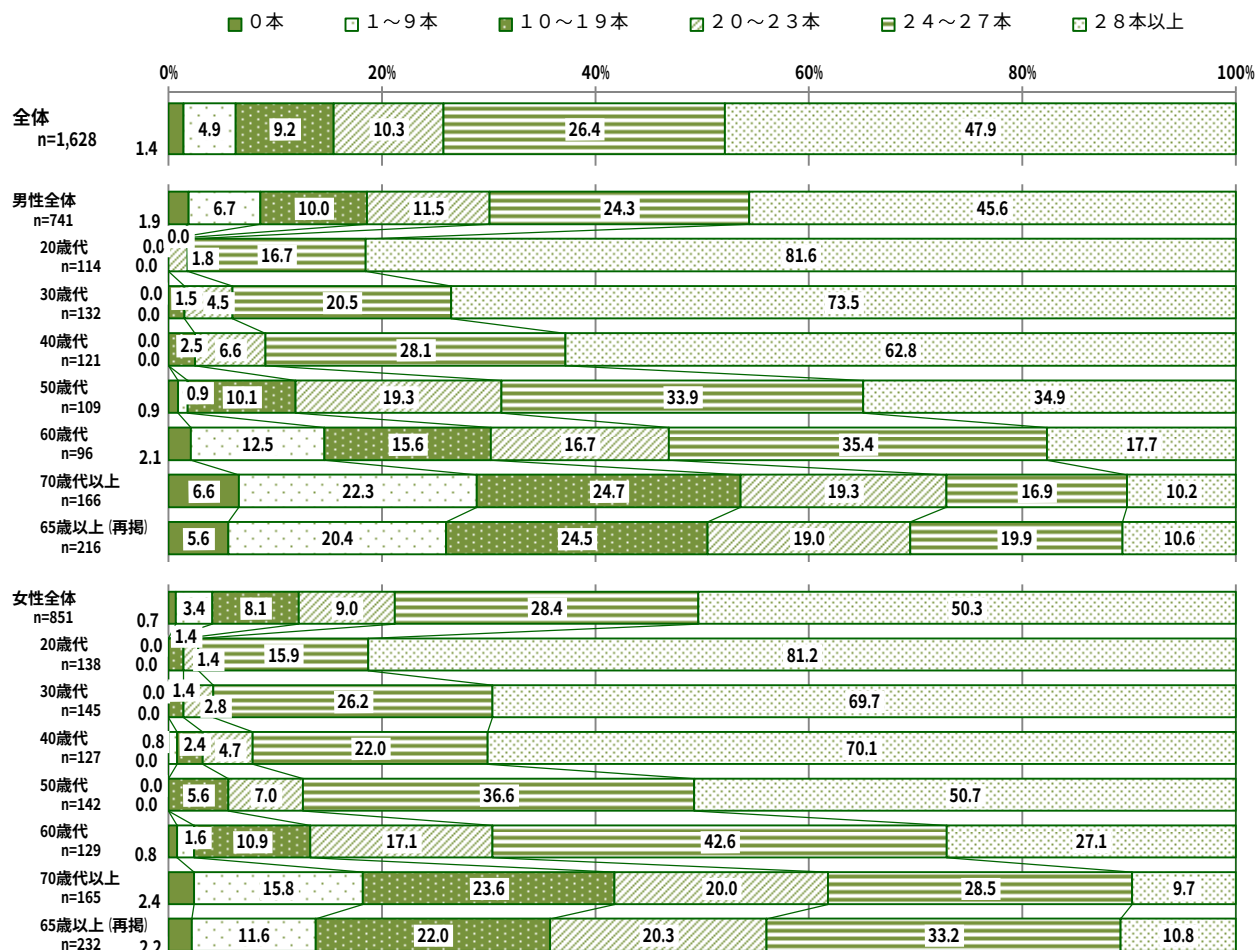
※インプラント：顎の骨に人工歯・人工歯根を埋め込んだ入れ歯

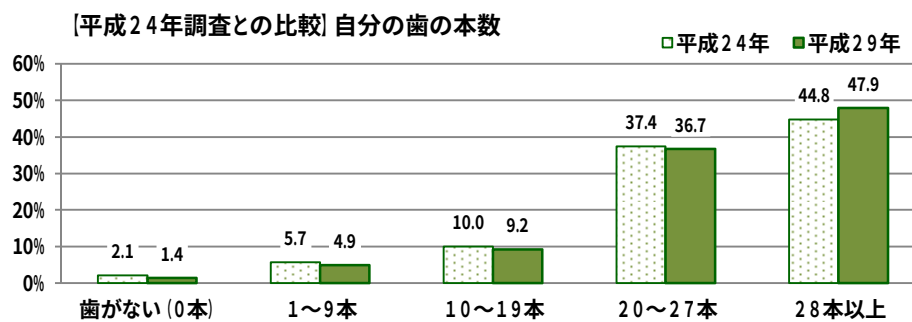


「28本以上」が47.9%、次いで「24～27本」が26.4%となっているが、「0本」も1.4%みられる。平均本数は24.2本となっている。

性別にみると、女性より男性に歯の本数が少ない人が多くみられる。

性・年代別にみると、年代が高くなるにつれ、歯の本数が減少する傾向がみられる。





【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
60歳（55～64歳）で24本以上自分の歯がある人の割合	64.0	73.1
80歳（75～84歳）で20本以上自分の歯がある人の割合	42.5	46.1

【参考：愛知県調査との比較】

(%)

項 目	愛知県	安城市
80歳（75～84歳）で20本以上自分の歯がある人の割合	49.8	46.1

愛知県：健康日本21あいち新計画中間評価報告書（平成28年愛知県生活習慣関連調査）

＜歯の健康づくり得点※＞

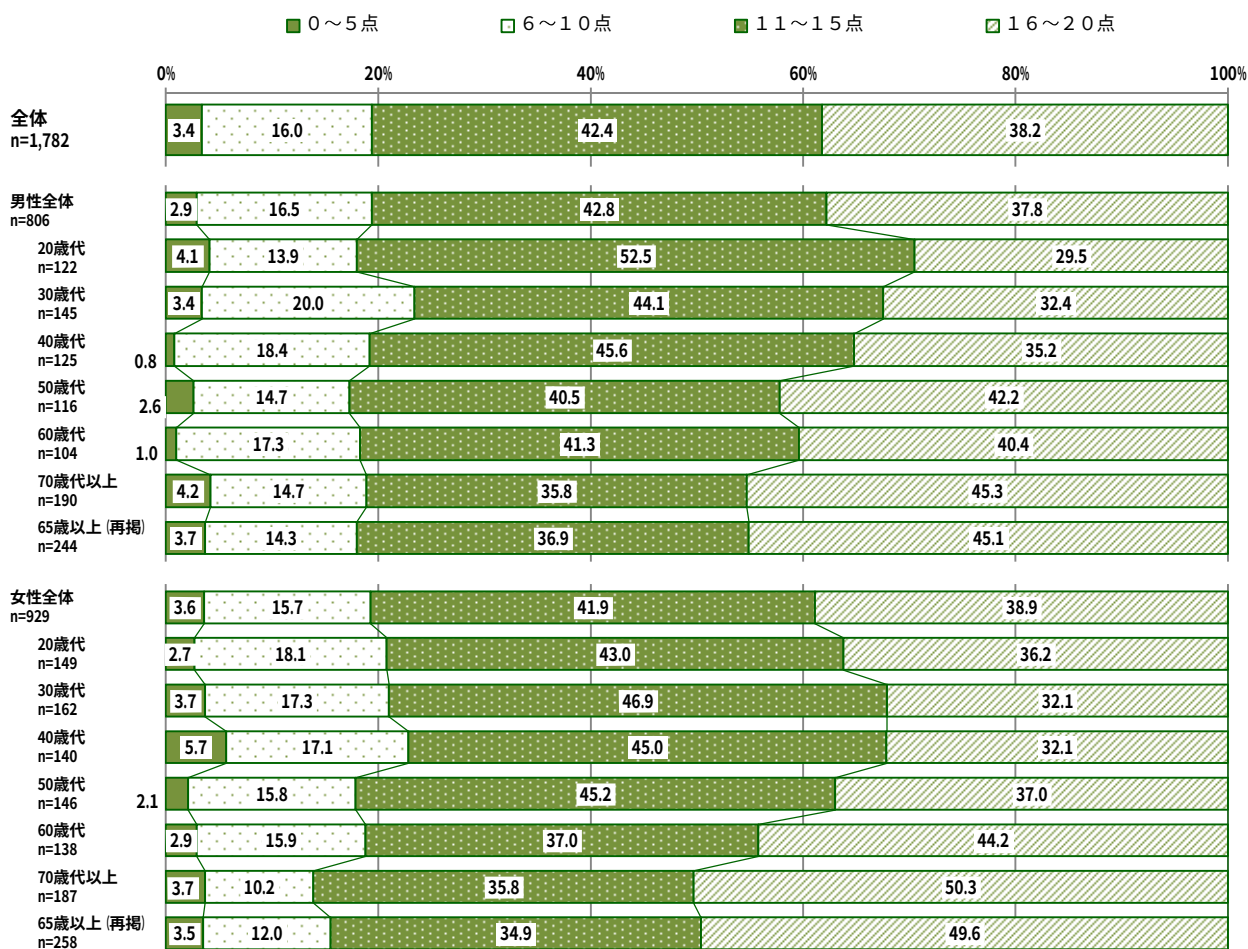
※歯の健康づくり得点：

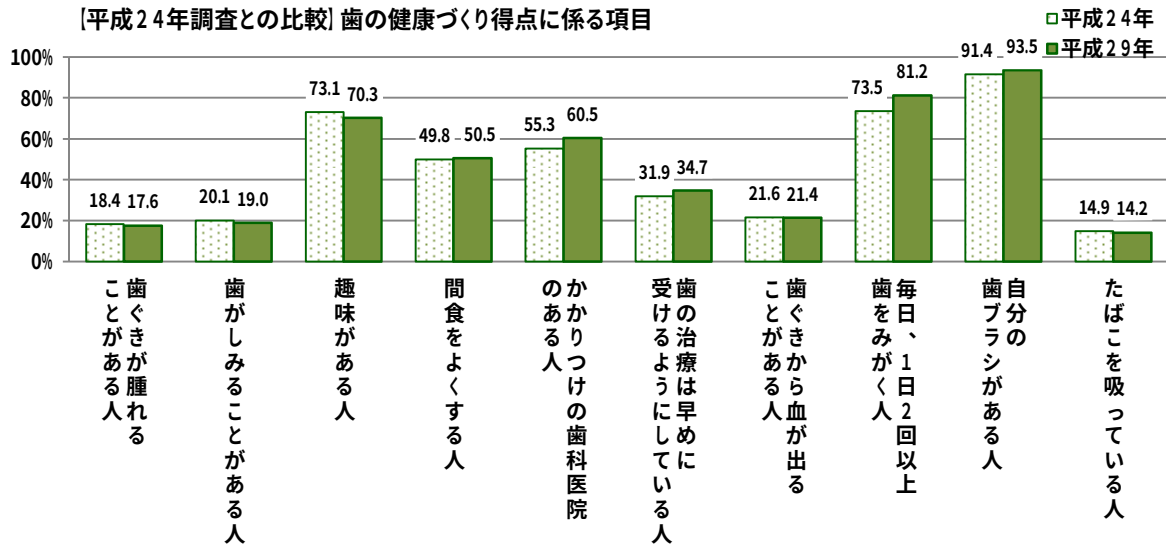
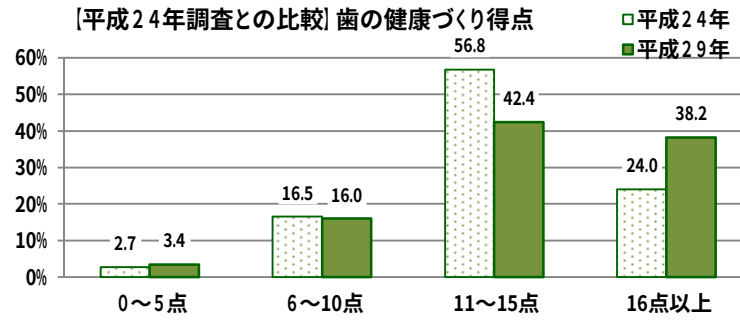
歯の健康を保つために良い生活をしているか、10問の設問で点数化したものです。20点満点で16点以上あると、8020を達成できる可能性が高くなります。

【歯の健康づくり得点のアンケート項目と点数】

項 目	はい	いいえ
歯ぐきが腫れることがありますか	0点	4点
歯がしみることがありますか	0点	3点
間食をよくしますか	0点	3点
趣味がありますか	3点	0点
かかりつけの歯医者さんはいますか	2点	0点
歯の治療は早めに受けるようにしていますか	1点	0点
歯ぐきから血が出ることがありますか	0点	1点
歯磨きを1日2回以上していますか	1点	0点
自分の歯ブラシがありますか	1点	0点
たばこを吸いますか	0点	1点

「11～15点」が42.4%と最も多く、歯の健康にとってよい生活をしているとされる16点以上の人は38.2%となっている。



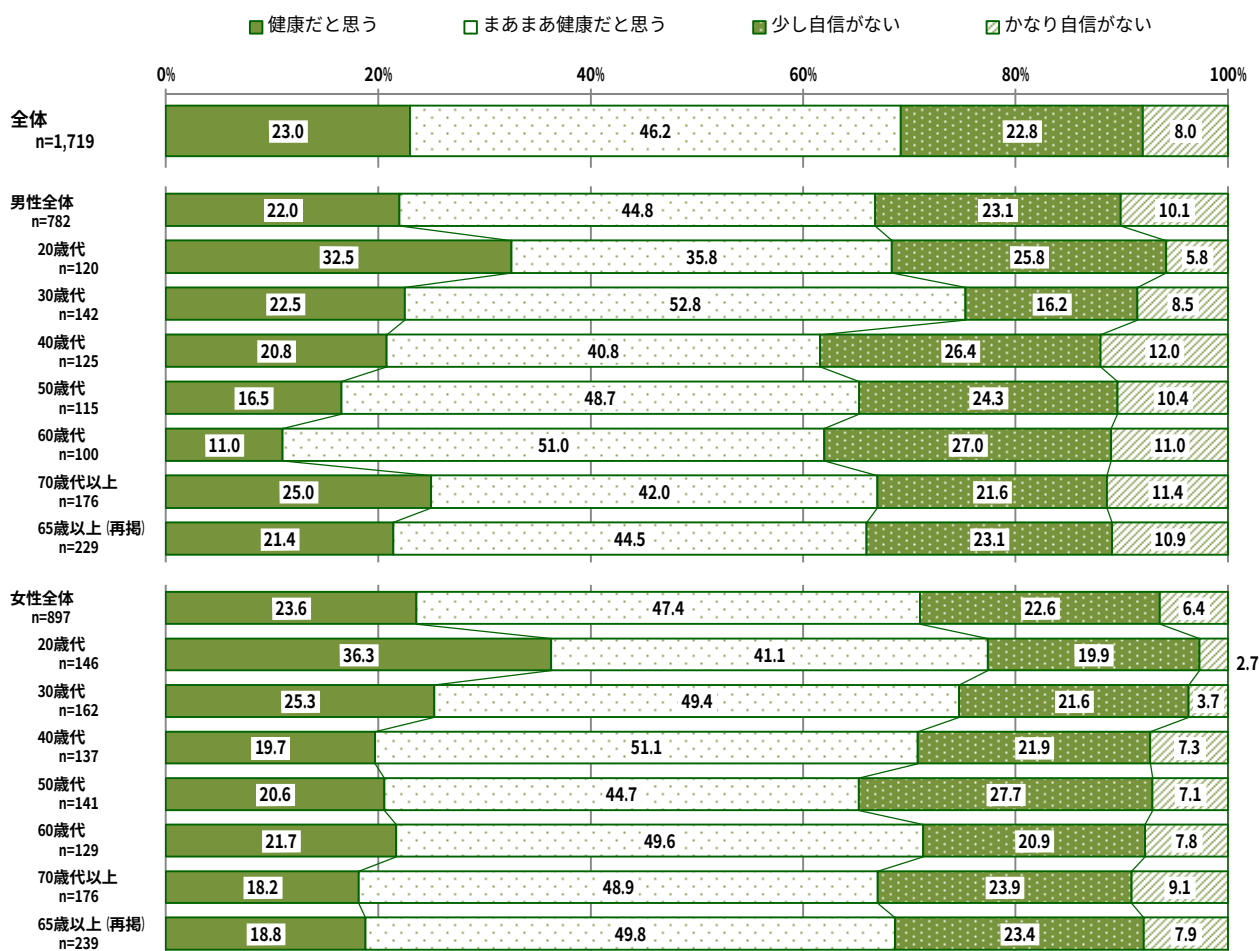


8 生活習慣病について

問 43 自分は健康だと思いますか。

「健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」を合わせた“健康だと思う”人は 69.2%となっている。一方、「少し自信がない」「かなり自信がない」を合わせた“自信がない”人は 30.8%となっている。

性・年代別にみると、「健康だと思う」は、男女とも 20 歳代が高く、30%を超えている。



【平成 24 年調査との比較】 (%)

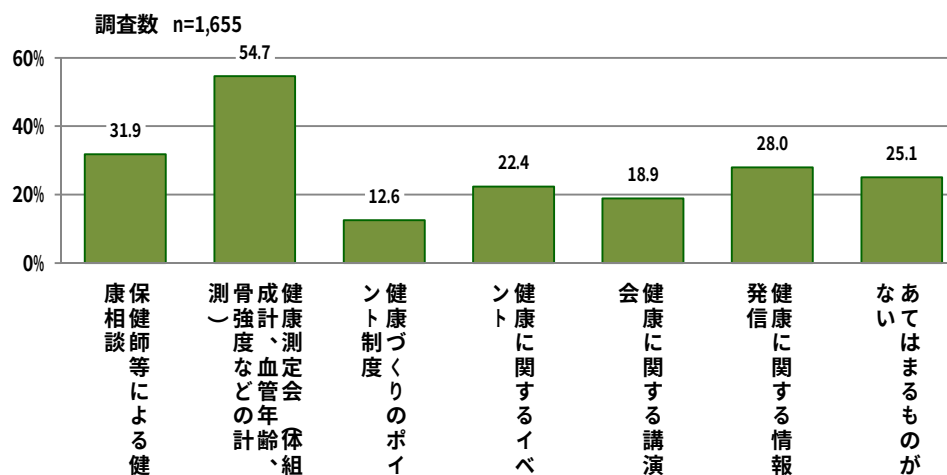
項 目	平成24年	平成29年
“健康だと思う”人の割合	70.7	69.2

※「健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」の割合

問 44 自分の健康管理のために次のことは役立つと思いますか。（複数回答）

「健康測定会」が54.7%、「保健師等による健康相談」は31.9%となっている。

性別でみると、「健康測定会」「健康に関するイベント」「健康に関する講演会」「健康に関する情報発信」は、女性が男性よりも高くなっている。

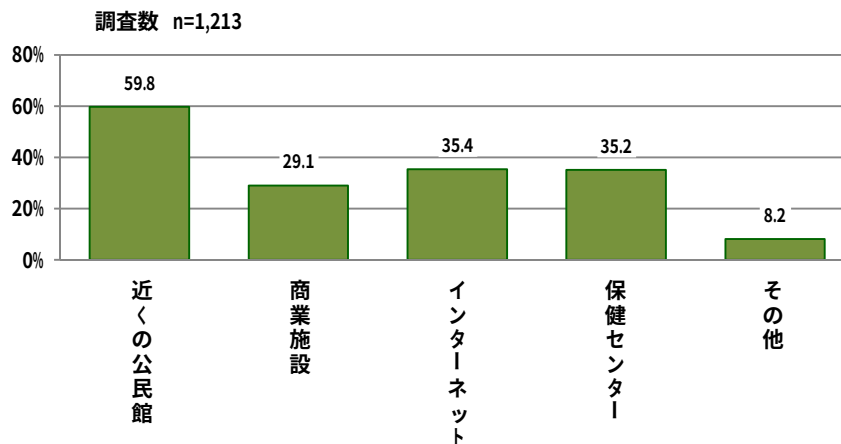


(全体:件数、表内:%)

	全体	保健師等による健康相談	健康測定会（骨密度、年齢、体組成などの計測）	健康づくりのポイント制度	健康に関するイベント	健康に関する講演会	健康に関する情報発信	あてはまるものがない
全体	1,655	31.9	54.7	12.6	22.4	18.9	28.0	25.1
男性全体	756	33.7	47.1	12.7	18.7	15.5	23.0	28.8
20歳代	120	31.7	51.7	15.0	20.8	15.0	20.8	26.7
30歳代	142	27.5	47.9	7.0	9.2	2.1	16.9	32.4
40歳代	125	37.6	48.0	13.6	22.4	11.2	25.6	25.6
50歳代	114	29.8	45.6	12.3	17.5	15.8	29.8	27.2
60歳代	98	44.9	45.9	12.2	19.4	16.3	26.5	26.5
70歳代以上	154	34.4	44.2	16.2	22.7	30.5	21.4	32.5
65歳以上(再掲)	206	37.4	45.1	15.0	22.3	28.6	23.8	31.1
女性全体	863	30.5	61.2	12.4	25.5	21.9	32.6	22.0
20歳代	145	33.8	57.2	11.0	27.6	15.9	27.6	26.2
30歳代	160	25.0	58.1	13.1	27.5	8.1	27.5	29.4
40歳代	138	22.5	59.4	8.0	19.6	23.2	33.3	21.7
50歳代	137	31.4	64.2	13.1	21.9	23.4	38.7	19.0
60歳代	125	36.0	65.6	11.2	27.2	24.0	39.2	18.4
70歳代以上	153	35.9	62.1	17.6	28.1	37.9	32.0	17.0
65歳以上(再掲)	214	36.4	63.6	15.0	28.5	34.6	34.1	16.4

問 44-1 それはどんな場所で受けられるとよいですか。（複数回答）

「近くの公民館」が59.8%、次いで「インターネット」35.4%、「保健センター」35.2%となっている。



(全体:件数, 表内:%)

	全体	近くの公民館	商業施設	インターネット	保健センター	その他
全体	1,213	59.8	29.1	35.4	35.2	8.2
男性全体	522	55.4	25.9	38.7	34.9	10.0
20歳代	88	47.7	29.5	58.0	27.3	9.1
30歳代	95	49.5	31.6	41.1	25.3	9.5
40歳代	92	55.4	40.2	44.6	29.3	14.1
50歳代	82	50.0	25.6	42.7	39.0	7.3
60歳代	71	57.7	14.1	25.4	40.8	12.7
70歳代以上	92	71.7	12.0	19.6	50.0	6.5
65歳以上(再掲)	129	70.5	12.4	19.4	48.1	7.0
女性全体	664	63.4	31.3	33.1	35.4	6.5
20歳代	107	46.7	28.0	57.0	35.5	7.5
30歳代	113	69.9	48.7	38.9	41.6	3.5
40歳代	108	54.6	41.7	45.4	28.7	1.9
50歳代	111	60.4	34.2	40.5	35.1	4.5
60歳代	100	70.0	19.0	16.0	44.0	8.0
70歳代以上	120	76.7	15.0	3.3	30.0	12.5
65歳以上(再掲)	172	75.0	14.5	5.8	36.6	10.5

役立つ項目別にみると、「保健師等による健康相談」「健康測定会」「健康に関するイベント」「健康に関する講演会」では「近くの公民館」が最も多く、次いで「保健センター」となっている。

(健康管理に役立つ項目別) (全体:件数, 表内:%)

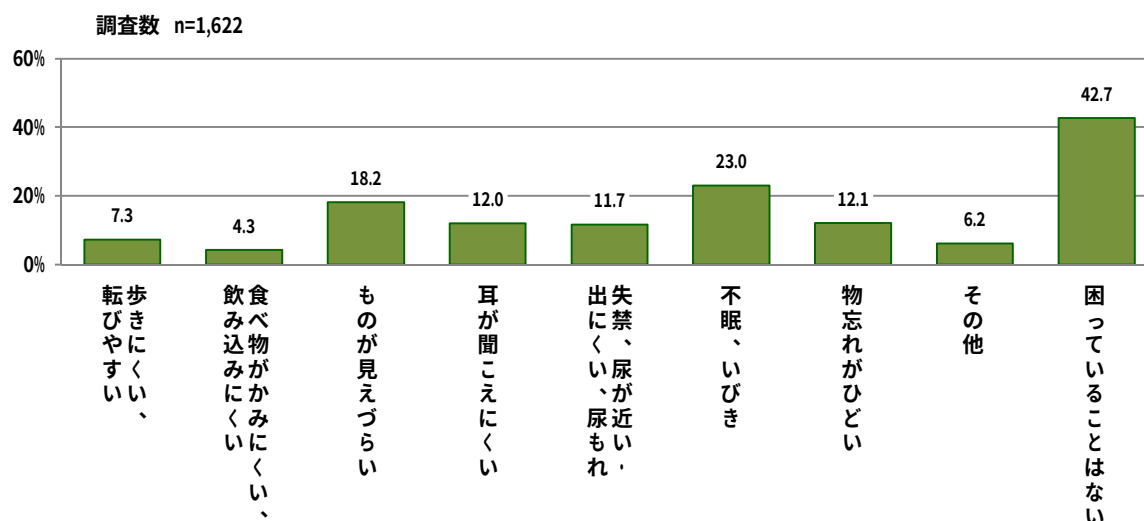
	全体	近くの公民館	商業施設	インターネット	保健センター	その他
保健師等による健康相談	521	68.5	27.8	38.6	43.4	8.4
健康測定会(体組成計、血管年齢、骨強度などの計測)	889	63.7	32.3	32.3	38.7	8.2
健康づくりのポイント制度	201	66.2	40.3	51.2	43.3	6.0
健康に関するイベント	367	75.5	38.1	40.6	44.4	8.2
健康に関する講演会	310	76.1	29.0	33.5	45.8	8.7
健康に関する情報発信	460	58.5	31.5	55.4	37.2	7.0
あてはまるものがない	1	100.0	-	-	100.0	-

問 45 日常生活において体のことで困っていることがありますか。（複数回答）

「困っていないことがない」が 42.7%を占め、困っていることでは、「不眠、いびき」が 23.0%、「ものが見えづらい」が 18.2%となっている。

性・年代別にみると、困っていることがある人※は、65 歳以上で 70%台となっている。

※困っていることがある人の割合は、100%から困っていない人の割合を差し引いた値



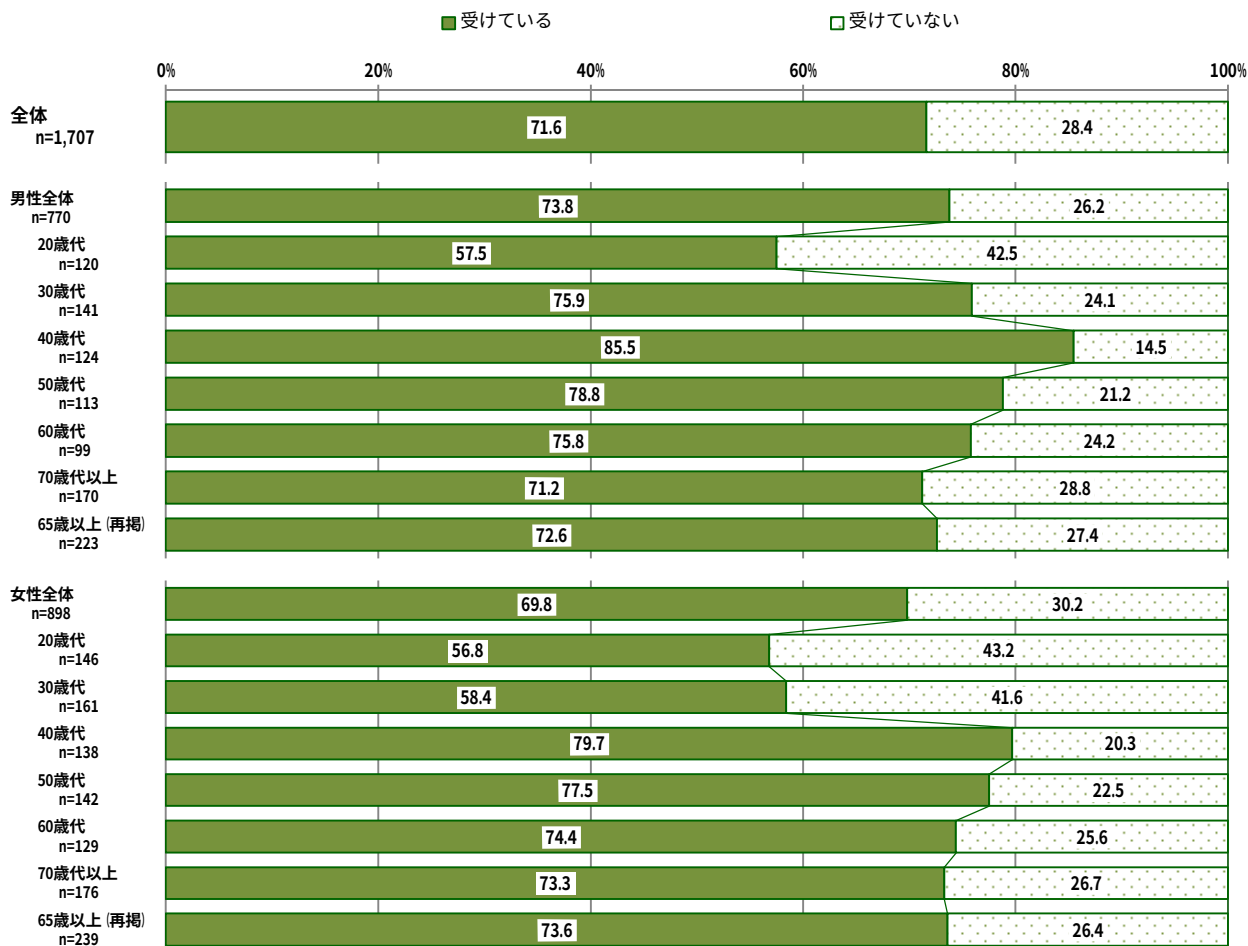
(全体:件数、表内:%)

	全体	歩きやすい、 転びやすい	食、飲み込みが かみにくい	ものが見え づらい	耳が聞こえ にくい	失禁、尿が 近い、尿もれ、 出にくい	不眠、いびき	物忘れが ひどい	その他	困っている ことはない
全体	1,622	7.3	4.3	18.2	12.0	11.7	23.0	12.1	6.2	42.7
男性全体	744	6.3	5.5	19.4	12.4	13.4	26.9	12.2	6.2	39.8
20歳代	115	3.5	2.6	10.4	7.0	3.5	22.6	7.8	3.5	58.3
30歳代	134	-	0.7	3.7	3.0	3.7	39.6	9.0	3.7	49.3
40歳代	124	3.2	4.0	20.2	5.6	7.3	28.2	14.5	9.7	40.3
50歳代	107	3.7	2.8	32.7	13.1	13.1	29.9	12.1	6.5	33.6
60歳代	92	6.5	9.8	39.1	15.2	22.8	16.3	12.0	4.3	32.6
70歳代以上	168	16.1	11.3	17.3	25.6	26.8	23.2	14.3	8.3	28.0
65歳以上(再掲)	215	14.0	11.6	21.9	23.3	27.0	21.4	14.4	7.4	28.4
女性全体	840	8.3	3.1	17.5	11.2	9.9	19.4	11.8	6.2	45.7
20歳代	140	3.6	2.1	5.7	5.0	2.9	15.0	7.9	7.1	64.3
30歳代	153	1.3	0.7	5.2	3.9	7.2	19.0	14.4	6.5	57.5
40歳代	130	0.8	0.8	14.6	5.4	5.4	14.6	6.9	6.2	61.5
50歳代	136	4.4	0.7	29.4	8.1	8.8	22.8	8.8	6.6	36.8
60歳代	120	8.3	4.2	24.2	10.8	10.8	21.7	11.7	6.7	39.2
70歳代以上	156	28.2	9.6	26.3	32.1	23.1	22.4	19.2	4.5	17.9
65歳以上(再掲)	214	22.4	8.4	27.1	26.6	18.2	22.0	16.8	4.2	24.8

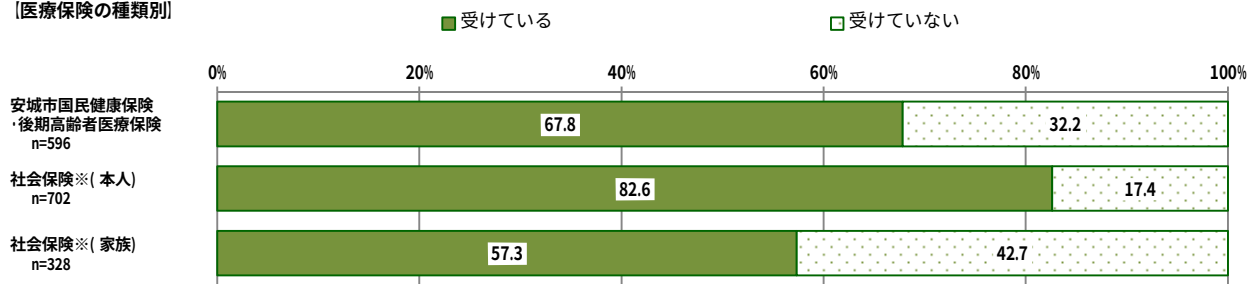
問 46 年1回程度の人間ドックや健康診断を受けていますか。

「受けている」は71.6%、「受けていない」は28.4%となっている。

性・年代別にみると、「受けている」の割合は、男女ともに40歳代が高く、男性の20歳代、女性の20～30歳代で低くなっている。



【医療保険の種類別】



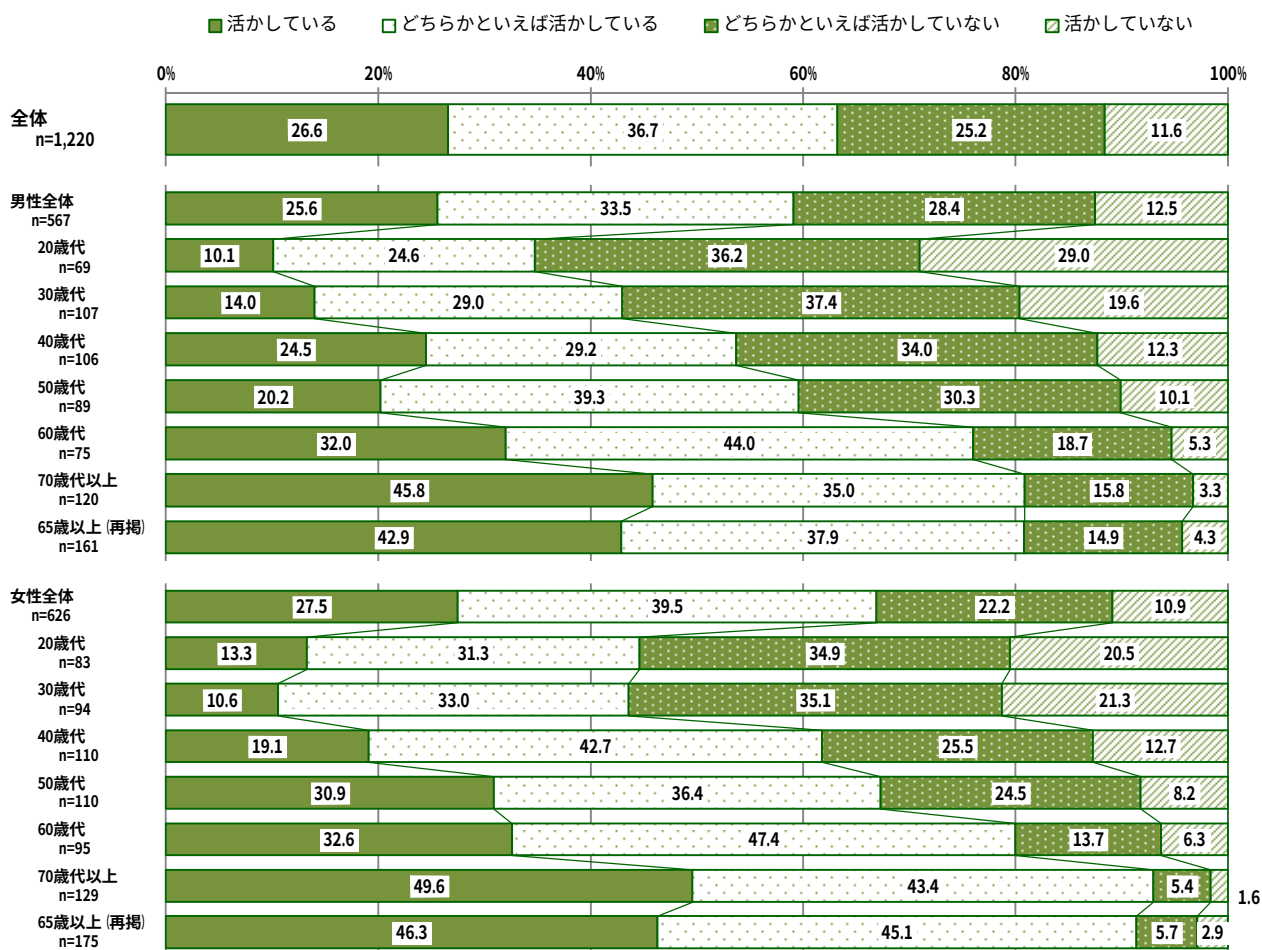
【平成24年調査との比較】

項 目	平成24年	平成29年
健康診断を受けている人の割合	69.6	71.6
安城市国民健康保険・後期高齢者医療保険で健診を受けている人の割合	65.1	67.8
社会保険（本人）で健診を受けている人の割合	84.4	82.6
社会保険（家族）で健診を受けている人の割合	54.8	57.3

問 46-1 健診結果をその後の健康づくりに活かしていますか。

「どちらかといえば活かしている」が 36.7%、「活かしている」と合わせると 63.3%になっている。

年代別にみると、「活かしている」の割合は、70 歳代以上で高く、20～30 歳代で低くなっている。



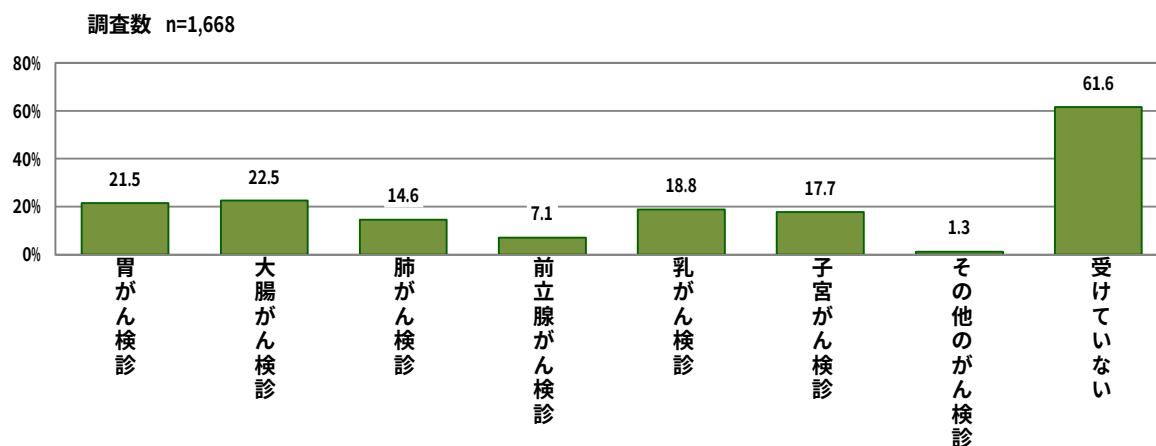
問 47 年1回程度のがん検診を受けていますか。

【がん検診を受けていると答えた方は、この質問にご回答ください。】

問 47-1 どのがん検診を受けていますか。(複数回答)

「受けていない」が61.6%となっている。

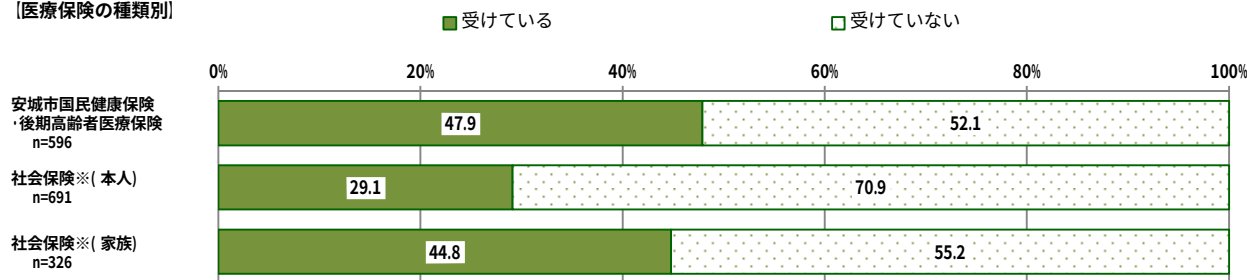
性別にみると、「受けていない」の割合は、男性が女性よりも高くなっている。男女ともに受診できる「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」は女性が男性よりも高くなっている。



(全体:件数, 表内:%)

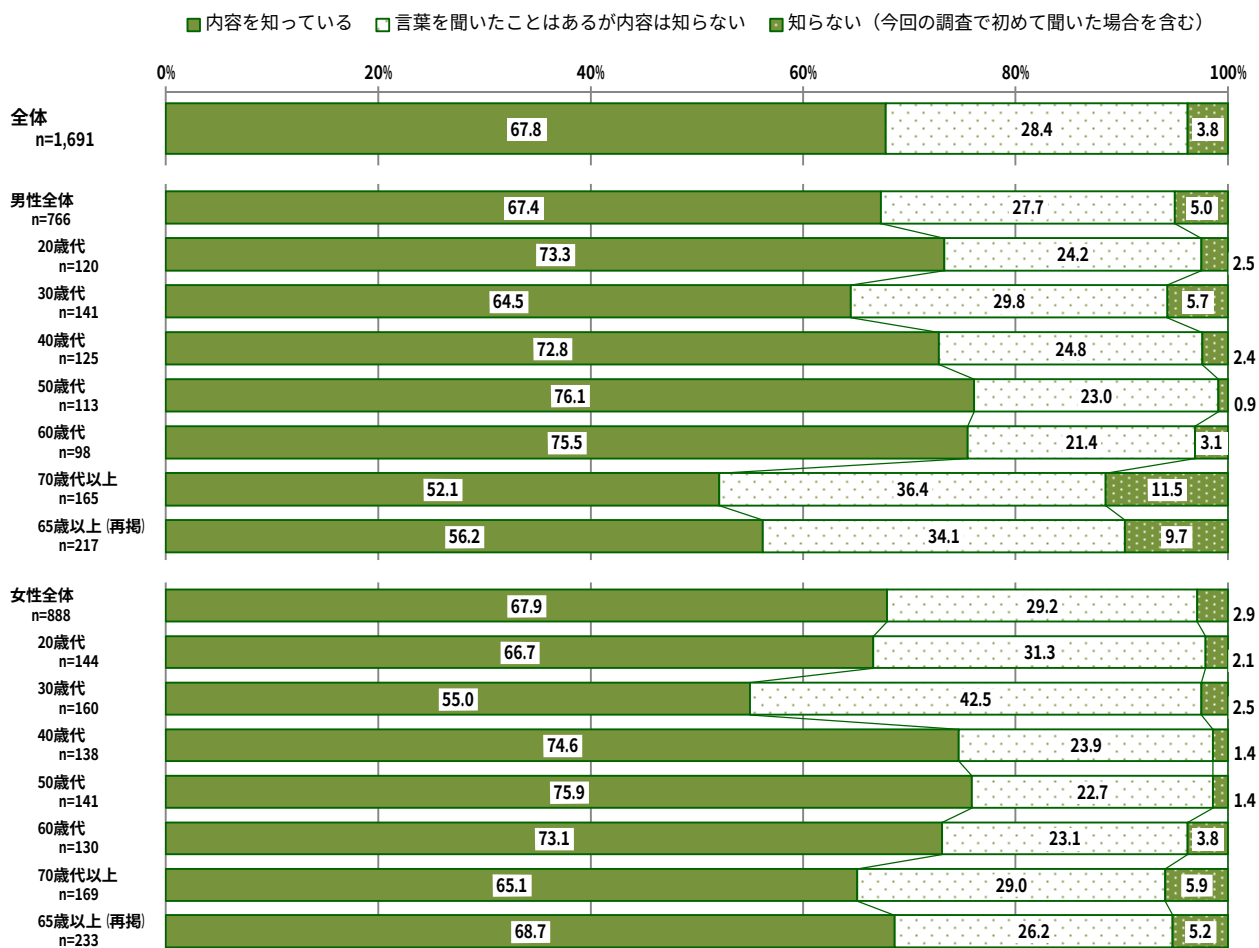
	全体	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	前立腺がん検診	乳がん検診	子宮がん検診	その他のがん検診	受けていない
全体	1,668	21.5	22.5	14.6	7.1	18.8	17.7	1.3	61.6
男性全体	752	18.9	19.9	13.4	15.6	-	-	1.1	71.1
20歳代	116	0.9	-	-	-	-	-	-	99.1
30歳代	139	3.6	2.2	1.4	0.7	-	-	-	95.0
40歳代	120	14.2	14.2	6.7	6.7	-	-	-	75.8
50歳代	111	25.2	25.2	12.6	12.6	-	-	0.9	63.1
60歳代	98	34.7	40.8	24.5	28.6	-	-	3.1	49.0
70歳代以上	164	34.1	37.2	32.3	39.6	-	-	2.4	46.3
65歳以上(再掲)	216	35.6	38.4	31.5	39.4	-	-	2.8	46.8
女性全体	877	23.6	24.6	15.4	0.1	35.1	33.0	1.5	53.1
20歳代	140	0.7	0.7	1.4	-	4.3	11.4	1.4	87.1
30歳代	159	6.3	8.8	0.6	-	24.5	36.5	2.5	57.2
40歳代	135	28.1	28.9	14.1	-	55.6	57.0	1.5	37.8
50歳代	141	39.0	36.9	18.4	-	55.3	41.8	0.7	38.3
60歳代	126	34.9	34.1	27.8	-	40.5	32.5	2.4	46.0
70歳代以上	172	33.7	38.4	30.2	0.6	33.1	20.9	0.6	51.2
65歳以上(再掲)	235	34.5	37.4	30.6	0.4	35.3	22.6	0.9	50.2

[医療保険の種類別]



問 48 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」とは、どういう内容のことか知っていますか。

「内容を知っている」が 67.8%を占め、これに「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」を合わせると 96.2%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

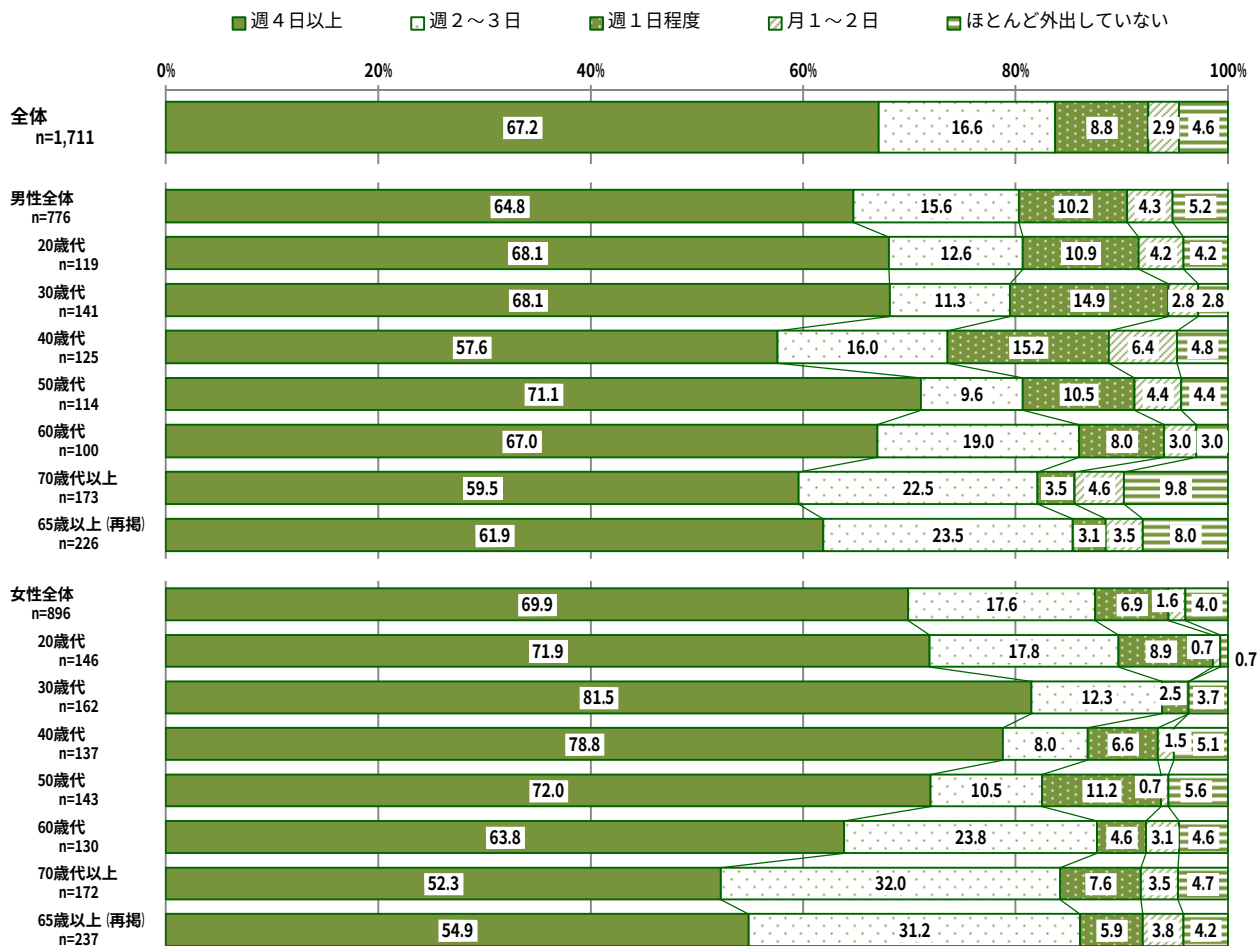
項 目	平成24年	平成29年
メタボリックシンドロームの内容を知っている人の割合	67.7	67.8

9 社会参加・社会環境について

問 49 外出する頻度はどのくらいですか。

「週4日以上」が67.2%、次いで「週2～3日」が16.6%となっている。

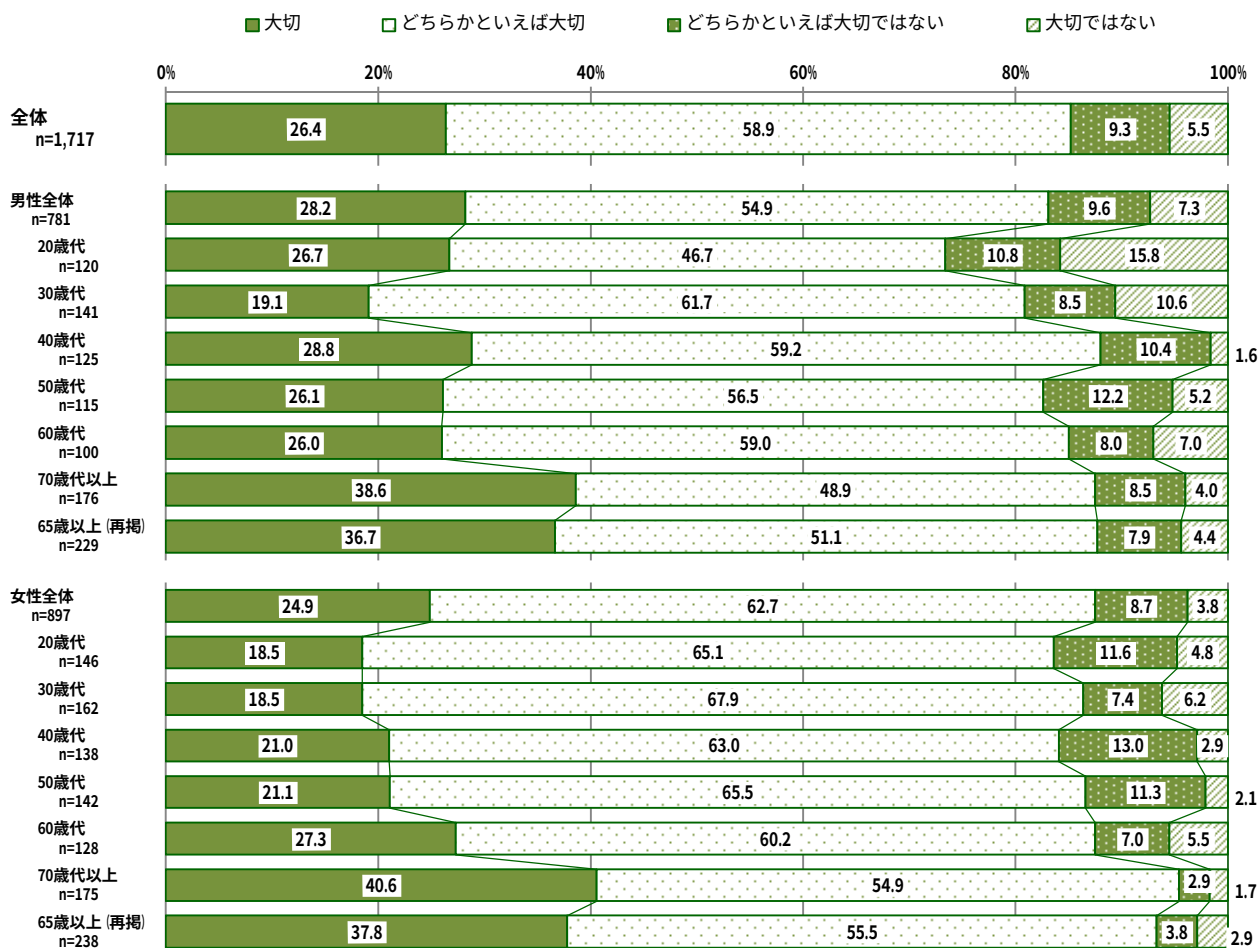
性・年代別にみると、「週4日以上」の人の割合は女性の30～40歳代で高くなっている。「ほとんど外出していない」の割合が、男性の70歳代以上で高くなっている。



問 50 地域の活動に参加することが大切だと思いますか。

「どちらかといえば大切」が 58.9%、「大切」と合わせると 85.3%となっている。

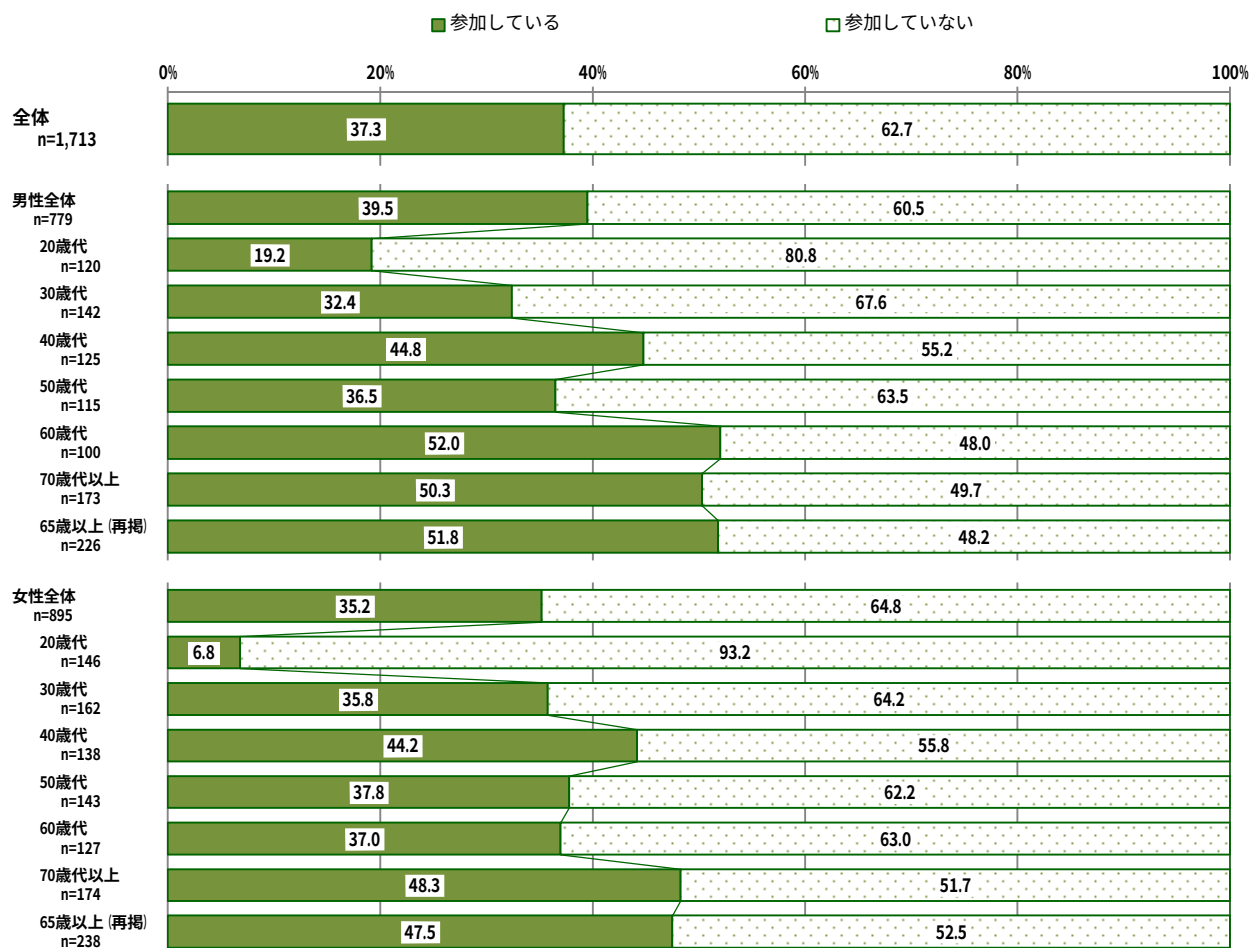
性・年代別にみると、地域の活動への参加を「大切」と考えている人の割合は、男女とも 70 歳代以上で高くなっている。一方「大切ではない」は、男性の 20～30 歳代で高くなっている。



問 51 地域の活動に参加していますか。（複数回答）

「参加している」が 37.3%、「参加していない」が 62.7%となっている。

性・年代別にみると、「参加している」の割合は、男性では 60 歳代、男女とも 70 歳代以上が高く、男女とも 20 歳代で低くなっている。

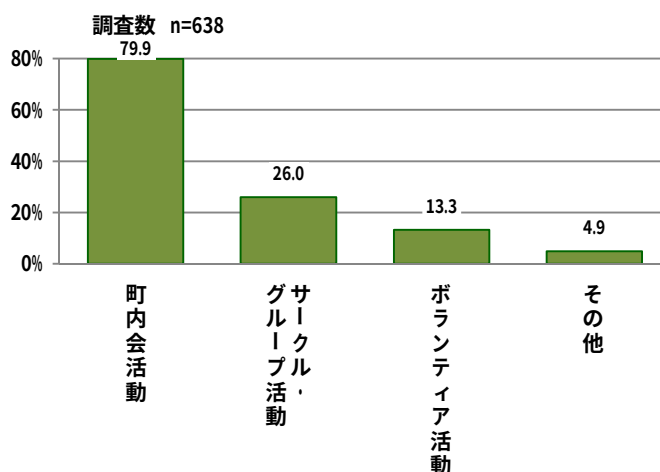


【地域活動に参加されている方は、この質問にご回答ください。】

問 51-1 どのような活動に参加していますか。

「町内会活動」が 79.9%、次いで「サークル・グループ活動」が 26.0%、「ボランティア活動」が 13.3%となっている。

性・年代別にみると、「サークル・グループ活動」の割合は、男女とも 70 歳代以上で高くなっている。



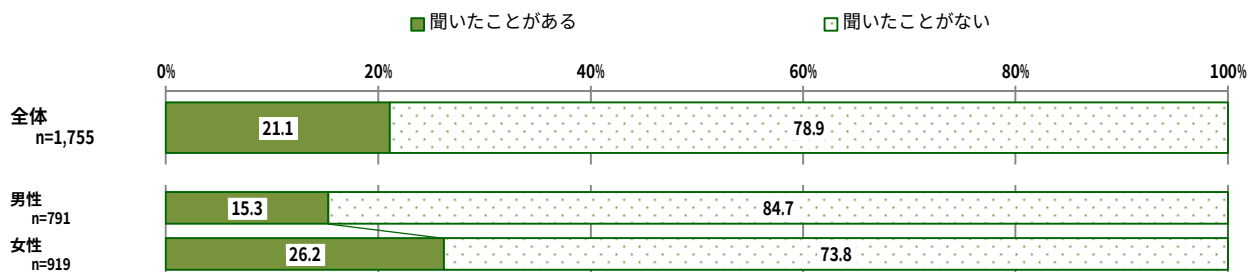
(全体：件数、表内：%)

	全体	町内会活動	サークル・グループ活動	ボランティア活動	その他
全体	638	79.9	26.0	13.3	4.9
男性全体	308	83.8	21.1	15.3	5.5
20歳代	23	65.2	30.4	21.7	8.7
30歳代	46	82.6	4.3	8.7	6.5
40歳代	56	94.6	5.4	14.3	7.1
50歳代	42	90.5	11.9	11.9	-
60歳代	52	84.6	15.4	15.4	7.7
70歳代以上	87	78.2	44.8	18.4	4.6
65歳以上(再掲)	117	80.3	37.6	18.8	4.3
女性全体	314	76.4	30.6	11.5	4.5
20歳代	10	80.0	30.0	-	10.0
30歳代	58	91.4	8.6	3.4	8.6
40歳代	61	85.2	24.6	8.2	6.6
50歳代	53	62.3	28.3	22.6	-
60歳代	47	66.0	31.9	8.5	4.3
70歳代以上	84	73.8	50.0	15.5	2.4
65歳以上(再掲)	113	69.9	47.8	14.2	2.7

10 健康日本21安城計画について

問 52 「健康日本 21 安城計画」を聞いたことがありますか。

「聞いたことがない」が 78.9%を占め、「聞いたことがある」は 21.1%となっている。

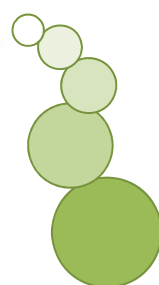
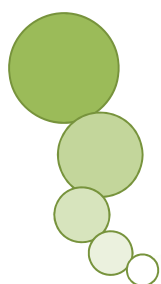


【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
健康日本 21 安城計画を聞いたことがある人の割合	17.0	21.1

Ⅲ調査の結果 ＜未成年編＞



III 調査の結果＜未成年編＞

1 あなた自身について

問1 性別はどちらですか。

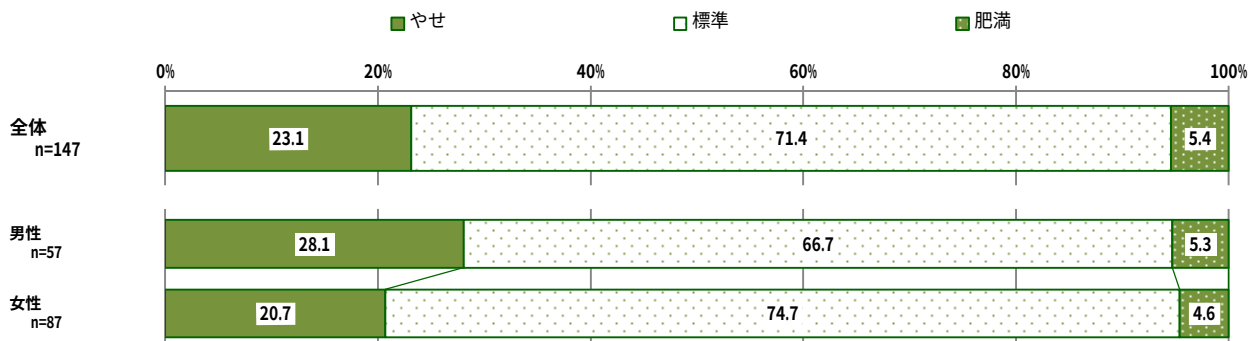
(上段件数、下段%)		
全体	男性	女性
146	58	88
100.0	39.7	60.3

問2 お住まいの地区の小学校区をお答えください。分からない場合は、封筒の宛名シールで小学校区をご確認ください。あわせて、お住いの町名をお答えください。

(上段件数、下段%)																						
	全体	安城中 部小学 校	安城南 部小学 校	安城西 部小学 校	安城東 部小学 校	安城北 部小学 校	錦町小 学校	高棚小 学校	明和小 学校	志貴小 学校	桜井小 学校	作野小 学校	祥南小 学校	丈山小 学校	二本木 小学 校	里町小 学校	桜町小 学校	桜林小 学校	新田小 学校	今池小 学校	三河安 城小学 校	梨の里 小学 校
全体	148 100.0	8 5.4	12 8.1	7 4.7	8 5.4	5 3.4	10 6.8	5 3.4	5 3.4	3 2.0	8 5.4	9 6.1	1 0.7	7 4.7	14 9.5	7 4.7	5 3.4	7 4.7	4 2.7	5 3.4	13 8.8	5 3.4
男性	58 100.0	4 6.9	4 6.9	3 5.2	4 6.9	1 1.7	2 3.4	2 3.4	3 5.2	2 3.4	3 5.2	2 3.4	- -	4 6.9	6 10.3	1 1.7	4 6.9	3 5.2	1 1.7	2 3.4	6 10.3	1 1.7
女性	88 100.0	4 4.5	8 9.1	4 4.5	4 4.5	4 4.5	8 9.1	3 3.4	2 2.3	1 1.1	4 4.5	7 8.0	1 1.1	3 3.4	7 8.0	6 6.8	1 1.1	4 4.5	3 3.4	3 3.4	7 8.0	4 4.5

問3 身長および体重を教えてください。＊算用数字で記入
＜肥満度：BMI判定＞

「標準」が71.4%、「やせ」の人が23.1%、「肥満」の人が5.4%となっている。



問4 同居している方を教えてください。(複数回答)

	全 体	父	母	兄	姉	弟	妹	祖 父	祖 母	(上段件数、下段%)	
										そ の 他 の 人	一 人 暮 ら し
全体	149 100.0	132 88.6	146 98.0	34 22.8	30 20.1	44 29.5	48 32.2	30 20.1	38 25.5	5 3.4	- -
男性	58 100.0	52 89.7	57 98.3	14 24.1	16 27.6	13 22.4	19 32.8	12 20.7	12 20.7	2 3.4	- -
女性	88 100.0	78 88.6	86 97.7	20 22.7	14 15.9	28 31.8	28 31.8	18 20.5	26 29.5	3 3.4	- -

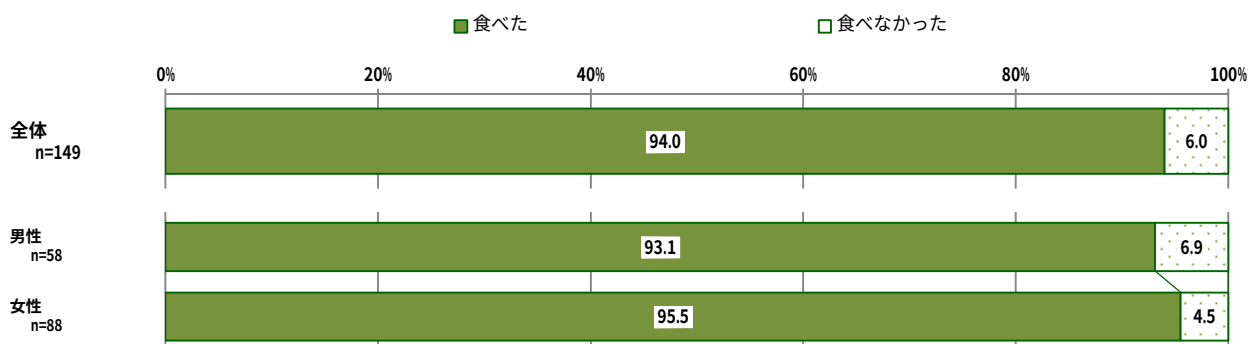
問5 あなたの現在を教えてください。

	全 体	学 生	(上段件数、下段%)	
			就 仕 い 事 に い る	そ の 他
全体	149 100.0	148 99.3	1 0.7	- -
男性	58 100.0	58 100.0	- -	- -
女性	88 100.0	87 98.9	1 1.1	- -

2 栄養・食生活について

問6 今日、朝食を食べましたか。

「食べた」は94.0%、「食べなかった」は6.0%となっている。



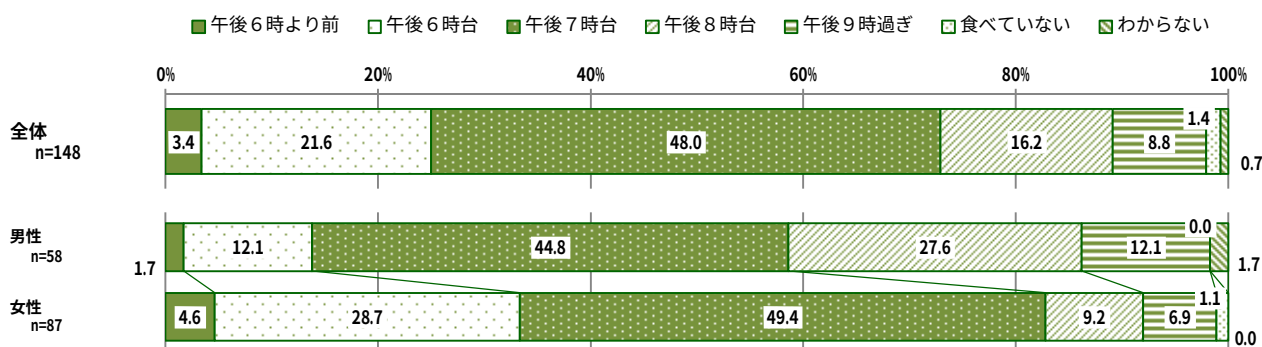
【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
朝食を欠食している人の割合	全体	7.9	6.0
	男性	9.8	6.9
	女性	6.0	4.5

問7 昨日の夕食時刻は、何時ごろでしたか。

「午後7時台」が48.0%、「午後6時台」が21.6%となっている。

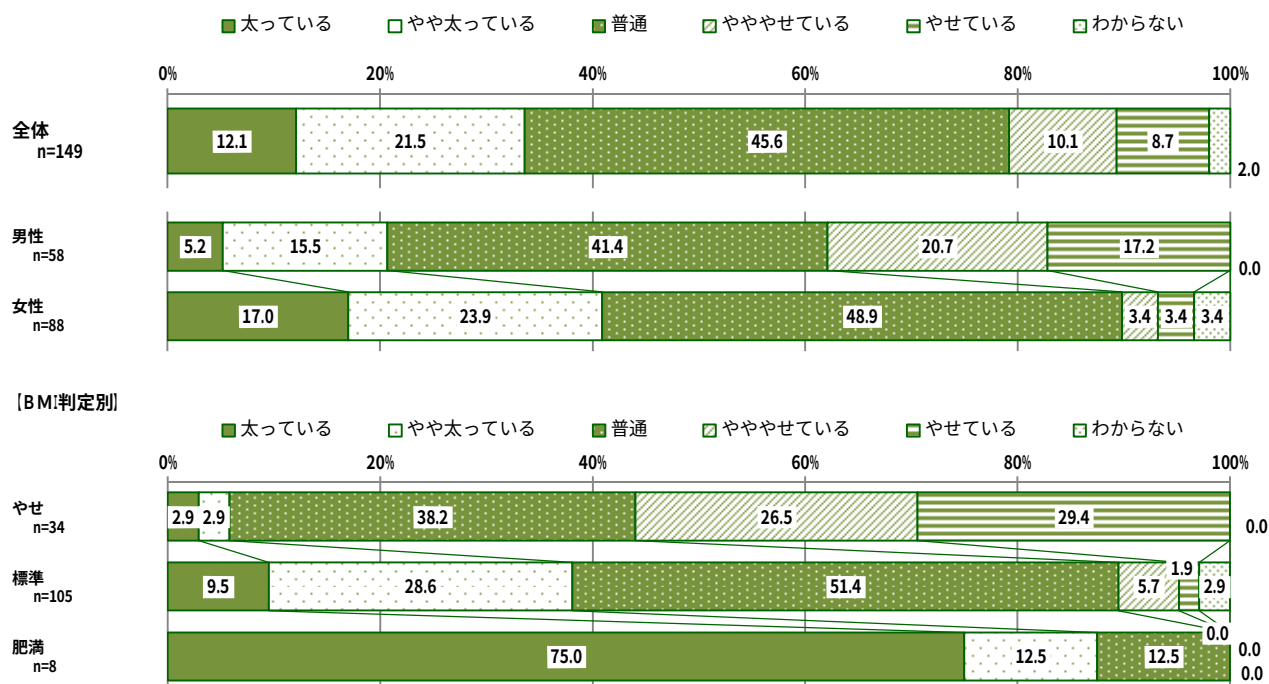


問8 今の自分の体型をどう感じていますか。

「普通」が45.6%、「やや太っている」が21.5%となっている。

BMI判定別でみると、“やせ”で「やややせている」「やせている」と思う人は55.9%、“標準”で「普通」と思う人は51.4%、“肥満”で「やや太っている」「太っている」と思う人は87.5%となっている。

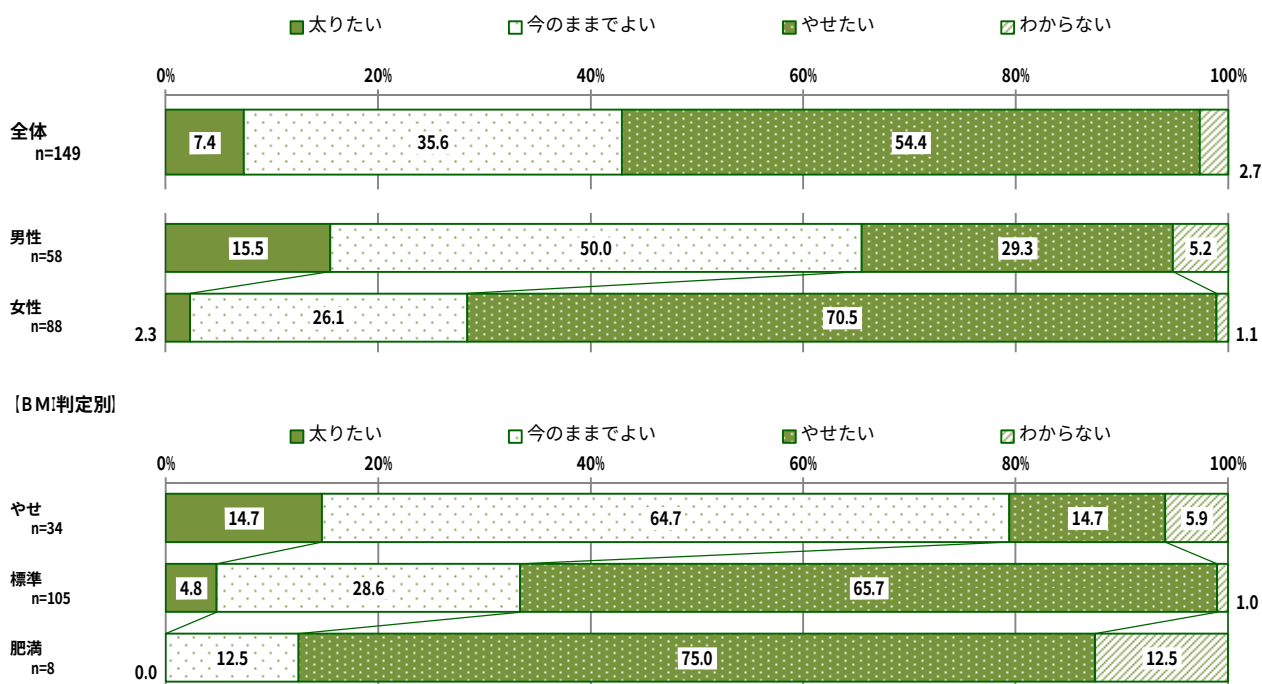
一方、“やせ”でありながら、「普通」「やや太っている」「太っている」と思う人は44%、“標準”でありながら、「やや太っている」「太っている」と思う人は38.1%みられる。



問9 今後、自分の体型をどうしたいですか。

「やせたい」が54.4%、「今のままでよい」が35.6%となっている。

BMI判定別でみると、「今のままでよい」と思う人は、BMI判定が“やせ”の人で64.7%、“標準”の人で28.6%、“肥満”の人で12.5%となっている。また、「やせたい」と思う人は、BMI判定が“やせ”の人で14.7%、“標準”の人で65.7%みられる。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
やせている人で「やせたい」と思う人の割合	全体	17.6	14.7
	男性	6.1	0.0
	女性	26.8	27.8

問 10 食事の時に、栄養のバランス（例：主食・主菜・副菜、食事バランスガイド※、3色の食品群※など）について気をつけていますか。

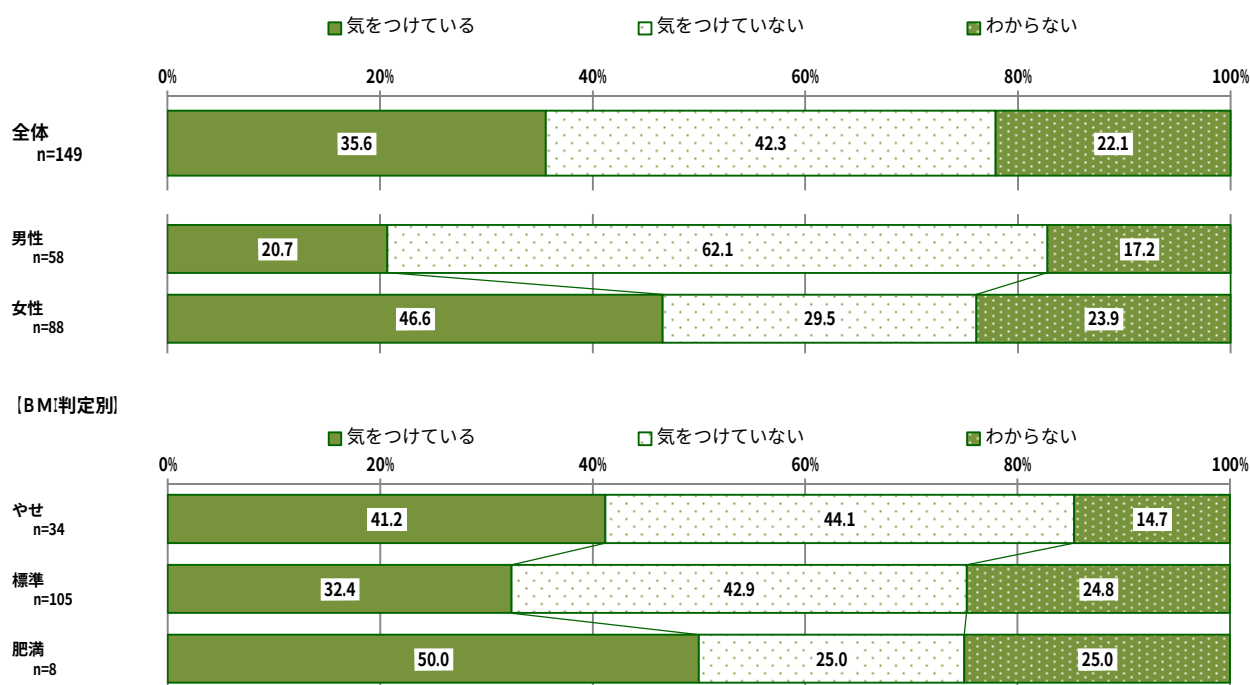
※食事バランスガイド：望ましい食生活のために、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を分かりやすくイラストで示したものです。

※3色の食品群：栄養素の働きの特徴から、食品を「赤色群（血液や肉をつくるもの）」「黄色群（力や体温になるもの）」「緑色群（体の調子を整えるもの）」の3つのグループに分けたものです。

「気をつけている」が35.6%、「気をつけていない」が42.3%となっている。

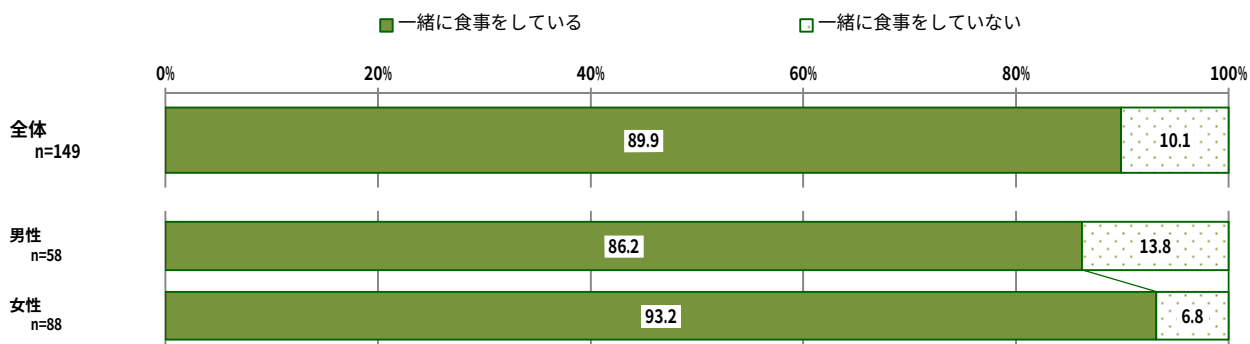
性別でみると、「気をつけている」は、女性で46.6%、男性は20.7%と女性の方が高くなっている。

BMI判定別でみると、「気をつけている」は、BMI判定が“やせ”の人で41.2%、“標準”の人で32.4%、“肥満”の人で50.0%となっている。一方、「わからない」は、BMI判定が“やせ”の人で14.7%、“標準”の人で24.8%、“肥満”の人で25.0%となっている。



問 11 1日に1食でも家族のうち大人の人と一緒に食事をしていますか。

「一緒に食事をしている」は89.9%、「一緒に食事をしていない」は10.1%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
一人で食事をしている人の割合	12.9	10.1

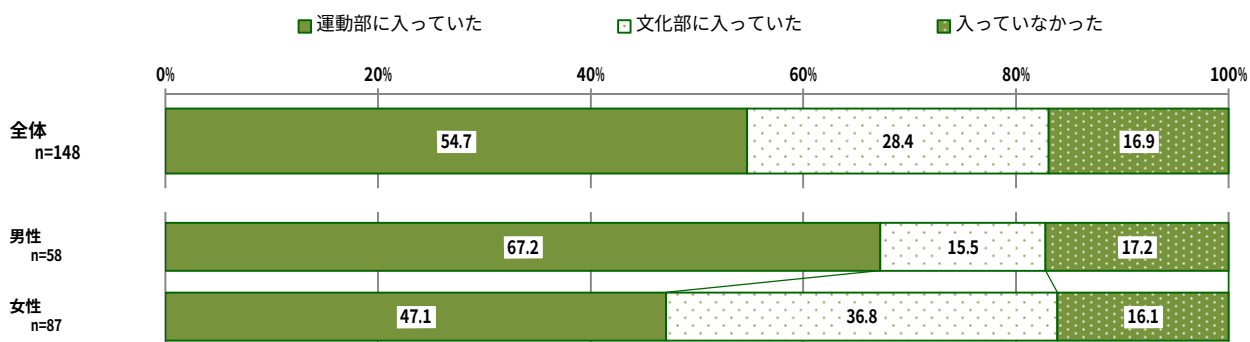
3 身体活動・運動について

【学生の方は、この質問にお答えください。】

問 12 今年の5月頃、学校で部活動（または課外活動）をしていましたか。

「運動部に入っていた」が 54.7%、「文化部に入っていた」が 28.4%、「入っていなかった」が 16.9%となっている。

性別でみると、「運動部に入っていた」は、男性が 67.2%、女性は 47.1%、「文化部に入っていた」は、女性が 36.8%、男性は 15.5%となっている。

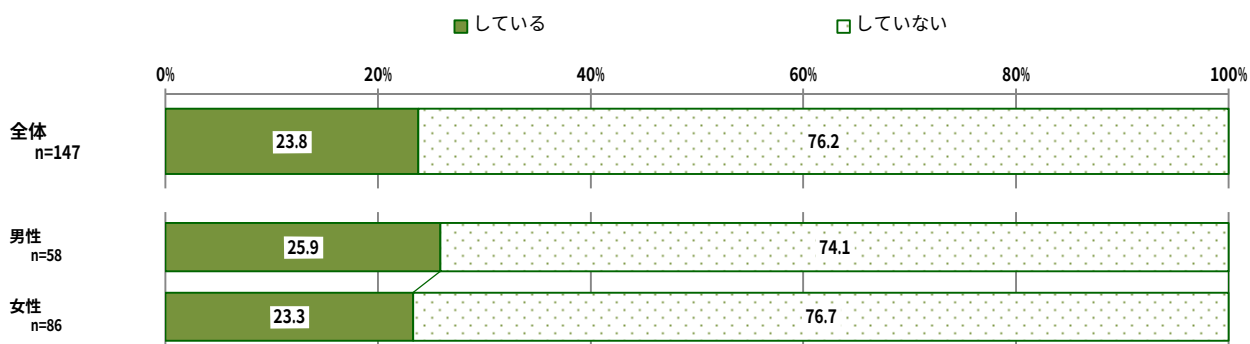


【学生の方は、この質問にお答えください。】

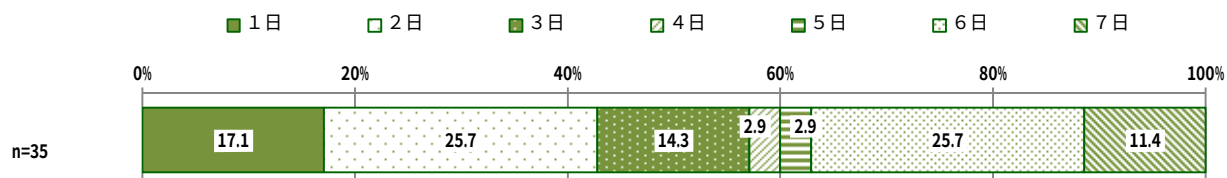
問 13 学校での授業や部活動（または課外活動）以外で何かスポーツをしていますか。
（「している」の方は日数をご記入ください。）

「している」は 23.8%、「していない」は 76.2%となっている。

また、スポーツをしている人の運動日数は「週2日」と「週6日」がともに 25.7%、「週1日」が 17.1%となっている。



【運動日数】



【平成24年調査との比較】

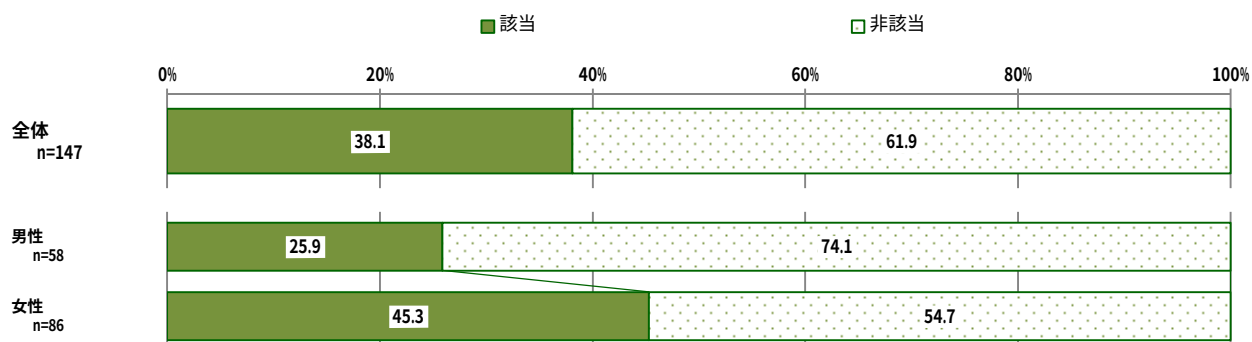
(%)

項 目	平成24年	平成29年
学校での授業や部活動（または課外活動）以外でスポーツをしている人の割合	20.1	23.8

＜運動していない人の割合＞

部活動を「文化部に入っていた」または「入っていなかった」と回答した子のうち、部活動以外でのスポーツも「していない」と回答した子

“該当”は38.1%となっており、女性の方が“該当”が多くなっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項目	平成24年	平成29年
運動していない人の割合	38.3	38.1

【学生以外の方は、この質問にお答えください。】

問14 スポーツをしていますか。（「している」の方は日数をご記入ください。）

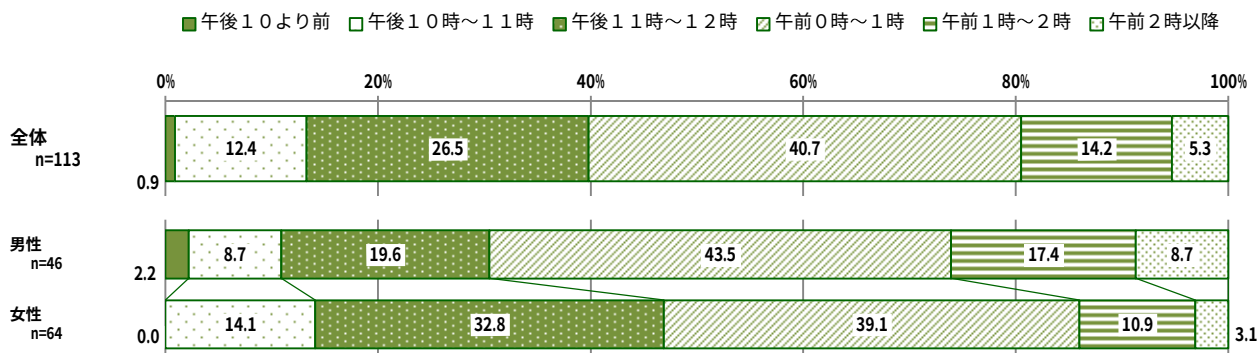
100%（1件）の人が「している」、運動日数は「週1日」と答えている。

4 休養・こころの健康について

問 15 いつも何時ごろに寝ますか。また、何時ごろに起きますか。 24時間表記でご記入ください。

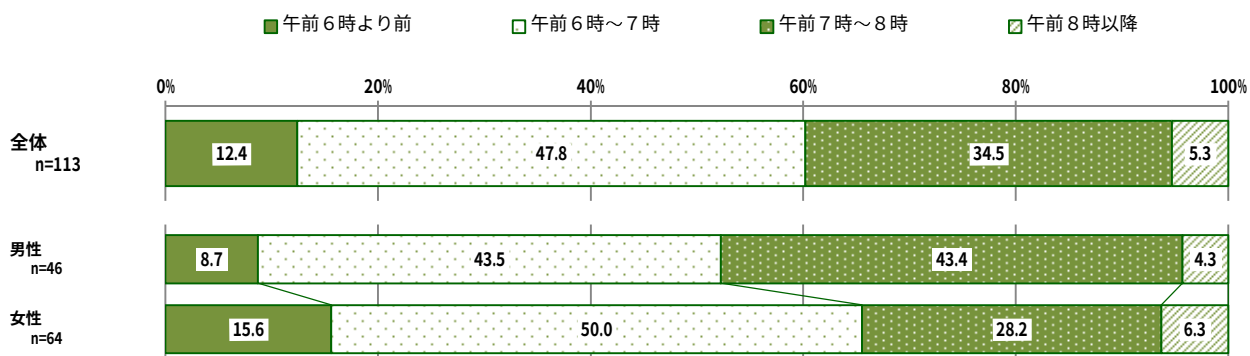
＜就寝時刻＞

「午前0時以降」の人が60.2%となっている。



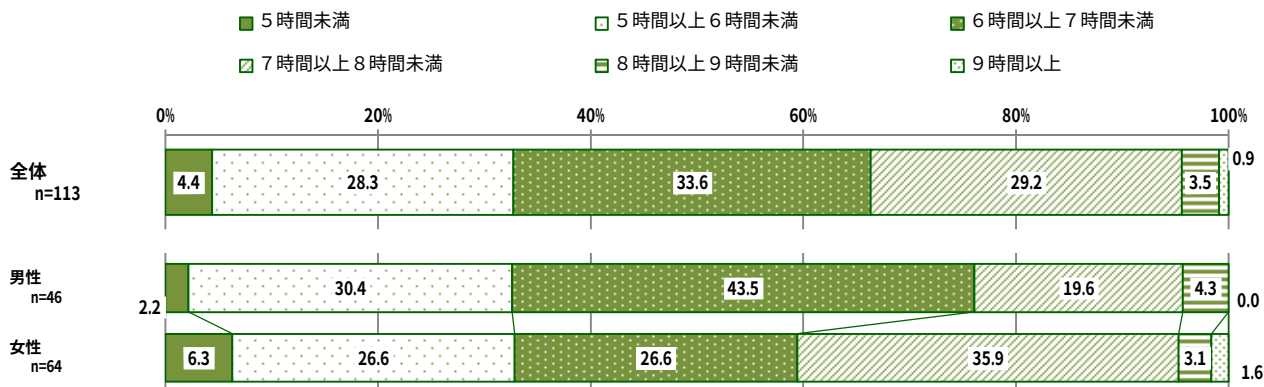
＜起床時刻＞

「午前6時台」が47.8%、「午前7時台」が34.5%となっている。



＜睡眠時間＞

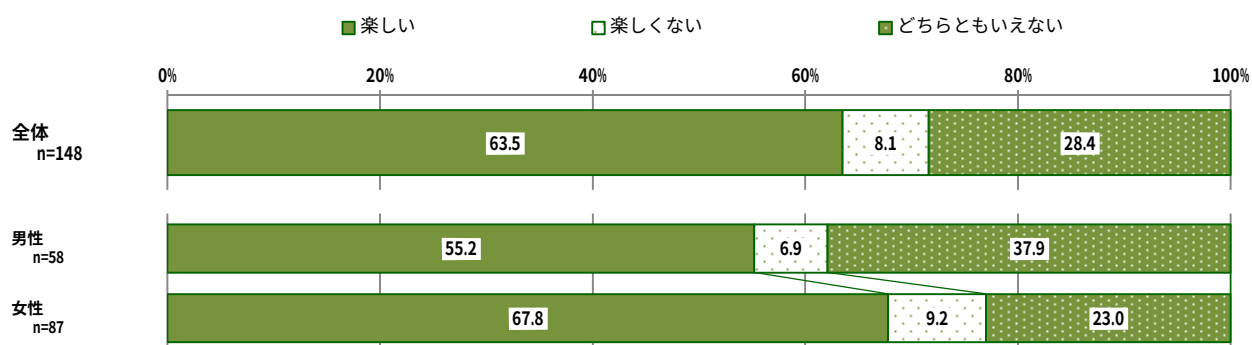
「6時間以上7時間未満」が33.6%と最も多くなっている。
平均睡眠時間は、全体で6時間43分、男性が6時間36分、女性が6時間48分である。



【学生の方は、この質問にお答えください。】

問 16 学校は、楽しいですか。

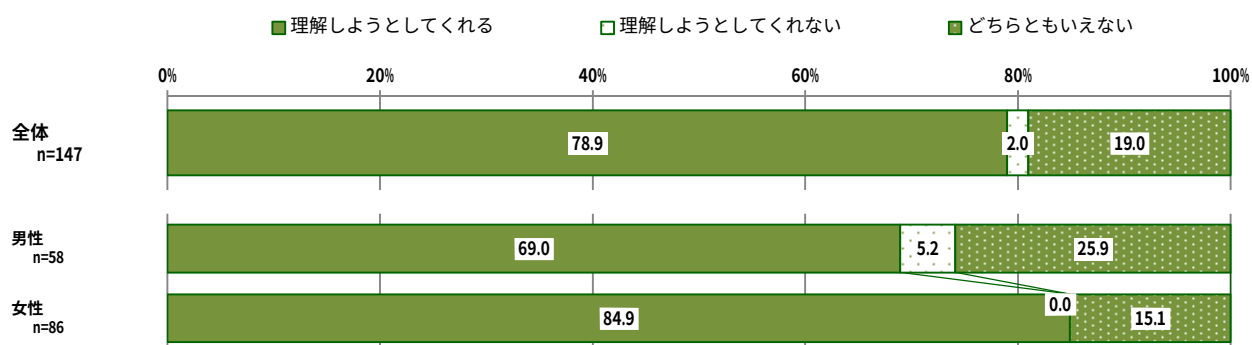
「楽しい」は 63.5%、「楽しくない」は 8.1%となっており、「どちらともいえない」も 28.4%みられる。



問 17 お父さんまたはお母さんは、あなたのことを理解しようとしてくれますか。

「理解しようとしてくれる」が 78.9%、「どちらともいえない」が 19.0%、「理解しようとしてくれない」は 2.0%となっている。

性別でみると、「理解しようとしてくれる」が男性で 69.0%であるのに対し、女性では 84.9%となっている。なお、女性では「理解しようとしてくれない」は 0.0%となっている。



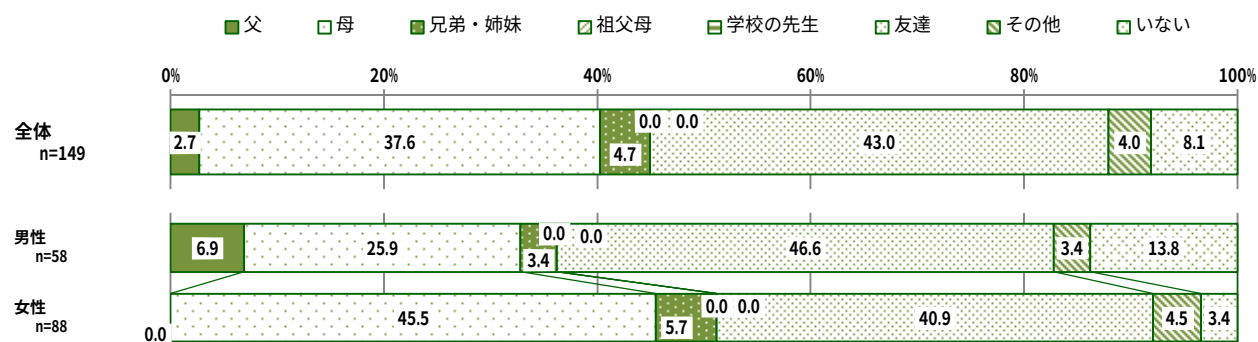
【平成 24 年調査との比較】

(%)

項 目	平成 24 年	平成 29 年
お父さんまたはお母さんが 理解しようとしてくれる人の割合	71.3	78.9

問 18 最初に悩みを相談するのはだれですか。

「友達」が43.0%、「母」が37.6%となっているが、「いない」も8.1%みられる。



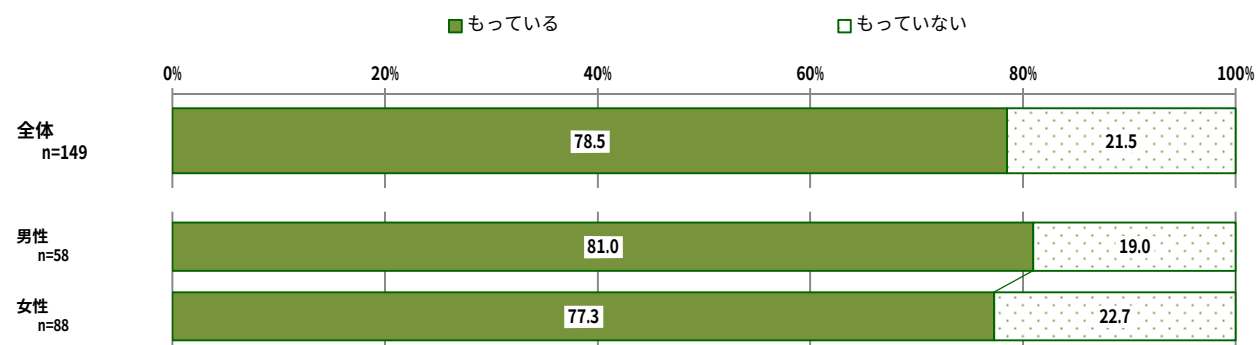
【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
相談できる人がいない人の割合	9.5	8.1

問 19 ストレスの発散方法をもっていますか。

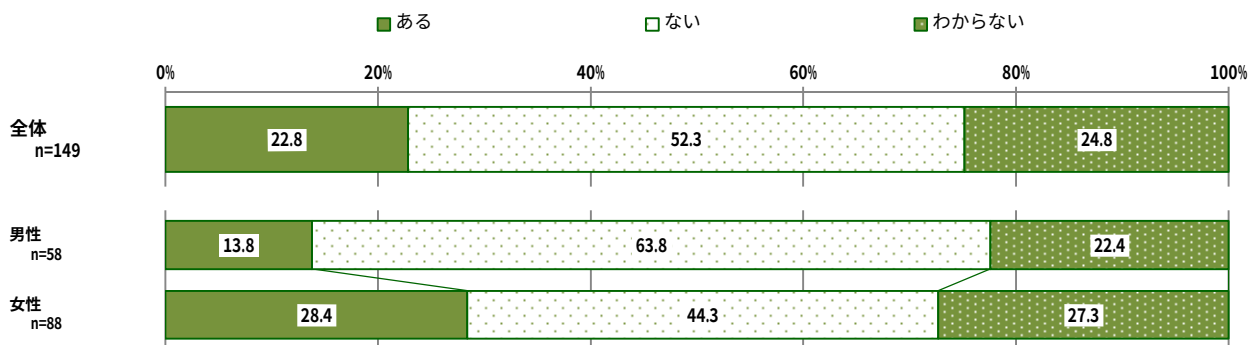
「もっている」が78.5%、「もっていない」が21.5%となっている。



問 20 逃げ出したい大きなストレスがありますか。

「ある」は 22.8%、「ない」は 52.3%、「わからない」が 24.8%となっている。

性別でみると、「ある」の割合は、女性は 28.4%、男性で 13.8%となっている。



【平成 24 年調査との比較】

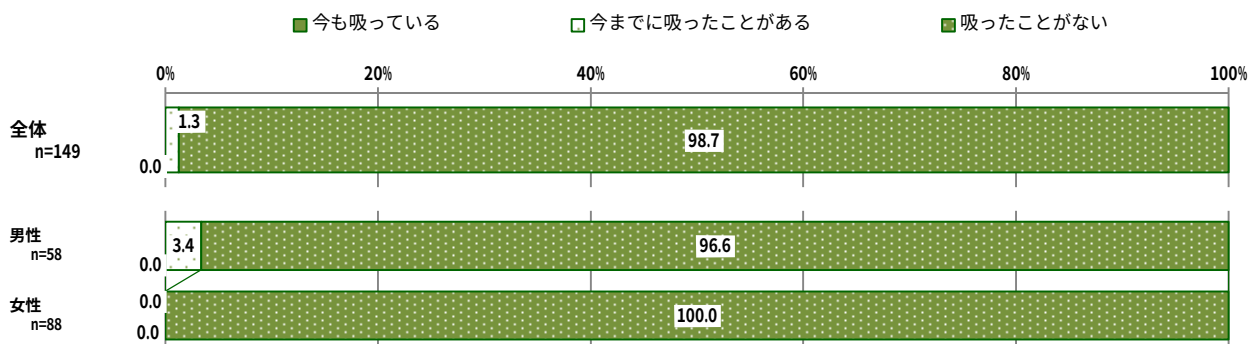
(%)

項 目	平成 24 年	平成 29 年
逃げ出したい大きなストレスがある人の割合	26.1	22.8

5 たばこ・アルコール・薬物について

問 21 たばこを吸ったことがありますか。

「吸ったことがない」が 98.7%、「今までに吸ったことがある」が 1.3%、「今も吸っている」が 0%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
喫煙率	男性	2.2	0.0
	女性	1.7	0.0

※「今も吸っている」の割合

【参考：愛知県調査との比較】

(%)

項 目		愛知県	安城市
喫煙率	男性	5.6	3.4
	女性	0.8	0.0

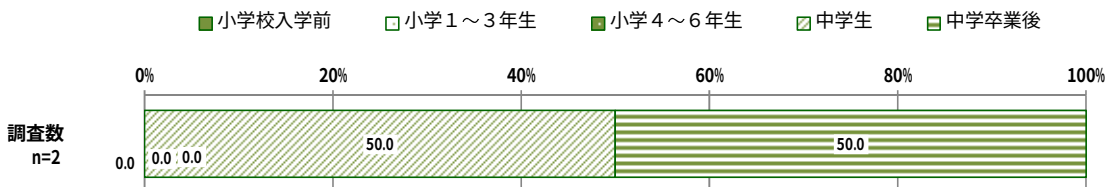
※「今も吸っている」「今までに吸ったことがある」の割合

愛知県：健康日本 21 あいち新計画中間評価報告書（愛知県では、16～19 歳の喫煙をしている者の割合）

【たばこを「今も吸っている」、「今までに吸ったことがある」と答えた人は、この質問にお答えください。】

問 21-1 初めてたばこを吸ったのはいつですか。

たばこを吸ったことがある人（2 件）は、「中学生」と、「中学卒業後」となっている。



問 22 喫煙は未成年の体にどのような害があるか知っていますか。（複数回答）

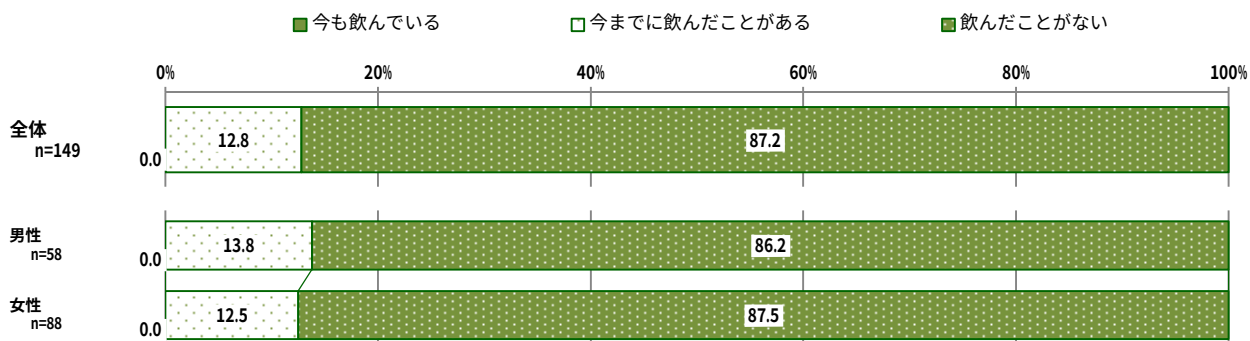
「がんや心臓病、胃潰瘍などの病気にかかりやすくなる」「自分の意志でやめるのが難しくなる」が 80%以上、「歯が黄色くなったり、口臭がする」「赤ちゃんをうむときに影響がある」が 70%以上となっている。一方で「食欲がなくなる」は 30%以下となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	心臓がドキドキしたり、 めまいをおこす	せきやたんがでやすくな る	肌が荒れる	食欲がなくなる	息切れがして、スタミナ がなくなる	歯が黄色くなったり、口 臭がする	学習能力が落ちる	がんや心臓病、胃潰瘍な どの病気にかかりやすくな る	赤ちゃんをうむときに影 響がある	自分の意思でやめるのが 難しくなる	知らなかった
全体	146	49.3	52.7	56.2	26.0	66.4	79.5	52.1	93.2	72.6	82.9	1.4
男性	57	47.4	54.4	50.9	31.6	75.4	77.2	45.6	89.5	61.4	87.7	-
女性	86	51.2	52.3	60.5	23.3	61.6	82.6	58.1	95.3	81.4	80.2	2.3

問 23 お酒を飲んだことがありますか。

「飲んだことがない」が 87.2%、「今までに飲んだことがある」が 12.8%、「今も飲んでいる」が 0%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

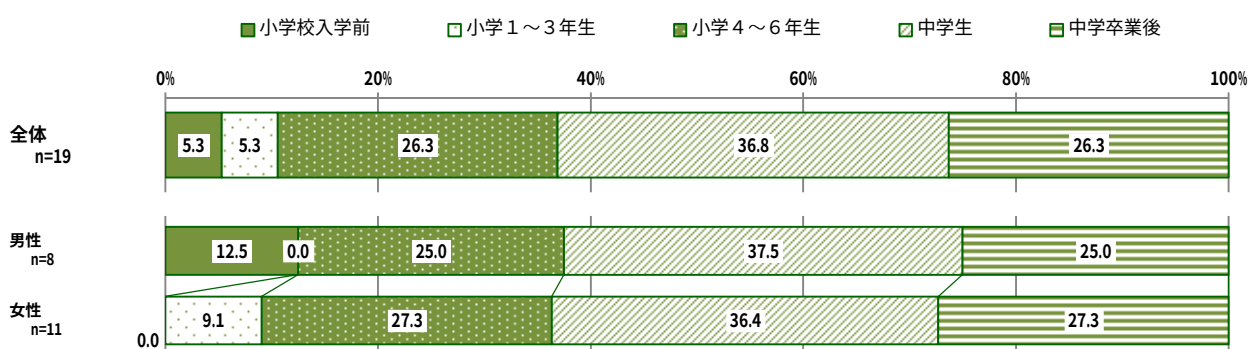
項目		平成24年	平成29年
飲酒率	男性	3.8	0.0
	女性	3.3	0.0

※「今も飲んでいる」の割合

【お酒を飲んでいる、飲んだことがある人は、この質問にお答えください。】

問 23-1 初めてお酒を飲んだのはいつですか。

「中学生」が 36.8%、「小学4～6年生」「中学卒業後」が 26.3%となっている。



問 24 飲酒は未成年の体にどのような害があるか知っていますか。(複数回答)

「大量のお酒を短時間に飲むと、意識を失ったり死亡することもある」が 92.5%となっている。

性別にみると、「性ホルモンの働きをおさえる」は男性で 31.0%、女性で 14.9%となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全体	低下する 注意力、 判断力、 記憶力が	肝臓の 病気に かかり やすくなる	高血圧 や心臓 病など の生活 習慣病 にかか りやす くなる	性ホル モンの 働きを おさえ る	骨がも ろくな る	自分 の意 思で やめ るの が難 しく なる	大量 のお 酒を 短時 間に 飲む と、 意識 を失 った り死 亡す るこ とも ある	知ら なかつ た
全体	147	80.3	78.2	75.5	21.1	38.8	63.9	92.5	4.1
男性	58	77.6	81.0	79.3	31.0	29.3	67.2	93.1	3.4
女性	87	82.8	78.2	73.6	14.9	46.0	63.2	92.0	4.6

問 25 覚せい剤などの薬物を使った場合、こころや体に次のような害があることを知っていますか。(複数回答)

「使い続けるのをやめても、何かのショックで見えないものが見えたり聴こえないものが聴こえたりすることがある(フラッシュバック)」「自分の意思でやめるのが難しくなる(依存症(精神依存、身体依存))」が 90%以上となっている。「1回使っただけでも、死亡することがある(急性中毒死)」は、63.0%にとどまっている。

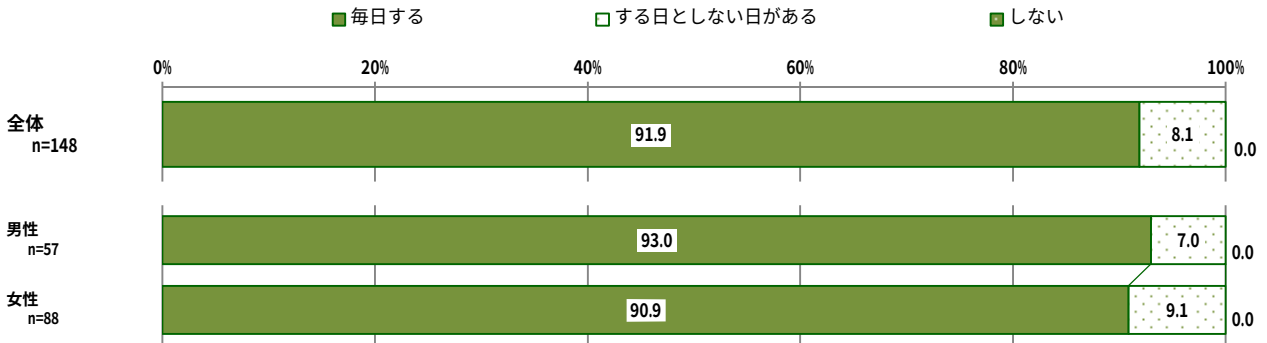
(全体:件数、表内:%)

	全体	1回使っ ただけ でも、 異常に 興奮 するこ ともあ る(急 性中毒 死)	1回使っ ただけ でも、 死亡す ること がある (急性 中毒死)	自分の 意思で やめる のが難 しくな る(依 存症)	薬が切 れると 、体を 動かす ことが できな くなり 、苦し くなつ たり、 疲れを 感じた り(禁 断症)	使いつ づきの うちに 、体の 様子を 変えて いくこ とがあ る(慢 性中毒 死)	使いつ づきの うちに 、脳の 神経が おかさ る(慢 性中毒 死)	使いつ づきの うちに 、見え ないも のが見 えたり 聴こえ ないも のが聴 こえたり するこ とがあ る(フラ ッシュ バック)	知ら なかつ た
全体	146	88.4	63.0	93.2	87.0	82.2	89.0	93.8	1.4
男性	55	81.8	63.6	92.7	87.3	78.2	85.5	94.5	1.8
女性	88	92.0	61.4	93.2	86.4	84.1	90.9	93.2	1.1

6 歯の健康について

問 26 歯みがきをしますか。

「毎日する」が 91.9%、「する日としない日がある」が 8.1%となっている。



【平成24年調査との比較】 (％)

項目	平成24年	平成29年
毎日、歯をみがいている人の割合	84.4	91.9

問 26-1 いつ歯みがきをしますか。(複数回答)

「朝食後」が 81.8%、「就寝前」が 64.9%となっている。

(全体:件数、表内:%)

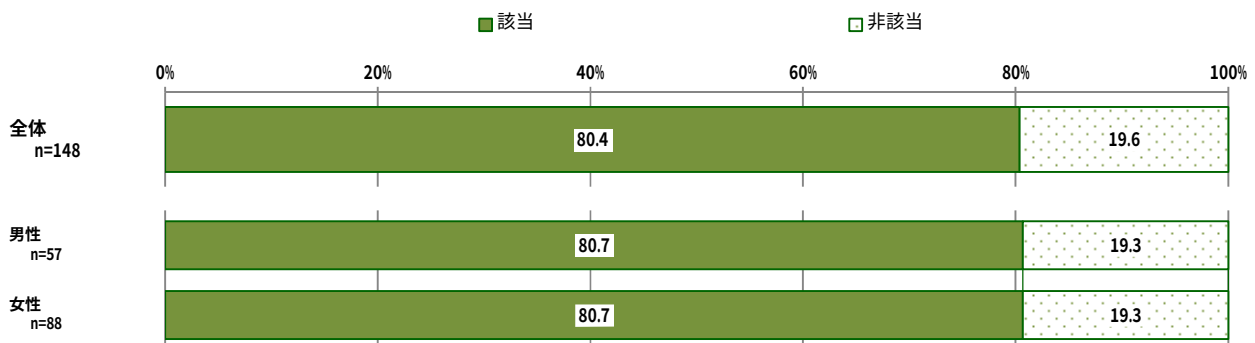
	全体	朝食前	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	その他
全体	146	10.1	81.8	8.8	35.8	64.9	4.1
男性	55	10.5	80.7	5.3	40.4	54.4	3.5
女性	88	10.2	83.0	11.4	33.0	71.6	4.5

<毎日、1日に2回以上歯をみがく人の割合>

歯みがきの状況を回答した人のうち、毎日、1日に2回以上歯をみがく人

“該当”する割合は 80.4%となっている。

性別にみると、“該当”する割合は、男女ともに 80.7%となっている。



【平成24年調査との比較】

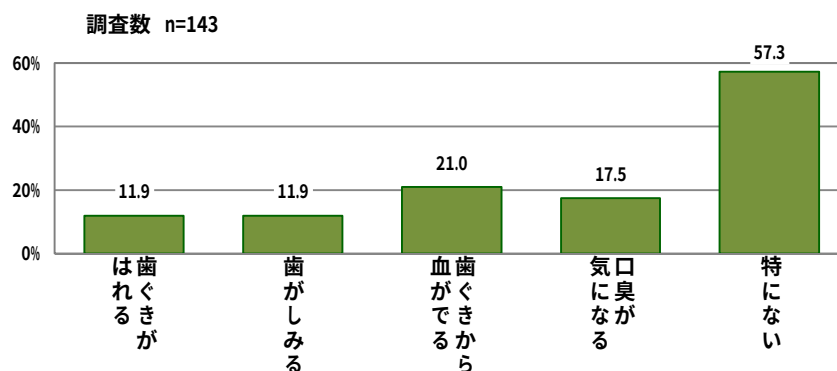
(%)

	平成24年	平成29年
毎日、1日2回以上歯をみがく人の割合	69.1	80.4

*分母は歯みがきの状況に回答があった全数(「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計)

問 27 歯や口について、次のようなことがありますか。（複数回答）

「特にない」が 57.3%となっている。挙げられた症状では、「歯ぐきから血がでる」が 21.0%、「口臭が気になる」が 17.5%となっている。



(全体:件数、表内:%)

	全体	歯ぐきはれる	歯がしみる	歯ぐきから血がでる	口臭が気になる	特にない
全体	143	11.9	11.9	21.0	17.5	57.3
男性	56	8.9	8.9	17.9	19.6	53.6
女性	84	11.9	13.1	20.2	15.5	61.9

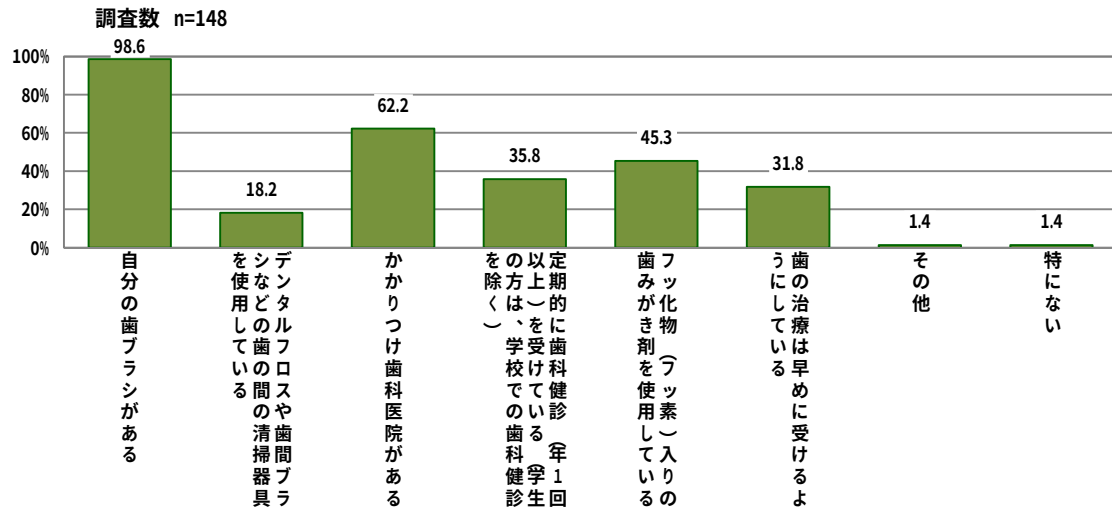
【平成24年調査との比較】

(%)

	平成24年	平成29年
歯ぐきはれる人の割合	5.9	11.9
歯がしみる人の割合	12.9	11.9
歯ぐきから血がでる人の割合	18.3	21.0
口の臭いが気になる人の割合	18.0	17.5
口腔内の症状は特にない人の割合	59.8	57.3

問 28 歯の健康管理として行っていることはありますか。(複数回答)

「自分の歯ブラシがある」が 98.6%、「かかりつけ歯科医院がある」が 62.2%、「フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している」が 45.3%となっている。



(全体:件数、表内:%)

	全体	自分の歯ブラシがある	デンタルフロスや歯間の清掃器具を使用している	かかりつけ歯科医院がある	定期的に歯科健診（年 1 回以上）を受ける（学生の方は、学校での歯科健診を除く）	フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している	歯の治療は早めに受けるようにしている	その他	特になし
全体	148	98.6	18.2	62.2	35.8	45.3	31.8	1.4	1.4
男性	57	96.5	12.3	47.4	26.3	49.1	17.5	1.8	1.8
女性	88	100.0	21.6	70.5	40.9	43.2	40.9	1.1	1.1

【平成 24 年調査との比較】

(%)

項目	平成 24 年	平成 29 年
自分の歯ブラシがある人の割合	96.2	98.6
デンタルフロスや歯間の清掃器具を使用している人の割合	12.7	18.2
かかりつけ歯科医院がある人の割合	45.5	62.2
定期的に歯科健診（年 1 回以上）を受ける人の割合（学生の方は、学校での歯科健診を除く）	23.8	35.8
フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している人の割合	33.9	45.3
歯の治療は早めに受けるようにしている人の割合	26.8	31.8
歯の健康管理は特にしていない人の割合	2.4	1.4

III 調査の結果＜未成年編＞

問 29 歯のみがき方を教えてもらったことがありますか。

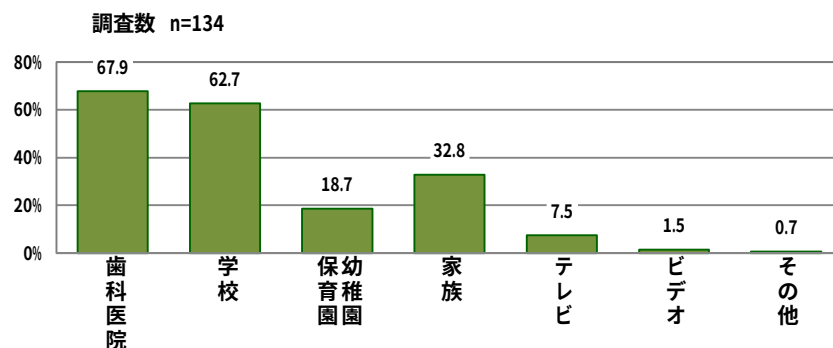
「ある」が 91.0%、「ない」は 9.0%となっている。



【歯のみがき方を教えてもらったことがある人は、この質問にお答えください。】

問 29-1 歯のみがき方をどこで教えてもらいましたか。(複数回答)

「歯科医院」が 67.9%、「学校」は 62.7%、「家族」は 32.8%となっている。



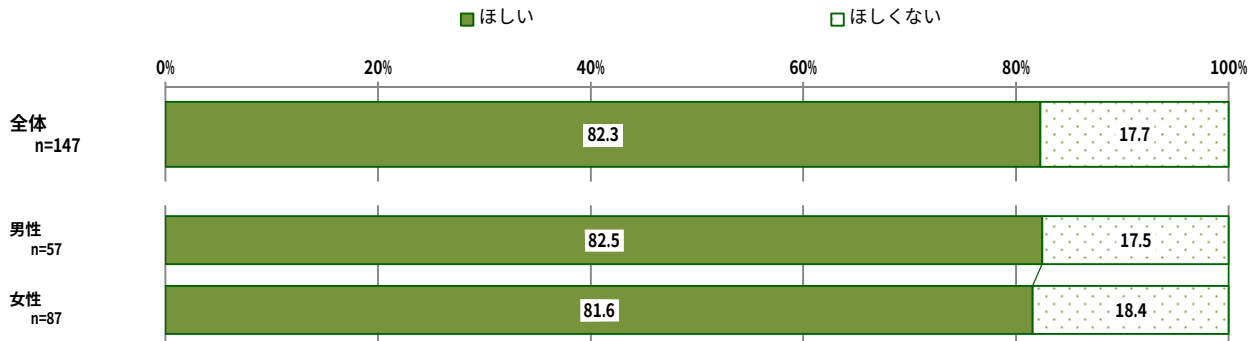
(全体:件数、表内:%)

	全体	歯科医院	学校	保幼稚園	家族	テレビ	ビデオ	その他
全体	134	67.9	62.7	18.7	32.8	7.5	1.5	0.7
男性	51	60.8	58.8	17.6	31.4	2.0	-	2.0
女性	80	72.5	65.0	20.0	35.0	11.3	2.5	-

7 性について

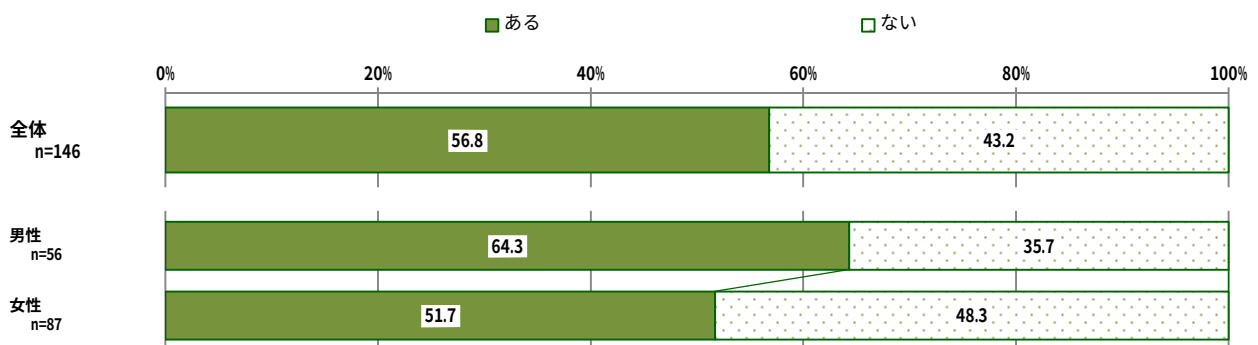
問 30 将来、子どもがほしいですか。

「ほしい」が82.3%、「ほしくない」は17.7%となっている。



問 31 避妊具（コンドームなど）の使い方を教えてもらったことがありますか。

「ある」が56.8%、「ない」が43.2%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項目	平成24年	平成29年
避妊具の使い方を教えてもらったことがある人の割合	54.5	56.8

【避妊具の使い方を教えてもらった人は、この質問にお答えください。】

問 31-1 だれに教えてもらいましたか（学びましたか）。（複数回答）

「学校の先生」が 77.6%、「友達」が 18.8%、「親」が 9.4%となっている。

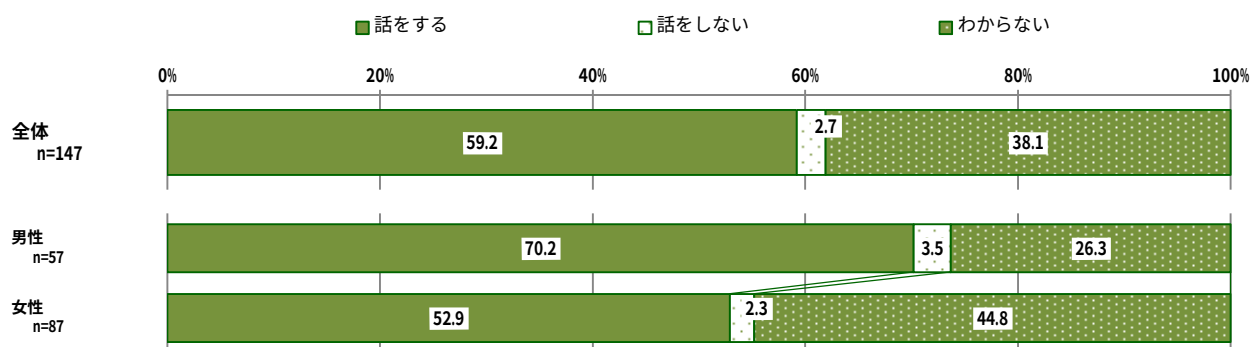
(全体:件数、表内:%)

	全 体	親	兄 ・ 姉	弟 ・ 妹	そ の 他 の 家 族	学 校 の 先 生	友 達	そ の 他
全体	85	9.4	1.2	-	1.2	77.6	18.8	11.8
男性	37	8.1	-	-	-	70.3	24.3	16.2
女性	46	10.9	2.2	-	2.2	82.6	13.0	8.7

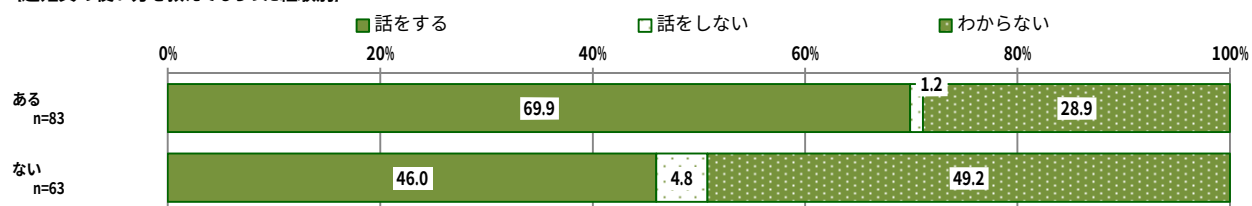
問 32 もしセックスをしたら、避妊について相手と話をしますか。

「話をする」が 59.2%、「わからない」が 38.1%、「話をしない」が 2.7%となっている。

避妊具の使い方を教えてもらった経験別でみると、「話をする」の割合は、教えてもらったことが「ある」で 69.9%となっており、教えてもらったことが「ない」より多くなっている。



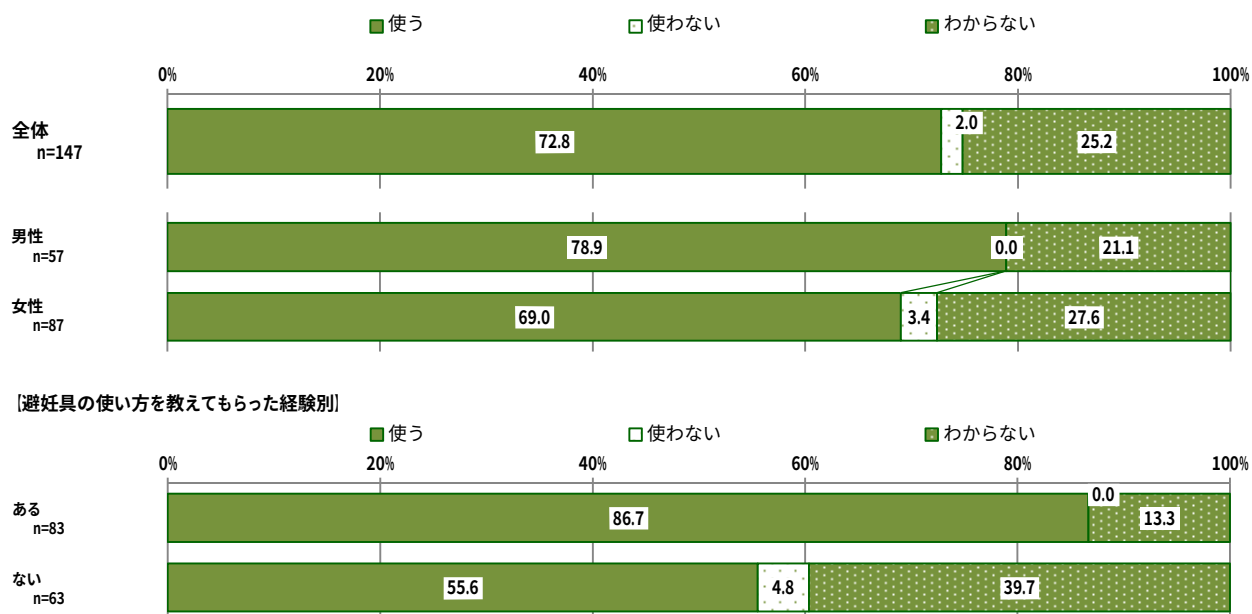
[避妊具の使い方を教えてもらった経験別]



問 33 もしセックスをしたら、避妊具（コンドームなど）を使いますか。

「使う」が72.8%、「わからない」が25.2%、「使わない」が2.0%となっている。

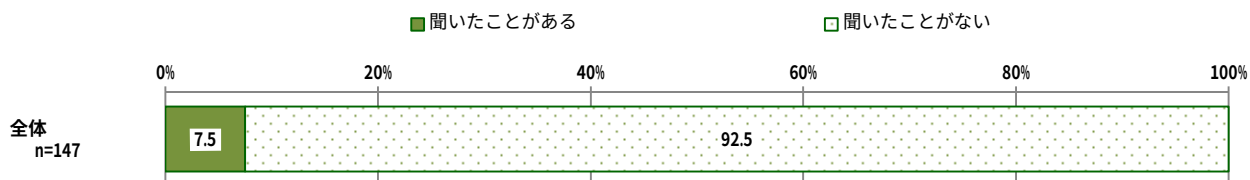
避妊具の使い方を教えてもらった経験別でみると、「使う」の割合は、教えてもらったことが「ある」で86.7%と、教えてもらったことが「ない」より多くなっている。



8 健康日本21安城計画について

問 34 「健康日本 21 安城計画」を聞いたことがありますか。

「聞いたことがない」が 92.5%、「聞いたことがある」(7.5%)となっている。

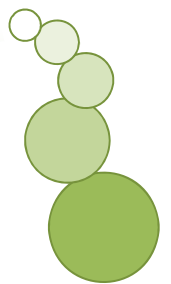
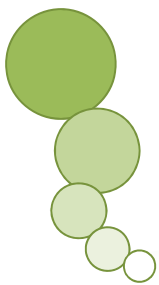


【平成24年調査との比較】

(%)

項 目	平成24年	平成29年
健康日本21安城計画を聞いたことがある人の割合	18.6	7.5

Ⅲ調査の結果 ＜児童・生徒編＞



III 調査の結果＜児童・生徒編＞

1 あなたのご自身について

【小3（問1）、小6（問1）、中3（問1）】

性別はどちらですか。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	男 子	女 子
小学3年生	603	52.2	47.8
小学6年生	663	49.9	50.1
中学3年生	273	50.5	49.5

【中3（問2）】

お住まいの地区の小学校区をお答えください。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	安 城 中 部 小 学 校	安 城 南 部 小 学 校	安 城 西 部 小 学 校	安 城 東 部 小 学 校	安 城 北 部 小 学 校	錦 町 小 学 校	高 棚 小 学 校	明 和 小 学 校	志 貴 小 学 校	桜 井 小 学 校	作 野 小 学 校	祥 南 小 学 校	丈 山 小 学 校	二 本 木 小 学 校	里 町 小 学 校	桜 町 小 学 校	桜 林 小 学 校	新 田 小 学 校	今 池 小 学 校	三 河 安 城 小 学 校	梨 の 里 小 学 校	わ か ら な い
小学3年生	608	4.8	4.3	5.1	5.3	5.6	4.8	4.3	4.9	4.3	5.3	5.3	3.9	5.3	5.9	4.6	4.4	4.3	4.9	3.9	4.4	4.4	4.4
男子	315	4.4	4.1	4.4	5.1	6.7	5.1	3.8	5.7	6.0	5.1	4.4	3.5	5.7	5.7	4.8	4.1	4.4	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1
女子	288	4.9	4.5	5.9	5.2	4.5	4.5	4.9	4.2	2.4	5.2	6.3	4.2	4.9	6.3	4.5	4.9	4.2	5.6	3.8	4.5	4.9	4.9
小学6年生	670	6.0	5.5	4.5	5.2	5.1	4.9	3.9	4.2	5.2	4.5	5.2	4.3	4.3	5.1	4.8	4.0	4.8	4.6	4.3	5.5	4.0	4.0
男子	331	5.7	5.1	4.8	5.7	4.5	4.8	3.6	4.8	4.8	3.6	4.8	4.8	3.9	5.7	4.5	3.9	5.7	6.0	3.6	5.1	3.9	3.9
女子	332	5.7	6.0	3.9	4.8	5.4	5.1	3.9	3.6	5.7	5.1	5.7	3.9	4.5	4.5	5.1	4.2	3.9	3.3	5.1	6.0	4.2	4.2
中学3年生	277	4.3	7.2	2.5	4.7	5.4	5.8	2.2	3.6	0.4	8.3	7.9	3.2	8.7	5.8	6.5	4.7	3.6	2.5	3.6	6.5	2.2	0.4
男子	137	5.8	8.0	4.4	2.9	5.8	5.8	2.9	2.2	-	8.0	9.5	3.6	7.3	3.6	5.8	3.6	2.2	2.9	5.8	6.6	2.2	0.7
女子	135	3.0	6.7	0.7	5.9	5.2	5.9	1.5	4.4	0.7	8.1	6.7	3.0	10.4	8.1	6.7	5.9	5.2	1.5	1.5	6.7	2.2	-

【小3（問2）、小6（問3）、中3（問4）】

同居している人を教えてください。（複数回答）

(全体:件数、表内:%)

	全 体	父	母	祖 父	祖 母	兄 ・ 姉	弟 ・ 妹	そ の 他
小学3年生	604	94.5	98.3	19.9	23.7	50.5	50.8	4.1
男子	315	94.9	99.0	22.9	26.0	51.7	52.4	3.2
女子	287	94.1	97.6	16.4	20.9	48.8	49.5	5.2
小学6年生	668	89.7	98.8	15.9	19.9	53.4	47.0	2.7
男子	331	90.3	99.1	15.4	19.9	55.0	45.9	1.2
女子	331	89.1	98.5	16.3	20.2	51.4	47.7	4.2
中学3年生	277	90.3	96.8	18.4	22.7	48.0	47.7	3.6
男子	137	89.8	96.4	13.9	16.1	43.1	45.3	5.1
女子	135	90.4	97.0	23.7	30.4	52.6	50.4	2.2

家族構成

(全体:件数、表内:%)

	全 体	母 子 家 庭	父 子 家 庭	二 世 代 世 帯	三 世 代 世 帯	そ の 他
小学3年生	608	3.3	0.7	70.1	25.2	0.8
男子	315	3.5	-	68.6	27.9	-
女子	288	3.1	1.4	72.6	22.2	0.7
小学6年生	670	7.0	0.3	70.7	21.3	0.6
男子	331	6.0	0.3	72.5	20.8	0.3
女子	332	7.8	0.3	69.3	22.0	0.6
中学3年生	278	7.2	1.4	65.8	24.5	1.1
男子	138	7.2	1.4	70.3	19.6	1.4
女子	135	7.4	1.5	60.0	30.4	0.7

【小6（問2）、中3（問3）】

身長および体重を教えてください。（ローレル指数、学校保健統計調査方式による肥満度）

※ローレル指数＝（体重(kg)÷身長(cm)³）×10⁷

ローレル指数	判定
99 以下	やせ
100～114	やせぎみ
115～144	標準
145～159	肥満ぎみ
160 以上	肥満

※学校保健統計調査方式による肥満度

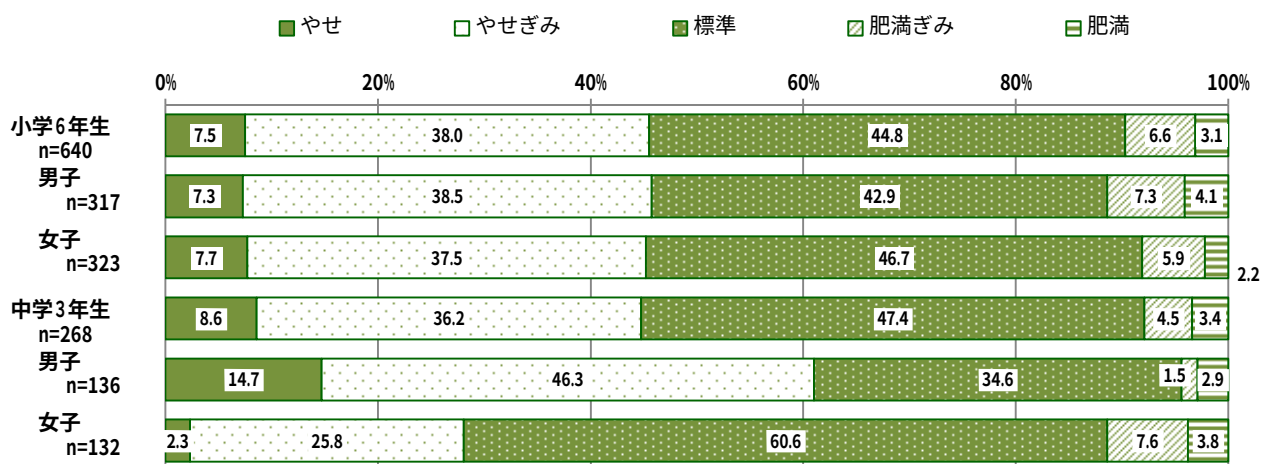
＝（実測体重－標準体重）÷標準体重×100

肥満度	判定
－20%以下	やせ傾向
－20～20%未満	標準
20%以上	肥満傾向

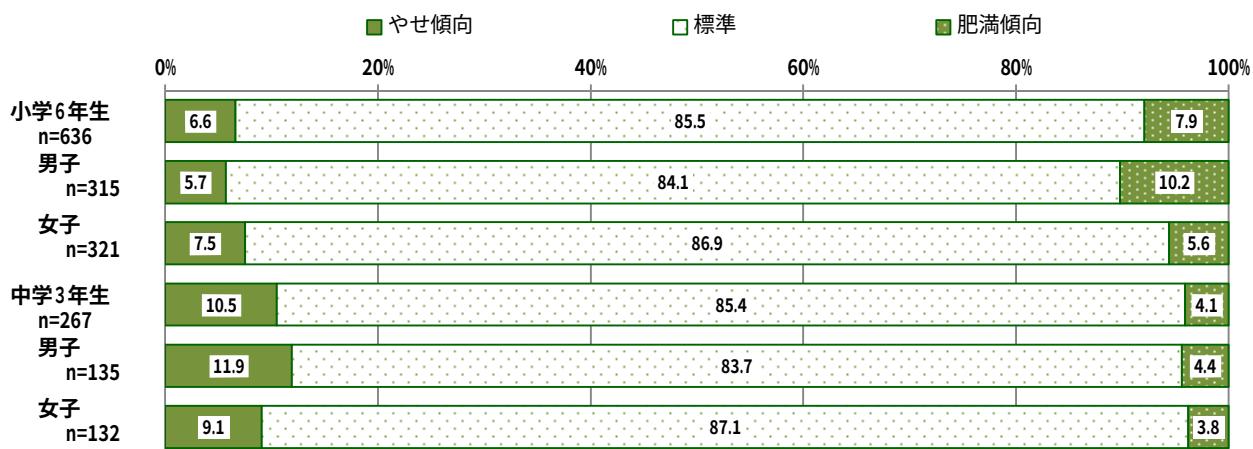
ローレル指数をみると、小学6年生、中学3年生ともに“標準”が最も多く、次いで“やせぎみ”、“やせ”の順となっている。

学校保健統計調査方式をみると、小学6年生、中学3年生ともに“標準”が85%程度となっている。

【ローレル指数】



【学校保健統計調査方式】

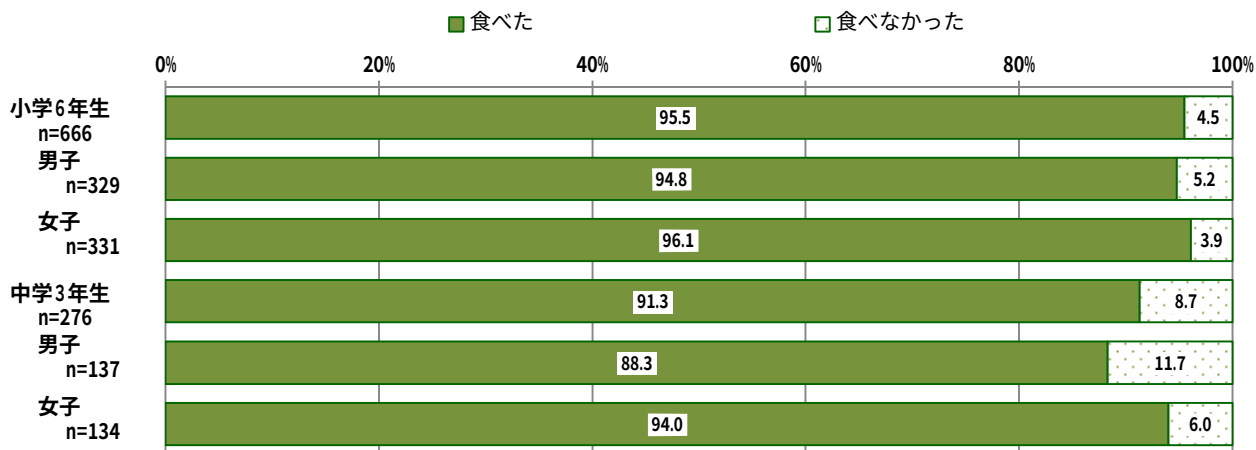


2 栄養・食生活について

【小6（問4）、中3（問5）】

今日、朝食を食べましたか。

小学6年生、中学3年生ともに「食べた」が90%以上、「食べなかった」が小学6年生で4.5%、中学3年生で8.7%となっている。



【平成24年調査との比較】

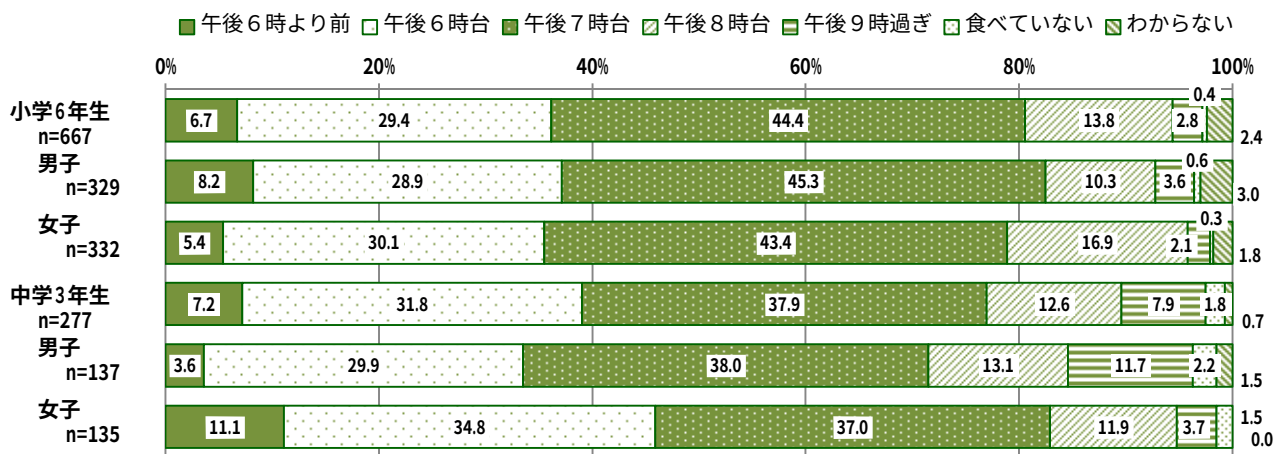
(%)

項 目		平成24年	平成29年
朝食をとっていない子の割合	小6	2.7	4.5
	中3	7.6	8.7

【小6（問5）、中3（問6）】

昨日の夕食時刻は、何時ごろでしたか。

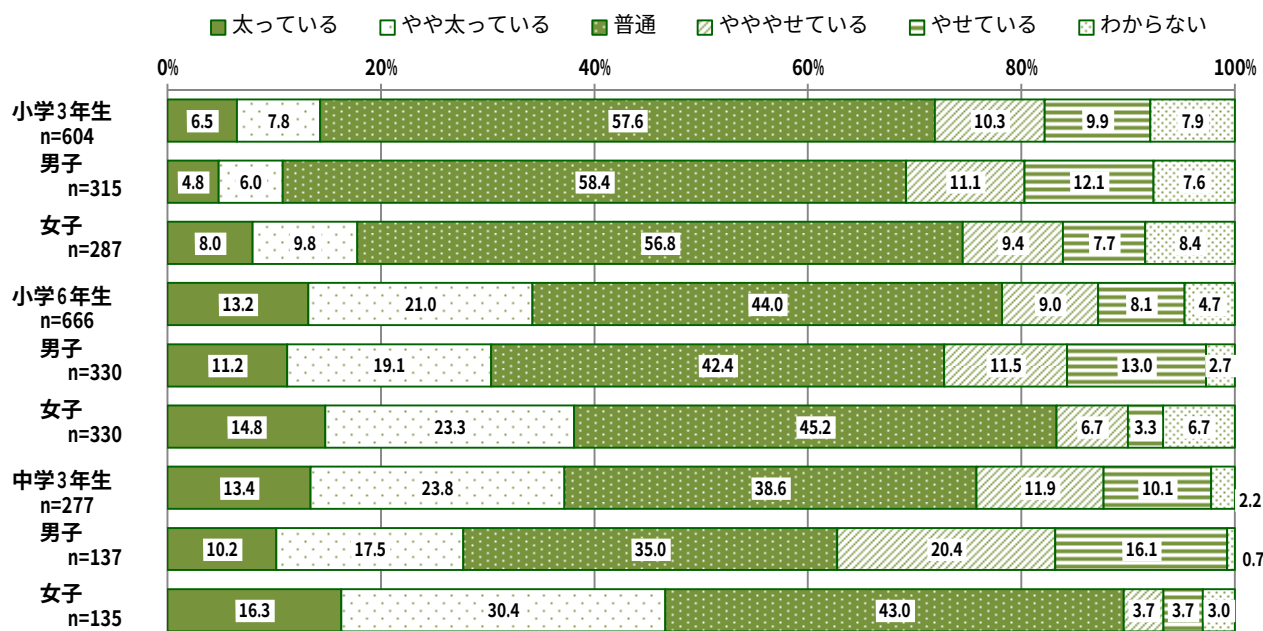
小学6年生、中学3年生ともに「午後7時台」が最も多く、午後8時までに夕食を食べる割合が小6で80.5%、中3で76.9%となっています。



【小3（問3）、小6（問6）、中3（問7）】

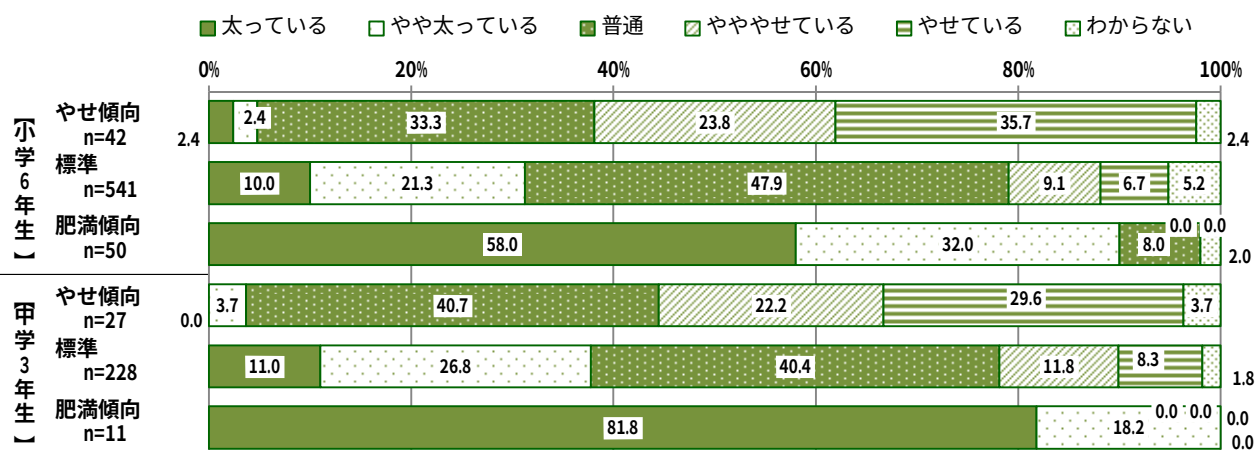
今の自分の体型をどう感じていますか。

「やや太っている」「太っている」と答えた“太っている”と思う子は、小学3年生で14.3%、小学6年生で34.2%、中学3年生で37.2%となっている。また、「やややせている」「やせている」と答えた“やせている”と思う子は、いずれの学年においても20%程度となっている。



「やせ傾向」でありながら、「普通」「やや太っている」「太っている」と思う子は小学6年生で38.1%、中学3年生で44.4%、「標準」でありながら、「やや太っている」「太っている」と思う子は小学6年生で31.3%、中学3年生で37.8%となっている。

〔学校保健統計調査方式による肥満度別〕

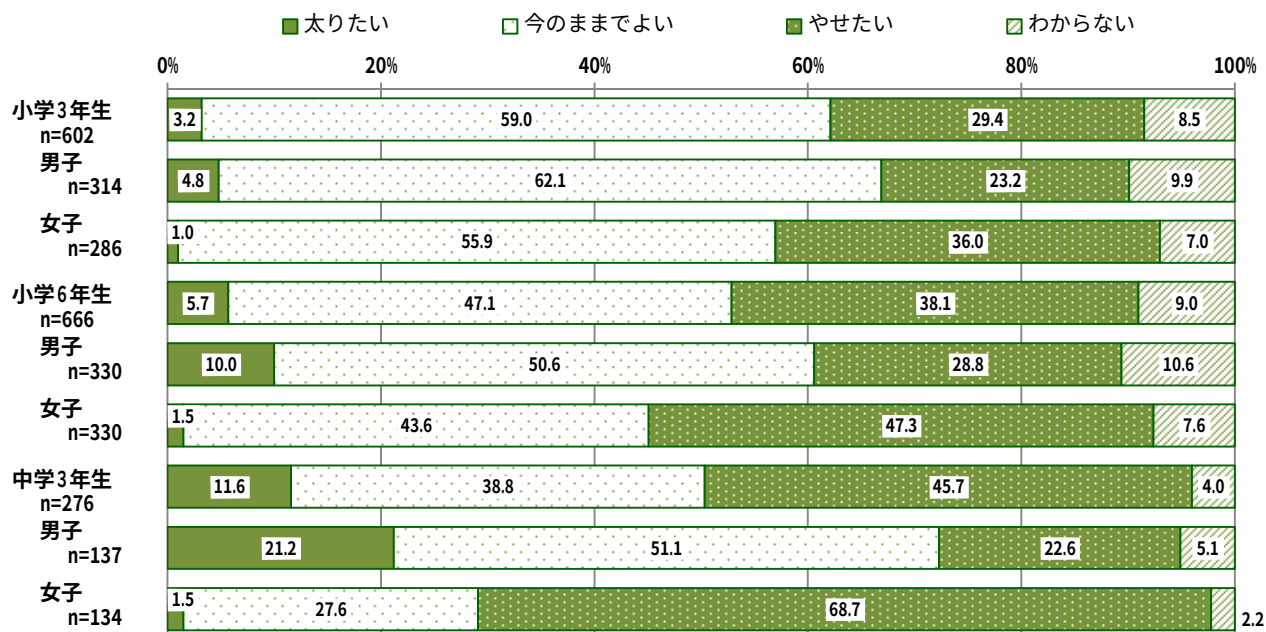


【小3（問4）、小6（問7）、中3（問8）】

今後、自分の体型をどうしたいですか。

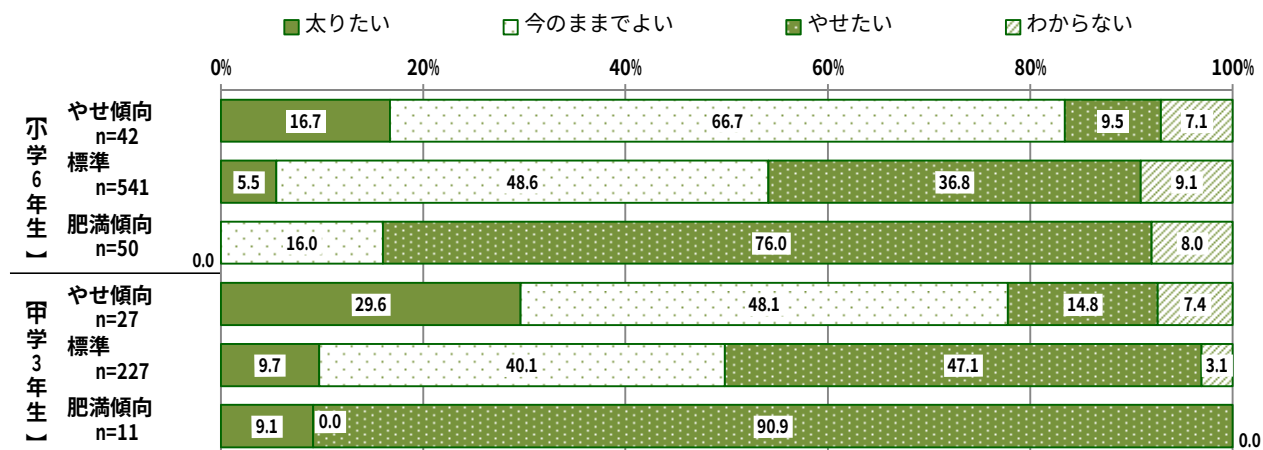
小学3年生、小学6年生、中学3年生と学年が上がるにつれて、自分の体型を「今のままでよい」と思う子は59.0%、47.1%、38.8%と少なくなっており、「やせたい」と思う子は29.4%、38.1%、45.7%と多くなっている。

中学3年生の女子では、「やせたい」の割合は68.7%となっている。



「やせ傾向」でありながら、「やせたい」と思う子は小学6年生で9.5%、中学3年生で14.8%、「標準」でありながら、「やせたい」と思う子は小学6年生で36.8%、中学3年生で47.1%みられる。

〔学校保健統計調査方式による肥満度別〕



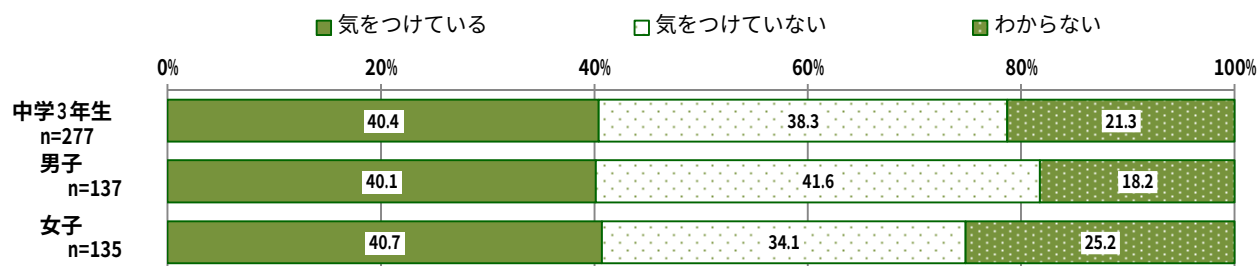
【中3（問9）】

食事の時に、栄養のバランスについて気をつけていますか。（例：主食・主菜・副菜、食事バランスガイド、3色の食品群など）

食事バランスガイド：望ましい食生活のために、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を分かりやすくイラストで示したものです。

3色の食品群：栄養素の働きの特徴から、食品を「赤色群（血液や肉をつくるもの）」「黄色群（力や体温になるもの）」「緑色群（体の調子を整えるもの）」の3つのグループに分けたものです。

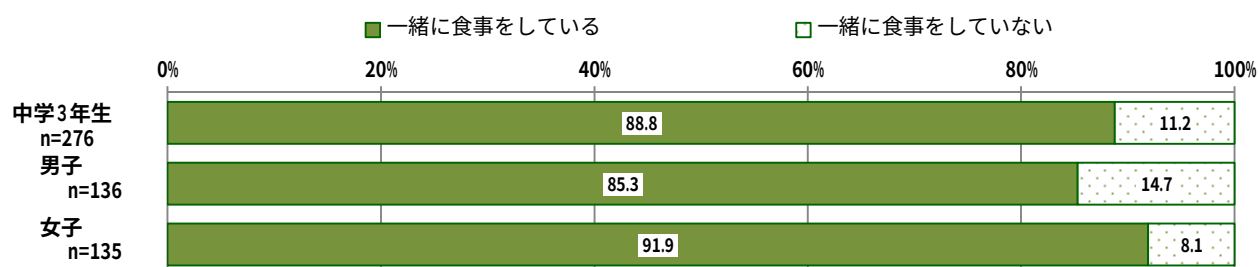
「気をつけている」は40.4%、「気をつけていない」は38.3%となっている。



【中3（問10）】

1日に1食でも家族のうち大人の人と一緒に食事をしていきますか。

「一緒に食事をしている」が88.8%、「一緒に食事をしていない」が11.2%となっている。

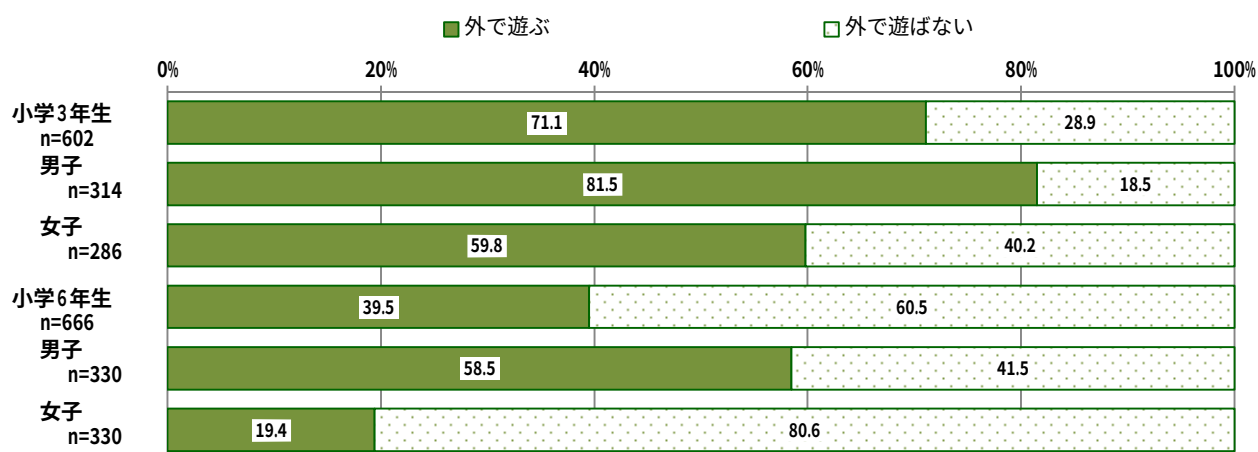


3 身体活動・運動について

【小3（問5）、小6（問8）】

昼放課など長い放課は、だいたい外で遊びますか。

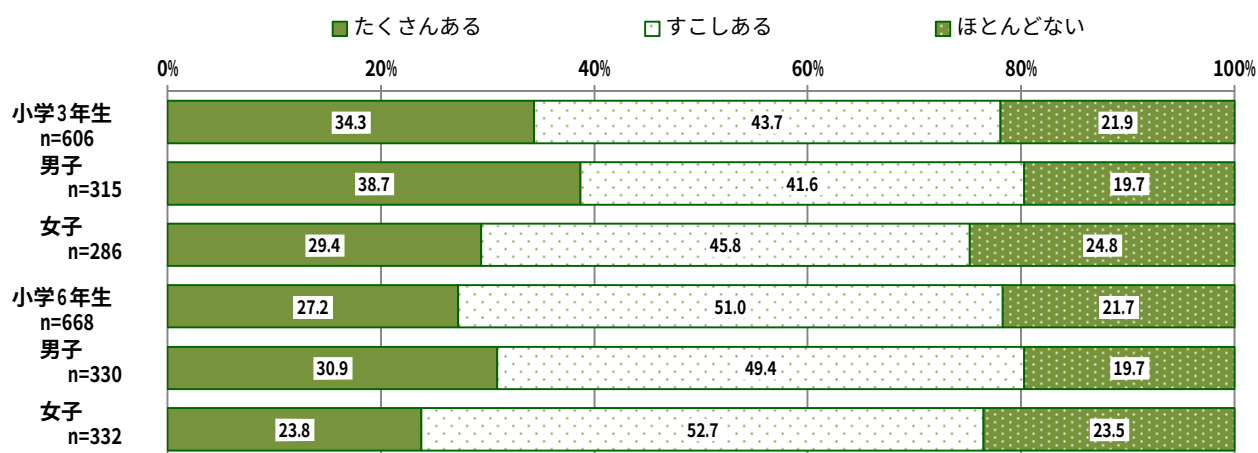
「外で遊ぶ」は、小学3年生で 71.1%、小学6年生で 39.5%となっており、特に小学3年生男子で 81.5%となっている。



【小3（問6）、小6（問9）】

学校から帰った後、外で遊ぶ時間がありますか。

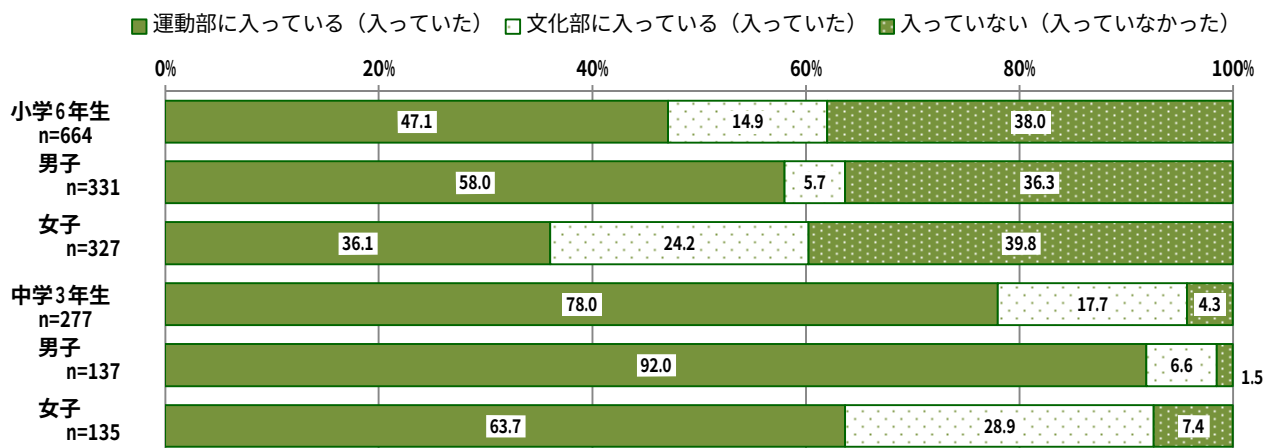
「たくさんある」は、小学3年生で 34.3%、小学6年生で 27.2%となっていますが、一方、「ほとんどない」も 20%を超えている。



【小6（問10）】学校での部活動（または課外活動）をしていますか。

【中3（問11）】今年の5月頃、学校で部活動（または課外活動）をしていましたか。

「運動部に入っている（入っていた）」は、小学6年生では47.1%、中学3年生では78.0%となっている。また、「入っていない（入っていなかった）」は、小学6年生では38.0%、中学3年生では4.3%となっている。

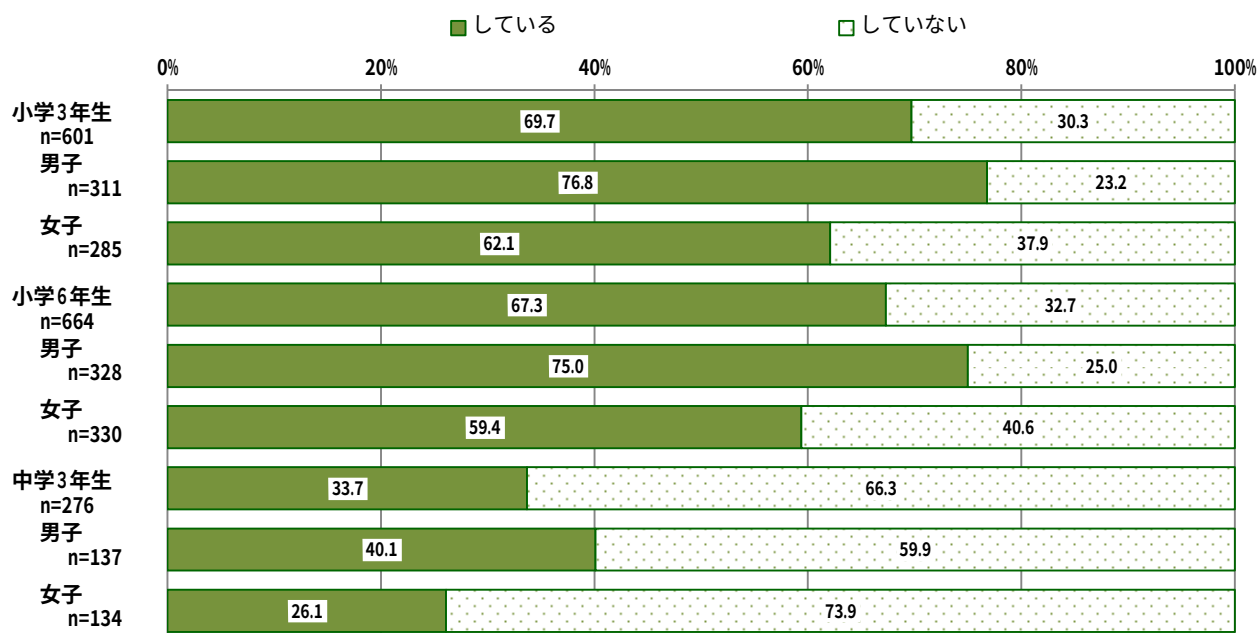


【小3（問7）、小6（問11）、中3（問12）】

学校での授業や部活動（または課外活動）以外で何かスポーツをしていますか。

「している」は小学3年生、小学6年生で67～70%となっており、一方、中学3年生では「していない」が66.3%となっている。

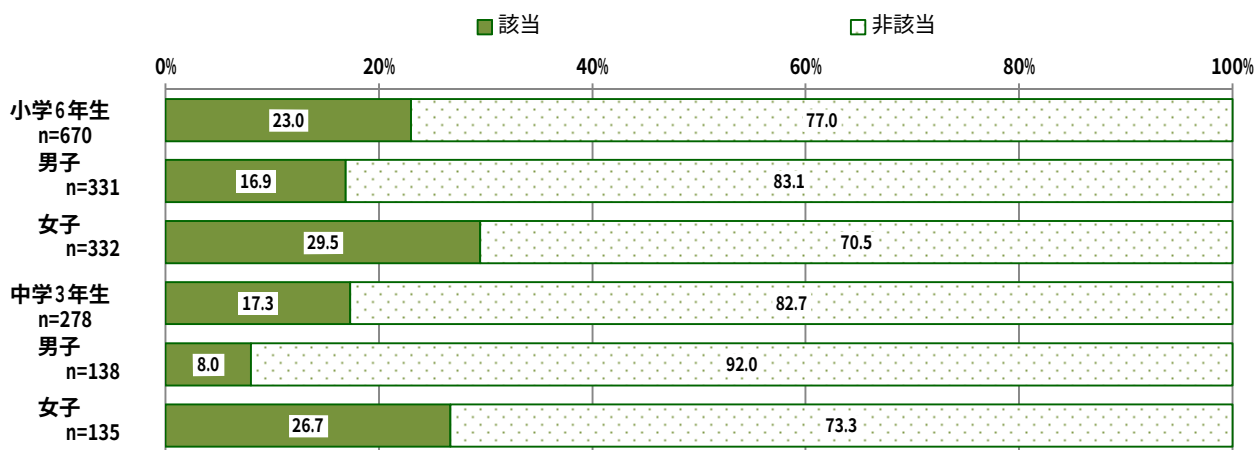
性別でみると、授業や部活動以外でスポーツをしている割合は、男子の方が女子より多くなっている。



＜運動していない子の割合＞

部活動を「文化部に入っていた」または「入っていなかった」と回答した子のうち、部活動以外でのスポーツも「していない」と回答した子

“該当”は小学6年生で23.0%、中学3年生では17.3%となっている。どちらの年代も、女子の方が“該当”が多くなっている。



【平成24年調査との比較】

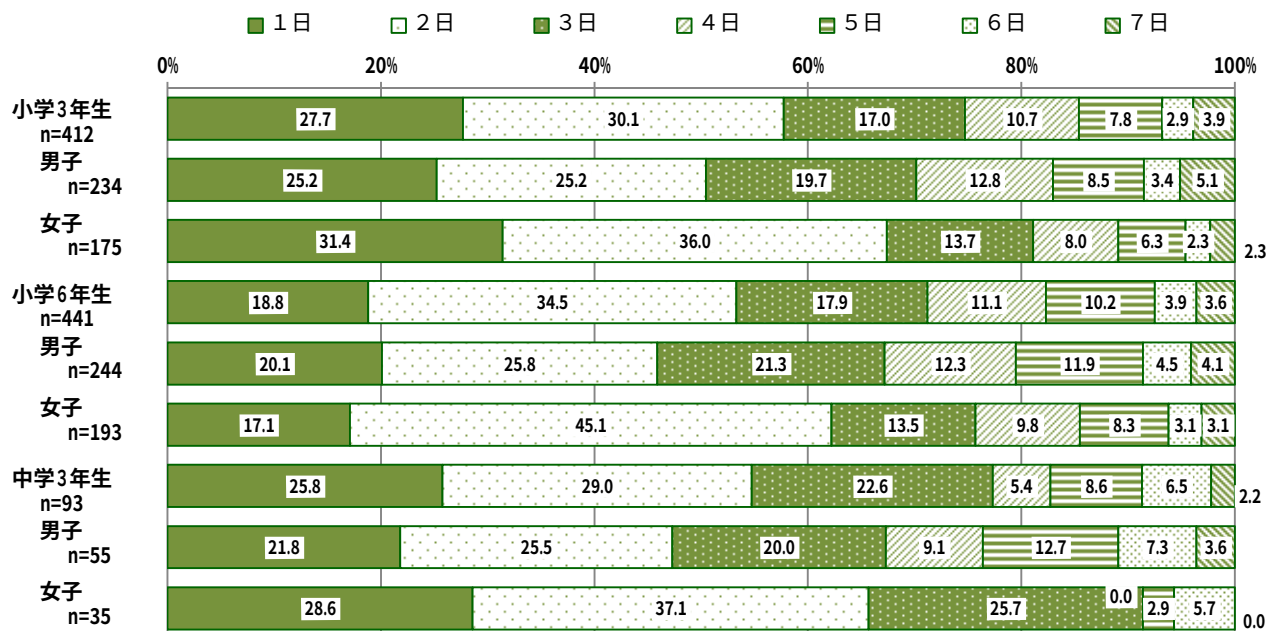
(%)

項 目		平成24年	平成29年
運動していない子の割合	小6	25.1	23.0
	中3	20.9	17.3

【小3（問7）、小6（問11）、中3（問12）】
 【「1 している」と回答した方は、この質問にお答えください。】
 「1 している」の人は日数を書いてください

どの年代においても“週1日から2日”が多く、45～68%となっている。

【運動日数】



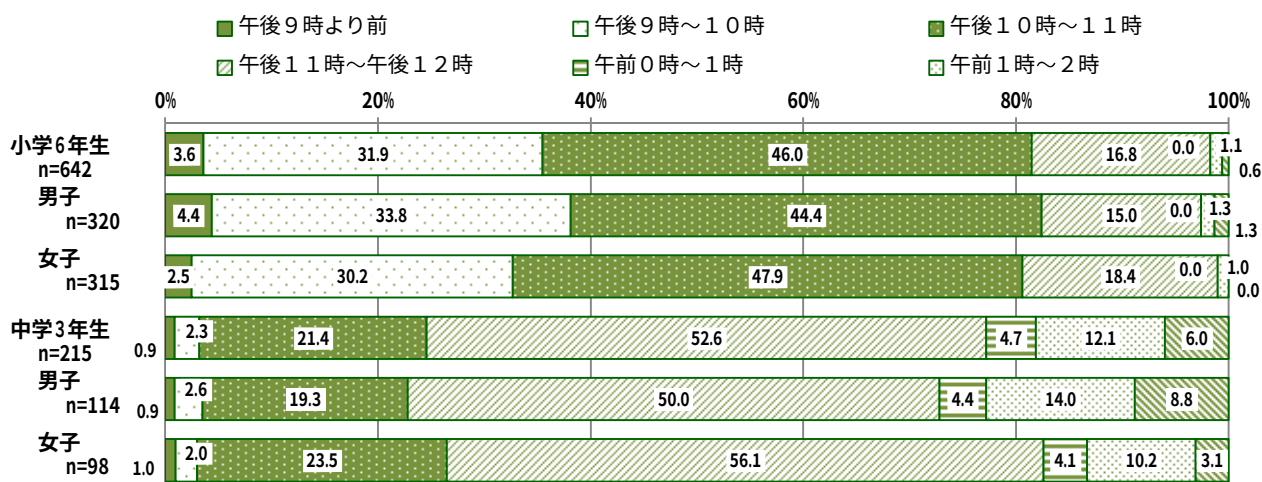
4 休養・こころの健康について

【小6（問12）、中3（問13）】

いつも何時ごろに寝ますか。また何時ごろに起きますか。24時間表記でご記入ください。

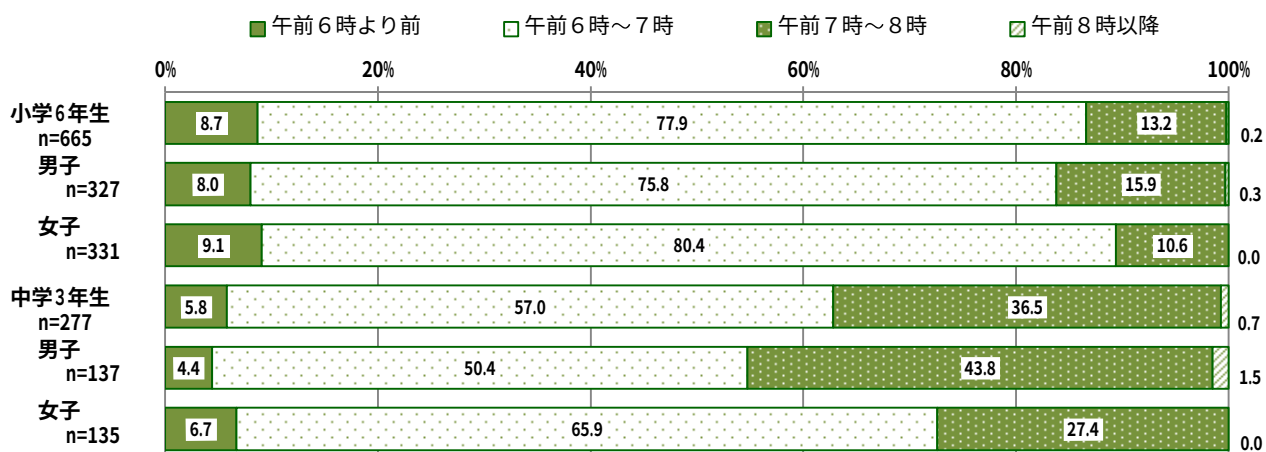
＜就寝時刻＞

小学6年生では「午後10時台」が46.0%、中学3年生では、「午後11時台」が52.6%となっている。



＜起床時刻＞

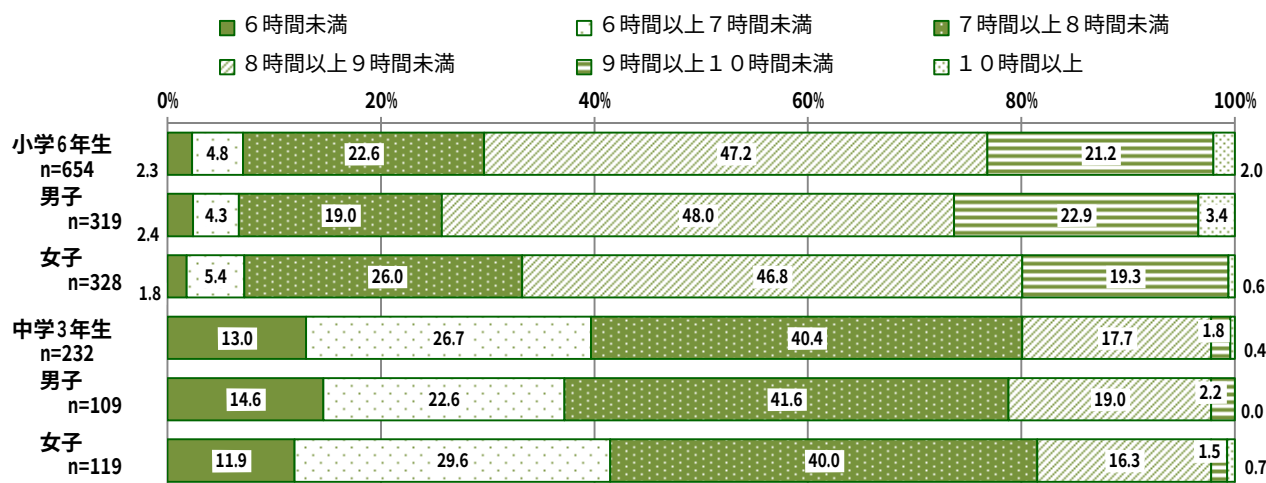
「午前6時台」が、小学6年生で77.9%、中学3年生で57.0%となっている。



＜睡眠時間＞

小学6年生では「8時間以上9時間未満」が47.2%、中学3年生では「7時間以上8時間未満」が40.4%となっている。「8時間以上」は、小学6年生では70.4%、中学3年生では19.9%となっている。

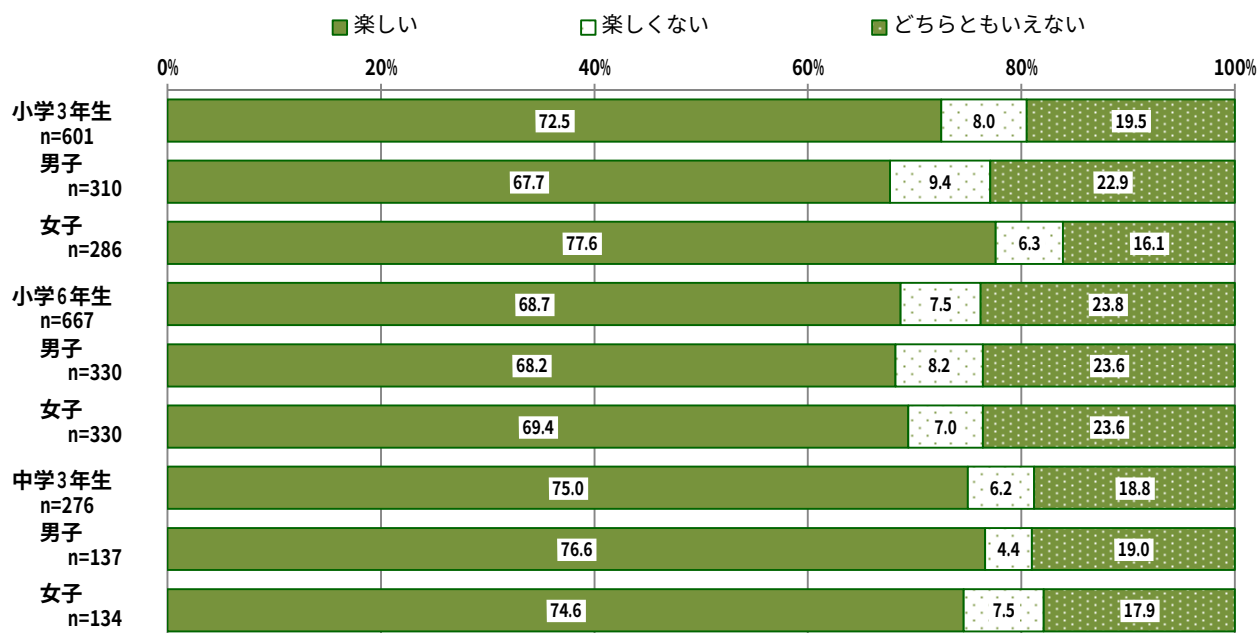
平均睡眠時間は、小学6年生で8時間12分、中学3年生で6時間54分となっている。



【小3（問8）、小6（問13）、中3（問14）】

学校は、楽しいですか。

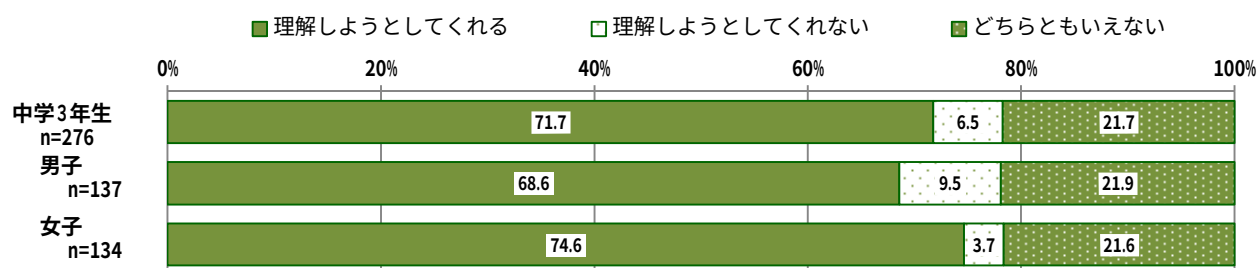
「楽しい」は、小学3年生で72.5%、小学6年生68.7%、中学3年生で75.0%となっている。「楽しくない」は、いずれの年代においても、8%以下となっている。



【中3（問15）】

お父さんまたはお母さんは、あなたのことを理解しようとしてくれますか。

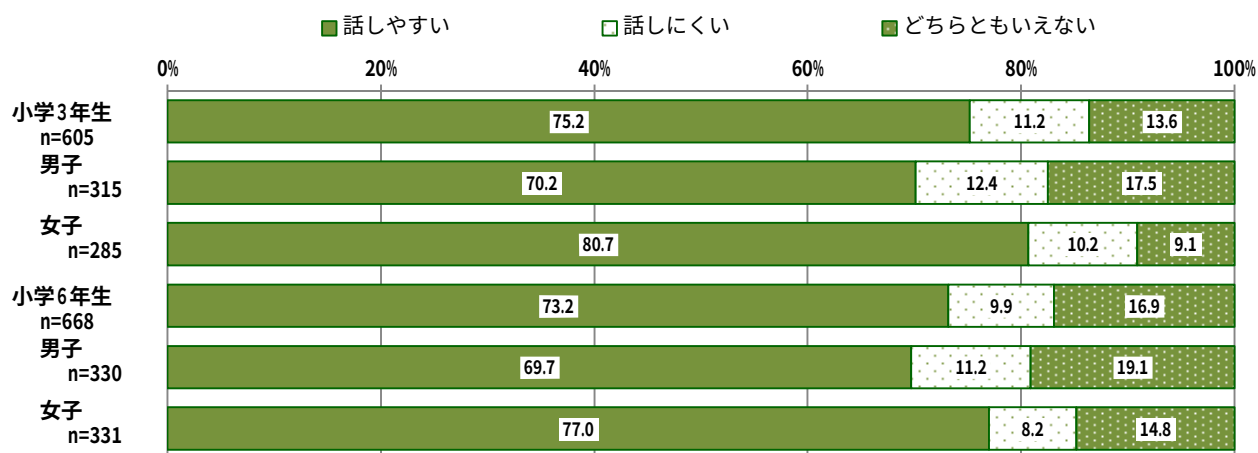
「理解しようとしてくれる」が 71.7%、「どちらともいえない」が 21.7%、「理解しようとしてくれない」が 6.5%となっている。



【小3（問9）、小6（問14）】

お父さんか、お母さんのどちらか一人でも、学校や友達のことを話しやすいですか。

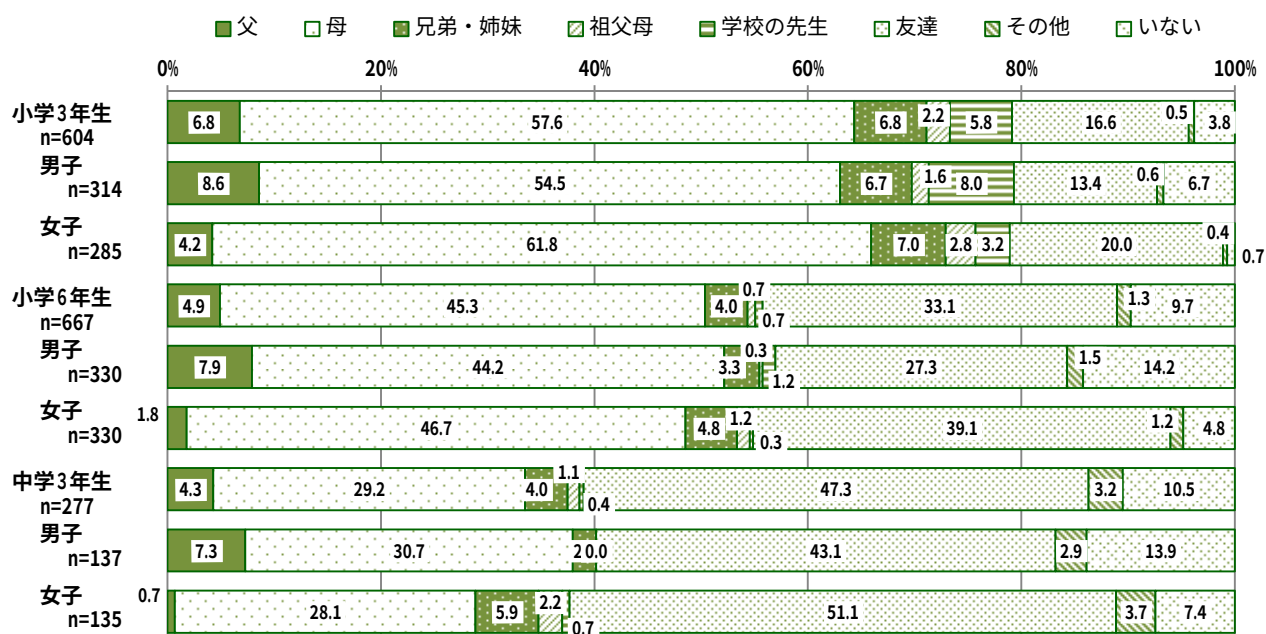
「話しやすい」は、小学3年生で 75.2%、小学6年生で 73.2%となっている。



【小3（問10）、小6（問15）、中3（問16）】

最初に悩みを相談するのはだれですか。

「母」が小学3年生では57.6%、小学6年生では45.3%となっている。中学3年生では「友達」が47.3%となっている。



【平成24年調査との比較】

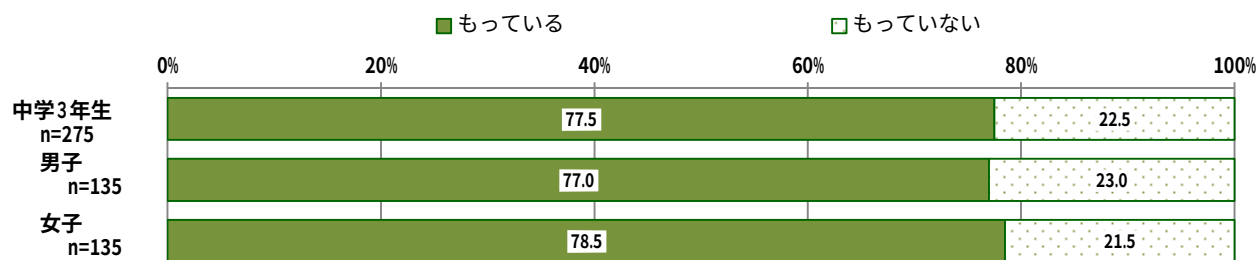
(%)

項 目		平成24年	平成29年
相談できる人がいない子の割合	小3	2.9	3.8
	小6	8.4	9.7
	中3	10.7	10.5

【中3（問17）】

ストレスの発散方法を持っていますか。

中学3年生では「もっている」が77.5%、「もっていない」が22.5%となっている。

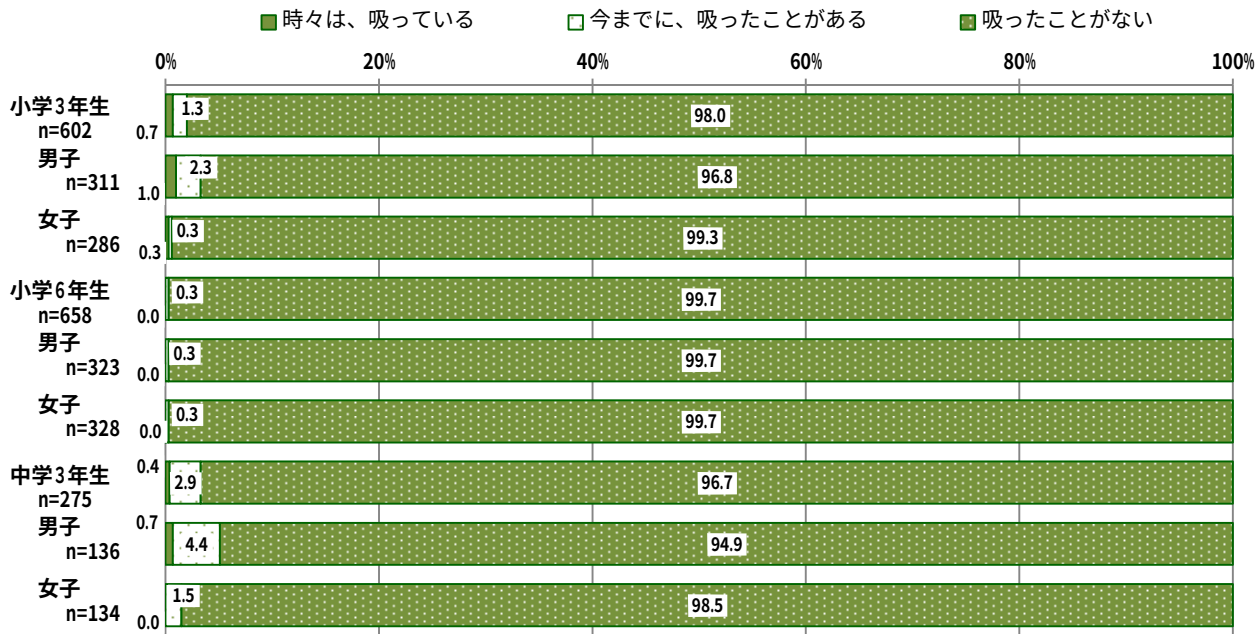


5 たばこ・アルコール・薬物について

【小3（問11）、小6（問16）、中3（問18）】

たばこを吸ったことがありますか。

「時々は、吸っている」「今までに、吸ったことがある」と答えた“吸ったことがある”は、小学3年生では2.0%、小学6年生では0.3%、中学3年生では3.3%となっている。



【平成24年調査との比較】 (%)

項 目		平成24年	平成29年
喫煙率	小3男子	1.3	1.0
	小3女子	0.7	0.3
	小6男子	0.0	0.0
	小6女子	0.0	0.0
	中3男子	1.6	0.7
	中3女子	1.2	0.0

※「時々は、吸っている」の割合

【たばこを吸ったことがある人は、この質問にお答えください。】

【小3（問11-1）、小6（問16-1）、中3（問18-1）】

初めてたばこを吸ったのはいつですか。

小学3年生では「小学校入学前」が45.5%、小学6年生では「小学校入学前」「小学6年生」が50%、中学3年生では「中学3年生」が37.5%となっています。

	全体	小学校入学前	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
小学3年生	11	45.5	9.1	36.4	9.1						
男子	9	33.3	11.1	44.4	11.1						
女子	2	100.0	-	-	-						
小学6年生	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0			
男子	1	-	-	-	-	-	-	100.0			
女子	1	100.0	-	-	-	-	-	-			
中学3年生	8	-	-	25.0	-	25.0	-	-	12.5	-	37.5
男子	6	-	-	33.3	-	16.7	-	-	-	-	50.0
女子	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-

【小6（問17）、中3（問19）】

喫煙は未成年の体にどのような害があるか知っていますか。（複数回答）

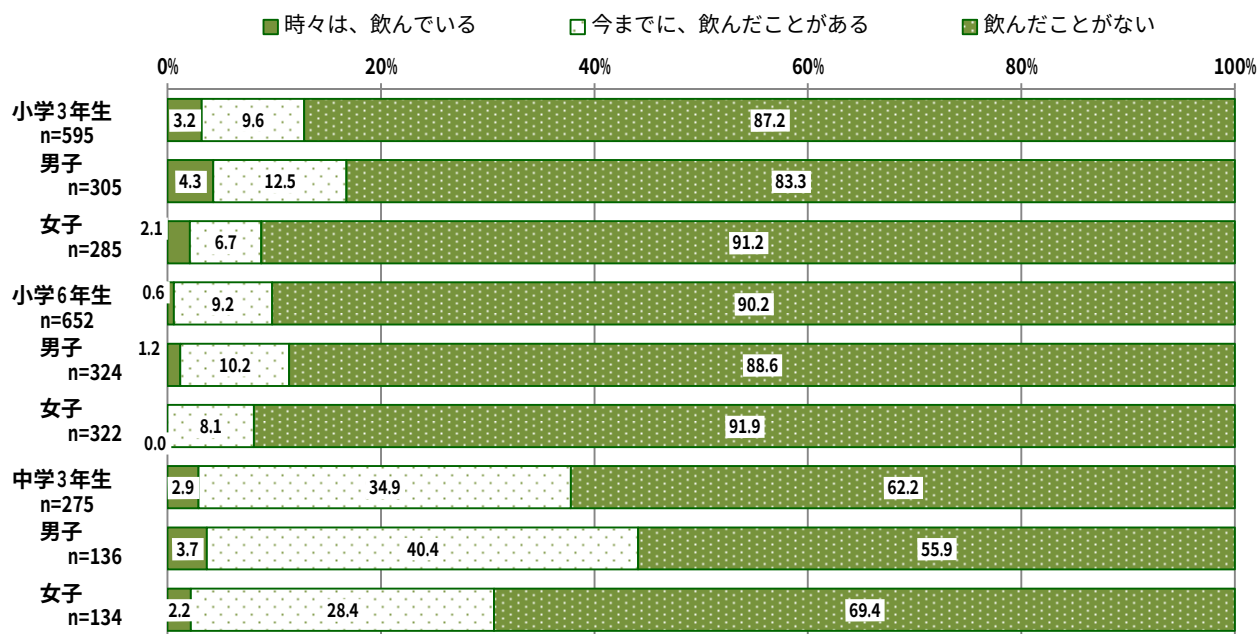
「がんや心臓病、胃潰瘍などの病気にかかりやすくなる」が小学6年生で77.6%、中学3年生で86.0%となっている。

	全体	めまいが おこす	心臓が ドキドキ したり、	せきや たんが でやす くな	肌が 荒れる	食欲が なくなる	息切れ がして、 スタミナ	臭が する	歯が 黄色く なったり、 口	学習能力 が落ちる	がんや 心臓病、 胃潰瘍 などの 病気にか かりやす くなる	赤ちゃん をうむと きに影 響がある	自分の 意思でや めるのが 難しい	知らな かった
小学6年生	653	44.7	47.9	18.2	15.8	37.2	51.8	27.6	77.6	31.9	65.5	10.3		
男子	321	40.5	50.5	14.6	15.0	36.4	45.5	24.3	75.1	24.6	61.4	12.1		
女子	327	49.5	45.3	22.0	16.8	38.2	58.4	31.2	80.1	39.4	70.3	8.3		
中学3年生	265	51.3	48.3	43.4	19.6	50.9	68.3	47.5	86.0	60.8	83.4	3.0		
男子	130	53.8	49.2	36.2	20.0	63.8	70.8	44.6	83.1	60.8	80.0	2.3		
女子	130	49.2	47.7	50.8	20.0	38.5	65.4	51.5	88.5	60.8	86.2	3.8		

【小3（問12）、小6（問18）、中3（問20）】

お酒を飲んだことがありますか。

「時々は、飲んでいる」「今までに、飲んだことがある」と答えた“飲んだことがある”は、小学3年生では12.8%、小学6年生では9.8%、中学3年生では37.8%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
飲酒率	小3 男子	8.2	4.3
	小3 女子	5.2	2.1
	小6 男子	4.7	1.2
	小6 女子	4.0	0.0
	中3 男子	6.9	3.7
	中3 女子	7.9	2.2

※「時々は、飲んでいる」の割合

【お酒を飲んだことがある人は、この質問にお答えください。】

【小3（問12-1）、小6（問18-1）、中3（問20-1）】

初めてお酒を飲んだのはいつですか。

小学3年生では「小学校入学前」「小学2年生」が30.6%、小学6年生では「小学3年生」が29.7%、中学3年生では「小学5年生」が18.3%となっている。中学3年生では、中学校入学前に初めて飲んだが75.9%となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全体	小学校入学前	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
小学3年生	72	30.6	18.1	30.6	20.8						
男子	49	32.7	18.4	30.6	18.4						
女子	23	26.1	17.4	30.4	26.1						
小学6年生	64	7.8	4.7	10.9	29.7	15.6	17.2	14.1			
男子	37	8.1	2.7	10.8	29.7	16.2	16.2	16.2			
女子	26	7.7	7.7	11.5	26.9	15.4	19.2	11.5			
中学3年生	104	6.7	3.8	4.8	15.4	10.6	18.3	16.3	11.5	8.7	3.8
男子	60	3.3	3.3	1.7	21.7	11.7	20.0	16.7	6.7	10.0	5.0
女子	41	12.2	4.9	9.8	7.3	9.8	14.6	12.2	19.5	7.3	2.4

【小6（問19）、中3（問21）】

飲酒は未成年の体にどのような害があるか知っていますか。（複数回答）

「大量のお酒を短時間に飲むと、意識を失ったり死亡することもある」が小学6年生で58.0%、中学3年生で81.0%となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全体	が注意 低下す る、判 断力、 記憶 力	肝臓 の病 気か かり やす く	高血 圧や 心臓 病な どの 生 活	高血 圧や 心臓 病な どの 生 活	性ホル モン の働 きをお さ	骨が もろ くなる	難し く自 分の 意 思で やめ るの が	亡す るこ と大 量 の お 酒 を 短 時 間 に 死 亡 す る	知ら な か っ た
小学6年生	654	47.7	54.7	51.4	11.3	38.4	53.7	58.0	15.6	
男子	321	46.7	50.5	43.3	10.6	33.0	47.7	52.6	19.9	
女子	326	49.1	59.5	59.8	12.0	43.9	60.1	63.5	10.1	
中学3年生	268	69.0	70.5	63.8	20.1	33.6	61.9	81.0	4.5	
男子	131	64.1	64.1	60.3	19.8	31.3	55.7	80.9	6.9	
女子	132	73.5	76.5	66.7	18.9	36.4	67.4	81.1	2.3	

【小6（問20）、中3（問22）】

覚せい剤などの薬物を使った場合、こころや体に次のような害があることを知っていますか。
（複数回答）

「自分の意思でやめるのが難しくなる（依存症（精神依存、身体依存）」が小学6年生で72.4%、
中学3年生で91.6%となっている。また、「1回使っただけでも、死亡することがある（急性中毒死）」は小学6年生が42.1%であるのに対し、中学3年生は39.6%となっている。

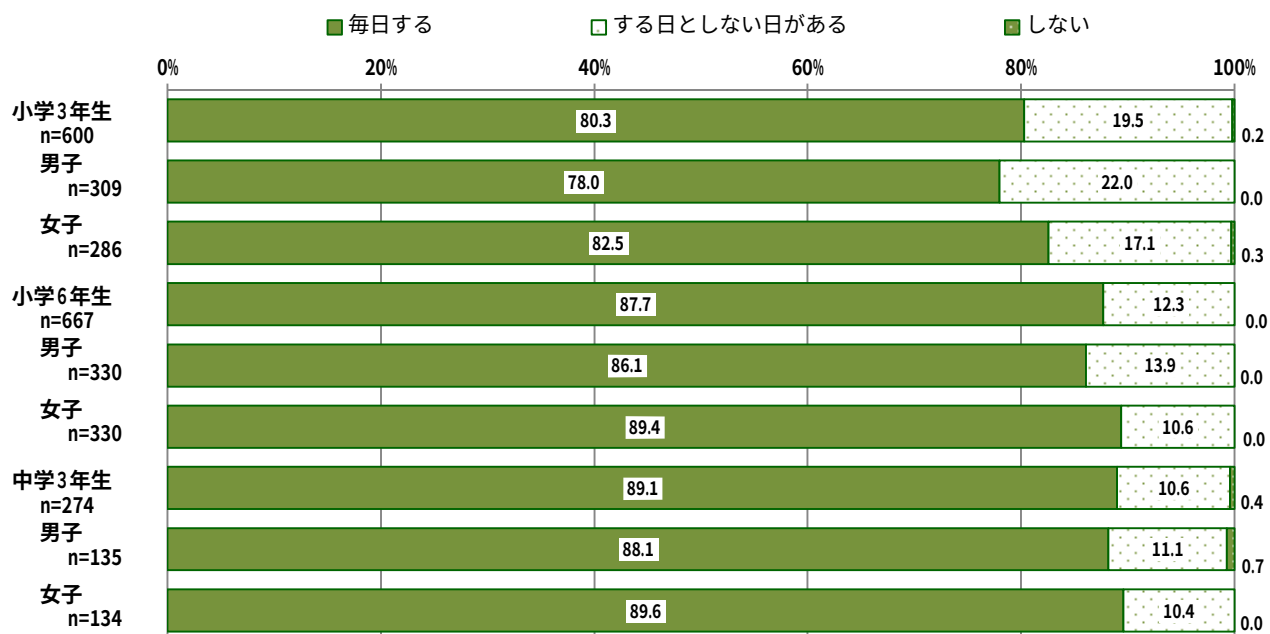
(全体:件数、表内:%)									
	全体	1回使っただけでも、異常に興奮したり、やがて急性中毒（急）	1回使っただけでも、死亡することがある（急性中毒死）	自分の意思でやめるのが難しくなる（依存症（精神依存、身体依存））	薬が切れると、体を動かすことがいしなくなったりする（禁断症状）	使用を続けると、体の様々なところに障害をおこしやす（慢性中毒）	使用を続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害をおこしやす（急性中毒）	使用を続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害をおこしやす（慢性中毒）	知らなかった
小学6年生	660	59.5	42.1	72.4	50.6	53.8	56.8	54.4	16.1
男子	324	59.0	39.5	65.7	49.1	49.7	52.8	51.2	20.7
女子	330	60.3	45.5	79.4	52.7	58.2	61.5	58.2	10.6
中学3年生	275	78.2	39.6	91.6	67.3	68.7	73.1	74.2	4.7
男子	136	76.5	42.6	86.0	66.2	63.2	68.4	72.1	8.1
女子	134	79.9	38.1	97.0	69.4	73.9	78.4	76.1	1.5

6 歯の健康について

【小3（問13）、小6（問21）、中3（問23）】

歯みがきをしますか。

「毎日する」は、小学3年生で80.3%、小学6年生で87.7%、中学3年生で89.1%となっている。



【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
毎日、歯をみがく子の割合	小3	75.7	80.3
	小6	84.1	87.7
	中3	89.1	89.1

【歯みがきをする人は、この質問にご回答ください。】

【小3（問 13-1）、小6（問 21-1）、中3（問 23-1）】

いつ歯みがきをしますか。（複数回答）

いずれの年代においても、「朝食後」が最も多く、次いで「就寝前」となっている。

(全体:件数、表内:%)							
	全 体	朝 食 前	朝 食 後	昼 食 後	夕 食 後	就 寝 前	そ の 他
小学3年生	592	11.1	76.5	32.8	31.4	75.7	7.9
男子	305	9.8	72.1	28.5	30.2	75.7	9.2
女子	282	12.8	81.2	37.2	33.0	75.2	6.7
小学6年生	664	14.9	78.2	31.2	33.6	72.3	3.2
男子	330	16.7	72.4	32.1	34.8	68.8	3.6
女子	327	13.1	84.7	30.3	31.8	75.5	2.8
中学3年生	272	13.6	81.3	9.2	39.0	63.2	2.9
男子	133	14.3	78.2	9.8	37.6	64.7	3.0
女子	134	11.9	85.1	7.5	38.8	62.7	3.0

＜毎日、1日2回以上歯をみがく子の割合＞

歯みがきの状況を回答した子のうち、毎日、1日2回以上歯をみがく子

【平成24年調査との比較】

(%)

項 目		平成24年	平成29年
毎日、1日2回以上歯をみがく子の割合	小3	68.1	68.7
	男子	63.1	62.1
	女子	73.4	75.5
	小6	76.4	80.4
	男子	70.8	76.7
	女子	82.3	84.2
	中3	78.2	76.3
	男子	74.2	71.9
	女子	82.6	79.9

*分母は歯みがきの状況に回答があった全数（「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計）

【小3（問14）、小6（問22）、中3（問24）】

歯や口について、次のようなことがありますか。（複数回答）

「特にない」は、いずれの年代においても、40%以上となっている。

また、「歯みがきの時、歯ぐきから血がでる」は、いずれの年代においても20%以上となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全体	歯ぐきがはれる	冷たいものを飲むと歯がしみる	歯みがきの時、歯ぐきから血がでる	口がくさいと言われる	特にない	わからない
小学3年生	547	6.8	18.1	20.7	21.2	47.2	11.2
男子	285	7.4	19.3	19.6	24.2	42.8	14.0
女子	258	6.2	17.1	22.1	17.8	51.6	8.1
小学6年生	547	8.4	23.6	26.1	13.3	42.0	9.1
男子	262	8.4	22.1	29.0	14.9	40.5	9.5
女子	278	8.3	25.2	23.7	12.2	44.6	7.2
中学3年生	266	13.2	22.2	27.1	13.5	41.4	10.2
男子	129	7.8	24.0	26.4	13.2	40.3	12.4
女子	132	18.9	20.5	28.0	14.4	40.9	8.3

【中3（問25）】

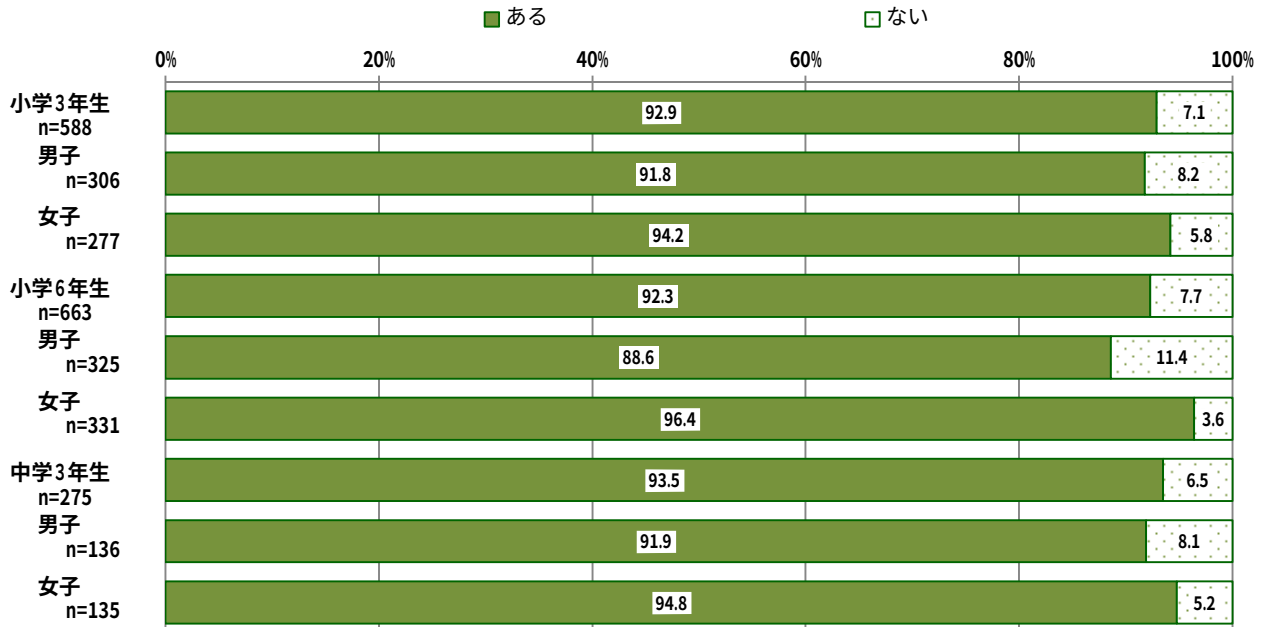
歯の健康管理として行っていることはありますか。（複数回答）

「自分の歯ブラシがある」が96.4%、「かかりつけ歯科医院がある」「定期的に歯科健診（年1回以上）を受けている（学校での歯科健診を除く）」「フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している」が40%以上となっている。

	全体	自分の歯ブラシがある	デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃器具を使用している	かかりつけ歯科医院がある	定期的に歯科健診を受けている（年1回以上）（学校での歯科健診を除く）	フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している	歯の治療は早めに受けるようしている	その他	特にない
中学3年生	275	265	48	126	122	111	86	2	7
	100.0	96.4	17.5	45.8	44.4	40.4	31.3	0.7	2.5
男子	136	129	23	50	50	44	34	-	5
	100.0	94.9	16.9	36.8	36.8	32.4	25.0	-	3.7
女子	134	131	25	73	70	67	49	2	2
	100.0	97.8	18.7	54.5	52.2	50.0	36.6	1.5	1.5

【小3（問 15）、小6（問 23）、中3（問 26）】
歯のみがき方を教えてもらったことがありますか。

いずれの年代においても「ある」は、90%以上となっている。



【歯みがきを教えてもらったことがある人は、この質問にご回答ください。】
【小3（問 15-1）、小6（問 24-1）、中3（問 26-1）】
歯のみがき方をどこで教えてもらいましたか。（複数回答）

小学3年生では「歯科医院」「学校」「家族」、小学6年生と中学3年生では「歯科医院」「学校」の割合が50%以上となっている。

(全体:件数、表内:%)

	全体	歯科医院	学校	保育園 幼稚園	家族	テレビ	ビデオ	その他
小学3年生	546	50.2	58.6	38.6	58.6	15.2	12.3	2.9
男子	281	49.5	58.4	35.9	54.4	17.1	11.4	3.9
女子	261	51.3	59.4	41.8	62.8	12.6	13.4	1.9
小学6年生	612	56.5	54.4	28.1	49.5	19.4	8.3	2.5
男子	288	53.8	49.0	24.3	49.3	19.8	9.0	2.8
女子	319	59.2	59.2	32.0	50.5	19.4	7.5	2.2
中学3年生	256	63.7	60.9	21.5	39.1	11.7	1.6	0.8
男子	124	55.6	59.7	16.1	35.5	11.3	-	0.8
女子	128	71.1	62.5	27.3	43.8	12.5	3.1	0.8

7 性について

【中3（問27）】

知っている避妊方法は次のうちどれですか。（複数回答）

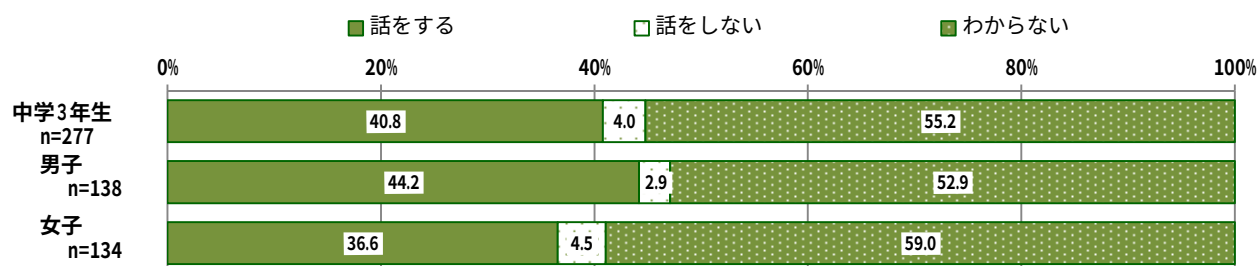
「コンドーム」が70.5%、「知っているものはない」が29.1%、「ピル」が28.4%となっている。

	全体	コンドーム	ピル	基礎体温法	その他	知っているものはない
中学3年生	275	70.5	28.4	4.0	1.5	29.1
男子	137	78.8	25.5	5.1	2.2	21.9
女子	133	61.7	31.6	3.0	0.8	36.8

【中3（問28）】

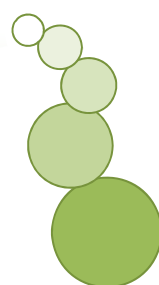
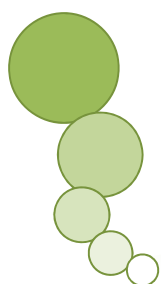
もしセックスをしたら、避妊について相手と話をしますか。

「話をする」は40.8%、また、「わからない」が55.2%となっている。



Ⅲ調査の結果

<保護者編>

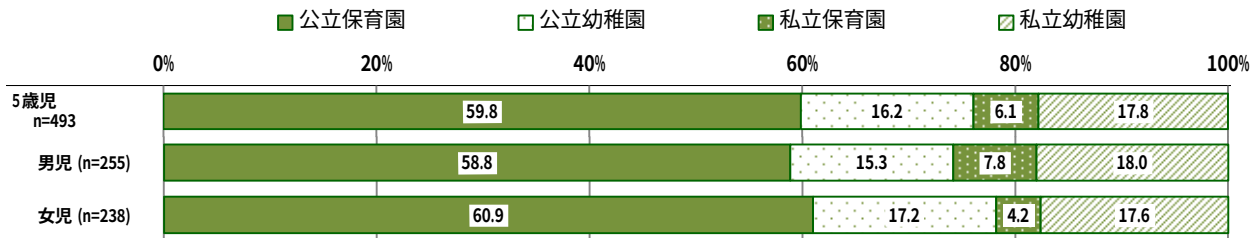


III 調査の結果＜保護者編＞

1 あなた（保護者）のお子さんについて

【5歳児（問1）】

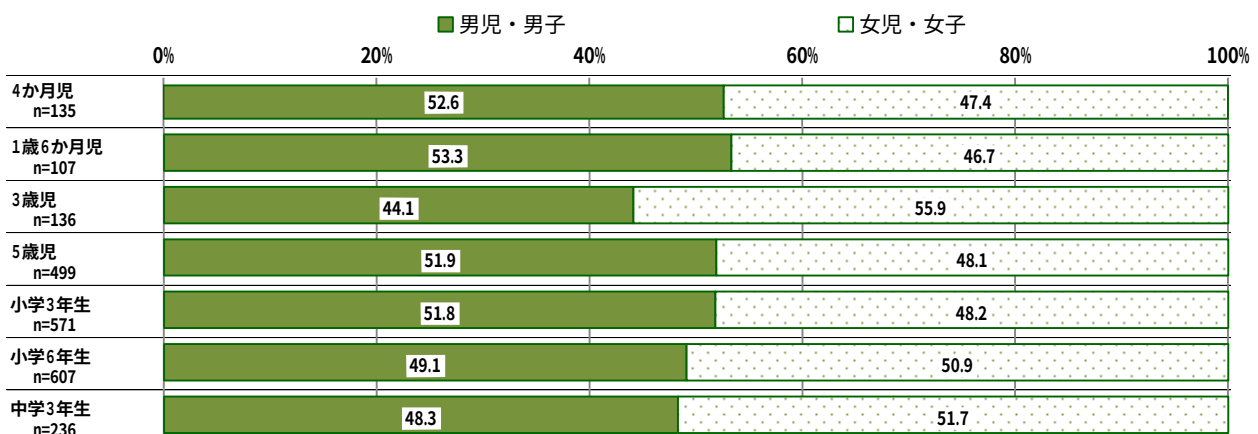
お子さんの通っている園を以下からお答えください。



【4か月児（問1）、1歳6か月児・3歳児（問1）、5歳児（問2）、小3（問1）、小6（問1）、中3（問1）】
お住まいの地区の小学校区をお答えください。あわせて、お住まいの町名をお答えください。

	全体	安城中 部小 学校	安城南 部小 学校	安城西 部小 学校	安城東 部小 学校	安城北 部小 学校	錦町 小 学校	高棚 小 学校	明和 小 学校	志貴 小 学校	桜井 小 学校	作野 小 学校	祥南 小 学校	丈山 小 学校	二本 木 小 学校	里町 小 学校	桜町 小 学校	桜林 小 学校	新田 小 学校	今池 小 学校	三河 安城 小 学校	梨の 里 小 学校	わからない
0～3歳児(合算)	377	5.6	5.3	4.0	4.2	5.0	4.8	1.6	1.9	1.9	7.7	5.6	2.9	6.6	5.3	4.2	5.3	2.9	4.0	5.0	3.7	3.2	9.3
男児	188	5.9	3.2	5.3	4.8	6.9	4.8	2.1	2.7	2.7	7.4	4.8	0.5	6.4	4.8	4.3	3.7	1.6	5.3	5.3	4.3	4.3	9.0
女児	189	5.3	7.4	2.6	3.7	3.2	4.8	1.1	1.1	1.1	7.9	6.3	5.3	6.9	5.8	4.2	6.9	4.2	2.6	4.8	3.2	2.1	9.5
5歳児	496	5.2	4.8	4.6	5.6	7.9	6.9	3.8	3.0	2.4	6.0	6.7	2.4	3.2	4.2	7.3	4.4	6.5	4.6	2.2	5.6	2.0	0.4
男児	257	5.8	4.3	3.9	7.0	8.2	5.8	2.3	4.3	1.9	5.8	7.4	2.3	2.3	5.4	5.1	5.1	8.6	3.5	2.3	6.6	1.9	-
女児	239	4.6	5.4	5.4	4.2	7.5	7.9	5.4	1.7	2.9	6.3	5.9	2.5	4.2	2.9	9.6	3.8	4.2	5.9	2.1	4.6	2.1	0.8
小学3年生	584	4.3	4.3	5.5	5.5	5.7	5.0	4.1	5.1	4.5	5.7	5.3	3.8	5.5	4.6	4.8	4.5	4.3	4.5	4.1	5.0	4.3	-
男子	296	4.1	3.4	4.7	5.7	6.4	5.1	3.4	6.1	6.4	5.4	4.7	3.4	6.1	5.1	5.1	4.1	4.4	4.1	4.4	4.7	3.4	-
女子	275	4.7	5.1	6.5	5.5	4.4	4.7	4.7	4.4	2.5	6.2	5.8	4.4	5.1	4.0	4.7	5.1	4.0	4.7	2.9	5.5	5.1	-
小学6年生	636	5.7	5.3	5.0	5.2	5.3	4.7	3.9	4.4	5.5	4.6	5.5	3.8	4.4	4.7	4.9	3.8	4.9	3.9	4.6	5.8	4.1	-
男子	298	5.7	4.7	5.7	5.4	5.0	5.0	4.0	4.7	5.0	4.0	5.4	4.0	4.4	5.4	4.4	2.7	5.4	5.7	4.0	5.0	4.4	-
女子	309	5.2	6.1	4.9	5.2	5.8	4.9	4.2	3.6	5.5	5.2	6.1	3.2	4.2	4.5	4.9	4.2	3.9	2.6	5.5	6.1	4.2	-
中学3年生	236	3.4	6.4	3.0	3.0	7.6	5.5	2.1	4.2	0.4	10.2	8.1	3.4	6.8	6.4	7.6	4.7	3.4	2.1	3.4	5.9	2.5	-
男子	114	4.4	7.0	4.4	-	7.9	5.3	2.6	4.4	-	10.5	8.8	4.4	6.1	4.4	7.9	3.5	1.8	2.6	6.1	5.3	2.6	-
女子	122	2.5	5.7	1.6	5.7	7.4	5.7	1.6	4.1	0.8	9.8	7.4	2.5	7.4	8.2	7.4	5.7	4.9	1.6	0.8	6.6	2.5	-

【4か月児（問2）、1歳6か月児・3歳児（問2）、5歳児（問3）、小3（問2）、小6（問2）、中3（問2）】
お子さんの性別はどちらですか。



III 調査の結果＜保護者編＞

【4か月児（問3）、1歳6か月児・3歳児（問3）、5歳児（問5）、小3（問4）、小6（問3）、中3（問3）】
お子さんからみて、同居している方を教えてください。（複数回答）

(全体:件数、表内:%)

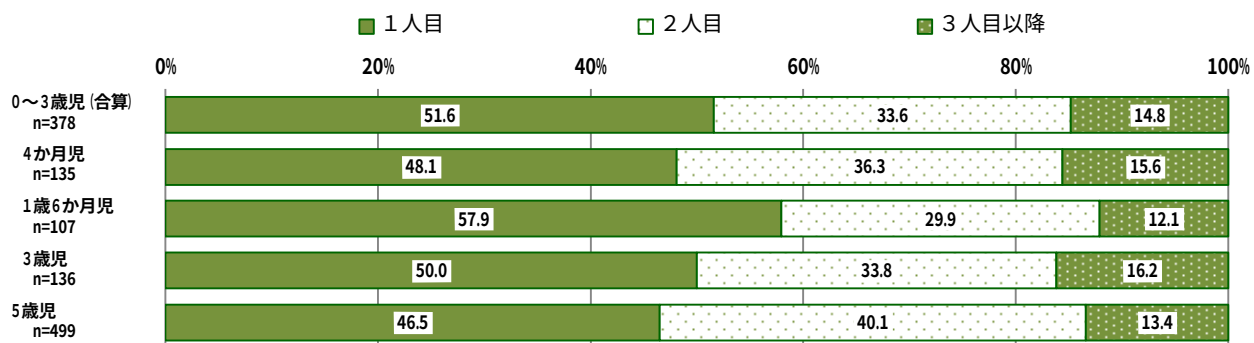
	全 体	父	母	祖 父	祖 母	兄 ・ 姉	弟 ・ 妹	そ の 他
0～3歳児(合算)	378	96.3	96.8	9.5	12.2	44.7	14.3	4.5
4か月児	135	96.3	94.8	5.2	8.1	47.4	3.7	5.2
1歳6か月児	107	96.3	96.3	13.1	14.0	38.3	7.5	2.8
3歳児	136	96.3	99.3	11.0	14.7	47.1	30.1	5.1
5歳児	498	92.0	98.8	12.9	19.1	49.8	41.0	3.6
小学3年生	574	93.2	97.7	15.9	19.0	50.5	50.7	5.1
小学6年生	608	89.8	98.4	15.0	19.4	54.3	47.4	1.8
中学3年生	236	89.8	96.6	16.9	19.5	50.8	44.5	2.5

【4か月児（問4）、1歳6か月児・3歳児（問4）、5歳児（問6）、小3（問5）、小6（問4）、中3（問4）】
お子さんからみて、あなた（アンケート記入者）はどなたですか。

(全体:件数、表内:%)

	全 体	父	母	祖 父	祖 母	兄 ・ 姉	そ の 他
0～3歳児(合算)	376	1.3	98.7	-	-	-	-
4か月児	134	1.5	98.5	-	-	-	-
1歳6か月児	107	-	100.0	-	-	-	-
3歳児	135	2.2	97.8	-	-	-	-
5歳児	499	3.8	95.4	-	0.4	0.2	0.2
小学3年生	574	4.0	94.6	-	0.9	0.2	0.3
小学6年生	607	3.3	96.2	-	0.2	0.2	0.2
中学3年生	236	6.8	92.8	-	0.4	-	-

【4か月児（問5）、1歳6か月児・3歳児（問5）、5歳児（問7）】
何人目のお子さんですか。



【5歳児（問4）、小3（問3）】

お子さんの身長および体重をご記入ください。＊算用数字で記入

肥満度（5歳児はカウプ指数、小学3年生はローレル指数及び学校保健統計調査方式を用いて算出）

5歳児では“標準”が47.8%、次いで“やせぎみ”45.4%、“肥満ぎみ”2.6%となっている。

小学3年生では“標準”が64.1%、次いで“やせぎみ”22.2%となっている。

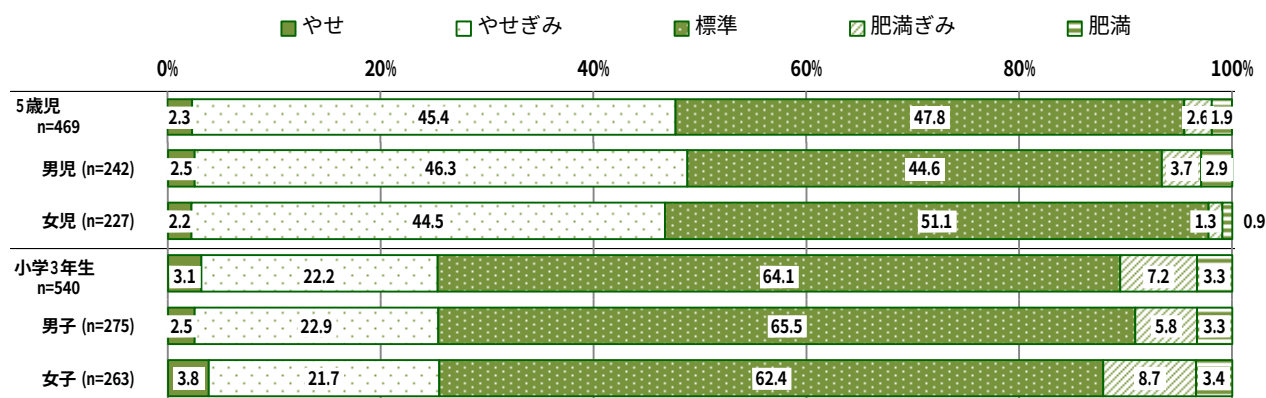
また、“やせ”“やせぎみ”は5歳児で47.7%、小学3年生では25.3%となっている。

一方で、学校保健統計調査方式による判定では、“普通”が88.3%、“肥満傾向”は7.2%となっている。

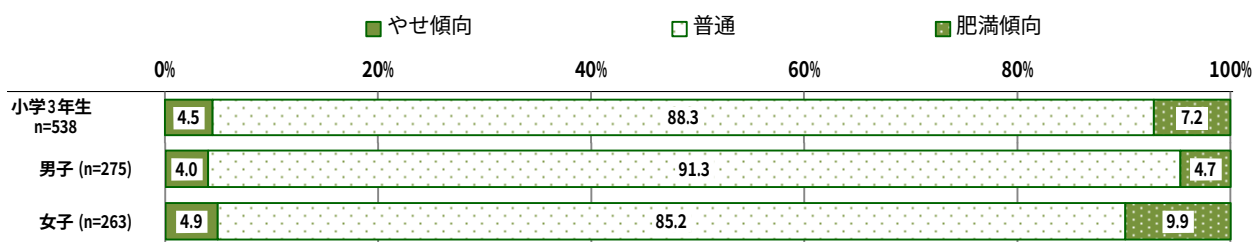
※カウプ指数＝(体重(kg)÷身長(cm)²)×10⁴

カウプ指数	判定
13未満	やせ
13～14.9	やせぎみ
15～17.9	正常
18～19.9	肥満ぎみ
20以上	肥満

【5歳児はカウプ指数、小学3年生はローレル指数による判定】



【学校保健統計調査方式による判定】

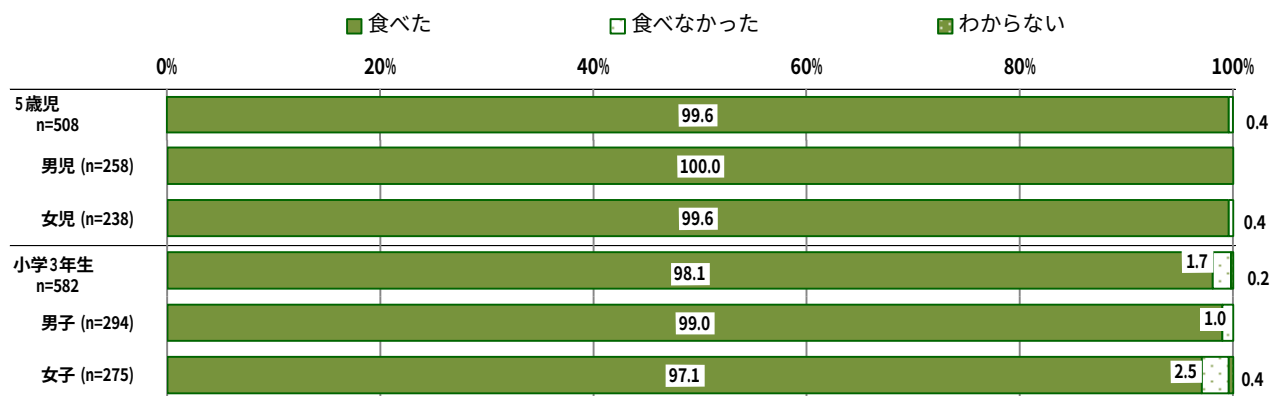


2 栄養・食生活について

【5歳児（問8）、小3（問6）】

今日、お子さんは朝食を食べましたか。

「食べた」は5歳児で99.6%、小学3年生で98.1%となっており、「食べなかった」は5歳児で0.4%、小学3年生で1.7%、小学3年生女子で2.5%となっている。



【平成24年調査との比較】

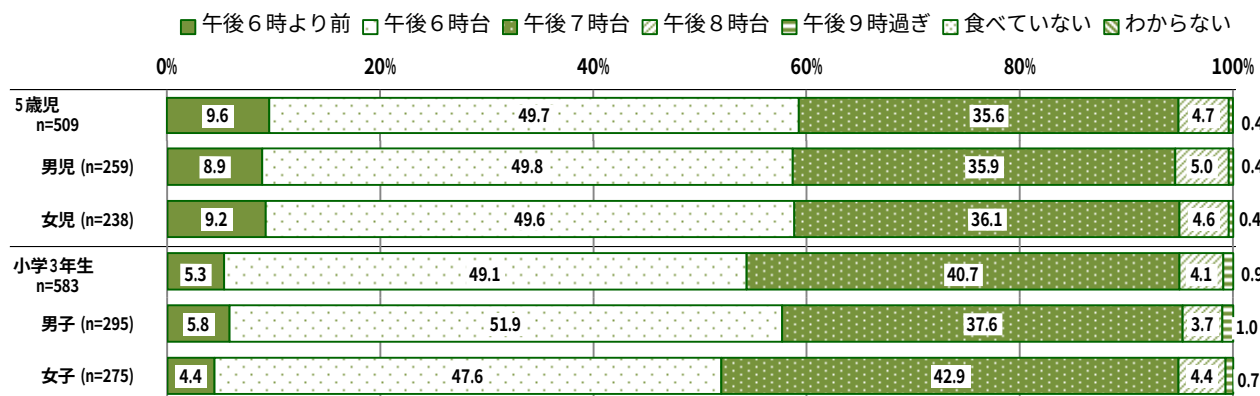
(%)

項目		平成24年	平成29年
朝食を食べていない子どもの割合	5歳児	0.9	0.4
	小3	2.1	1.7

【5歳児（問9）、小3（問7）】

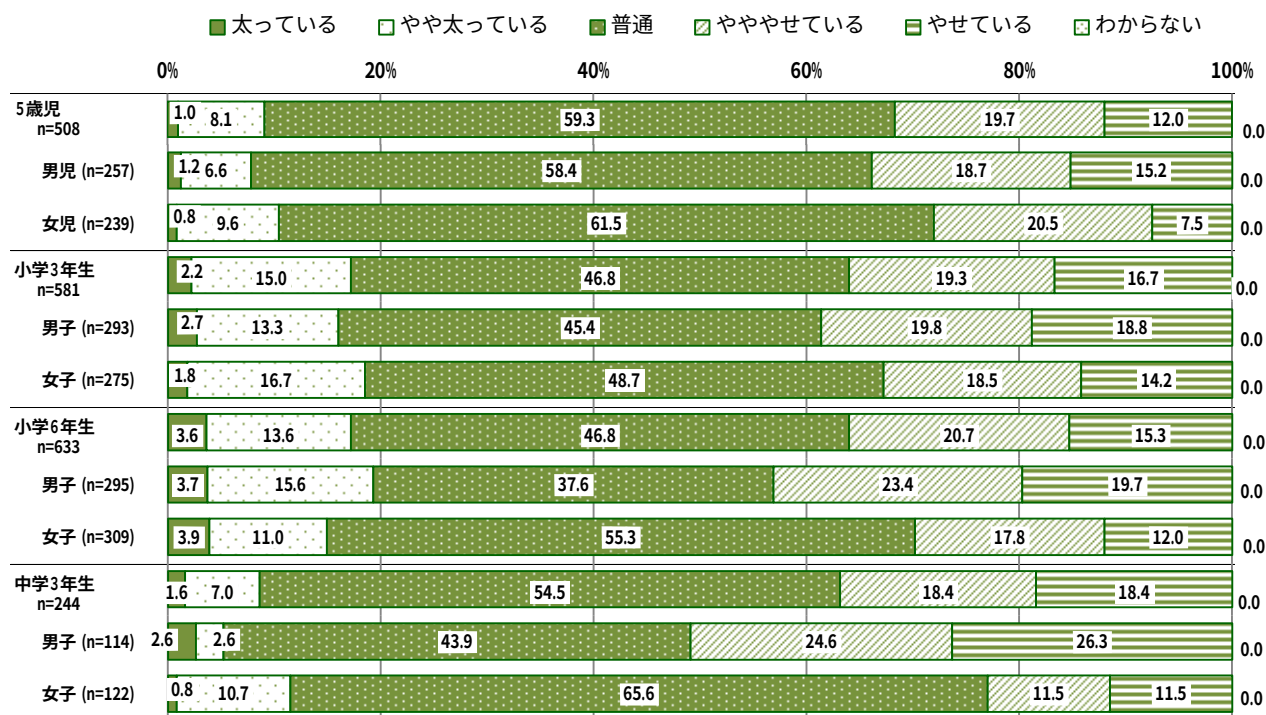
昨日のお子さんの夕食時刻は、何時ごろですか。

「午後7時前」が50%以上となっている。



【5歳児（問10）、小3（問8）、小6（問5）、中3（問5）】
あなたは、お子さんの体型をどう思いますか。

「やややせている」「やせている」を合わせると、いずれの学年においても30%以上となっている。また、「やや太っている」「太っている」は、20%未満となっている。



＜肥満度別、お子さんの体型をどう思うか＞

		(全体:件数, 表内:%)						
		全体	太っている	やや太っている	普通	やややせている	やせている	わからない
5歳児	全体	508	1.0	8.1	59.3	19.7	12.0	-
	やせ	11	-	-	-	54.5	45.5	-
	やせぎみ	211	-	0.5	46.9	29.9	22.7	-
	標準	223	0.4	11.7	79.4	7.6	0.9	-
	肥満	9	33.3	33.3	33.3	-	-	-
小学3年生	全体	581	2.2	15.0	46.8	19.3	16.7	-
	やせ傾向	24	-	4.2	25.0	16.7	54.2	-
	普通	473	1.3	12.9	50.5	20.1	15.2	-
	肥満傾向	38	15.8	50.0	28.9	2.6	2.6	-

※肥満度別は、5歳児はカウプ指数、小学3年生は学校保健統計調査方式による肥満度別

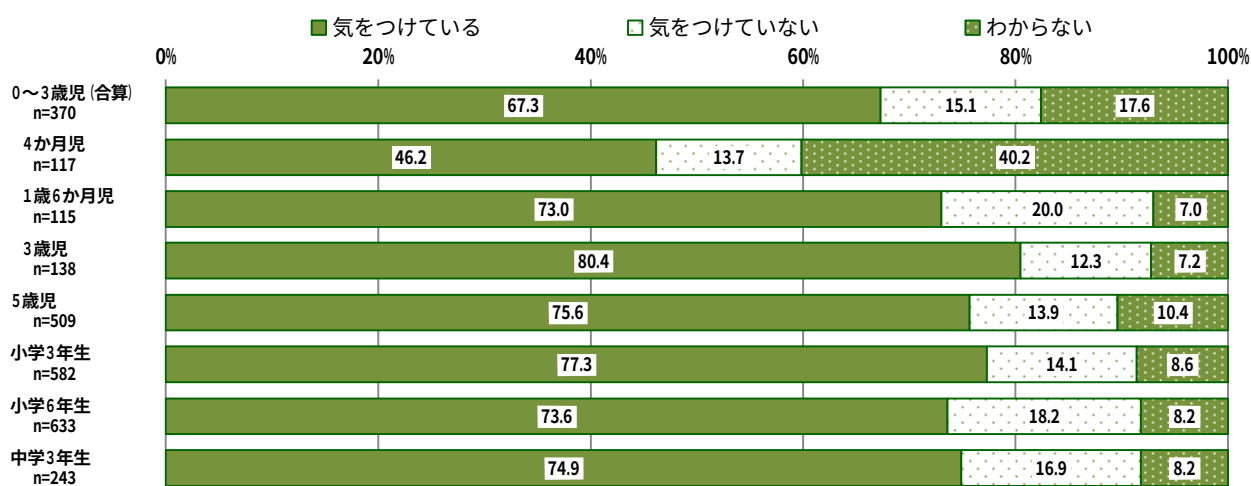
【4か月児・1歳6か月児・3歳児（問6）、5歳児（問11）、小3（問9）、小6（問6）、中3（問6）】

お子さんの食事をつくる時に、栄養のバランスについて気をつけていますか。（例：主食・主菜・副菜、食事バランスガイド※、3色の食品群※など）

※食事バランスガイド：望ましい食生活のために、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を分かりやすくイラストで示したものです。

※3色の食品群：栄養素の働きの特徴から、食品を「赤色群（血液や肉をつくるもの）」「黄色群（力や体温になるもの）」「緑色群（体の調子を整えるもの）」の3つのグループに分けたものです。

「気をつけている」が70%以上となっている。



【平成24年調査との比較】

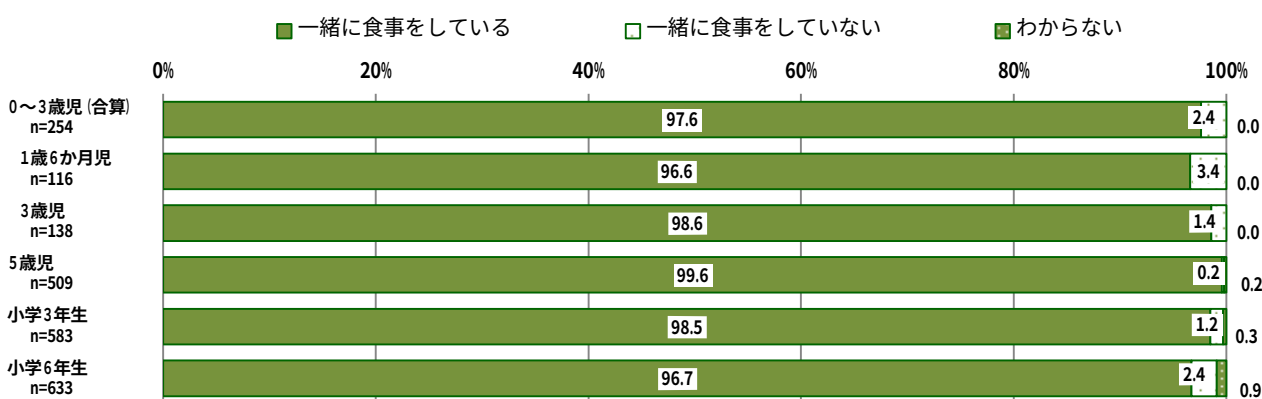
(%)

項 目		平成24年	平成29年
栄養バランスに気をつけている保護者の割合	0～3歳児	68.8	67.3
	5歳児	71.3	75.6
	小3	77.3	77.3
	小6	77.7	73.6
	中3	73.0	74.9

【1歳6か月児・3歳児（問7）、5歳児（問12）、小3（問10）、小6（問7）】

お子さんは、1日に1食でも家族のうち大人の人と一緒に食事をしていますか。

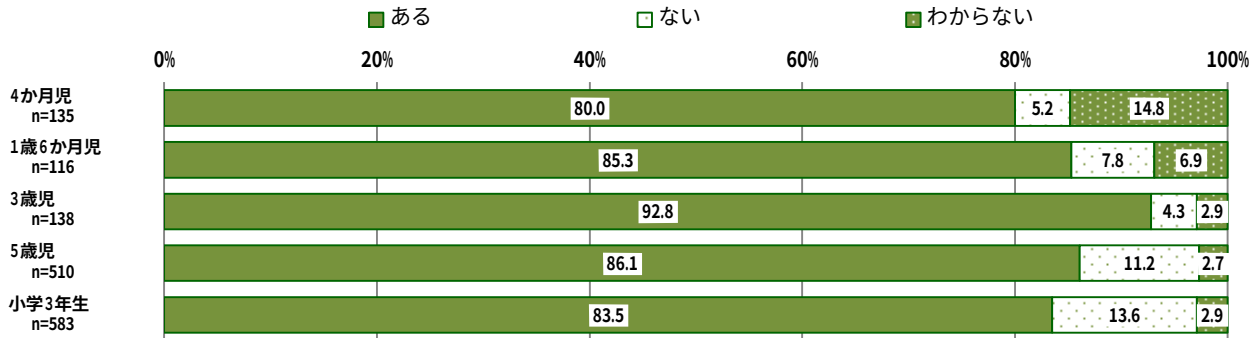
「一緒に食事をしている」は95%以上となっている。



3 身体活動・運動について

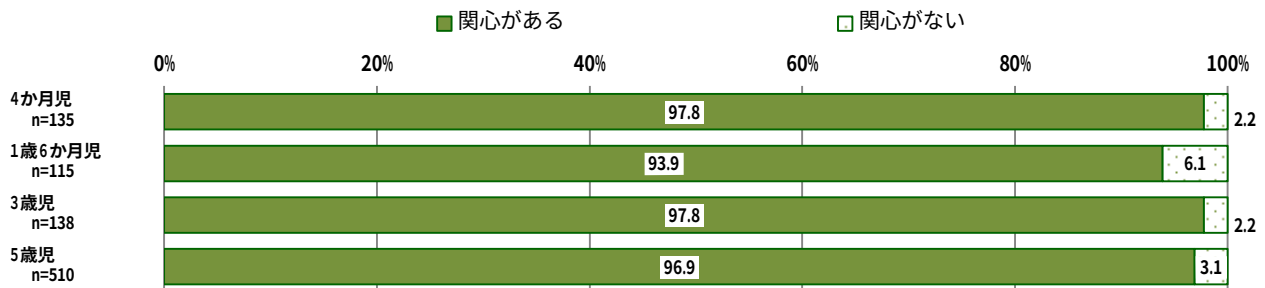
【4 か月児（問7）、1歳6 か月児・3歳児（問8）、5歳児（問13）、小3（問11）】
お子さんがふだん安心して、運動したり遊んだりできる場所が近所にありますか。

「ある」が80%以上となっている。「ない」は5歳児で11.2%、小学3年生で13.6%となっている。



【4 か月児（問8）、1歳6 か月児・3歳児（問9）、5歳児（問14）】
あなたは、子どもの、体を使った遊びや運動について関心がありますか。

「関心がある」が90%以上となっている。

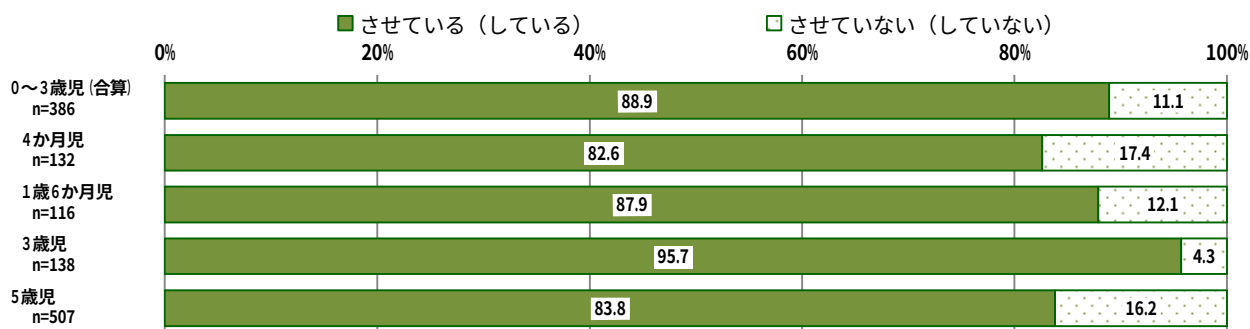


Ⅲ 調査の結果＜保護者編＞

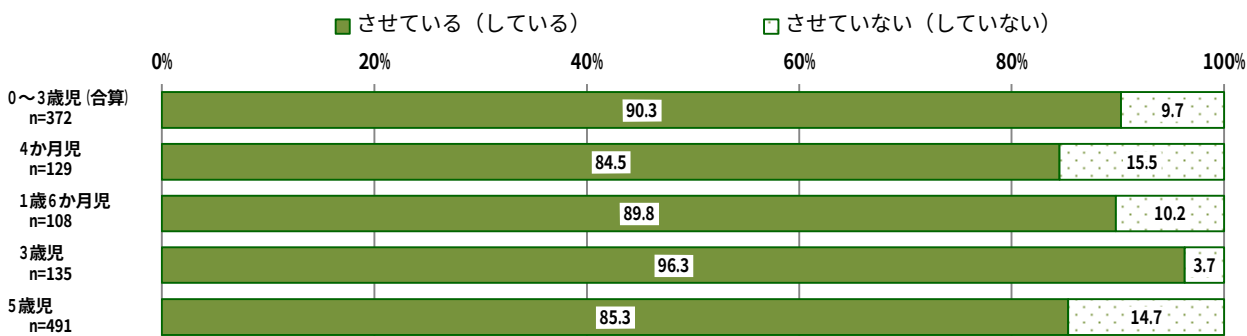
【4か月児（問9）、1歳6か月児・3歳児（問10）、5歳児（問15）】

あなたは、お子さんに体を使った遊びや運動をさせていますか。または、一緒にしていますか。

「させている（している）」は、4か月児で 82.6%、1歳6か月児で 87.9%、3歳児で 95.7%、5歳児で 83.8%となっている。



【体を使った遊びや運動への関心がある人】



【平成24年調査との比較】

(%)

項目		平成24年	平成29年
運動をさせている保護者の割合	0～3歳児	88.5	88.9
	5歳児	83.2	83.8

【体を使った遊びや運動への関心別】

(全体:件数、表内:%)

	【関心がある】			【関心がない】		
	全体	させている (%)	させていない (%)	全体	させている (%)	させていない (%)
0～3歳児 (合算)	372	90.3	9.7	13	46.2	53.8
4か月児	129	84.5	15.5	3	-	100.0
1歳6か月児	108	89.8	10.2	7	57.1	42.9
3歳児	135	96.3	3.7	3	66.7	33.3
5歳児	491	85.3	14.7	16	37.5	62.5

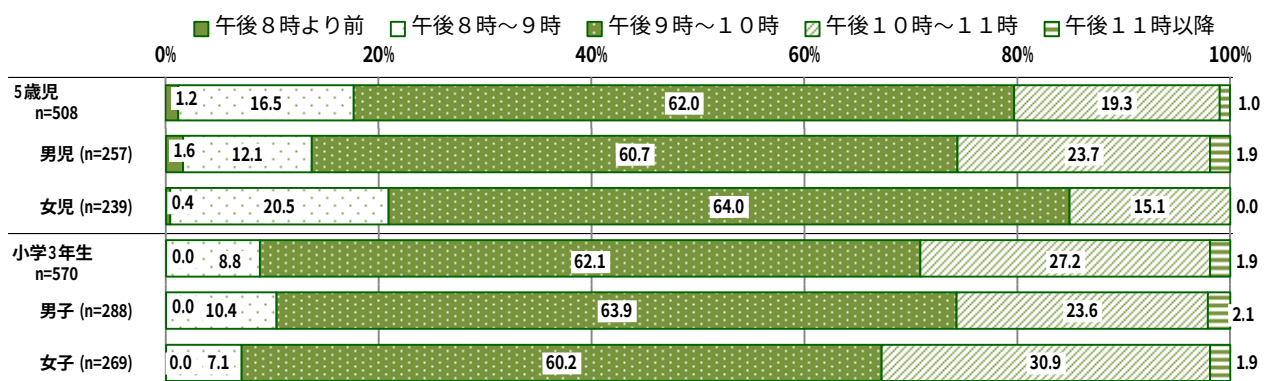
4 休養・こころの健康について

【5歳児（問16）、小3（問12）】

お子さんは、大体いつも何時に寝ますか。また、何時に起きますか。

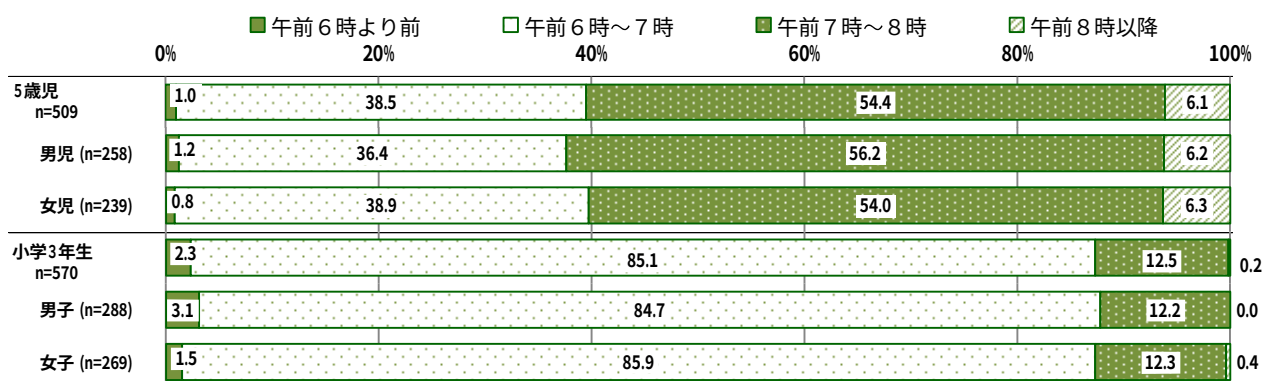
＜就寝時刻＞

5歳児、小学3年生ともに、「午後9時台」が62%程度となっている。また、「午後10時以降」が、5歳児で20.3%、小学3年生で29.1%みられる。



＜起床時刻＞

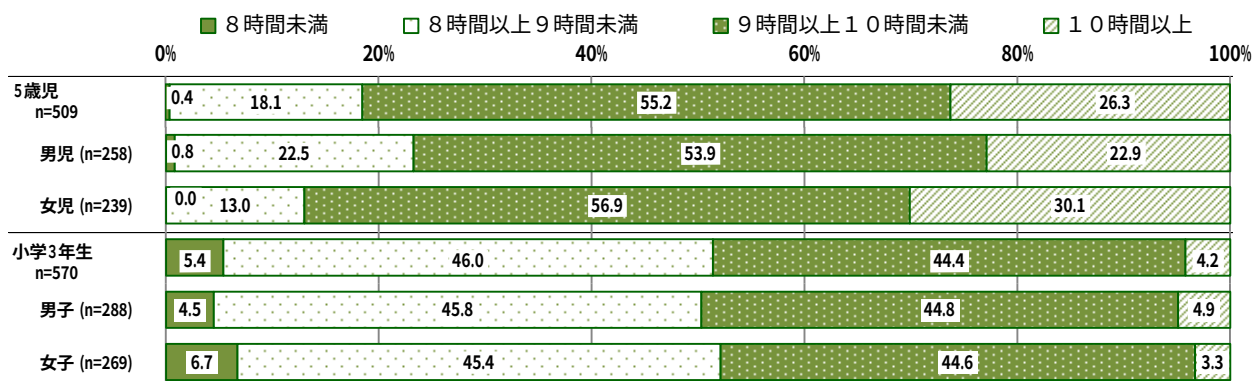
5歳児では「午前7時台」が54.4%、小学3年生では「午前7時前」が87.4%となっている。



＜睡眠時間＞

5歳児は、「9時間以上10時間未満」が55.2%、小学3年生は、「8時間以上9時間未満」が46.0%となっている。

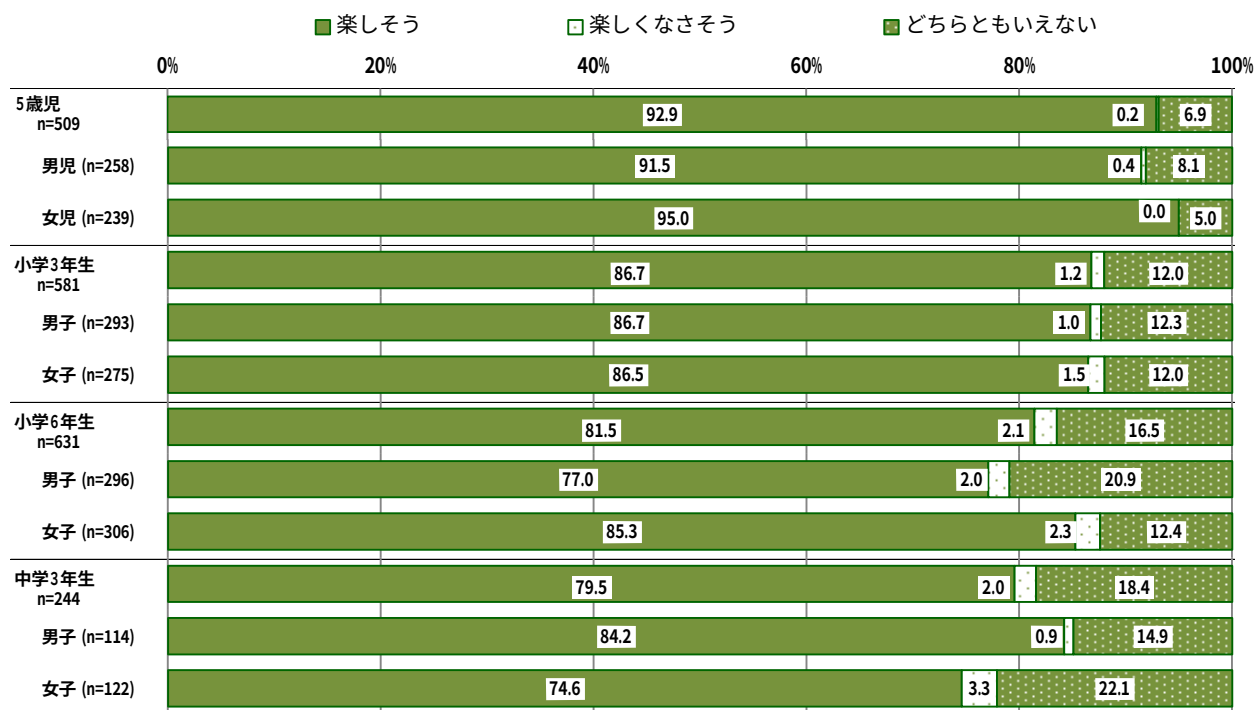
平均睡眠時間は、5歳児では9時間34分、小学3年生では8時間54分となっている。



III 調査の結果＜保護者編＞

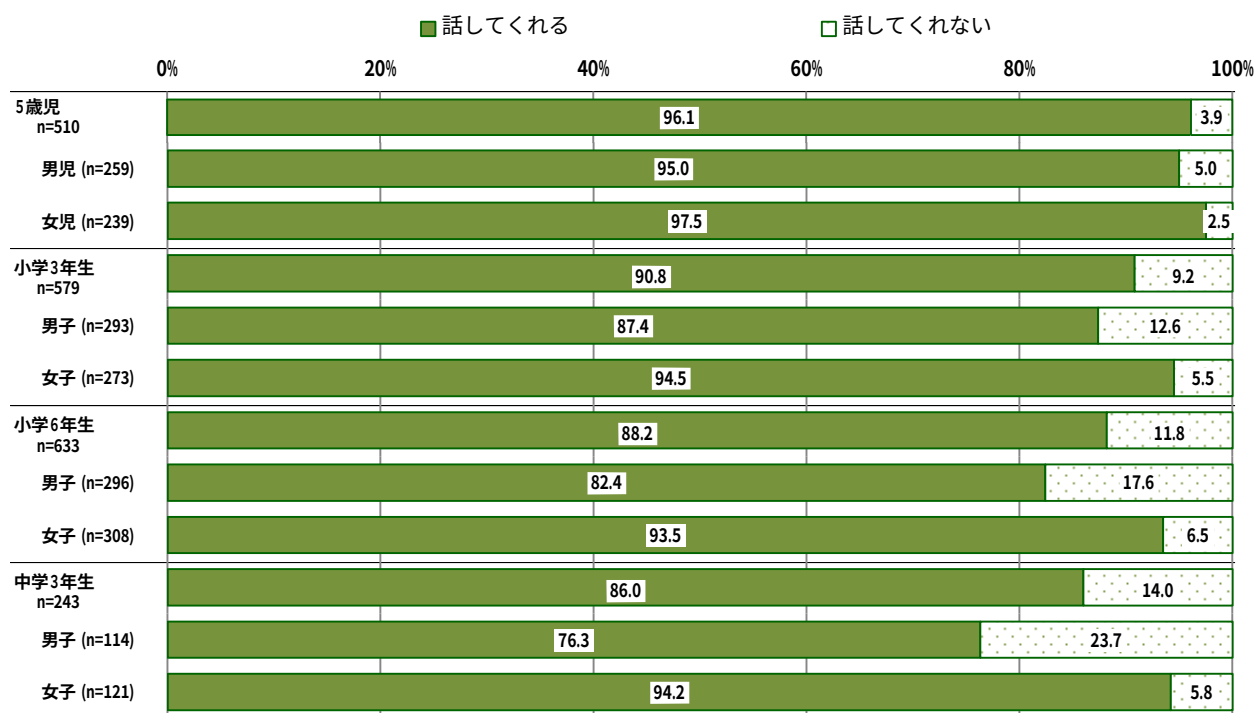
【5歳児（問17）、小3（問13）、小6（問8）、中3（問7）】
お子さんの園生活、学校生活は楽しそうですか。

「楽しそう」は、5歳児で92.9%、小学3年生で86.7%、小学6年生で81.5%、中学3年生で79.5%となっている。



【5歳児（問18）、小3（問14）、小6（問9）、中3（問8）】
 おさんは、園、学校や友達のことを話してくれますか。

「話してくれる」は、5歳児で96.1%、小学3年生で90.8%、小学6年生で88.2%、中学3年生で86.0%となっている。

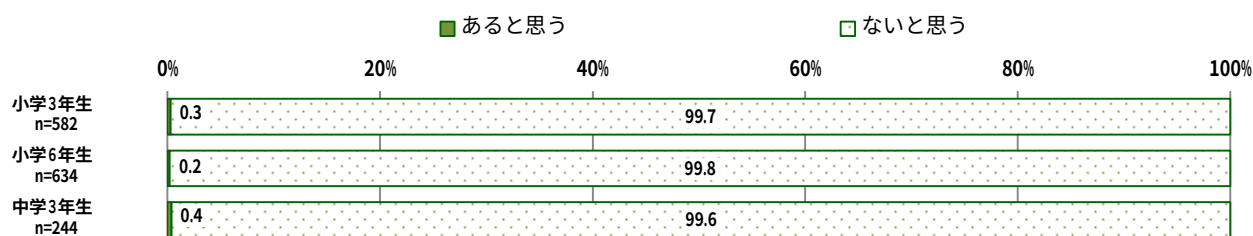


5 たばこ・アルコールについて

【小3（問15）、小6（問10）、中3（問9）】

お子さんは、たばこを吸ったことがあると思いますか。

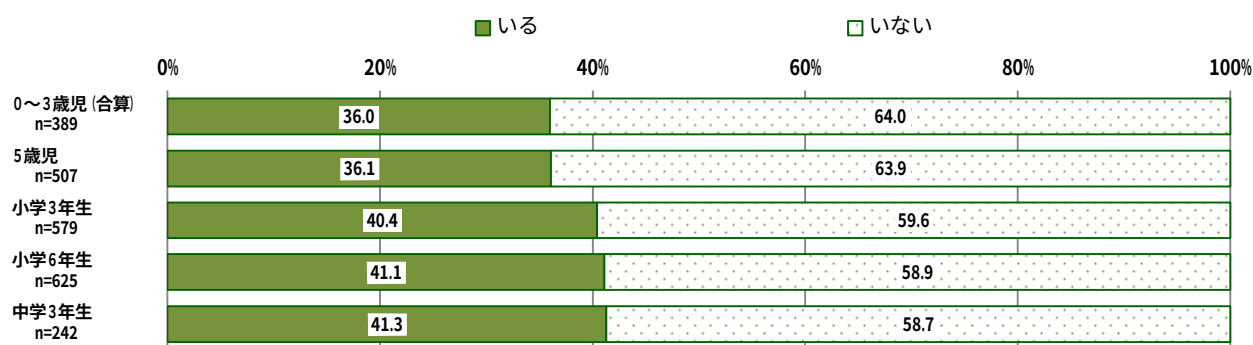
「あると思う」は、いずれも1%未満となっている。



【4か月児（問10）、1歳6か月児・3歳児（問11）、5歳児（問19）、小3（問16）、小6（問11）、中3（問10）】

同居家族に、たばこを吸う人はいますか。

「いる」は、0～3歳児、5歳児では35%程度、小学3年生、小学6年生、中学3年生ではいずれも40%程度となっている。

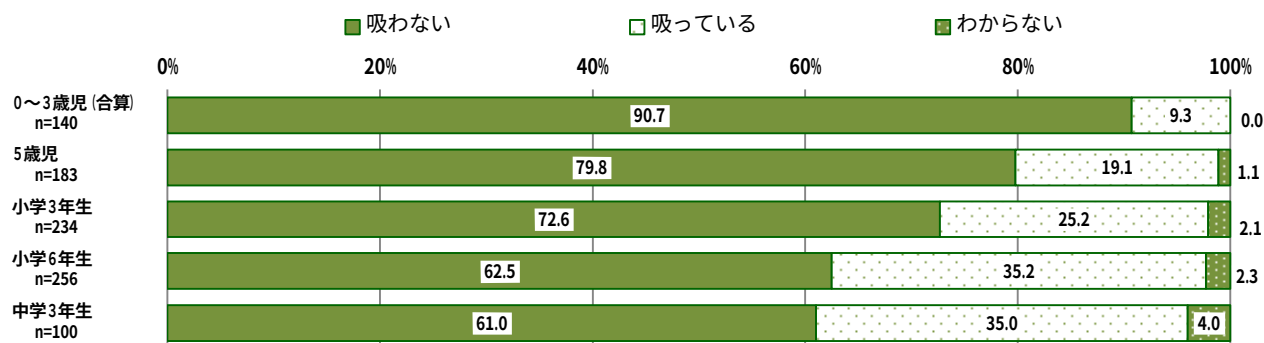


【同居家族にたばこを吸う人がいる人は、この質問にお答えください。】

【4か月児（問10-1）、1歳6か月児・3歳児（問11-1）、5歳児（問19-1）、小3（問16-1）、小6（問11-1）、中3（問10-1）】

その人は、お子さんのいるところでたばこを吸わないようにしていますか。

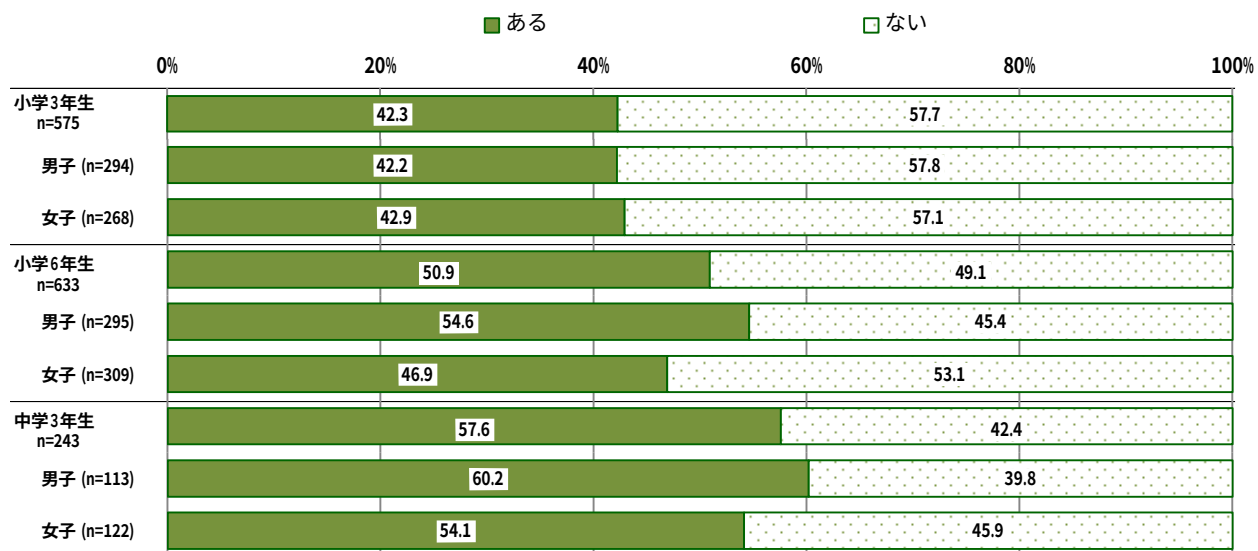
お子さんのいるところで「吸っている」は0～3歳児で9.3%、5歳児で19.1%、小学3年生で25.2%、小学6年生、中学3年生で35%程度となっている。



【小3（問 17）、小6（問 12）、中3（問 11）】

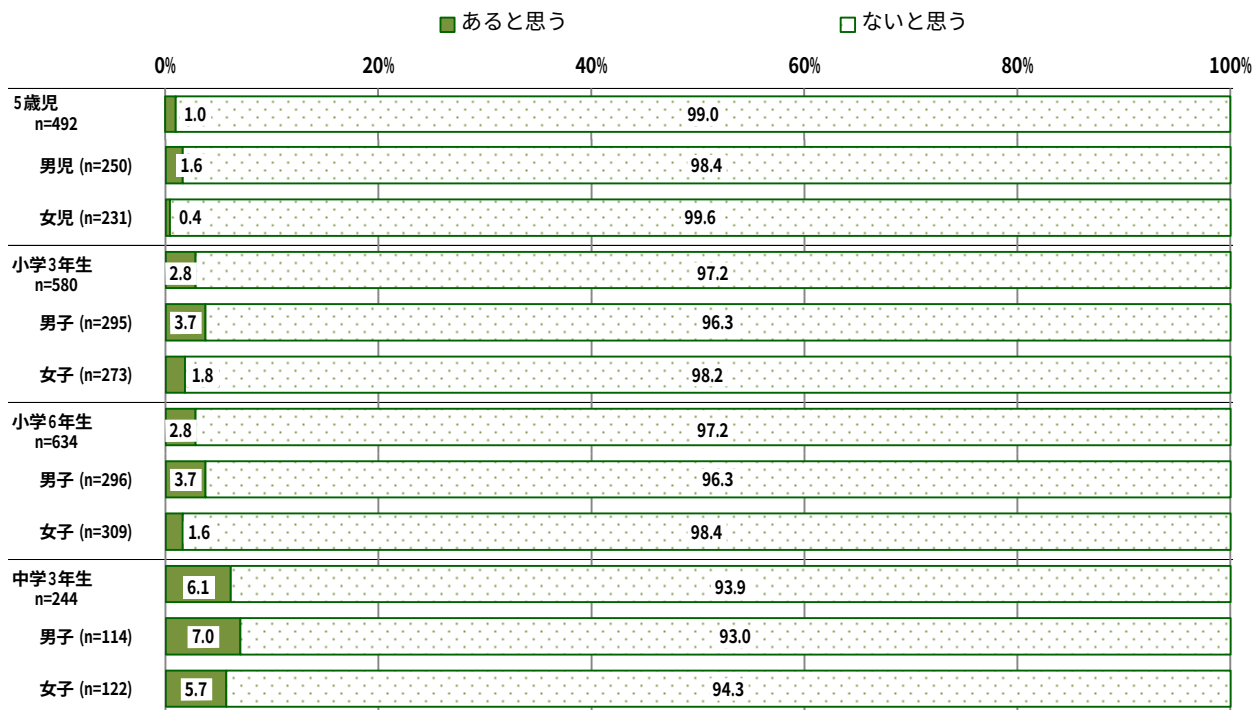
あなたは、未成年の喫煙の害について、お子さんと話をしたことがありますか。

「ある」は、小学3年生では 42.3%、小学6年生では 50.9%、中学3年生では 57.6%となっている。



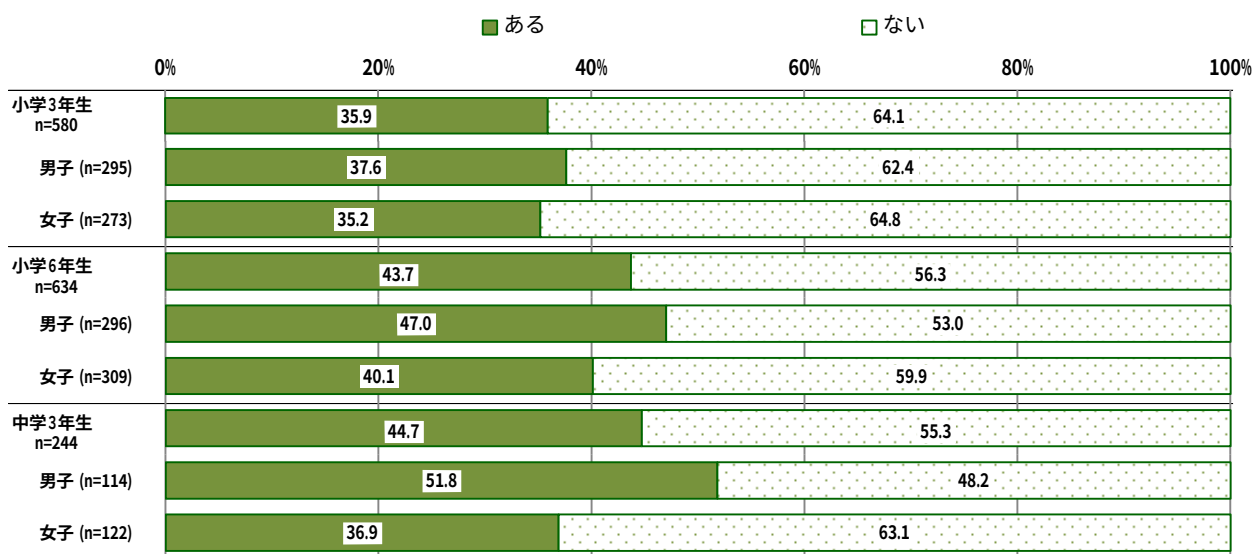
【5歳児（問20）、小3（問18）、小6（問13）、中3（問12）】
お子さんは、お酒を飲んだことがあると思いますか。

「あると思う」は、中学3年生では6.1%となっている。



【小3（問19）、小6（問14）、中3（問13）】
あなたは、未成年の飲酒の害について、お子さんと話をしたことがありますか。

「ある」は、小学3年生では35.9%、小学6年生では43.7%、中学3年生では44.7%となっている。

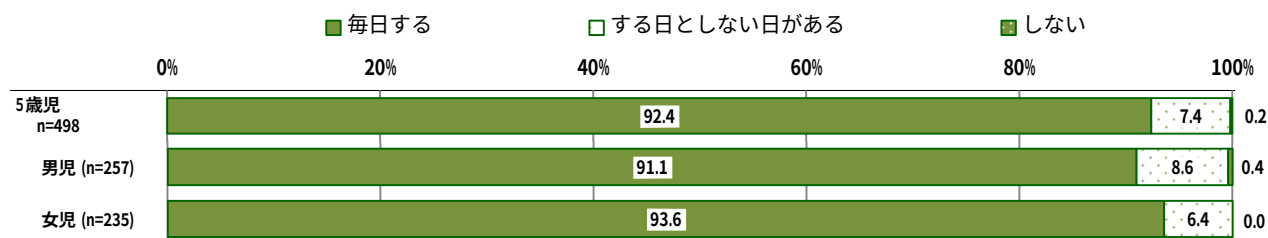


6 歯の健康について

【5歳児（問21）】

お子さんは、家で歯みがきをしますか。またはお子さんに歯みがきをさせていますか。

「毎日する」は92.4%となっている。



【平成24年調査との比較】

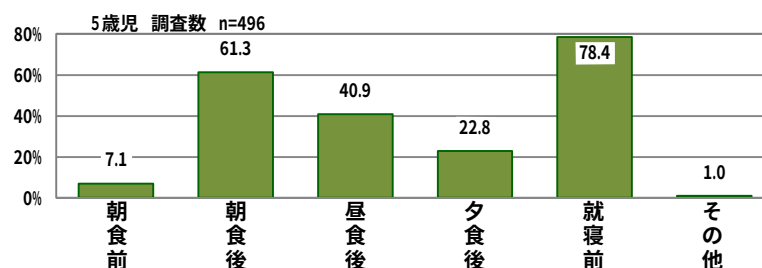
(%)

項目	平成24年	平成29年
毎日、歯みがきをしている子どもの割合	85.5	92.4

【5歳児（問 21-1）】

おさんは、いつ歯みがきをしますか。

「就寝前」が78.4%、「朝食後」が61.3%、「昼食後」が40.9%となっている。

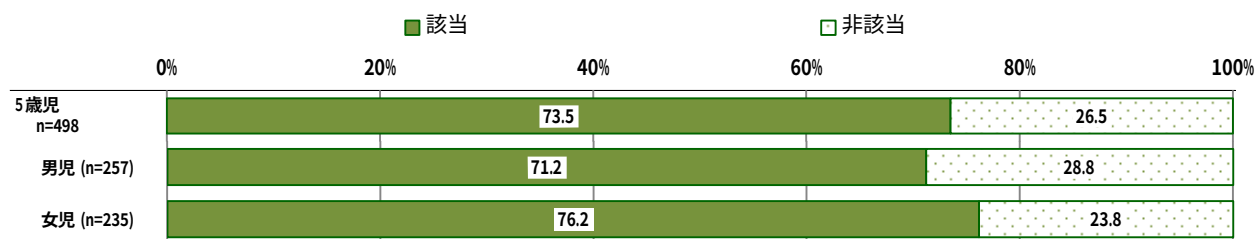


(全体:件数、表内:%)

	全体	朝食前	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	その他
5歳児	496	7.1	61.3	40.9	22.8	78.4	1.0
男児	255	6.3	61.6	39.6	20.4	81.2	0.4
女児	235	8.1	60.9	42.1	25.5	75.3	1.7

＜毎日、1日2回以上歯をみがく子の割合＞

歯みがきの状況を回答した子のうち、毎日、1日2回以上歯をみがく子



【平成24年調査との比較】

(%)

項目	平成24年	平成29年
毎日、1日2回以上歯をみがく子どもの割合	66.7	73.5

*分母は歯みがきの状況に回答があった全数（「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計）

【5歳児（問22）、小3（問20）、小6（問15）、中3（問14）】
お子さんの歯の健康管理として、行っていることはありますか。

「子どもの歯ブラシがある」が97～99%程度、「子どものかかりつけ歯科医院をもっている」が70～90%程度となっている。

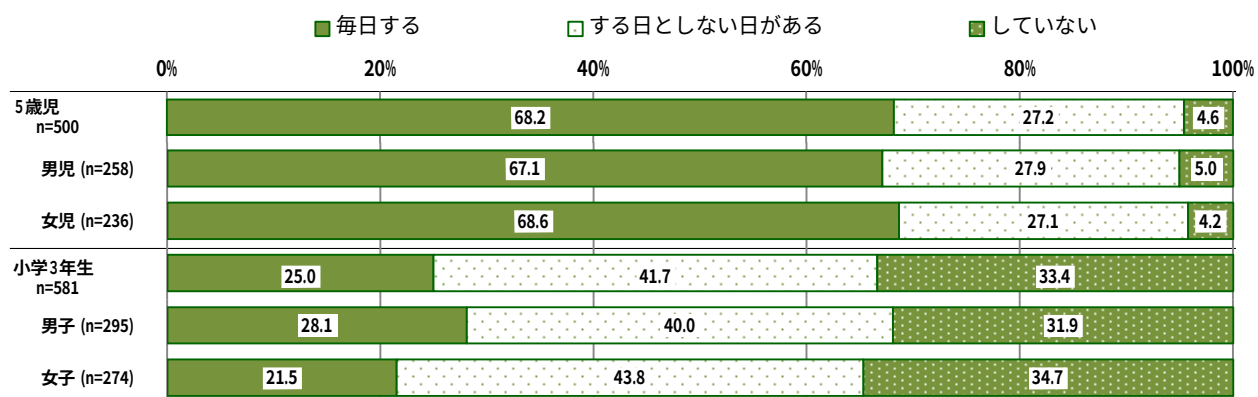
(全体:件数、表内:%)

	全 体	お 子 さ ん の 歯 ブ ラ シ が あ る	デ ン タル フ ロ ス や 歯 間 ブ ラ シ な ど の 歯 の 間 の 清 掃 器 具 を 使 用 さ せ て い る	お 子 さ ん は か か り つ け 歯 科 医 院 を も っ て い る	上 記 の 歯 科 健 診 を 受 け さ せ て い る （ 年 1 回 以 上 ）	定 期 的 に 歯 科 健 診 を 受 け さ せ て い る （ 年 1 回 以 上 ）	フ ッ キ ン が き 剤 を 使 用 さ せ て い る （ フ ッ キ ン 入 り の 歯 ミ ツ リ ）	歯 の 治 療 は 早 め に 受 け さ せ て い る	そ の 他	特 に な い
5歳児	496	99.0	15.9	81.3	73.8	74.4	36.7	3.4	1.4	
男児	257	98.8	15.6	78.2	71.6	73.9	36.2	3.1	1.6	
女児	234	99.1	16.2	84.2	75.6	74.4	37.2	3.8	1.3	
小学3年生	578	97.4	18.5	88.6	73.5	72.0	62.1	4.3	0.9	
男子	295	96.9	20.0	89.8	71.2	69.8	61.0	4.1	1.4	
女子	271	98.2	17.3	88.2	76.8	74.2	63.8	4.4	0.4	
小学6年生	598	98.7	23.6	85.3	66.9	63.4	59.9	3.5	1.2	
男子	286	99.0	23.4	86.0	67.1	63.6	59.8	3.5	0.7	
女子	296	98.3	24.3	84.5	66.6	63.5	58.8	3.7	1.7	
中学3年生	244	97.1	14.3	70.5	46.3	53.7	47.1	2.0	1.2	
男子	114	97.4	15.8	65.8	41.2	52.6	45.6	1.8	0.9	
女子	122	96.7	12.3	73.8	49.2	53.3	48.4	2.5	1.6	

【5歳児（問23）、小3（問21）】

大人が、お子さんの歯みがき（仕上げ歯みがきを含む）をしていますか。

「毎日する」は、5歳児で68.2%、小学3年生で25.0%となっている。また、「していない」は、5歳児では4.6%であるのに対し、小学3年生では33.4%となっている。



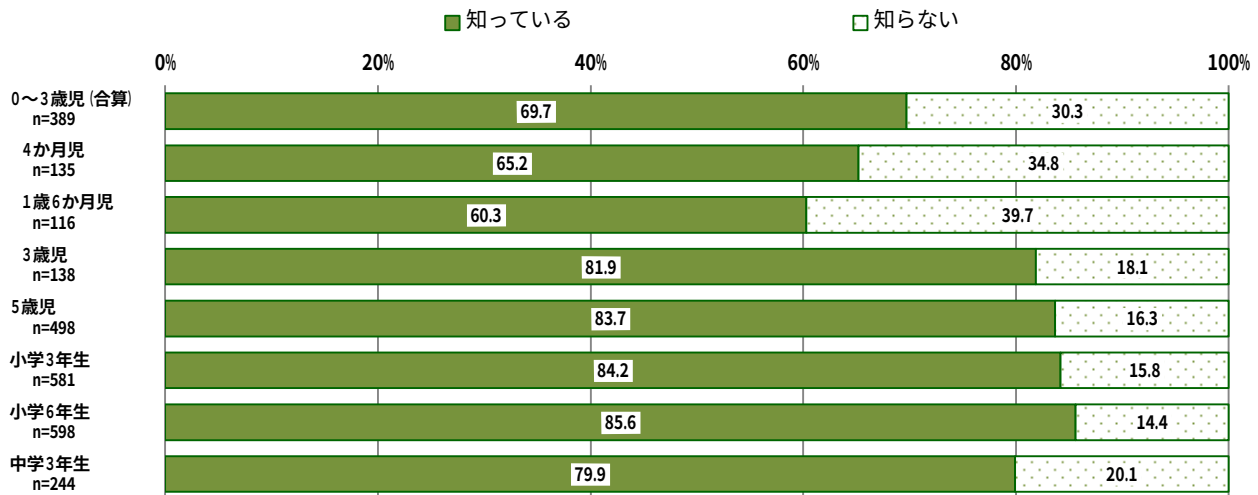
【平成24年調査との比較】

(%)

		平成24年	平成29年
毎日、子どもの歯をみがく（仕上げ歯みがき）保護者の割合	5歳児	54.1	68.2
	小3	18.3	25.0

【4か月児（問11）、1歳6か月児・3歳児（問12）、5歳児（問24）、小3（問22）、小6（問16）、中3（問15）】
あなたは、フッ化物（フッ素）のむし歯予防効果は、乳歯だけでなく永久歯にも有効であることを知っていますか。

「知っている」は、4か月児では65.2%、1歳6か月児では60.3%、3歳児では81.9%、5歳児では83.7%、小学3年生では84.2%、小学6年生では85.6%、中学3年生では79.9%となっている。



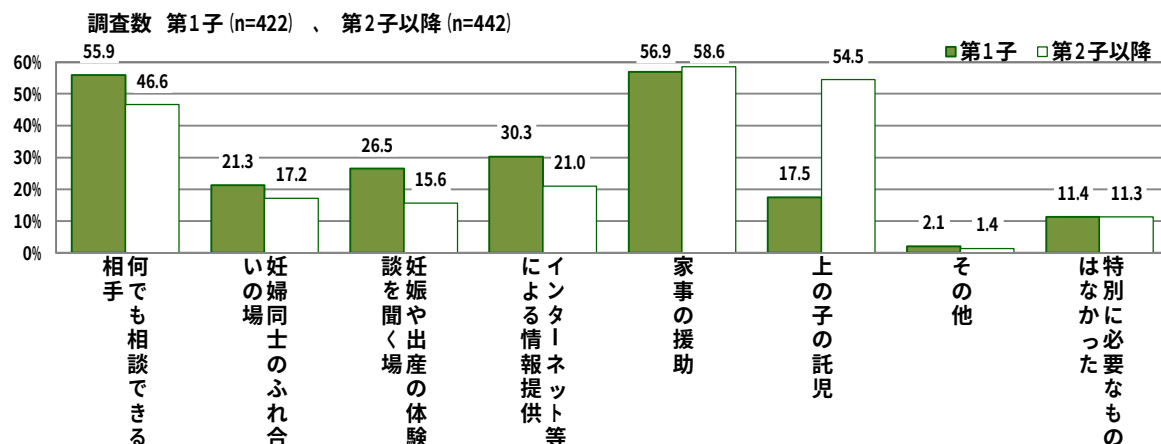
【平成24年調査との比較】

項目		(%)	
		平成24年	平成29年
フッ素のむし歯予防効果が 永久歯にも有効であることを知っている人の割合	0～3歳児	60.4	69.7
	5歳児	80.3	83.7
	小3	84.3	84.2
	小6	88.5	85.6
	中3	78.3	79.9

7 子育てについて

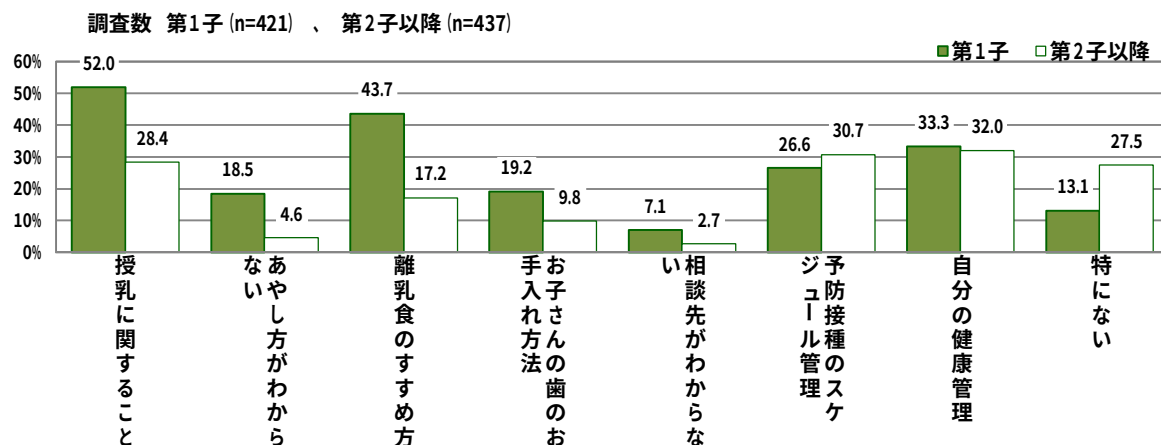
【4 か月児（問 12）、1 歳 6 か月児・3 歳児（問 13）、5 歳児（問 25）】
妊娠中にどんな助けが必要でしたか。（複数回答）

第 1 子の保護者では「家事の援助」が 56.9%、「何でも相談できる相手」が 55.9%、第 2 子以降の保護者では「家事の援助」が 58.6%、「上の子の託児」が 54.5%となっている。



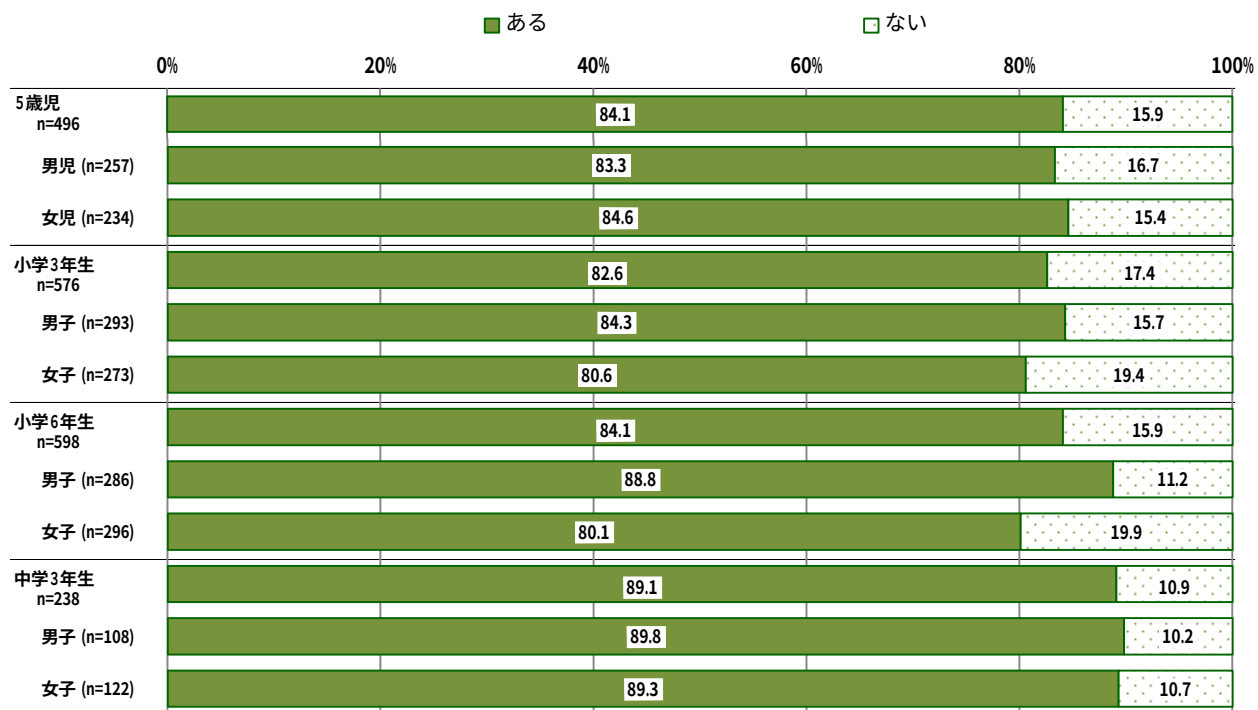
【4 か月児（問 13）、1 歳 6 か月児・3 歳児（問 14）、5 歳児（問 26）】
産後（お子さんが1 歳になるまでの間）、大変だったことは何ですか。
（4 か月児）産後大変だったこと、今後、困りそうなことは何ですか。（複数回答）

第 1 子の保護者では「授乳に関すること」が 52.0%、「離乳食のすすめ方」が 43.7%、第 2 子以降の保護者では「自分の健康管理」が 32.0%、「予防接種のスケジュール管理」が 30.7%となっている。



【5歳児（問27）、小3（問23）、小6（問17）、中3（問16）】
あなたは、お子さんの話を聞くゆとりがありますか。

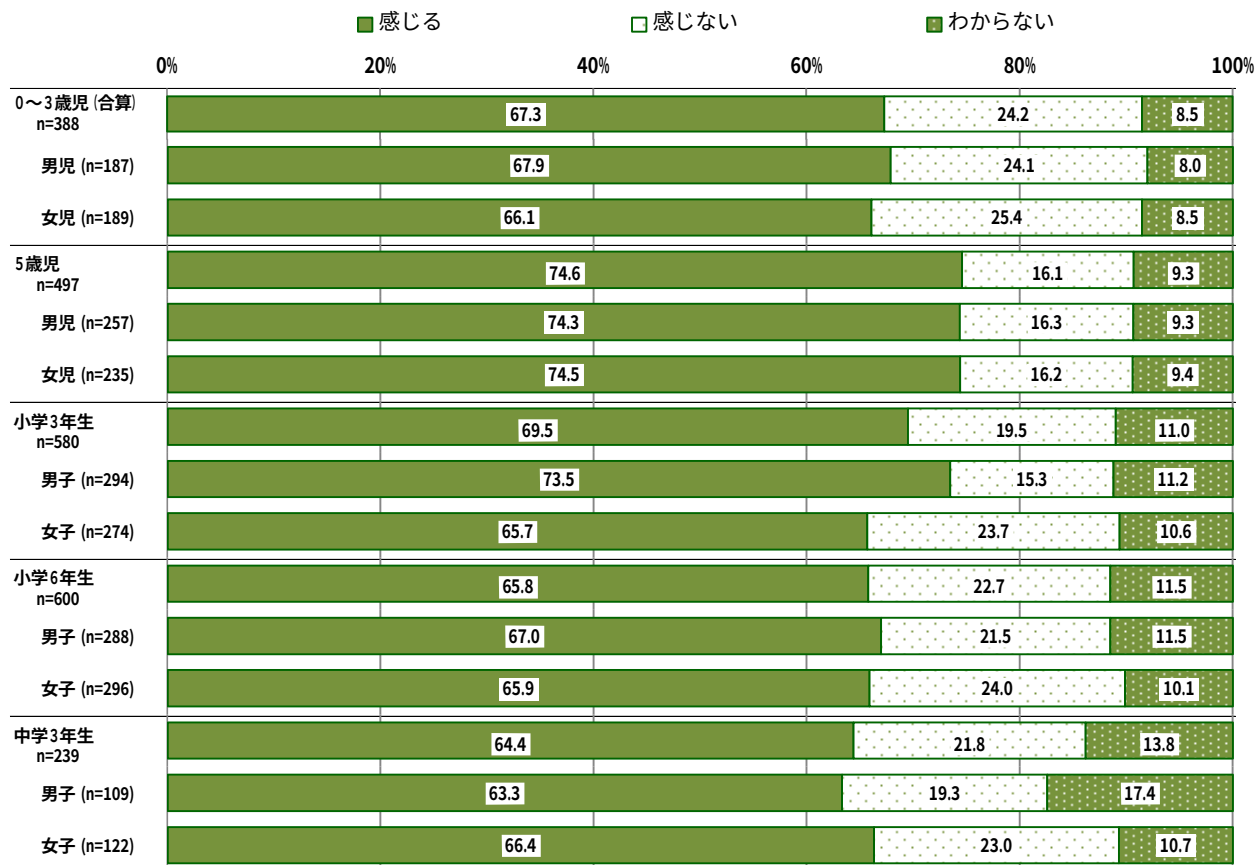
「ゆとりがある」は80%以上となっている。



III 調査の結果＜保護者編＞

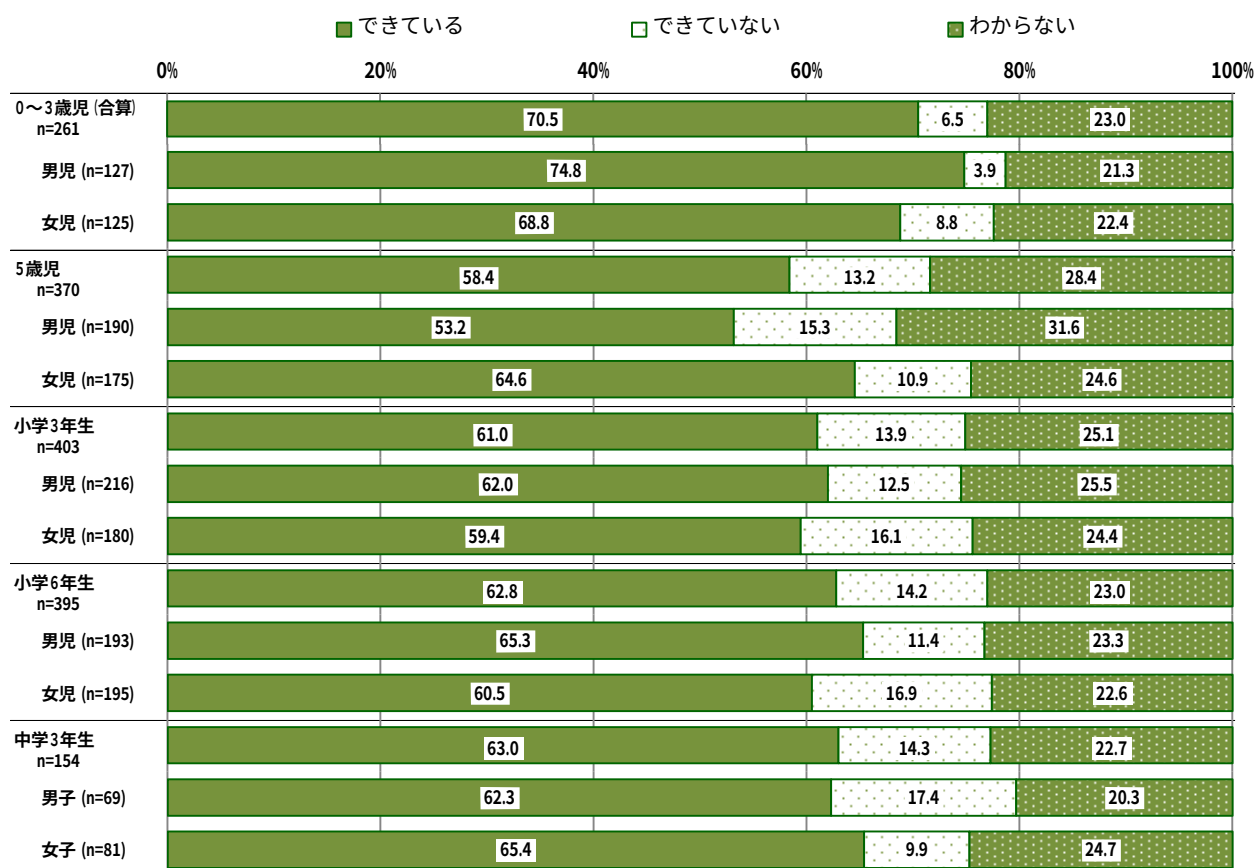
【4か月児（問14）、1歳6か月児・3歳児（問15）、5歳児（問28）、小3（問24）、小6（問18）、中3（問17）】
あなたは、子育てをする上で、ストレスを感じることがありますか。

「感じる」は、60%以上となっている。



【4か月児（問14-1）、1歳6か月児・3歳児（問15-1）、5歳児（問28-1）、小3（問24-1）、小6（問18-1）、中3（問17-1）】
そのストレスは解消できていますか。

「できている」は60～70%程度となっているが、5歳児の男児では53.2%と最も少なくなっている。



【平成24年調査との比較】

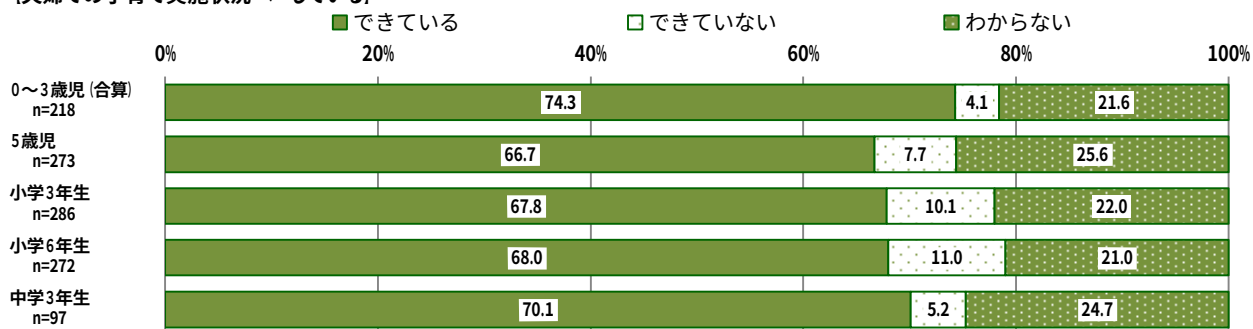
(%)

項目		平成24年	平成29年
子育てストレスの解消ができていない保護者の割合	0～3歳児 5歳児	12.3	10.5
	小3	11.9	13.9
	小6	14.3	14.2
	中3	14.8	14.3

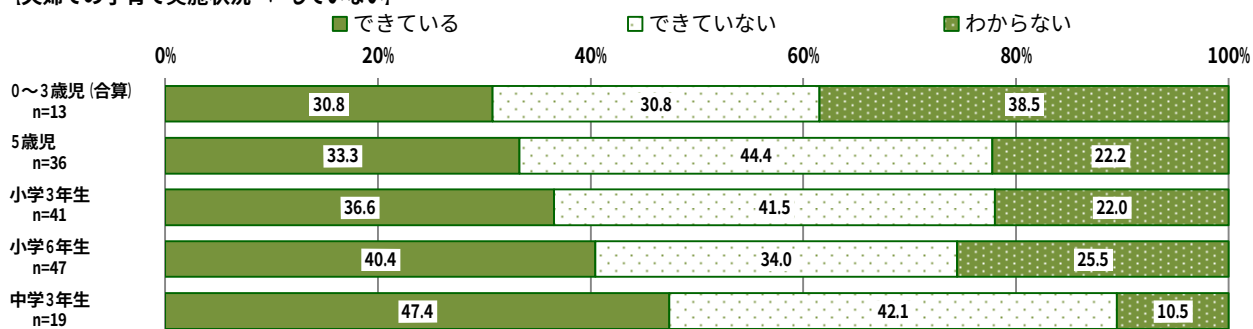
＜夫婦での子育て実施状況別、保護者のストレス解消状況＞

夫婦（家族）での子育て実施状況別でみると、夫婦（家族）で子育てをしていると思う保護者は、ストレス解消ができていない人の割合が70％程度に対し、夫婦（家族）でしていないと思う保護者は50％未満となっている。

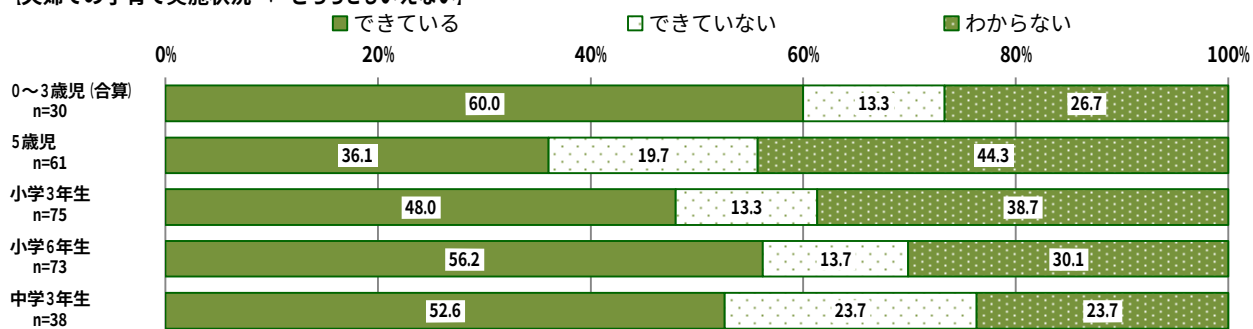
【夫婦での子育て実施状況：している】



【夫婦での子育て実施状況：していない】

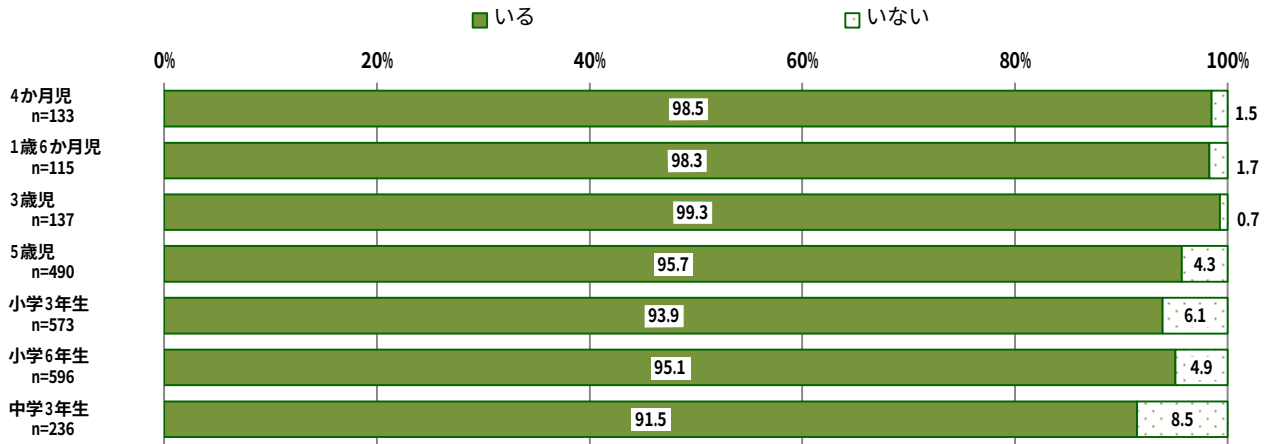


【夫婦での子育て実施状況：どちらともいえない】



【4か月児（問15）、1歳6か月児・3歳児（問16）、5歳児（問29）、小3（問25）、小6（問19）、中3（問18）】
あなたは、子育てについて、相談できる人はいますか。

「いる」は90%以上となっている。



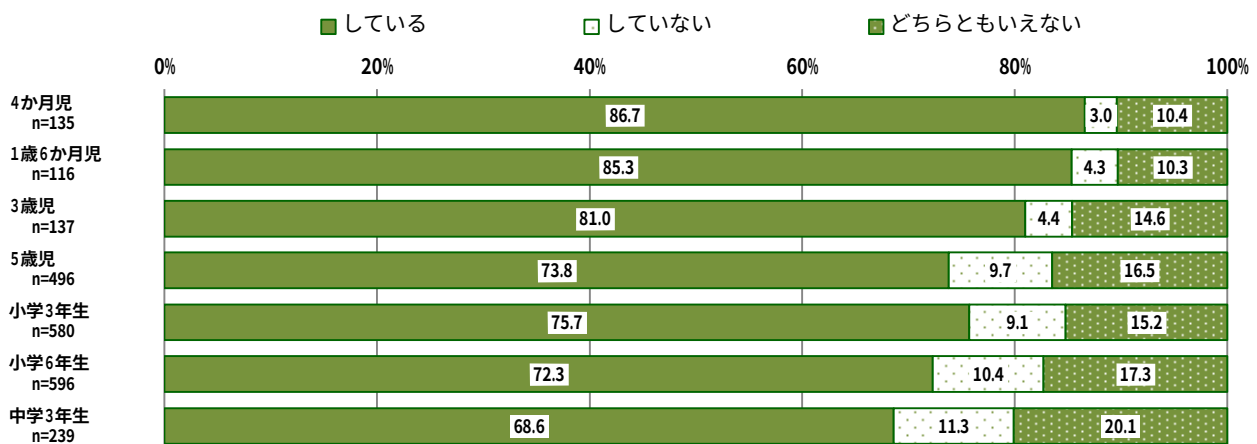
【平成24年調査との比較】

(%)

項目		平成24年	平成29年
子育てに関する相談相手のいない保護者の割合	0～3歳児 5歳児	4.2	3.0
	小3	4.3	6.1
	小6	5.1	4.9
	中3	7.4	8.5

【4か月児（問16）、1歳6か月児・3歳児（問17）、5歳児（問30）、小3（問26）、小6（問20）、中3（問19）】
あなたは、子育てを夫婦（家族）でしていると思いますか。

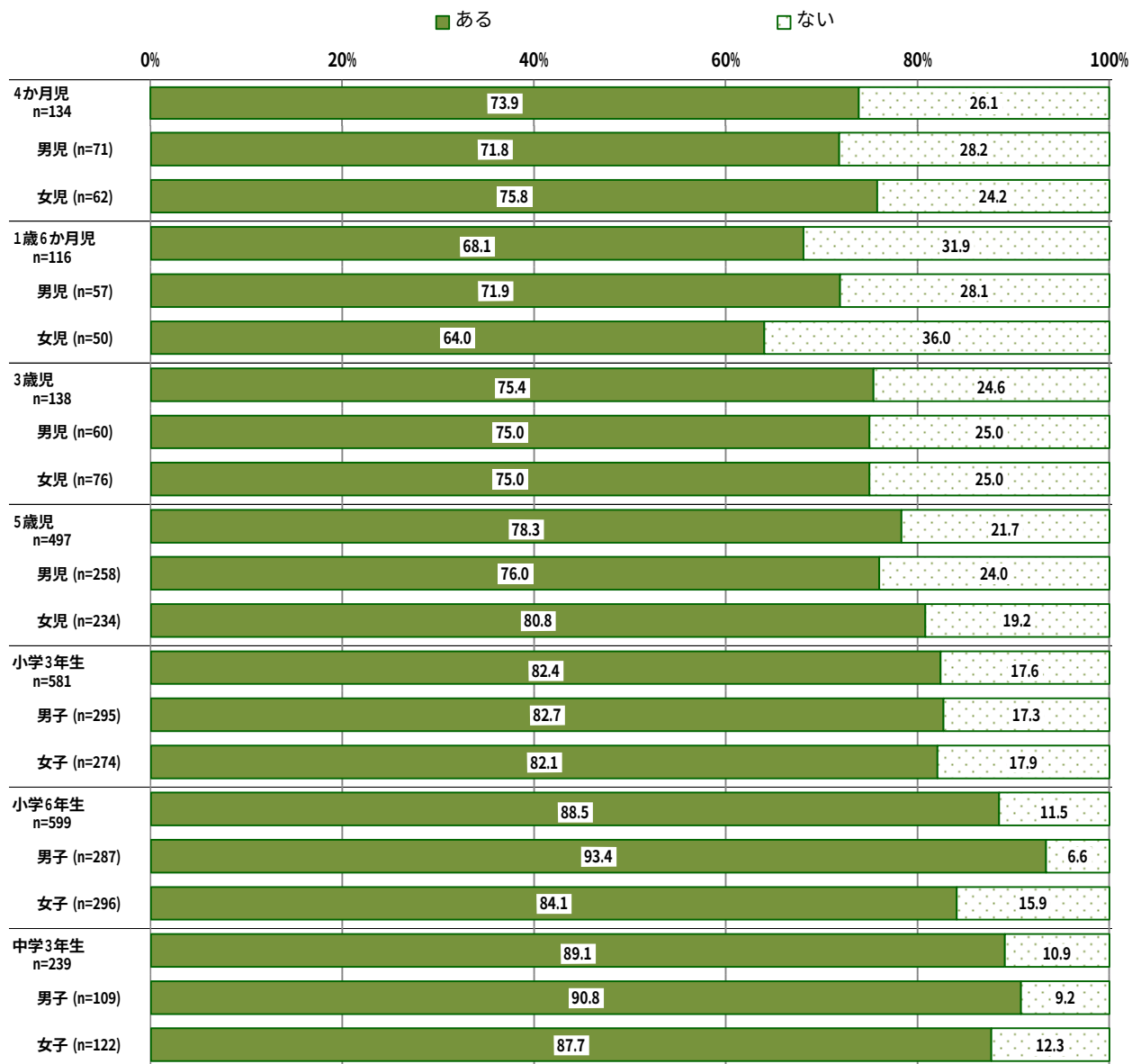
「している」は、0～3歳児で80%以上、中学3年生では70%未満となっている。



III 調査の結果＜保護者編＞

【4か月児（問17）、1歳6か月児・3歳児（問18）、5歳児（問31）、小3（問27）、小6（問21）、中3（問20）】
あなた自身のために使っている時間がありますか。

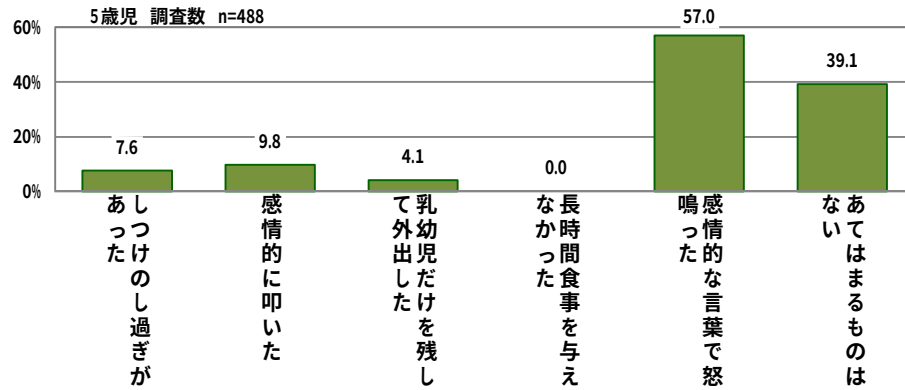
「ある」は4か月児、1歳6か月児では75%未満となっているが、小学6年生、中学3年生では90%程度となっている。



【5歳児（問32）】

お子さんに対して、この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。（複数回答）

「感情的な言葉で怒鳴った」が57.0%、「あてはまるものはない」は39.1%となっている。



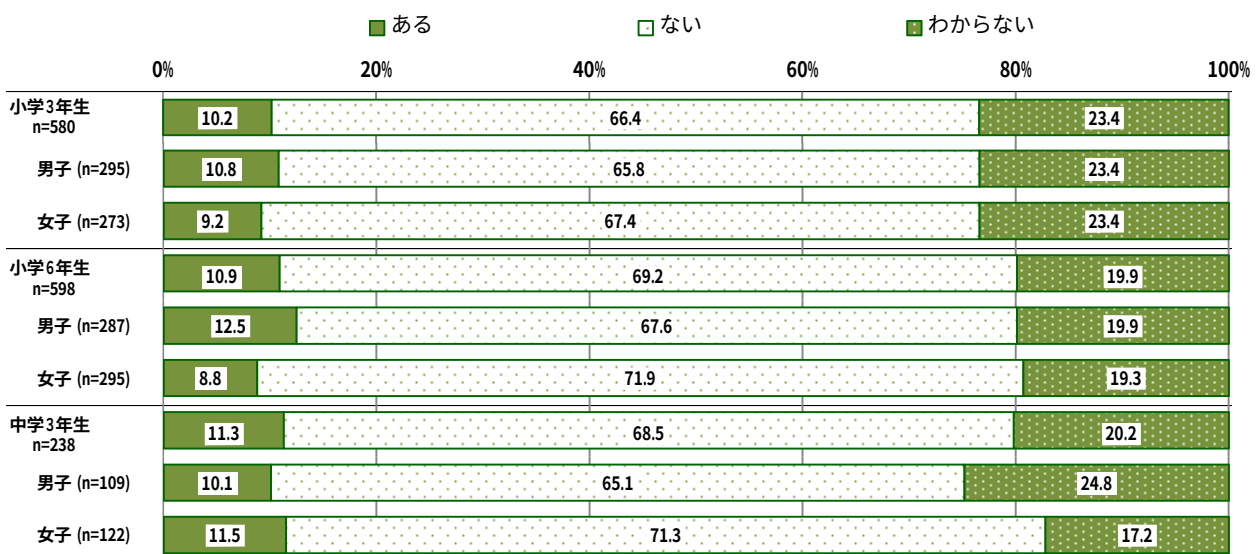
(全体:件数、表内:%)

	全体	あしつきのし過ぎが	感情的に叩いた	外乳幼児だけを残して	長時間食事を与えなかった	感情的な言葉で怒鳴った	あてはまるものはない
5歳児	488	7.6	9.8	4.1	-	57.0	39.1
男児	246	9.8	13.8	4.1	-	60.2	34.6
女児	231	4.8	5.6	4.3	-	54.1	43.3

【小3（問28）、小6（問22）、中3（問21）】

あなたは、今までに虐待をしたと思ひ当たることがありますか。

「ある」は10%程度となっている。



【小3（問 28-1）、小6（問 22-1）、中3（問 21-1）】
 【虐待をしたと思い当たることが「ある」と答えた人へ】
 それは何が原因でしたか。（ご自由にお書きください）

虐待をしたと思い当たることがある人（小学3年生で 59 件、小学6年生で 65 件、中学3年生で 27 件）へ何が原因かを質問し、子どもに虐待をしたと思うその原因について、以下のように分類しました。

＜子どものどのような行動に対して＞

	(件)			
	小3	小6	中3	計
言うことを聞かない	18	17	7	42
約束を守らない	5	3	3	11
注意しても直さない	3	2	1	6
ゲームをやめない、テレビばかり見る	4	2	0	6
わがママを言う、駄々をこねる	3	1	1	5
態度が悪い、反抗する	1	2	2	5
泣きやまない、ぐずる	1	4	0	5
兄弟喧嘩をする、兄弟を叩く、いじめる	3	2	0	5
やるべきことをやらない、自分でできたことをやらない	2	3	0	5
いたづらをする、他人に迷惑をかける	1	3	0	4
悪いことをする、してはいけないことをする	2	1	1	4
意思の疎通が取れない	2	1	0	3
返事をしない、黙り込む、無視をする	1	2	0	3
暴力を振るう、ひどいことを言う、暴言を吐く	0	2	1	3
宿題をしない	3	0	0	3
嘘をつく	1	1	0	2
片づけしない	1	0	1	2
物を粗末に扱う	0	1	1	2
その他	6	2	2	10
合計	57	49	20	126

＜自分や家族等がどのような状態で＞

	(件)			
	小3	小6	中3	計
ストレスがたまっている	3	8	2	13
家族の育児への協力が得られない、夫婦の不仲、夫婦喧嘩中	5	3	1	9
仕事が忙しくて、時間の余裕がなくて、自分の時間がないので	2	4	2	8
疲れて、しんどくて、体調が悪くて、寝不足で	0	5	1	6
家事が進まなくて、家事・育児に追われ	1	1	0	2
その他	8	2	0	10
合計	19	23	6	48

＜どのように感じて＞

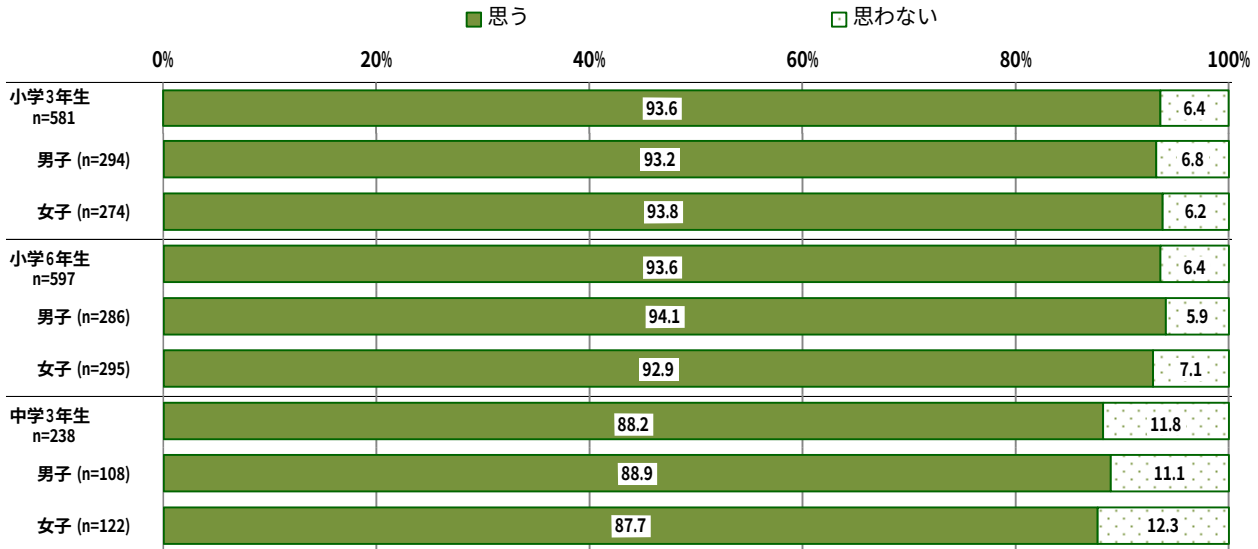
	(件)			
	小3	小6	中3	計
心の余裕がなくて、八つ当たりで	0	16	5	21
イライラして	4	12	4	20
腹が立って、カッとなって、自分を抑えられず	1	9	1	11
不満で、子どもが思い通りにならない	1	7	2	10
どうしていいかわからず、不安で	0	1	2	3
嫉のつもりで	2	0	1	3
合計	8	45	15	68

＜どうしてしまったか＞

	(件)			
	小3	小6	中3	計
叩く、蹴る等、身体に対する行為	18	14	8	40
感情的に叱る、怒鳴る、暴言を吐く等、言葉による行為	12	11	1	24
屋外への締め出し	1	0	0	1
その他	1	1	2	4
合計	32	26	11	69

【小3（問29）、小6（問23）、中3（問22）】
あなたは、お子さんに性教育が必要だと思いますか。

「思う」は、小学3年生、小学6年生で93.6%、中学3年生は88.2%となっている。



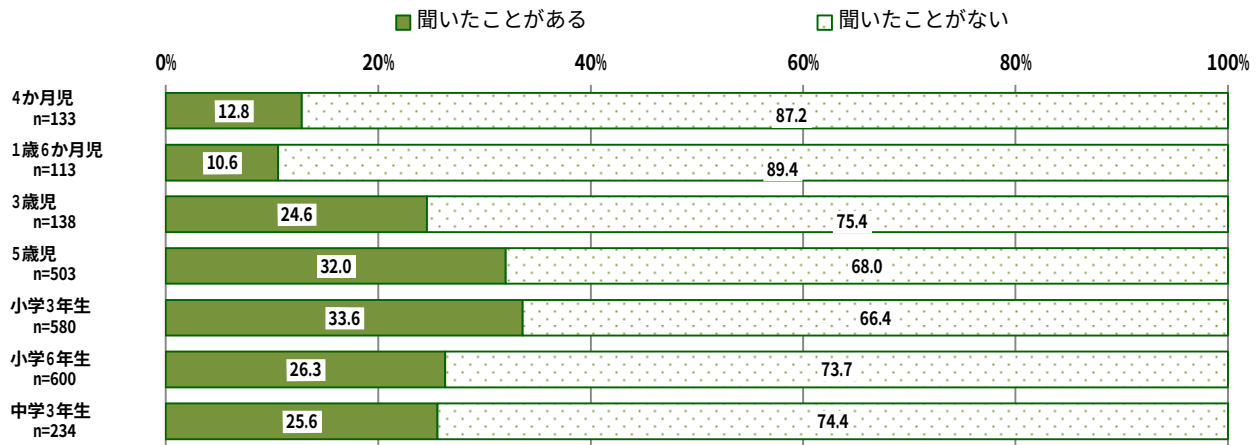
【小3（問30）、小6（問24）、中3（問23）】
あなたは、誰がお子さんの性教育をすることが適当だと思いますか。（複数回答）

「保護者」が最も多く、次いで、小学3年生、小学6年生は「保健師」、中学3年生は「保健体育の先生」となっている。

	全体	保護者	保健体育の先生	学級担任	養護教諭	産婦人科医	保健師	その他
小学3年生	582	72.7		29.0	42.8	47.8	60.7	2.4
男子	294	73.8		35.4	43.9	43.2	57.8	3.4
女子	275	71.3		22.2	42.5	53.5	64.0	1.1
小学6年生	597	71.7		24.1	44.6	38.4	53.8	2.7
男子	286	71.0		29.7	45.8	34.3	51.4	2.1
女子	295	71.5		18.6	43.4	42.7	55.9	3.4
中学3年生	237	58.2	54.9	6.8	30.4	45.6	37.1	3.8
男子	109	52.3	57.8	8.3	23.9	39.4	33.9	4.6
女子	121	61.2	52.9	5.0	35.5	51.2	39.7	3.3

8 健康日本21安城計画について

【4か月児（問18）、1歳6か月児・3歳児（問19）、5歳児（問33）、小3（問31）、小6（問25）、中3（問24）】
あなたは、「健康日本21安城計画」を聞いたことがありますか。



【平成24年調査との比較】

項目		(%)	
		平成24年	平成29年
健康日本21安城計画を聞いたことがある人の割合	0～3歳児	22.1	16.4
	5歳児	22.0	32.0
	小3	15.9	33.6
	小6	15.3	26.3
	中3	19.3	25.6

IV自由意見



IV 自由意見

健康や子育て、保健事業に関することなどについて意見をうかがったところ、合計 1,775 件（成人—372 件、未成年—13 件、児童・生徒—1,080 件、保護者—310 件）の意見が得られました。各分野別に抜粋した意見は以下のとおりです。

1 成人編

(1) 栄養・食生活について

- 健康安全第一をいつも心がけている。1. 三度の食事は必ず 2. 生活リズムを壊さない、早寝早起き。3. 毎日体を動かす、30 分程度毎日歩く等。
- 学校給食のトランス脂肪の除去・牛乳の廃止。
- 主食であるお米の品質はとても大事だと思う。有機栽培・無農薬に近い作物づくりを推進する農業、子どもの時から環境を守り育てていく教育をお願いしたい。
- 身体・精神共に健康な青少年を育てていく為に良い食べ物を提供できる取り組みをして頂きたいと思う。
- 健康面・塩分・糖分に気を付けて野菜中心にタンパク質は食物（豆腐や納豆）中心にし、気を付けたいと思う。
- ベジタリアンフード店の誘致。

(2) 身体活動・運動について

- 公民館などで休日（土日）に体を動かす習い事を安い費用でできるようにしてほしい。
- 無料のジムやプールを作ってもらえるとありがたい。大学生なのでお金があまりないが、ダイエットがしたい。
- 今南楽寿会では、八千代病院の先生方の講話を時々しているので良いと思う。
- 小学校未満から学校等の運動を強化してほしい。小さいころから健康であること、市でも問題意識を持ち教育してほしい。
- 健康を維持・改善していく、具体的な活動を教えてほしい。
- 無料の健康体操を週 1 回している。60 代からしっかり運動して 70 代も続けて運動できるよう日々の健康に対する行動・体験を続けて維持できるよう努力をしていきたいと思う。
- 施設にインストラクター等がいて体の状態に合わせた運動方法を聞けるとよい、有料でもほしい。
- 高齢者が安心して散歩できる道の確保。
- 若い年齢からの健康管理・指導をすること。
- 町内で月に 2 回ぐらい健康体操をやってほしい。
- 市の健康イベントを多く開催してほしい。単発的なものでなく継続的なものの方がいいと思う。
- アピタ安城店で健康測定会を受ける機会があり、とても良かったと思っている。
- 週 2 回ほど走っているが、信号待ちをすることなく走れるマラソンコース 1 キロ程度があったらうれしい。
- 自転車道の整備を続けてほしい。
- 運動ということだけに注目すれば、スポーツジムのようなものも高齢の方を対象としたものがあったても良いのではと思います。
- 運動しなくてはと思いますが市の施設のジムは女性は参加しづらく、身近に利用できると嬉しいで
- スポーツクラブのように市の施設でも曜日ごとにヨガ・運動のクラスに予約なしで参加できれば通いやすいと思います。
- 気軽に人が集まれて、運動等も行える施設等があるとよい。
- 本格的な野球場又はサッカー場の建設（プロ球団が試合をできる）。
- 基本公園は子どもの為にですが、大人も遊べるような公園があってもいいなと思います。
- 色々なスポーツ大会があってもいいと思います（ミニバス、バレー、バドミントン等）、参加費ワンコイン 500 円等。

IV 自由意見

- 寝たきりや運動不足の人を防ぐ為にも、市民が一番見る広報で手軽な運動や筋力アップの方法を紹介してほしいです。

(3) 休養（睡眠含む）・こころの健康について

- メンタル面での充実を図れる事業、年代別のメンタルケア（特に 40 代）を充実させてほしい。
- 現在の最大の悩みは睡眠不足でレンドルミンの力を借りている状態。副作用のない薬が開発されることを願っている。
- 軽度の心的ストレスへの対応では、投薬が逆効果になるという認識を広くもってもらいたいと思う。
- 仕事や経済的な面で精神的につらい。メンタル面のサポートが受けられる仕組みの充実を希望する。
- 体の健康については無理かもしれませんが、心の健康については市が KATCH などと連携して自宅で楽しめるような催しものをしていただけるとよいと思います。

(4) たばこ・アルコール・薬物について

- JR 安城駅・名鉄新安城駅周辺に禁煙エリアが設定されているが喫煙者が多く、条例の目的が果たせていない。違反者から過料を取るべきだ。
- 歩き煙草をよく見かけます。副流煙こそ身体に悪いと聞くので、条例等で厳しくして頂きたいと思います。特に駅付近は歩き煙草をしている方が多い印象です。
- 安城市は煙草に関してまだまだ規制が不足していると感じる。
- 受動喫煙・野焼きの有害な煙が近所から我が家へ入ってくることでもとても気分を害している。他人がどれ程迷惑をしているのか、どれ程害を与えているのかをもっと呼び掛けてほしい。

(5) 歯の健康について

- 歯の特定健康診査があればいいと思う。
- 体操教室以外に公民館などで口腔に関する教室を定期的に開催してほしい。予約なしで参加自由ならなお良い。
- 歯科検診を無料で受けたい。
- 親子で行ける歯医者さんをもっと増やしてほしい。
- 5才きざみくらいで歯の検診（無料）が行われると良い。

(6) 各種検診・健康診査・予防接種について

- 何年かに一度は無料で脳ドック検診を受けられるようにしてほしい。
- 人間ドッグ・健診を無料で行う。
- 健康診断を定期的に受けられるシステム発信してほしい。
- 毎年 1 回がん検診の受診クーポンの発行を希望。
- 公民館などの近場で健康診断や講演などが行われれば行きやすいかなと思う。
- がん検診は毎年無料にしてほしい。
- もっと気軽に健康診断が受けられる機会を増やしてほしい。子どもが小さくて行けなかったり、料金が高かったりしてなかなか行けない。
- 20 代からの女性乳がん検診の無料化、20 代から人間ドッグの補助。
- 年に 1 回好きな受診の助成が受けられる制度などにしていただけると嬉しい。
- 出来る事なら個々で健康診断する場所を選択する権利が欲しい。
- 風疹抗体検査料の補助について口座振込だけでなく補助券を発行してほしい。
- 子どもに対する健診を充実させてほしい。特に言語障害の訓練を行える制度や機関を作っていただけるとありがたい。
- 市で受けられる検診で会社等で受けてもがん検診は受けられないので年代ごとの検診（乳癌検診）等受けられるようになると思う。
- 無料の健康診断が現在は年 1 回だけだが、半年に 1 回にしてもらえると良い。
- 仕事をしていて平日は時間が作れないので、日曜・祭日などに保健センターなどで検診が受けられると良いです。
- がん、人間ドッグの定期通知書の発行をすれば関心・意識が向くと思う。

(7) 医療（費）について

- 健康保険料を安くしてほしい。
- 不妊治療や子育て相談等を充実させて子どもを育てやすい安城市になれば嬉しい。
- 身体の具合が悪い時に 24 時間無料で問い合わせできるコールセンターがあったらいいと思う。その後、病院の紹介もしていただけると助かる。救急車以外に緊急で病院まで連れて行ってくれる車があったらいい。
- 医者をチェックする体制を早くしてほしい。将来不安である。
- 後期高齢医療が年々上昇して年金だけでは医療が受けられない人も増加しています。もう少し税の使い道を考えなくてはいけないと思います。
- 病院の休みが美容室のように平日とかであると助かります。

(8) 健康日本 21 安城計画について

- 当事業に関するイベントが休日（土日祝）に開催され、サラリーマンでも参加できることを希望します。
- 市民の健康づくりを推進しようとする姿勢が随所に感じられてとてもよいと思う。
- きれいごとではないが健幸を大いなるものにするには市民・職員が参加し全国に知らせるべき健幸行事であってほしい。
- 健康日本 21 安城計画を聞いたことがないので P R 不足だと思う。
- 「ケンサチ」の取り組みを更に進化させて、「小さな行政、大きな公共」の実現を目指してほしい。

(9) その他

- 60 才にならなくても無料の講座が多数あると良いと思う。
- アンフォーレでイベント（楽しい）のように行事があるといいと思う。
- 現在妊娠中です。出産・育児に関係する制度があれば詳しく知りたい。またそういった場をもっと作ってほしい。
- 毎月開催の赤ちゃんサロンの開催時間と開催日数が少なすぎる。月一度のチャンスをのがすとママ友作りが困難になりそうで不安がある。せめて毎週開催してもらえると参加のハードルがさがるとはいい。
- アンケートについて、項目が多すぎる。説明、選択肢等の丁寧さに欠けるので回答率の低下につながると思う。
- アンフォーレで開催される行事（体操・講義）等、安城広報に載せてほしい。
- 高齢者は遠くまで行けないので公民館などでいろいろ沢山やってほしい。
- 保健所が衣浦東部のくくりになっているので安城の保健所か刈谷の保健所かどちらに行けばよいか分りづらい。
- 公共の健康に対する事業があまりよく伝わってこない。
- 未来の子ども達に対して市の活動を、より一層充実させてください。
- 今後もアンケート調査を続けてほしい。
- 健康に関する行事を公民館でやってほしい。
- 一人暮らしでも安心できる市になってほしい。
- 子育て、福祉、介護にもっと積極的に取り組んでほしい。
- 施設の整備や人材育成、補助金等、税金の有効かつ公平な使い方に期待している。
- 広報以外にも情報発信して、市民の知識・意識・意欲が高まると良いと思います。

2 未成年、児童・生徒、保護者編

(1) 栄養・食生活について

【児童・生徒】

- 健康のためもっとごはんを食べたいと思っている。
- 私は特に体重がちょっと増えてきているので、体重が増えると健康になれないので減るようにしたいです。
- おやつを食べ過ぎに気をつけたいなと思いました。
- 私は今、太っていないけれど、未来は太るかもしれないので、未来に気をつけて太らないようにしたいです。
- 運動したり、野菜を食べたりしてやせてスリムになりたいです。
- 健康な赤・黄色・緑の食事をして健康になって長生きをしたいです。
- 朝食をたまに食べない日があるので、しっかりと毎日食べたいです。
- 食事で納豆や野菜など身体に良いものを食べる。
- 給食のことで、どこの国でとれたものを使っているか伝えてほしい。

【保護者】

- 食事の支度ができないこともあり、コンビニ弁当などに頼ってしまうが、将来的に健康へ影響が出ないか不安があり、子ども食堂が近くにあればと思います。
- 給食を食べ終わった後に、うがいの習慣があると良い。
- 行事以外で給食に砂糖を使ったゼリー、ジャムなどのいわゆる嗜好品を出すことを控えてほしい。
- 食事に給食費（肉、魚、大豆、野菜を増やして）を使ってほしい。
- 親子共々、食事の知識を身につけて、日々の食生活を向上させたい。
- 子どもの健康を考えて、高校まで、給食にしてほしいです。
- 給食では、どこの市町村でも、今はしている事ですが、地産地消がもっと増えれば良いなと思います。

(2) 身体活動・運動について

【未成年】

- 仕事帰りに市のスポーツセンターを利用したいのですが、閉館時間が早いのももう少し遅くまで利用できたらいいです。
- 予約もいらない、フリースペースで屋根つきの運動施設があるといいです。ボールや用具もおいてあるといいです。

【児童・生徒】

- 健康のために昼放課とか遊べるときは遊びたい。
- 休みの日は運動できていないので、ちゃんとだらけなで運動したいです。
- 僕はこれから健康でいるために外で元よく遊んで体を丈夫にしていきたいです。
- 虫歯とか健康のことを考えてスポーツがしたい。
- 市の設備（プール・体育館など）をグレードアップしてほしい。

【保護者】

- 愛知県は子どもの体力テストの結果が最低だったと思うので、ぜひモデル市にしたい。
- 室内で遊べる場所がほしい。公民館などは大きい子達が先に遊んでいたりと入りにくいし、後は狭い。有料でもいいので、室内で遊べる広い遊び場がほしい。
- 月曜日休みの児童館が多いので、違う日曜日にするか児童館ごとに変えてほしい。小学校の代休も月曜日が多いので、遊びに行くときに困る。
- 平日仕事をしているので、市内に土日でも利用できる習い事があるとうれしい。プール、体操など、運動系。
- ソフトボールやサッカー、スイミングなどの運動もしているので、もっと体を動かす機会を増やしていけると良いと思います。

(3) 休養（睡眠含む）・こころの健康について

【児童・生徒】

- 疲れていると、僕はかぜをひいてしまうから、疲れているときはすぐに寝たいです。
- 意見は、一番困ったときに家族だけではなく、学校の先生、友達などに聞けるようにしたいと思いました。
- 僕は時々あまり早く寝ずに夜遅くまで起きてしまうことがあるので、早寝早起きに気をつけたいです。
- 僕がストレスを解消するときは、ゲームをしています。なぜなら一人で考えないでいられるからです。後もう一つは、は弟と遊ぶことです。
- しっかり睡眠をとる。
- 早く寝ないと頭が痛くなった位、風邪を引きやすくなったりします。なので、早く寝る（健康的な生活）のが大切だなと思いました。

【保護者】

- 安城市は子育てのしやすい町だと思います。が、学校では、不登校の子どもがいたり、全ての子どもが暮らしやすいかは、わかりません。心の健康にも、気を配ってあげたいと思います。

（４）たばこ・アルコール・薬物について

【未成年】

- たばこや薬物について、保健の授業で学ぶのは役に立つと思う。

【児童・生徒】

- 私はたばこを吸わないように、お酒を飲まないようにしたいです。
- たばこは空気が悪くなったり、生きづらくなりそうだからやめてほしい。
- 覚醒剤などを使うと、心や身体にたくさんの害があることが分かった。
- 子どもが周りにいる環境で、たばこを吸うのは止めてほしいと思った。
- 未成年でのたばこ、お酒、覚醒剤など体に悪いものは飲まない。
- 大人になってお酒を飲むときはほどほどにして運動をできるだけして大人になっても健康でいられるようにしたい。
- たばこを吸うとどうなるのかを、もう少し知っておいたほうがいい。

【保護者】

- たばこ、お酒、薬については、学校で怖さを教えてほしいと思います。
- 子どもにはタバコを吸って欲しくないようにします。たばこは大人になってから。
- たばこ・酒などの依存に関する啓発が足りないと思う。薬物やギャンブルの危険も考えないといけないが。

（５）歯の健康について

【児童・生徒】

- 私はこまめに歯みがきをしています。きれいにしています。そうすると、虫歯になりにくいと思うのでしっかりとしたいほうがいいと思います。
- 朝ごはん、昼ごはん、夕ごはんの後と寝る前にちゃんと歯みがきをしようと思いました。
- きちんと歯をみがいて、歯を健康にしたいなと思った。
- 健康というものは、運動のことだけではなく、歯のことも大事なのだと初めて知りました。
- 学校にも歯ブラシを持って給食の後にしたいです。
- 学校で行う歯科検診は一年に３回くらいあったほうがいいと思う。

（６）各種検診・健康診査・予防接種について

【保護者】

- インフルエンザの予防接種を無料にしてほしい。
- ５歳児健診などの健診や定期的な発達相談の場など、継続して発達をフォローする場を作ってほしい。又は健康サイドと福祉センターサイドとの連携を強化してほしい。
- 保育園、幼稚園、学校など、感染が広がりやすい所では強制的というか集団予防接種として受けられれば良いと思う。

(7) 医療（費）について

【保護者】

- 住んでいる周辺に病院が少なく困る。中心部、北部方面の方が何でも揃っている気がする。結局、他市へ行った方が近い。

(8) 病気や体調について

【児童・生徒】

- 自分は手洗い、うがいを忘れるから、こまめにしたい。
- 風邪や熱にならないように、運動や水分補給をするように頑張ります。
- いつも朝うんちをして自分の体を健康にしたいと思いました。
- 姿勢が悪いときがあるから、姿勢をいつもちゃんとよくしたいです。
- 風邪やインフルエンザになっているので健康管理をしたいです。
- 早寝早起きをして、暑い時はこまめに水分をとり、クーラーはちょうど良い温度にする。
- 僕は時々朝ごはんの前にうがいをするところがあるけど、これからは毎日したいです。
- 病気とかにかからるように、ちゃんと清潔にして気をつける。
- インフルエンザの季節には、こまめに手洗いうがいをするのでハンカチ、ティッシュが清潔というのは健康を保つために必要だと思いました。

(9) 生活習慣について

【児童・生徒】

- 自分の健康のためにもう少し生活の色々なことを考えたい。
- 野菜を食べる前に手を洗ってから野菜と料理を食べる。手を洗わないと手にばい菌がついて汚くなる。ちゃんと毎日手を洗ってごはんを食べる。
- これからも生活リズムをくずさずに頑張りたいです。
- 健康に普通の生活をしていて、いつもどおりの生活でいたいです。
- ずっと健康でいたいです。だから食事、運動に気をつけようと思いました。
- 健康はすごく大事ななと思いました。
- 私はこれからも元気に健幸にすごしていきたいと思いました。
- これからも自分の体を大切にしたいです。
- 健康でないと将来が苦しくなってしまうので、大切だと思います。
- もっと健康にすごして長生きしたい。
- 大人になっても毎日健康を意識した生活をしていきたい。
- 体に害のあるものを使わないようにする。

(10) 子育てについて

【保護者】

- 産前産後の保育園利用を生後3ヶ月ぐらいまで伸ばしてほしい。
- 他市の子育て関連情報も知ることのできる機会があるといい。
- 上の子がいると、下の子の行事などに参加しにくい。上の子も連れて行ける行意を増やしてほしい。
- 安城市は公園が多く支援センターなども充実していて、とてもありがたいです。
- 保育園の一時預かりは予約が多く（空きがなく）、希望の日に預かってもらえない。
- 北部には保育園があげばのとげんきのもりしかなく、定員いっぱいと聞いている。豊田市に勤務しているので、北部に保育園を作ってもらいたい。
- 産後、上の子の子育てをしながら下の子をみるのが大変だった。もう少し産後、無料で1日託児をしてもらえる等のサポートがあれば嬉しいです。
- 3人目妊娠中なので、祝い金とか3人目の補助がもっと増えてほしいなと思います。
- 安城市は子どもの医療費の助成や児童クラブの高学年の受入れなど、子育てについてはいい環境だと感じます。
- トワイライト的なものがほしい。
- 毎日の生活、仕事に追われて、ゆっくりと子どもの話を聞いたり、一緒に遊んだり思うようにできない。

- 安城市は更生病院もあり、未熟児など増加していくと思います。小児科や学校など、情報をもっと共有できたらいいと思います。
- 習い事にもみんな行っているの、学費もかかる。とても大変なので子どもを育てることにあまり意欲がなくなる人が増えるように思う。

(11) デジタルメディアについて

【児童・生徒】

- ゲームに今はまっているので、いっぱいやってしまうので、だらだらずっとやらないように頑張りたいです。
- テレビやタブレットは時間を決めてちゃんと守る。
- テレビを見ないように気をつけている。
- 目が悪いので、ゲームとか勉強を近くで見ないようにします。
- 眼鏡をかけているので、明るい所で本を読んだり、テレビやタブレットも明るい所で目を大切にしています。

【保護者】

- 最近気になることは、スマホやケータイの問題です。中学生の兄はやはり、色々トラブルが発生していると聞きます。親としてもどういう持たせ方が良いのか悩みます。
- スマホ問題に頭を悩ませます。
- スマホ、タブレット、ゲームの相談や指導をしていただけると助かります。
- スマートフォンの使いすぎにより、視力の低下、睡眠時間・質の低下、悪質な情報氾濫などへの不安が日々つづります。

(12) その他

【未成年】

- 街灯の増設。
- 安城駅、南安城駅の駐輪料金をなくすべき。
- 健康について、このアンケートは考えさせられることだと思った。
- アンケートで知ったことがいくつかあったし、それに少し勉強になった。
- WHOの健康基準は高すぎる。学生はほぼあてはまらないと思う。

【児童・生徒】

- このアンケートを受けて、これからも健康に気をつけて生活していきたいと思いました。
- 健康について、何も問題ないと思います。いつも普通に生活しています。
- なぜ健康でいられるのかなどのことを授業で教えてもらいたいです。
- 私はこのアンケートで歯のこととか、体のことをよく知って歯や体のことが心配になりました。
- 「ケンサチ」という言葉が安城市中に広がるといいと思いました。
- 学校に行くとき毎日楽しく行けているのは、友達のおかげだと思うので友達に感謝したいです。
- 命はとても大事だと思いました。
- 学校を休まず、毎日行きたいです。
- このアンケートで自分を見直すことが出来たので、とても良かった。
- 最初は朝から始まるので、スタートは大事にしたいと思いました。
- 問27と問28は質問すべきことではないと思います。

【保護者】

- 保健師の家庭訪問の必要性。世間話が多く、参考にならなかった。
- 子どもの交通安全や自転車のルールなどをしっかり学べるような機会がもっとあれば良いと思います。
- 性教育も、妹のおしりをさわりたいと思うので将来が不安です。きちんとどこかで話さなければいけないと思います。
- 子育てに関して。近隣で犯罪がとても多く、子どものみで遊びに行かせることにとても不安を感じます。防犯カメラの設置の増設をお願いしたい。
- 安城市は、施設やイベントについてはアピール不足かと感じる。
- 安城市は軽度の発達障害への対応がほぼなく、小学校ではクラス担任に全ての対応が求められます。

IV 自由意見

- 不審者も多いので過ごしにくい。
- インターネットでアンケートできると良い。
- 質問にあったことを学校で専門の方から教えて下さるとよいと思います。
- 子ども達が、いじめに会わない様に道徳心が育つように、学校教育の中で徹底して頂きたいです。
- 今の中学生のお金使い方は先生方にも一度調査して頂きたい程だと思います。
- 問 22、問 23 にもありましたが男女関係なく性教育をきちんとすべきだと思います。産婦人科医の生々しいお話も時には必要だと思います。

**「第2次健康日本21安城計画」
健康に関する基礎調査報告書**

発行日 平成30年3月

発行 安城市

編集 子育て健康部健康推進課
(安城市保健センター)

〒446-0045 安城市横山町下毛賀知 106 番地 1

電話 0566-76-1133 FAX 0566-77-1103

安城市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/>